

3 主要農作物病害虫の発生状況と原因解析（平成29(2017)年確定）

1) 普通作物

(1) 水稲

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
葉いもち	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	6月中旬までは晴れた日が続き、発生はやや少なかったが、7月上旬頃から感染好適日が連続したため、一部ほ場で発生が見られた。防除を適切に行っていない地域では被害程度の大きいほ場も確認された。	感染好適日が多かったため。
穂いもち	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	県全域で発生が見られたが発病程度は軽かった。	葉いもちの発生が平年並であったため。
紋枯病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	7月の発生は少なかったが、8月以降発生が広く見られるようになった。一部で程度の高いほ場もみられ、全体としてはやや多い発生であった。	菌密度が高まっているほ場は毎年発生が確認される。稲の生育が過繁茂だったため、発生が助長されたほ場もみられた。
ばか苗病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	定点調査での発生は少なかった。	概ね適切な種子消毒や育苗管理が行われた。
もみ枯細菌病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	定点調査での発生は見られなかったが、一部で発生が確認された。	適切な防除が実施されている。
縞葉枯病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	県全域で発生が見られた。県中南部では発病程度の高いほ場も確認された。	ヒメトビウンカ第一世代幼虫の保毒虫率が高かった。 8月上旬本田でのヒメトビウンカの発生量は平年並であった。
稲こうじ病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	県全域で平年並に発生が見られた。一部で程度の高いほ場もみられた。	降雨の影響で、全体的に発生が確認された。発生が多いところは、ほ場の菌密度が高まっていると考えられた。
ニカメイガ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	フェロモントラップで一部越冬世代成虫が多く誘殺されたところがあったが、7月中旬の心枯茎の発生は平年並、8月下旬の白穂の発生はやや少なかった。	適切な防除が行われたため、心枯れや白穂の発生が抑制された。
セジロウンカ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：やや少	5月から9月までの予察灯における総誘殺数は少なかった。7月中旬及び8月上旬の本田におけるすくいとり調査においても、成虫の発生量は少であった。	本県への飛来は少なかった。
トビイロウンカ	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	予察灯における誘殺は見られなかった。	本県への飛来は少なかった。
ヒメトビウンカ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	5月から9月までの総誘殺数は、予察灯は平年より少なく、黄色粘着板はやや少なかった。7月中旬及び8月上旬の本田におけるすくいとり調査では、成虫の発生量は平年並であった。	前年作後の早めの耕起、箱施用剤施用や本田防除、抵抗性品種の導入等、適切な防除対策により発生が抑えられた。
ツマグロヨコバイ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	5月から9月までの予察灯における総誘殺数は少なかった。本田におけるすくいとり調査の発生量は、7月中旬はやや少、8月上旬は平年並であった。	8月の平均気温が比較的低く推移したことや、箱施用剤施用や本田防除による適切な防除対策により発生が抑えられた。
斑点米カメムシ類（ホソヘリカメムシ、クモヘリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ）	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	7月中旬のイネ科雑草・牧草地での発生はやや多かった。8月上旬の本田におけるすくいとり調査での発生もやや多く、クモヘリカメムシは平年より多く、ホソヘリカメムシは少なく、アカヒゲホソミドリカスミカメはやや多く、アカスジカスミカメは平年並の発生であった。	7月の気温が高く推移し、イネ科雑草・牧草地での発生が多くなった。
コブノメイガ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：やや少	予察灯における誘殺は見られなかった。8月上旬の本田におけるすくいとり調査では、発生量は少なかった。	本県への飛来はやや少なかった。
イネミズゾウムシ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	5月から9月までの予察灯調査期間中の総誘殺数は平年並であった。5月末の本田における調査では、やや少の発生であった。	越冬世代成虫の越冬密度が低かったため、発生量はやや少なかった。
イネツトムシ（イチモンジセセリ）	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	7月中旬及び8月上旬の本田におけるすくいとり調査では、成虫の発生量は少なかった。	適切な防除が行われたため、本県での発生は少なかった。

(2) 麦

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
うどんこ病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	4月～5月は晴れの日が多かったためほとんど確認されなかった。生育後半になって、一部、過繁茂のほ場で発生が見られた。
赤かび病	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	5月中旬まで発生はほとんど確認されず、下旬に入り六条大麦や小麦で軽微な発生が見られた。	登熟期間の5月の降水量が多くなかったため軽微な発生となった。

(3) 大豆

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	ほ場における発生は、8月中旬はやや少なく、9月上旬は平年並であった。	適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
ハスモンヨトウ	平年：並 前年：やや遅	平年：並 前年：並	フェロモントラップによる成虫誘殺数は、地点によりばらつきがあったが、全般にはやや多くなった。	6～9月の誘殺数はやや多かったが、夏期の多雨や適切な防除により、農作物被害はやや少なかった。
吸実性カメムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：多	フェロモントラップによるホソヘリカメムシの総誘殺数はやや多かった。ほ場における発生は、8月中旬は多く、9月上旬はやや少なかった。	ほ場では主にホソヘリカメムシ、アオクサカメムシ、イチモンジカメムシ、クサギカメムシが観察された。

2) 野菜

(1) いちご (親株・育苗床：平成29(2017)年6～9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
炭疽病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	6月から親株で発生が見られ、7月下旬以降の日照不足・低温の影響で苗の生育は悪かったが、病気の発生は拡大しなかった。	親株床で感染株の除去や薬剤処理等を行ったことで、育苗床への潜在感染株の持ち込みが抑制された。また、7月下旬以降の気温が低かったことから発生が拡大しなかった。
萎黄病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：やや少	親株で散見程度の発生が見られたが、全般に少ない発生であった	前作の本ほで発生が見られた生産者において発生が見られたことから、親株床や育苗床へ汚染土壌が混入したと考えられた。
灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	親株から育苗期の全般で発生が少なかった。	適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	親株ではやや少ない発生であったが、子苗では平年並～やや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。また、ハダニ類の防除に使用される気門封鎖剤により発生が抑制された。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	6～8月は平年並みの発生で9月は少ない発生であった。	適切な防除により被害発生が抑えられた。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	6～9月は平年並みの発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	親株、育苗期間を通してやや少～少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

いちご (本ほ：平成29(2017)年10月～平成30(2018)年5月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
炭疽病	平年：並 前年：やや早い	平年：やや少 前年：やや少	平年に比べやや少ない発生であった。定植後に発生が見られたが、植え替え等により次第に発生が見られなくなった。	定植前の感染株の除去により、発生が拡大しなかった。
萎黄病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	平年に比べやや少ない発生であった。	親株床や育苗床で発生が見られた生産者の圃場で発生がみられたことから、苗からの持ち込みが考えられた。
灰色かび病	平年：並 前年：やや早	平年：やや少 前年：並	1月以降発生が見られるようになったが、平年に比べ少ない発生であった。	ハウスサイドの低温多湿になりやすい場所で発生が多く見られた。
うどんこ病	平年：前年：	平年：やや少 前年：やや少	平年に比べやや少ない発生であった。秋に発生が多く見られた。	定植後の葉が柔らかく育ったほ場で発生が多く見られたが、適切な防除により発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	12月から増加し始め、1月以降平年並みで推移した。	アブラムシ類は防除の優先順位が低く、後手に回りやすい傾向にある。また、ハダニ類の天敵の普及により薬剤散布の機会が減ったことにより、近年、増加傾向にある。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	全般に平年並の発生であった。	薬剤感受性の低下が著しく、薬剤防除だけでは発生が抑制できない。一方、天敵を導入している施設では、年明け以降には発生が落ち着く傾向にあった。
コナジラミ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや多	秋期からは平年並の発生であった。	ハダニ類の天敵の普及により年内の薬剤散除防除圧が減ったことにより増加傾向にある。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：少	秋期が低温で推移したため、年内からやや少ない発生で推移した。	秋期侵入個体の越冬量がやや少なく、2月頃からの個体数の増加がやや少なかった。

(3) 大豆

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	ほ場における発生は、8月中旬はやや少なく、9月上旬は平年並であった。	適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
ハスモンヨトウ	平年：並 前年：やや遅	平年：並 前年：並	フェロモントラップによる成虫誘殺数は、地点によりばらつきがあったが、全般にはやや多くなった。	6～9月の誘殺数はやや多かったが、夏期の多雨や適切な防除により、農作物被害はやや少なかった。
吸実性カメムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：多	フェロモントラップによるホソヘリカメムシの総誘殺数はやや多かった。ほ場における発生は、8月中旬は多く、9月上旬はやや少なかった。	ほ場では主にホソヘリカメムシ、アオクサカメムシ、イチモンジカメムシ、クサギカメムシが観察された。

2) 野菜

(1) いちご (親株・育苗床：平成29(2017)年6～9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
炭疽病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	6月から親株で発生が見られ、7月下旬以降の日照不足・低温の影響で苗の生育は悪かったが、病気の発生は拡大しなかった。	親株床で感染株の除去や薬剤処理等を行ったことで、育苗床への潜在感染株の持ち込みが抑制された。また、7月下旬以降の気温が低かったことから発生が拡大しなかった。
萎黄病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：やや少	親株で散見程度の発生が見られたが、全般に少ない発生であった	前作の本ほで発生が見られた生産者において発生が見られたことから、親株床や育苗床へ汚染土壌が混入したと考えられた。
灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	親株から育苗期の全般で発生が少なかった。	適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	親株ではやや少ない発生であったが、子苗では平年並～やや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。また、ハダニ類の防除に使用される気門封鎖剤により発生が抑制された。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	6～8月は平年並みの発生で9月は少ない発生であった。	適切な防除により被害発生が抑えられた。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	6～9月は平年並みの発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	親株、育苗期間を通してやや少～少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

いちご (本ほ：平成29(2017)年10月～平成30(2018)年5月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
炭疽病	平年：並 前年：やや早い	平年：やや少 前年：やや少	平年に比べやや少ない発生であった。定植後に発生が見られたが、植え替え等により次第に発生が見られなくなった。	定植前の感染株の除去により、発生が拡大しなかった。
萎黄病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	平年に比べやや少ない発生であった。	親株床や育苗床で発生が見られた生産者の圃場で発生がみられたことから、苗からの持ち込みが考えられた。
灰色かび病	平年：並 前年：やや早	平年：やや少 前年：並	1月以降発生が見られるようになったが、平年に比べ少ない発生であった。	ハウスサイドの低温多湿になりやすい場所で発生が多く見られた。
うどんこ病	平年： 前年：	平年：やや少 前年：やや少	平年に比べやや少ない発生であった。秋に発生が多く見られた。	定植後の葉が柔らかく育ったほ場で発生が多く見られたが、適切な防除により発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	12月から増加し始め、1月以降平年並みで推移した。	アブラムシ類は防除の優先順位が低く、後手に回りやすい傾向にある。また、ハダニ類の天敵の普及により薬剤散布の機会が減ったことにより、近年、増加傾向にある。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	全般に平年並の発生であった。	薬剤感受性の低下が著しく、薬剤防除だけでは発生が抑制できない。一方、天敵を導入している施設では、年明け以降には発生が落ち着く傾向にあった。
コナジラミ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや多	秋期からは平年並の発生であった。	ハダニ類の天敵の普及により年内の薬剤散防除圧が減ったことにより増加傾向にある。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：少	秋期が低温で推移したため、年内からやや少ない発生で推移した。	秋期侵入個体の越冬量がやや少なく、2月頃からの個体数の増加がやや少なかった。

(2) 夏秋トマト(平成29(2017)年6~9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
疫病	平年：一 前年：一	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	4月から7月中旬まで、気温が平年に比べて高温で経過したため発生が抑えられた。
灰色かび病	平年：一 前年：一	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	4月から7月中旬まで、気温が平年に比べて高温で経過したため発生が抑制された。また、適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
葉かび病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	4月から7月中旬まで、気温が平年に比べて高温で経過したため発生が抑えられた。また、適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
モザイク病	平年：一 前年：一	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	発病が疑われる苗の早期除去により、ほ場内での発生が抑えられた。
黄化葉巻病	平年：やや遅い 前年：やや遅い	平年：少 前年：やや少	全般に少ない発生であったが、地域によっては、後半になって発生が増加したほ場があった。	育苗期からコナジラミ類の適切な防除が行われた。冬春トマトの作終了時にコナジラミ類の発生が少なかったことから、夏秋トマトへの保毒虫の侵入も抑えられた。
すすかび病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	平年に比べ、全般に少ない発生であった。葉かび病との混発圃場は少なく、すすかび病が単独で発生した。	4月から7月中旬まで、気温が平年に比べて高温で経過したため発生が抑えられた。また、適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：多 前年：多	6~7月に一部で多発ほ場が認められた。	春期の発生が多く、防除が不十分であった。
コナジラミ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	栽培期間を通し、やや少ない発生となった。	育苗期からコナジラミ類の適切な防除が行われた。
ハモグリバエ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	実質的な被害はほとんど生じていない。

(3) 冬春トマト(平成29(2017)年10月~平成30(2018)年5月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
疫病	平年：早 前年：並	平年：やや少 前年：並	平年よりも早く発生が見られ、一部の地域では継続して発生が見られたが、県全体としては、やや少ない発生であった。	秋に曇雨天や低温が続いたことから、発生が見られた。
灰色かび病	平年：並 前年：やや早	平年：やや少 前年：やや多	8月定植の長期どり作型では、11月から発生が見られたが、全般にやや少ない発生であった。	冬場に晴れの日が多く、湿度が低かったため、発生が抑えられた。
葉かび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	10月から発生が見られたが、全般に平年並の発生であった。	下葉かきの徹底や、ハウス内湿度を低く保つことによって発生が抑えられた。
モザイク病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	アブラムシ類(媒介虫)の発生が少なかったため、発生が抑えられた。
黄化葉巻病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：やや少	定植前や生育初期に発病株をすぐに除去することによって、発生の蔓延を防ぐことができ、全般に少ない発生であった。	主に、育苗期の感染や感染苗の持ち込み、外部からの媒介虫タバココナジラミの侵入による発生が考えられた。
すすかび病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：やや少	全般に少ない発生であった。葉かび病との混発圃場は少なく、すすかび病が単独で発生した。	下葉かきの徹底や、ハウス内湿度を低く保つことによって発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	一部ほ場で発生が見受けられたが、全般にはやや少の発生であった。	発生ほ場では、施設周辺からの飛び込みがあったと考えられる。
ハモグリバエ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(4) 夏秋なす(平成29(2017)年6~9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
うどんこ病	平年：やや早い 前年：やや早い	平年：やや少 前年：並	全般にやや少ない発生であった。7月下旬~8月の日照不足の影響で、県北では多発するほ場が見られたが、県南では発生が見られない圃場が多かった。	7月下旬~8月の日照不足の影響で生育が停滞したことから、県南では9月の発生が減少し、県北では8月に多発するほ場が見られた。
灰色かび病	平年：一 前年：一	平年：少 前年：一	一般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
半身萎凋病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	7月に発生が見られたが、早期に対策をとったことから、その後のほ場での拡大は見られなかった。	水田との輪作、耐病性台木が普及しているため発生は少なくなっている。4月から7月中旬まで気温が高かったことから、発生には不適であったと思われる。

青枯病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	水田との輪作、抵抗性・耐病性台木が普及しているため発生は少なくなっている。
ハダニ類	平年：並 前年：やや遅	平年：やや少 前年：やや少	栽培期間を通し、やや少ない発生となった。	適切な防除及び夏期の多雨により発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：やや遅	平年：並 前年：やや少	栽培期間を通し、平年並の発生となった。	適切な防除及び夏期の多雨により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：やや遅	平年：やや少 前年：やや少	栽培期間を通し、やや少ない発生となった。	適切な防除及び夏期の多雨により発生が抑えられた。

(5) 夏秋きゅうり (平成29(2017)年6~9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
灰色かび病	平年：一 前年：一	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	4月から7月中旬まで、気温が平年に比べて高温で経過したため発生が抑制された。また、適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
べと病	平年：やや遅い 前年：やや遅い	平年：やや少 前年：やや少	全般にやや少ない発生であった。	以前は、作の後半に多発するほ場が多く見られたが、適切な薬剤散布やほ場管理により、発生が抑えられた。
うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	生育初期から発生が見られ、平年並の発生であった。各圃場の発生程度は高くないが、多くのほ場で発生が見られた。	4月から7月中旬まで、気温が平年に比べて高温で経過したため発生が抑制されたが、8月の曇天の影響ではほ場全体に発生が広がった。
褐斑病	平年：並 前年：やや早い	平年：やや少 前年：やや少	全般にやや少ない発生であった。	罹病性品種で発生した。4月から7月中旬まで、気温が平年に比べて高温で経過したため発生が抑制されたが、8月の曇天の影響で発生するほ場が見られた。
疫病	平年：一 前年：一	平年：少 前年：並	ほとんど発生は見られなかった。	適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。発生が懸念されるほ場では土壌消毒が行われた。
黄化えそ病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや少	全般にやや多い発生であった。生育中期から発生が確認された。	育苗期からアザミウマ類の適切な防除が行われたが、本ぼでの隣接ほ場からの保毒虫の侵入があったと考えられた。
ハモグリバエ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	全般的にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年：並 前年：一	平年：やや少 前年：一	全般的にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	全般的にやや少ない発生であった。	栽培末期の施設が多かった6月には平年並の評価となった。

(6) 冬春きゅうり (平成29(2017)年10月~平成30(2018)年5月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
灰色かび病	平年：一 前年：一	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	晴れの日が多く、湿度が低かったため、発生が抑えられた。予防散布により発生が抑えられた。
べと病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	10~11月に発生が見られたが、その後はほとんど発生が見られず、全般にはやや少ない発生であった。	晴れの日が多く、湿度が低かったため、発生が抑えられた。薬剤の効果が高く、多発する圃場が少ない。
うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	全般に平年並の発生であった。秋と春の発生が多くみられた。	施設内の湿度が抜けにくいところを中心に発生が見られた。発生後の薬剤散布では、完全に発生を食い止めることはできなかった。
褐斑病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：少	11月に発生が見られたが、その後はほとんど発生がみられなかった。	周年栽培施設では、夏期の発生が少なかつたため、冬期にも発生は少なく推移した。
疫病	平年：一 前年：一	平年：少 前年：並	ほとんど発生は見られなかった。	適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
黄化えそ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや多い	全般に平年並みの発生であった。秋の定植後の苗や、気温の上昇とともに3月に発生が見られた。	主に、育苗期の感染や感染苗の持ち込み、外部からの媒介虫アザミウマ類の侵入による発生が考えられた。
ハモグリバエ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	12月に平年並みの発生となったが、昨季の全般少ない発生であった。	薬剤感受性の低下により、薬剤のみに頼るのでなく、赤ネットなどを始め、物理TR期及び攻守的防除を導入し、総合的防除が行われ、激発することが少なくなった。

コナジラミ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	施設や時期により発生程度のばらつきがあったが、多発ほ場はなかった。	薬剤感受性の低下により、栽培末期には防除に関わらず発生が増加する傾向にある。

(7) なら

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
乾腐病	平年：並 前年：やや早い	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	窒素過多の圃場や連作圃場で発生が見られた。
白斑葉枯病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	冬期は晴れの日が多く、適切な換気ができたことや、ハウス内温度を以前より低めに管理する方法が普及しはじめたことから、発生が減少した。
さび病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	株養成期の防除がきちんと行われた。
株腐細菌病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	冬期は晴れの日が多かったため、発生が抑えられた。
ネダニ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	1月までは少ない発生であったが、2月に発生ほ場率が高まった。	同一ほ場で長年にわたり作付されており、発生しやすい環境となっている。

(8) 秋冬ねぎ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
さび病	平年：やや早い 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	7月の発生がやや多く見られたが、8月以降の発生が減少した。	6月に曇天・降雨が続いたことから、発生が助長されたが、7月に高温が続いたことから発生が抑制された。
べと病	平年：並 前年：やや遅い	平年：やや少 前年：やや少	全般的にやや少ない発生であった。8月に発生が見られた。	7月下旬以降に低温・曇天が続いたことから、発生が助長された。
黒斑病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	全般に平年並の発生であった。黒斑病と葉枯病が混発したほ場が多く見られた。	7月下旬以降に低温・曇天が続いたことから、発生が助長された。
萎縮病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	アブラムシ類（媒介虫）の発生が少なかつたため、発生が抑制された。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：少	全般にやや少ない発生であった。	生育期には寄生が多いものの、収穫前の適切な防除により被害は抑えられた。
ハモグリバエ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ネギコガ	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	全般に少ない発生であった。

(9) たまねぎ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
さび病	平年：並 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	4～5月の気温が高く推移したため、発生が少なかった。
べと病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	4月から5月にかけて発生が見られた。	全般に気温は高めであったが、3月下旬の低温・降雨により発生が見られた。
白色疫病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	全般的に少ない発生であった。	4～5月の気温が高く推移したため、発生が少なかった。
黒斑病	平年：並 前年：やや遅い	平年：やや少 前年：少	全般的にやや少ない発生であった。葉枯病と混発している。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：やや遅	平年：やや少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(10) 冬キャベツ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
黒腐病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	連続降雨が少なかったため、発生が抑えられた。
菌核病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	連続降雨が少なかったため、発生が抑えられた。

(11) あぶらな科野菜

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	全般に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナガ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(12) 冬レタス

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
灰色かび病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：やや少	全般に少ない発生であった。	連続降雨が少なかったため、発生が抑えられた。
菌核病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：やや少	全般に少ない発生であった。	連続降雨が少なかったため、発生が抑えられた。
軟腐病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であったが、一部水はけの悪いほ場で散見された。	連続降雨が少なかったため、発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(13) 野菜共通

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
ハスモンヨトウ	平年：並 前年：やや遅	平年：やや多 前年：やや少	地点により誘殺数にばらつきはあったが、全般にはやや多くなった。	6～9月の誘殺数はやや多かったが、夏期の多雨により、農作物被害はやや少なかった。
オオタバコガ	平年：並 前年：やや遅	平年：やや少 前年：並	一部で誘殺数が多い地点が見られたが、全般にはやや少なかった。	適切な防除等により発生が抑制された。

3) 果樹

(1) なし

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
黒斑病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	ほとんど発生していない。	県内の主力品種は、耐病性のある幸水、豊水が作付けされている。
黒星病	平年：遅い 前年：遅い	平年：並 前年：並	5月は、降雨が少なく推移したため、発生が少なかったが、7月上旬には平年並の発生になった。8月は曇雨天日が連続し、果実での発生や秋型病斑も発生した。	梅雨明け後、曇雨天日が続く、低温多湿の条件の日が続いたこともあり、8月は果実にも病斑が確認された。
赤星病	平年：並 前年：早い	平年：並 前年：やや少	周囲にビヤクシンがある園地では5月から発生が見られ、その後一時的に発生は抑えられていたが、その後少く推移	一部の園地の周囲にビヤクシンがあり、そこで発生している。
アブラムシ類	平年：並 前年：やや遅	平年：並 前年：やや多	5～7月の発生は平年に比べ、やや少く推移した。	8月には適切な防除により発生が抑えられた。
ハダニ類	平年：並 前年：やや遅	平年：並 前年：やや少	平年並の7月から発生し始め、7月～8月に平年並の発生となった。	適切な防除が行われ、平年の発生となった。
シンクイムシ類	平年：並 前年：遅	平年：並 前年：やや多	フェロモントラップへの誘殺数はほぼ平年並で推移した。ほ場においては被害は少なかった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハマキムシ類	平年：並 前年：やや遅	平年：やや少 前年：少	発生時期は平年並で、8月に一部の地域での被害が目立った。	防除の遅れにより一部で発生した。

(2) ぶどう

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
晩腐病	平年：並 前年：並	平年：多 前年：多	7月下旬から8月の降水量が多く、発生が多かった。	袋かけ作業の頃に曇雨天日が続く、薬剤散布のタイミングが難しく、散布適期を逃してしまったところでは発生が多くなった。
べと病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや多	6、7月は発生が見られなかったが、8月に発生した。	7月下旬から8月に曇雨天が続く、発生が確認された。
灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
黒とう病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	8月に、一部の欧州系品種で発生が見られた。	5月の降水量は平年に比べ少なく、発生が抑制された。
ハマキムシ類	平年：並 前年：やや遅	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：やや遅	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(11) あぶらな科野菜

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	全般に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナガ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(12) 冬レタス

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
灰色かび病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：やや少	全般に少ない発生であった。	連続降雨が少なかったため、発生が抑えられた。
菌核病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：やや少	全般に少ない発生であった。	連続降雨が少なかったため、発生が抑えられた。
軟腐病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であったが、一部水はけの悪いほ場で散見された。	連続降雨が少なかったため、発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(13) 野菜共通

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
ハスモンヨトウ	平年：並 前年：やや遅	平年：やや多 前年：やや少	地点により誘殺数にばらつきはあったが、全般にはやや多くなった。	6～9月の誘殺数はやや多かったが、夏期の多雨により、農作物被害はやや少なかった。
オオタバコガ	平年：並 前年：やや遅	平年：やや少 前年：並	一部で誘殺数が多い地点が見られたが、全般にはやや少なかった。	適切な防除等により発生が抑制された。

3) 果樹

(1) なし

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
黒斑病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	ほとんど発生していない。	県内の主力品種は、耐病性のある幸水、豊水が作付けされている。
黒星病	平年：遅い 前年：遅い	平年：並 前年：並	5月は、降雨が少なく推移したため、発生が少なかったが、7月上旬には平年並の発生になった。8月は曇雨天日が連続し、果実での発生や秋型病斑も発生した。	梅雨明け後、曇雨天日が続き、低温多湿の条件の日が続いたこともあり、8月は果実にも病斑が確認された。
赤星病	平年：並 前年：早い	平年：並 前年：やや少	周囲にビヤクシンがある園地では5月から発生が見られ、その後一時的に発生は抑えられていたが、その後少なくて推移した。	一部の園地の周囲にビヤクシンがあり、そこで発生している。
アブラムシ類	平年：並 前年：やや遅	平年：並 前年：やや多	5～7月の発生は平年に比べ、やや少なくて推移した。	8月には適切な防除により発生が抑えられた。
ハダニ類	平年：並 前年：やや遅	平年：並 前年：やや少	平年並の7月から発生し始め、7月～8月に平年並の発生となった。	適切な防除が行われ、平年の発生となった。
シンクイムシ類	平年：並 前年：遅	平年：並 前年：やや多	フェロモントラップへの誘殺数はほぼ平年並で推移した。ほ場においては被害は少なかった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハマキムシ類	平年：並 前年：やや遅	平年：やや少 前年：少	発生時期は平年並で、8月に一部の地域での被害が目立った。	防除の遅れにより一部で発生した。

(2) ぶどう

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
晩腐病	平年：並 前年：並	平年：多 前年：多	7月下旬から8月の降水量が多く、発生が多かった。	袋かけ作業の頃に曇雨天日が続き、薬剤散布のタイミングが難しく、散布適期を逃してしまっところでは発生が多くなった。
べと病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや多	6、7月は発生が見られなかったが、8月に発生した。	7月下旬から8月に曇雨天が続き、発生が確認された。
灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
黒とう病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	8月に、一部の欧州系品種で発生が見られた。	5月の降水量は平年に比べ少なく、発生が抑制された。
ハマキムシ類	平年：並 前年：やや遅	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：やや遅	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(3) りんご

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
斑点落葉病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	梅雨期の降水量が少なく、発生が少なかった。
黒星病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	全般的に少ない発生であった。	5月から6月にかけて降水量が少なかったため、感染が少なかった。
赤星病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	産地周囲には、ピクシン類が少なく、飛散孢子量が少なかった。
輪紋病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
褐斑病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	全般的に少ない発生であったが、9月に一部の圃場で発生が認められた。	8月の天候不良により、発生が認められた。
ハダニ類	平年：並 前年：やや遅	平年：並 前年：やや少	6～8月は少、9月は平年並の発生となった。	適切な防除が行われ、平年並の発生となった。
アブラムシ類	平年：並 前年：やや遅	平年：やや多 前年：やや少	6月から発生し始め、8月の発生は平年並となった。9月には多いの発生となった。	適切な防除時期を逸してしまった。
シンクイムシ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハマキムシ類	平年：並 前年：やや遅	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(4) 果樹共通

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
カメムシ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	フェロモントラップによる誘殺数は、8月までやや少く推移し、9月に平年並の発生となった。しかし、ほ場への飛来は少なく、被害は認められなかった。	今年度のヒノキ花粉量が多かったことから、山林から果樹園へのカメムシ類の飛来が少なかった。

4) 花き
(1) きく

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
白さび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや多	6、8、9月に発生が確認された。湿度が高い条件が続いたことが要因となっていると考えられる。	品種によって発病に大きな差がある。
アブラムシ類	平年：並 前年：やや遅	平年：やや多 前年：多	特定のは場で発生が目立っていた。	発見の遅れにより、適切に防除ができなかった。
アザミウマ類	平年：並 前年：やや遅	平年：並 前年：やや少	5、6月はやや多い発生であったが、7月以降はやや少く推移した。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハダニ類	平年：並 前年：やや遅	平年：並 前年：やや少	5～6月はやや多い発生となったが、7月以降は平年並の発生となった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	フェロモントラップへの誘殺数は多かったが、ほ場での発生は全般的に少なかった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(3) りんご

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
斑点落葉病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	梅雨期の降水量が少なく、発生が少なかった。
黒星病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	全般的に少ない発生であった。	5月から6月にかけて降水量が少なかったため、感染が少なかった。
赤星病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	産地周囲には、ピクシン類が少なく、飛散孢子量が少なかった。
輪紋病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
褐斑病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	全般的に少ない発生であったが、9月に一部の圃場で発生が認められた。	8月の天候不良により、発生が認められた。
ハダニ類	平年：並 前年：やや遅	平年：並 前年：やや少	6～8月は少、9月は平年並の発生となった。	適切な防除が行われ、平年並の発生となった。
アブラムシ類	平年：並 前年：やや遅	平年：やや多 前年：やや少	6月から発生し始め、8月の発生は平年並となった。9月には多いの発生となった。	適切な防除時期を逸してしまった。
シンクイムシ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハマキムシ類	平年：並 前年：やや遅	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(4) 果樹共通

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
カメムシ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	フェロモントラップによる誘殺数は、8月までやや少く推移し、9月に平年並の発生となった。しかし、ほ場への飛来は少なく、被害は認められなかった。	今年度のヒノキ花粉量が多かったことから、山林から果樹園へのカメムシ類の飛来が少なかった。

4) 花き

(1) きく

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
白さび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや多	6、8、9月に発生が確認された。湿度が高い条件が続いたことが要因となっていると考えられる。	品種によって発病に大きな差がある。
アブラムシ類	平年：並 前年：やや遅	平年：やや多 前年：多	特定のは場で発生が目立っていた。	発見の遅れにより、適切に防除ができなかった。
アザミウマ類	平年：並 前年：やや遅	平年：並 前年：やや少	5、6月はやや多い発生であったが、7月以降はやや少く推移した。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハダニ類	平年：並 前年：やや遅	平年：並 前年：やや少	5～6月はやや多い発生となったが、7月以降は平年並の発生となった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	フェロモントラップへの誘殺数は多かったが、ほ場での発生は全般的に少なかった。	適切な防除により発生が抑えられた。

4 主要農作物病害虫の発生状況と原因解析（平成30(2018)年速報）

1) 普通作物

(1) 水稲

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
葉いもち	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	6月以降、一般的に高温多照少雨傾向で経過し、発生はやや少なかった。	夏季の高温多照少雨の影響により、発生が抑えられた。
穂いもち	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	葉いもち同様、発生はやや少なかった。	夏季の高温多照少雨の影響により、上位葉の葉いもちの発生が比較的少なく、その後の穂いもちの発生も抑えられた。
紋枯病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	7月の発生は少なかったが、8月以降発生が広く見られるようになった。全体としては平年並の発生であったが、一部で発生程度の高いほ場が見られた。	毎年発生し、菌密度が高まっていると思われるほ場は本年も発生が見られたほ場が多かった。稲の生育が過繁茂であったため、発生が助長されたほ場も見られた。
ばか苗病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	定点調査での発生は少なかった。	概ね適切な種子消毒や育苗管理が行われた。
もみ枯細菌病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	定点調査での発生は見られなかった。	適切な防除が実施された。
縞葉枯病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	県全域で発生が見られ、平年よりやや多かった。特に県北部が平年より発生が多かった。県中南部では発病程度の高いほ場も確認された。抵抗性品種においても一部発生が見られた。	ヒメトビウンカの越冬世代幼虫、第一世代幼虫の虫密度及び保毒虫率は平年より低かったが、夏季の高温多照の影響により、虫が増加したことが考えられ、黄色粘着板の誘殺数は平年よりやや多かった。8月上旬の本田でのヒメトビウンカの発生量は、幼虫、成虫ともにやや多であった。
稲こうじ病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	県全域で平年並に発生が見られた。一部で発生程度の高いほ場がみられた。	発生程度が高いところは、ほ場の菌密度が高まっていると考えられた。
ニカメイガ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや多	フェロモントラップによるニカメイガの誘殺数は、地点によりばらつきはあったが、全般にはやや少なくなった。7月中旬の心枯茎の発生は平年並、8月下旬の白穂の発生も平年並みであった。	適切な防除が行われたため、心枯れや白穂の発生が抑制された。
セジロウンカ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	5月から9月までの予察灯における総誘殺数は少なかった。	本県への飛来は少なかった。
トビイロウンカ	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	予察灯における誘殺は見られなかった。	本県への飛来は少なかった。
ヒメトビウンカ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	5月から9月までの総誘殺数は、予察灯は平年よりやや少なく、黄色粘着板はやや多かった。水田におけるすくい取り調査では、7月中旬の成虫発生量は平年並み、8月上旬の成虫発生量はやや多であった。	越冬世代成虫の越冬密度が低かったため、春先の密度は平年よりも少なかったが、栽培期間を通じて気温が高く推移し、8月上旬の本田でのヒメトビウンカの発生量は、幼虫、成虫ともにやや多であった。
ツマグロヨコバイ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	5月から9月までの予察灯における総誘殺数は少なかった。本田におけるすくい取り調査の発生量は、7月中旬はやや少、8月上旬は平年並であった。	箱施用剤施用や本田防除による適切な防除対策により発生が抑えられた。
斑点米カメムシ類（ホソヘリカメムシ、クモヘリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ）	平年：や早 前年：並	平年：やや多 前年：並	7月中旬のイネ科雑草・牧草地での発生はやや多かった。8月上旬の本田におけるすくい取り調査での発生もやや多く、クモヘリカメムシは平年より多く、ホソヘリカメムシは少なく、アカヒゲホソミドリカスミカメはやや多く、アカスジカスミカメは平年並の発生であった。	7月の気温が高く推移し、イネ科雑草・牧草地での発生が多くなった。
コブノメイガ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	予察灯における誘殺は見られなかった。8月上旬の本田におけるすくい取り調査では、発生量は少なかった。	本県への飛来は少なかった。

イネミズゾウムシ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：多	30年2月の越冬密度調査では、成虫密度は平年に比べやや多かった。5月から9月までの予察灯調査期間中の総誘殺数は地点によりややばらつきはあったが、全般にはやや多であった。5月末の本田における調査では、やや少の発生であった。	越冬世代成虫の越冬密度はやや多かったが、箱施用剤の利用により本田での発生は平年よりやや少なくなった。
イネツトムシ (イチモンジセセリ)	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや多	水田におけるすくいとり調査では、7月中旬の発生量は少なく、8月上旬の発生量は平年並みであった。	適切な防除が行われたため、本県での発生は少なかった。
イナゴ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	7月中旬及び8月上旬の本田におけるすくいとり調査では、発生量は平年並であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(2) 麦

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
うどんこ病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	小麦において発生が見られ、発生程度は平年よりやや多かった。	4月はほとんど確認されなかったが、生育後半になり、一部過繁茂のほ場で発生が見られた。
赤かび病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	5月上旬までは発生は少なかったが、5月下旬は六条大麦や小麦において、軽微な発生が各地でやや多く見られた。	登熟期間の5月は適度な降雨があり、かつ気温が発生にやや適した条件であったため、程度は軽微だが全体的に発生が見られた。

(3) 大豆

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	ほ場における発生は、8月中旬はやや少なく、9月上旬は平年並であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数は、地点によりばらつきはあったが、全般にはやや多くなった。	6～9月の誘殺数はやや多かったが、夏期の多雨や適切な防除により、農作物被害はやや平年並みであった。
吸蜜性カメムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	フェロモントラップによるホソヘリカメムシの総誘殺数はやや多かった。ほ場における発生は、平年並みであった。	ほ場では主にホソヘリカメムシ、アオクサカメムシ、イチモンジカメムシ、クサギカメムシが観察された。
フタスジヒメハムシ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや多	ほ場における発生は、8月中旬、9月上旬ともにやや少なかった。	適正なほ場ローテーションや、種子消毒剤の利用により、農作物被害はやや少なかった。

2) 野菜

(1) いちご (親株・育苗床：平成30(2018)年6～9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
炭疽病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	育苗期前半の発生は少なかったが、後半で少し発生があった。	親株床で感染株の除去や薬剤処理等を行ったことで、育苗床への潜在感染株の持ち込みが抑制された。また、全般気温は高めに推移したが、発病は抑えられていた。
萎黄病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	無病苗を利用することにより、育苗期での発生は抑えられていた。
灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	親株から育苗期の全般で発生が少なかった。	適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	育苗期間中を通して、少ない～やや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。また、ハダニ類の防除に使用される気門封鎖剤により発生が抑制された。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	4、6月にやや多い発生であった。	一部のほ場で春期の発生が多く、防除が不十分であった。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	全般に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年：並 前年：－	平年：並 前年：－	親株、育苗期間を通してやや少～平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

イネミズゾウムシ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：多	30年2月の越冬密度調査では、成虫密度は平年に比べやや多かった。5月から9月までの予察灯調査期間中の総誘殺数は地点によりややばらつきはあったが、全般にはやや多であった。5月末の本田における調査では、やや少の発生であった。	越冬世代成虫の越冬密度はやや多かったが、箱施用剤の利用により本田での発生は平年よりやや少なくなった。
イネツトムシ (イチモンジセセリ)	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや多	水田におけるすくいとり調査では、7月中旬の発生量は少なく、8月上旬の発生量は平年並みであった。	適切な防除が行われたため、本県での発生は少なかった。
イナゴ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	7月中旬及び8月上旬の本田におけるすくいとり調査では、発生量は平年並であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(2) 麦

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
うどんこ病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	小麦において発生が見られ、発生程度は平年よりやや多かった。	4月はほとんど確認されなかったが、生育後半になり、一部過繁茂のほ場で発生が見られた。
赤かび病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	5月上旬までは発生は少なかったが、5月下旬は六条大麦や小麦において、軽微な発生が各地でやや多く見られた。	登熟期間の5月は適度な降雨があり、かつ気温が発生にやや適した条件であったため、程度は軽微だが全体的に発生が見られた。

(3) 大豆

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	ほ場における発生は、8月中旬はやや少なく、9月上旬は平年並であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数は、地点によりばらつきはあったが、全般にはやや多くなった。	6～9月の誘殺数はやや多かったが、夏期の多雨や適切な防除により、農作物被害はやや平年並みであった。
吸蜜性カメムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	フェロモントラップによるホソヘリカメムシの総誘殺数はやや多かった。ほ場における発生は、平年並みであった。	ほ場では主にホソヘリカメムシ、アオクサカメムシ、イチモンジカメムシ、クサギカメムシが観察された。
フタスジヒメハムシ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや多	ほ場における発生は、8月中旬、9月上旬ともにやや少なかった。	適正なほ場ローテーションや、種子消毒剤の利用により、農作物被害はやや少なかった。

2) 野菜

(1) いちご (親株・育苗床：平成30(2018)年6～9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
炭疽病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	育苗期前半の発生は少なかったが、後半で少し発生があった。	親株床で感染株の除去や薬剤処理等を行ったことで、育苗床への潜在感染株の持ち込みが抑制された。また、全般気温は高めに推移したが、発病は抑えられていた。
萎黄病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	無病苗を利用することにより、育苗期での発生は抑えられていた。
灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	親株から育苗期の全般で発生が少なかった。	適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	育苗期間中を通して、少ない～やや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。また、ハダニ類の防除に使用される気門封鎖剤により発生が抑制された。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	4、6月にやや多い発生であった。	一部のほ場で春期の発生が多く、防除が不十分であった。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	全般に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年：並 前年：－	平年：並 前年：－	親株、育苗期間を通してやや少～平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(2) トマト (夏秋:平成30(2018)年6~9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
疫病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	気温が平年に比べて高温で経過したため発生が抑えられた。
灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	気温が平年に比べて高温で経過したため発生が抑制された。また、適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
葉かび病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	気温が平年に比べて高温で経過したため発生が抑えられた。また、適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
モザイク病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	発病が疑われる苗の早期除去や媒介虫の防除により、ほ場内での発生が抑えられた。
黄化葉巻病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	育苗期からコナジラミ類の適切な防除が行われた。冬春トマトの作終了時にコナジラミ類の発生が少なかったことから、夏秋トマトへの保毒虫の侵入も抑えられた。
すすかび病	平年：並 前年：早い	平年：並 前年：並	平年に比べ、全般に少ない発生であった。	気温が平年に比べて高温で経過したため発生が抑えられた。また、適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや少	全般に少ない発生であったが、6月にやや多い発生であった。	一部のほ場で春期の発生が多く、防除が不十分であった。
コナジラミ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	全般に平年並みの発生であったが、7月にやや多い発生であった。	7～8月は高温が続き発生が多くなった。
ハモグリバエ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：並	全般に平年並みの発生であったが、6月にやや多い発生であった。	実質的な被害はほとんど生じていない。

(3) なす (夏秋:平成30(2018)年6~9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
うどんこ病	平年：やや早い 前年：やや早い	平年：やや少 前年：並	全般にやや少ない発生であった。7月下旬～8月の日照不足の影響で、県北では多発するほ場が見られたが、県南では発生が見られない圃場が多かった。	7月下旬～8月の日照不足の影響で生育が停滞したことから、県南では9月の発生が減少し、県北では8月に多発するほ場が見られた。
灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：－	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
半身萎凋病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	7月に発生が見られたが、早期に対策をとったことから、その後のほ場での拡大は見られなかった。	水田との輪作、耐病性台木が普及しているため発生は少なくなっている。4月から7月中旬まで気温が高かったことから、発生には不適であったと思われる。
青枯病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	水田との輪作、抵抗性・耐病性台木が普及しているため発生は少なくなっている。
ハダニ類	平年：並 前年：やや遅	平年：やや少 前年：やや少	栽培期間を通し、やや少ない発生となった。	適切な防除及び夏期の多雨により発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：やや遅	平年：並 前年：やや少	栽培期間を通し、平年並の発生となった。	適切な防除及び夏期の多雨により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：やや遅	平年：やや少 前年：やや少	栽培期間を通し、やや少ない発生となった。	適切な防除及び夏期の多雨により発生が抑えられた。

(4) きゅうり (夏秋:平成30(2018)年6~9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	気温が平年に比べて高温で経過したため発生が抑制された。また、適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
べと病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや多	全般にやや少ない発生であった。	作の後半に発生するほ場が見られたが、適切な薬剤散布やほ場管理により、発生が抑えられた。
うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	圃場内での発生株数は少ないが、多くのほ場で発生が見られた。	夏季は高温が続いたため、発生が抑制されたが、9月には発生が拡大した。

褐斑病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	全般にやや少ない発生であった。	罹病性品種で発生した。気温が平年に比べて高温で経過したため発生が抑制されたが、9月に発生が認められた。
疫病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	ほとんど発生は見られなかった。	適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
黄化えそ病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	全般にやや多い発生であった。生育中期から発生が確認された。	育苗期からアザミウマ類の適切な防除が行われたが、本ぼでの隣接ほ場からの保毒虫の侵入があったと考えられた。
ハモグリバエ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：やや少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：やや遅	平年：やや少 前年：やや少	全般的にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年：やや遅 前年：やや遅	平年：並 前年：並	全般に少ない発生であったが、7月に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：多い 前年：やや多	4、5、9月に一部のほ場で多く発生が見られた。	適切な防除により発生が抑えられた。

(5) ねぎ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
さび病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	7月に発生が見られたが、8月以降の発生が減少した。	7～8月に高温が続いたことから発生が抑制された。
べと病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
黒斑病	平年：やや多 前年：並	平年：並 前年：並	全般に平年並の発生であった。黒斑病と葉枯病が混発したほ場が多く見られた。	県内の全域で発生程度の低いものの、発生した。
萎縮病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	アブラムシ類（媒介虫）の発生が少なかったため、発生が抑制された。
アブラムシ類	平年：並 前年：－	平年：少 前年：－	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや多	生育初期に平年並の発生であったが、その後やや少なくなった。	生育期には寄生が多いものの、収穫前の適切な防除により被害は抑えられた。
ハモグリバエ類	平年：並 前年：－	平年：多 前年：やや多	9月に多い発生となった。	9月に一部のほ場で防除の遅れが見られた。
ネギコガ	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	全般に少ない発生であった。

(6) たまねぎ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
さび病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	4～5月の気温が高く推移したため、発生が少なかった。
べと病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	4月から5月にかけて発生が見られた。	全般に気温は高めで生育が進んでいる傾向にあった。3月上旬以降雨が続き、発生を助長したと考えられる。
白色疫病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	全般的に少ない発生であった。	4～5月の気温が高く推移したため、発生が少なかった。
黒斑病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：やや遅 前年：並	平年：並 前年：やや少	4月から5月にかけて発生が見られた。	適切な防除により発生が抑えられた。

(7) 野菜共通

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	地点により誘殺数にばらつきはあったが、全般にはやや多くなった。	7～9月の誘殺数はやや多かったが、発生程度に応じた薬剤散布が行われ、農作物被害はやや少なかった。
オオタバコガ	平年：早い 前年：早い	平年：やや多 前年：やや多	地点により誘殺数にばらつきはあったが、全般にはやや多くなった。	7～9月の誘殺数はやや多かったが、発生程度に応じた薬剤散布が行われ、農作物被害はやや少なかった。

3) 果樹

(1) なし

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
黒斑病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	ほとんど発生していない。	県内の主力品種は、耐病性のある幸水、豊水が作付けされている。
黒星病	平年：遅い 前年：やや遅い	平年：やや少ない 前年：やや少ない	5月～7月は発生が少なかったが、8月以降発生が増加しやや少ない発生となった。	5月～7月は、降雨が少なく気温が高く推移したため、発生が少なかった。8月以降気温が平年並となり曇雨天が多かったことから発生が増加した。
赤星病	平年：並 前年：やや遅い	平年：やや少ない 前年：少	6月から発生が認められたが、その後は少ない発生であった。	4月～5月は、気温が高かったが降水量は少なかったため発生が遅れた。その後も降水量が少なかったため感染・発病が抑制された。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	5～7月の発生は平年並で推移した。	8月には適切な防除により発生が抑えられた。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：多 前年：多	気温が平年より高く、降水量が少なかったため、発生量が多かった。	せん定作業が終わらず、休眠期防除が遅れたほ場において一部発生した。
シンクイムシ類	平年：早い 前年：早い	平年：少 前年：並	気温が平年より高く推移したため、フェロモントラップの誘殺数ピークが平年より早く見られ、発生量はやや多かった。ほ場においては被害は少なかった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハマキムシ類	平年：早い 前年：早い	平年：やや多 前年：多	7～8月に発生がやや多く見られた。	気温が平年より高く推移したため、一部のほ場では6月から発生が見られ始め、その後発生増えていった。

(2) ぶどう

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
晩腐病	平年：並 前年：並	平年：多 前年：並	8月に多く発生した。	平年に比べ8月の降水量が多く、露地栽培で発生が多くなった。
べと病	平年：遅 前年：並	平年：やや少 前年：少	6、7月は発生が見られなかったが、8月に発生した。	7月まで気温が高く、降水量が少なく経過したが、8月は降水量が多く気温が平年並となったため発生が増加した。
灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
黒とう病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	5月～7月の降水量が平年に比べ少なく、発生が抑制された。
ハマキムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	全般的にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(3) りんご

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
斑点落葉病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	7月までは少なかったが、8月から9月にかけて発生が増加した。	7月前半まで小雨だったが、7月後半以降降水量が平年並以上となったため発生が増加した。
黒星病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	全般に少ない発生であった。	5月から6月にかけて降水量が少なかった。
赤星病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	産地周囲には、ビャクシン類が少なく、飛散胞子量が少なかった。
輪紋病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
褐斑病	平年：やや遅 前年：並	平年：やや多 前年：やや少	8月に発生が認められ、9月にかけて増加した。	7月前半まで小雨だったが、7月後半以降降水量が平年並以上となったため発生が増加した。

(7) 野菜共通

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	地点により誘殺数にばらつきはあったが、全般にはやや多くなった。	7～9月の誘殺数はやや多かったが、発生程度に応じた薬剤散布が行われ、農作物被害はやや少なかった。
オオタバコガ	平年：早い 前年：早い	平年：やや多 前年：やや多	地点により誘殺数にばらつきはあったが、全般にはやや多くなった。	7～9月の誘殺数はやや多かったが、発生程度に応じた薬剤散布が行われ、農作物被害はやや少なかった。

3) 果樹

(1) なし

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
黒斑病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	ほとんど発生していない。	県内の主力品種は、耐病性のある幸水、豊水が作付けされている。
黒星病	平年：遅い 前年：やや遅い	平年：やや少ない 前年：やや少ない	5月～7月は発生が少なかったが、8月以降発生が増加しやや少ない発生となった。	5月～7月は、降雨が少なく気温が高く推移したため、発生が少なかった。8月以降気温が平年並となり曇雨天が多かったことから発生が増加した。
赤星病	平年：並 前年：やや遅い	平年：やや少 前年：少	6月から発生が認められたが、その後は少ない発生であった。	4月～5月は、気温が高かったが降水量は少なかったため発生が遅れた。その後も降水量が少なかったため感染・発病が抑制された。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	5～7月の発生は平年並で推移した。	8月には適切な防除により発生が抑えられた。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：多 前年：多	気温が平年より高く、降水量が少なかったため、発生量が多かった。	せん定作業が終わらず、休眠期防除が遅れたほ場において一部発生した。
シンクイムシ類	平年：早い 前年：早い	平年：少 前年：並	気温が平年より高く推移したため、フェロモントラップの誘殺数ピークが平年より早く見られ、発生量はやや多かった。ほ場においては被害は少なかった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハマキムシ類	平年：早い 前年：早い	平年：やや多 前年：多	7～8月に発生がやや多く見られた。	気温が平年より高く推移したため、一部のほ場では6月から発生が見られ始め、その後発生増えていった。

(2) ぶどう

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
晩腐病	平年：並 前年：並	平年：多 前年：並	8月に多く発生した。	平年に比べ8月の降水量が多く、露地栽培で発生が多くなった。
べと病	平年：遅 前年：並	平年：やや少 前年：少	6、7月は発生が見られなかったが、8月に発生した。	7月まで気温が高く、降水量が少なく経過したが、8月は降水量が多く気温が平年並となったため発生が増加した。
灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
黒とう病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	5月～7月の降水量が平年に比べ少なく、発生が抑制された。
ハマキムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	全般的にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(3) りんご

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
斑点落葉病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	7月までは少なかったが、8月から9月にかけて発生が増加した。	7月前半まで小雨だったが、7月後半以降降水量が平年並以上となったため発生が増加した。
黒星病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	全般に少ない発生であった。	5月から6月にかけて降水量が少なかった。
赤星病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	産地周囲には、ビャクシン類が少なく、飛散胞子量が少なかった。
輪紋病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
褐斑病	平年：やや遅 前年：並	平年：やや多 前年：やや少	8月に発生が認められ、9月にかけて増加した。	7月前半まで小雨だったが、7月後半以降降水量が平年並以上となったため発生が増加した。

ハダニ類	平年：やや遅 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	9月に発生が見られた。	適切な防除が行われ、やや少ない発生となった。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：少	9月に発生が見られた。	適切な防除により発生が抑えられた。
シンクイムシ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハマキムシ類	平年：並 前年：-	平年：多 前年：-	8、9月に発生が見られた。	気温が平年に比べて高温で経過したため、8月から9月にかけて発生が多く見られた。

(4) 果樹共通

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
カメムシ類	平年：早い 前年：並	平年：少 前年：並	フェロモントラップによる誘殺数は、4月に越冬世代が多く誘殺されたが、その後の誘殺は少なかった。ほ場への飛来は少なく、被害は認められなかった。	今年度のヒノキ花粉量は多かったことから、山林から果樹園へのカメムシ類の飛来が少なかった。

4) 花き

(1) きく

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
白さび病	平年：並 前年：並	平年：平年並 前年：やや少	4月～7月に発生が見られた。	適切に防除が行われたため発生が抑制された。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：並	特定のほ場で発生が目立っていた。	発見の遅れにより、適切に防除ができなかった。
アザミウマ類	平年：やや遅 前年：やや遅	平年：並 前年：やや少	6～9月に発生がみられ、全般に平年並みであった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	全般に平年並みの発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	フェロモントラップへの誘殺数は多かったが、9月一部のほ場で発生が見られた。	適切な防除により発生が抑えられた。

ハダニ類	平年：やや遅 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	9月に発生が見られた。	適切な防除が行われ、やや少ない発生となった。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：少	9月に発生が見られた。	適切な防除により発生が抑えられた。
シンクイムシ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハマキムシ類	平年：並 前年：-	平年：多 前年：-	8、9月に発生が見られた。	気温が平年に比べて高温で経過したため、8月から9月にかけて発生が多く見られた。

(4) 果樹共通

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
カメムシ類	平年：早い 前年：並	平年：少 前年：並	フェロモントラップによる誘殺数は、4月に越冬世代が多く誘殺されたが、その後の誘殺は少なかった。ほ場への飛来は少なく、被害は認められなかった。	今年度のヒノキ花粉量は多かったことから、山林から果樹園へのカメムシ類の飛来が少なかった。

4) 花き

(1) きく

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
白さび病	平年：並 前年：並	平年：平年並 前年：やや少	4月～7月に発生が見られた。	適切に防除が行われたため発生が抑制された。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：並	特定のほ場で発生が目立っていた。	発見の遅れにより、適切に防除ができなかった。
アザミウマ類	平年：やや遅 前年：やや遅	平年：並 前年：やや少	6～9月に発生がみられ、全般に平年並みであった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	全般に平年並みの発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	フェロモントラップへの誘殺数は多かったが、9月一部のほ場で発生が見られた。	適切な防除により発生が抑えられた。

5 病害虫発生程度別面積

1) 平成29(2017)年病害虫発生程度別面積(確定) (ha)

作物名	作付面積	病害虫名	甚	多	中	少	計
普通期水稲	57,600	葉いもち	100	200	700	5,000	6,000
		穂いもち				2,000	2,000
		紋枯病	2,000	5,000	6,000	25,000	38,000
		ばか苗病				360	360
		縞葉枯病			2,000	20,000	22,000
		稲こうじ病		2,200	8,700	5,800	16,700
		ニカメイガI				2,800	2,800
		ニカメイガII				2,000	2,000
		セジロウンカ				100	100
		トビイロウンカ					0
		ヒメトビウンカ	3,700	11,000	14,700	28,600	58,000
		ツマグロヨコバイ		700	8,100	21,200	30,000
		斑点米カメムシ類			5,100	15,900	21,000
		フタオビコヤガ				2,900	2,900
		コブノメイガ				100	100
イネミズゾウムシ				10,000	10,000		
麦	13,000	うどんこ病				100	100
		赤かび病				600	600
大豆	2,560	アブラムシ類				1,880	1,880
		ハスモンヨトウ			170	340	510
		吸実性カメムシ類				1,100	1,100
りんご	147	斑点落葉病					-
		黒星病					-
		ナシヒメシンクイ					-
		ハマキムシ類					-
		ハダニ類			10	80	90
なし	767	黒斑病					-
		黒星病				256	256
		ナシヒメシンクイ				25	25
		ハマキムシ類			6	40	46
		ハダニ類		10	30	156	196
ぶどう	212	晩腐病			30	30	60
		べと病		23		22	45
		灰色かび病					0
夏秋トマト	153	疫病					0
		灰色かび病				14	14
		葉かび病				14	14
		コナジラミ類				28	28
		アブラムシ類			2	40	42
冬春トマト	225	疫病				23	23
		灰色かび病				108	108
		葉かび病			11	23	34
		コナジラミ類		5	14	77	96
		アブラムシ類				10	10

作物名	作付面積	病害虫名	甚	多	中	少	計
夏秋ナス	367	うどんこ病				229	229
		灰色かび病					0
		アザミウマ類					0
		アブラムシ類			67	220	287
		ハダニ類			53	130	183
夏秋キュウリ	249	べと病				75	75
		うどんこ病			50	174	224
		灰色かび病					0
		褐斑病				25	25
		アザミウマ類		7	20	73	100
		アブラムシ類				28	28
		コナジラミ類			7	93	100
冬春キュウリ	50	べと病			8	17	25
		うどんこ病	5	5	5	18	33
		灰色かび病					0
		褐斑病				25	25
		アザミウマ類				15	15
		アブラムシ類				5	5
		オンシツコナジラミ				10	10
冬キャベツ	88	黒腐病					0
		菌核病					0
		アブラムシ類					0
		コナガ				5	5
タマネギ	240	白色疫病					0
		べと病				90	90
		ネギアザミウマ			20	130	150
秋冬ネギ	439	さび病			165	220	385
		黒斑病			55	384	439
		べと病				55	55
		アブラムシ類				4	4
冬レタス	90	灰色かび病					0
		菌核病					0
		アブラムシ類					0
		ハスモンヨトウ				5	5
		オオタバコガ				5	5
イチゴ	586	灰色かび病				82	82
		うどんこ病		9	9	37	55
		炭そ病				82	82
		アブラムシ類			14	51	65
		アザミウマ類			10	81	91
		ハダニ類	5	32	80	222	339
		ハスモンヨトウ			7	30	37
きく	120	白さび病				24	24
		アザミウマ類		2	15	44	61
		アブラムシ類				40	40
		ハスモンヨトウ				10	10

※作付面積:農林水産省の統計データを参照。

2) 平成30(2018)年病害虫発生程度別面積(速報)(ha)

作物名	作付面積	病害虫名	甚	多	中	少	計
普通期水稲	57,600	葉いもち				7,200	7,200
		穂いもち				700	700
		紋枯病	2,100	3,000	3,600	21,400	30,100
		ばか苗病				370	370
		もみ枯細菌病(種子消毒)					0
		縞葉枯病		700		28,700	29,400
		稲こうじ病		700	1,400	4,500	6,600
		ニカメイガI				2,200	2,200
		ニカメイガII				5,900	5,900
		セジロウンカ					0
		トビイロウンカ					0
		ヒメトビウンカ	7,400	29,000	13,000	7,000	56,400
		ツマグロヨコバイ			700	34,000	34,700
		斑点米カメムシ類	700	4,000	3,600	12,500	20,800
		フタオビコヤガ				2,900	2,900
		コブノメイガ					0
イネミズゾウムシ				19,000	19,000		
麦	12,900	うどんこ病	650		325	325	1,300
		赤かび病				1,900	1,900
大豆	2,560	吸実性カメムシ類				900	900
		フタスジヒメハムシ			100	300	400
りんご	147	斑点落葉病				37	37
		黒星病					0
		ナシヒメシンクイ					0
		ハマキムシ類				42	42
				21	42	63	
なし	767	黒斑病					0
		黒星病				57	57
		ナシヒメシンクイ					0
		ハマキムシ類			14	14	28
		ハダニ類			28	227	255
ぶどう	212	晩腐病			21	21	42
		べと病				21	21
		灰色かび病					0
夏秋トマト	151	疫病					0
		灰色かび病				14	14
		葉かび病				14	14
		コナジラミ類				113	113
		アブラムシ類			13	13	26
夏秋ナス	366	うどんこ病		41	81	122	244
		灰色かび病					0
		アザミウマ類			41	203	244
		アブラムシ類			41	203	244
		ハダニ類				203	203

作物名	作付面積	病害虫名	甚	多	中	少	計
夏秋キュウリ	248	べと病			25	74	99
		うどんこ病		21	21	103	145
		灰色かび病					0
		褐斑病				21	21
		アザミウマ類				50	50
		アブラムシ類				41	41
		コナジラミ類				103	103
タマネギ	239	白色疫病					0
		べと病			24	96	120
		ネギアザミウマ			60	90	150
秋冬ネギ	429	さび病			54	107	161
		黒斑病	161			215	376
		べと病				54	54
		アブラムシ類					0
		ネギハモグリバエ		15	35	56	106
イチゴ	554	灰色かび病					0
		うどんこ病		21	21	72	114
		炭そ病				19	19
		アブラムシ類	30	30	40	81	181
		ハダニ類	10		50	201	261
きく	115	白さび病				12	12
		アザミウマ類			26	12	38
		アブラムシ類				38	38

※作付面積：農林水産省の統計データを参照。

6 病害虫診断同定結果

月日	作物名	発生場所	症状等	診断結果
1月10日	しゅんぎく	下野市	葉に5～10mm程度の褐色～灰色の病斑ができた。	顕微鏡観察で <i>Cercospora</i> 属の分生子を確認。シュンギク葉枯病と診断。
1月10日	しゅんぎく	下野市	葉の縁が黒くなって枯れる。ハウス内で坪状に発生が見られる。	黒変部周辺を顕微鏡観察すると、菌泥が確認できるが、菌糸や分生子は確認できない。細菌病または生理障害の可能性あり。
1月12日	トマト (CF桃太郎はるか)	宇都宮市	10月下旬定植後、葉色が淡く、生育が悪い株が圃場内に点在する。現在は下葉から黄化やアントシアンの症状認められる。黄化病の疑いあり。	RT-PCRの結果、ToCV陰性。イムノストリップTMV陰性。Cmm陰性。組織分離の結果、病原菌は分離されなかった。生理障害の可能性。
1月12日	いちご(とちおとめ)	—	定植時には正常の大きさであったが、その後、葉が小型化し、株が小さくなった。根はそれほど傷んではないが、クラウン部が褐変している。	組織分離の結果、病原菌は分離されなかった。経過観察したが、わき芽から新葉が健全に展開しているため、病害虫によるものではないと考えられる。
1月16日	にら (ミラクルグリーンベルト)	真岡市	株養成中の病害虫は少なかった。捨て刈り20日頃からトロケ症状が出てきた。ハウス西側に連続して発生。	鱗茎部に沢山の黒い菌核が見られる。また、ネダニも多く見られる。以上より、黒腐菌核病と診断。
1月18日	しゅんぎく	河内管内	新葉が黄化して、生育も悪い。ウイルス病を疑っている。	イムノストリップCMV, Potyvirus属陰性。生理障害の可能性あり。
1月18日	しゅんぎく	河内管内	葉が萎れ、枯れる症状が多発している。いちご圃場跡で栽培している。	地際部が外側から腐敗しており、茎内部は随が褐変して脱落している。葉は先端部から萎れ、枯れている。イムノストリップRs陰性。外観症状から生理障害の可能性が高い。
1月18日	なし	塩谷南那須管内	なしの枝に赤い粒が固まって数多く着いている。害虫の卵か？	形態から、リンゴハダニと考えられる。
1月22日	トマト (麗容)	真岡市	準備前室から入った最初の畝の途中に4本ほど、10本ほど離れて1本下葉に顕著に症状が出ている。中間葉には色の薄い部分が見える。黄化病を疑っている。	RT-PCRの結果、ToCV陽性。ToCVによるトマト黄化病と診断。
1月25日	いちご(とちおとめ)	さくら市長久保	株の生育不良、外葉から枯れる、根の枯死、クラウンの褐変、畝で連続で症状が出ている。排水が悪いところに発生している。疫病を疑っている。	イムノストリップPhyt陰性。クラウン部の症状は赤茶色になって組織がボロボロになっているものと、導管が黒変しているものと2タイプあった。組織分離の結果、両方のクラウン部から <i>Fusarium oxysporum</i> が分離され、遺伝子診断で病原性も確認した。また、ネグサレセンチュウは確認できなかった。以上より、病原菌は分離されたものの、状況から、直接の原因が萎黄病とは考えにくい。
1月26日	いちご(とちおとめ)	さくら市喜連川	株の枯死、生育不良、外葉からの枯れあがり、根の枯死、クラウンの導管の色が黒っぽい。圃場の水はけ悪い。	イムノストリップRs陰性。組織分離の結果、病原菌は分離できなかった。また、ネグサレセンチュウも確認できなかった。原因不明。

月日	作物名	発生場所	症状等	診断結果
1月30日	こちょうらん	栃木市都賀町	花卉のふちが黄変し、透化ししおれ、枯れる。	イムノストリップでORSV陰性。組織分離を行ったが、病原菌は分離されなかった。温度管理などによる障害の可能性も考えられた。
1月30日	シネラリア	栃木市都賀町	ハウスサイドのベンチで葉柄に黒い斑点が見られる。同一ベンチ内には点在して症状がみられる。	黒変している葉柄部位の組織分離、顕微鏡観察を行った。病原菌は分離されなかった。持ち込まれた株の経過を観察していたが、黒変している症状は広がることはなかった。何らかの生理障害の可能性はある。
2月1日	トマト (CF桃太郎)	宇都宮市瑞穂野	2本仕立てで片側のみ萎れが見られる。	主茎に導管褐変や髓の崩壊が見られる。イムノストリップCmm陰性。PCRの結果、Cmm陰性。茎部の組織分離の結果、病原菌は分離されなかった。茎部の診断では病害の可能性は低い。
2月1日	きゅうり	下野市薬師寺	葉に小さい黄斑ができ、その後拡大し、薄く褐変しする。その後、破れることもある。一ヶ月前から発生し、圃場内で広がっている。炭疽病と思い、薬剤を散布しているが、いまだに広がっている。	顕微鏡観察で、病斑部から分生子や菌糸は確認できなかったが、菌泥が確認できた。バクテリアを分離し、API診断キットで <i>Pseudomonas syringae</i> sp. <i>lachrymans</i> によるキュウリ斑点細菌病と推定。
2月1日	パクチー	下野市薬師寺	葉に斑点が現れ、次第に葉や葉柄が褐変する。その後、株全体が枯れる。初期症状は10月下旬から見られる。昨年と同様の症状がみられる。	顕微鏡観察で、病斑部から分生子や菌糸は確認できなかったが、菌泥が確認できた。バクテリアを分離し、API診断キットで <i>Pseudomonas marginalis</i> sp. <i>Marginalis</i> による病害 (パセリ-腐敗病) と推定。
2月5日	きく (精興光玉)	大田原市鹿畑	花芽が付き始めた頃から、葉先を中心とした葉の縁から枯れる。症状は中段以上の葉で見られる。過去にもこの品種で発生がみられたことがあるが、生理障害だと言われた。ここ数年発生していなかったが、また発生したため、病気かどうか確認してほしい。	組織分離の結果、病原菌は確認できなかった。生理障害と推定。
2月5日	にら	大田原市蛭田	一年株を一ヶ月前に保温を開始、現在収穫時期。外葉から葉が黄化し枯れる。	鱗片葉の内部に沢山のネダニが見られる。ネダニの食害が原因と考えられる。
2月9日	きゅうり (ハイグリーン22、台木: 勇々輝黒軸)	小山市東黒田	現在収穫中。1週間程度前からしおれはじめたとのこと。5株程連続してしおれている場所もある。株元中心に小さなハエが多発している。症状が見られない箇所でも多発していた。堆肥は多量に入れている。根の数、成長が良くない。	外観では、根量が少なく、根の先端部はひからびており、所々に褐変が見られ、コブも確認。導管部の褐変は確認できない。実体顕微鏡で、褐変部にコバネ類幼虫を確認。根および地際部の組織分離の結果、病原菌は分離されなかった。
2月9日	いちご (とちおとめ)	壬生町上稲葉	1月下旬に葉の葉脈間の黄化や葉縁部が褐変しだし、生育が低下しだした。圃場全体に広がる傾向が見られる。培地をベールマン法で抽出するとセンチュウが大量に確認された。前年も別圃場で同様な症状が4月頃見られ、その時もセンチュウが確認されていた。	すべてのサンプルから、ネグサレセンチュウは検出されず、ネグサレセンチュウ以外の原因と考えられる。

月日	作物名	発生場所	症状等	診断結果
2月13日	いちご親株 (とちおとめ)	宇都宮市 (旧 上河内)	親株の葉上に黒褐色の斑点が見られる。炭疽病か診断してほしい。	LAMP法 (斑点・葉柄基部) で陰性。炭疽病の可能性は低い。
2月23日	いちご (とち おとめ)	真岡市小林	12月下旬より初期の兆候が見られ、1月下旬に新葉が萎縮・奇形化し、2月には株全体が小型化する。新葉は退緑化し、萎縮する。発生後は果実の収穫ができない。	ファイトプラズマ陰性。持込み株をポットに植え替えて経過観察すると、萎縮症状は次第に改善していった。以上より、土壌に原因があると推測された。
3月1日	やまのいも	那須塩原市	種芋として保管していたものに茶色の食害らしいものが見られた。	土壌サンプルからベルマン法でセンチュウ類分離を試みた結果 (3反復実施)、1つの検体からネグサレセンチュウが1匹確認された。他の2反復からは確認されなかった。 種芋サンプルからも同様にセンチュウ類分離を試みたが、センチュウ類は確認されなかった。以上から、ネグサレセンチュウによる被害の可能性はあるが、確認された虫数が極めて少ないため、原因とは断定しにくいと判断した。
3月6日	たまねぎ (も みじ)	栃木市湧水の 里河原田	播種9/25、定植11/10。全自動移植機マルチ栽培。2畝のみ外葉の葉先から枯れている。ほとんどの苗が緑色の部分が見えないくらい枯れている。植え付け深さが浅くて浮いている様子なので、病害ではない可能性が高い。	鱗茎内は正常。鱗茎下部と根部に痛みが観察される。組織分離の結果、病原菌は分離されなかった。生理的な要因が考えられる。
3月6日	にら (ハイ パーグリーン ベルト、グ リーンロー ド)	栃木市西方町	2番刈り以降のにらに萎れが散見される。葉先が白化し垂れ下がる状態。株元には菌核のようなものが見られる。	イムノストリッPhyt陰性。葉鞘が赤く、根がまっすぐ伸張していない。バルブは正常。葉鞘部に白い分生子塊が見られるが病原性は不明。組織分離 (葉鞘部、バルブ、根部) の結果、病原菌は分離されなかった。また、株を湿潤条件においておくと、葉身部にサーモンピンクの分生子塊が発生した。LAMP法でColletotrichum属であることを確認した。萎れの原因の一つに炭疽病の可能性も考えられた。
3月9日	トルコギキョウ	佐野市	株が枯れる症状。1月上旬から確認されたが、徐々にベットの全体に拡大していく。ハウス内はクロピクフローで土壌消毒をしている。	茎を切断すると、導管の褐変がみられる。また、根も褐変している部分がある。褐変した導管部分からの組織分離では、フザリウムが分離された。褐変した根からも茎よりは低い確率ではあったがフザリウムが分離された。よって、症状も近いことから、トルコギキョウ立枯病の可能性はある。主根に穿孔の後のようなものがあり、その付近の褐変が激しかったことから、何らかの原因で根に傷がついてそこから病原菌が侵入していることも考えられた。
3月20日	トマト (つく つく房枝、台 木：バックア タック)	小山市	8月定植のロックウール栽培。株元が黒く変色している。現在はしおれもなく、結実も良い。生育不良の株は株元を随時切断。株元のみ残した株を引き抜いてみると、根が赤紫色になっていた。	切断して残っている株の地際部と主茎を組織分離してみたが、切断後時間が経過しているため、自活性のセンチュウと一緒に培養され、菌の分離が困難。現在継代培養中。

月日	作物名	発生場所	症状等	診断結果
3月20日	トマト	野木町	ロックウール栽培。株元が黒褐色になり、一部はしおれ症状がある。葉は緑のまましおれるのではなく下葉が黄化する。	イムノではPhyt、Rsで陰性。組織分離で確認中
3月20日	トマト (CF桃太郎はるか、台木：頑張る根パルテ)	宇都宮市	10月中旬定植。1月頃から葉先枯症状が発生していたが、最近、葉脈間の枯れ症状が併発した。圃場全体に発生が見られる。株を抜いて見ると、地際部に傷が見られ、主茎の導管部にも褐変が見られる。	主茎の褐変部およびその上位部を組織分離したが、病原菌は分離されなかった。地際部の傷は葉の症状とは無関係と思われる。圃場全体に発生していることから、病害の可能性は低いと思われる。
3月28日	さんしょうの葉	那須農振管内	収穫時には異常なかったが、パッケージ詰めして出荷する際に、主に葉先が黒変してしまった。萎れは無い。	3/29検鏡し、菌糸が見えるため組織分離したが、病原菌では無いと考えられた。イムノストリップPhyt陰性。
3月29日	なす	栃木市	半促成なすのハウス栽培で、4棟のうち1棟のみで黄化してしおれる症状がある。ハウス奥の方から症状が見られ広がってきている。	地際部を切断すると、イムノストリップPhyt陽性（特に台木部で強く反応あり）、Rs陰性。症状も一致することから根腐疫病と判断した。症状のあるハウス内のみ、堆肥臭が充満していたということから、根が傷んだ結果病原菌が侵入したと推察される。
3月29日	ぶどう (リースリング・リヨン、プティマンサン等)	足利市	枝の表面に、すす状の黒い斑点や白い斑状が見られ芽枯れしたものもある。結果母枝は枯れているが、主枝は健全である。「リースリング・リヨン」、「プティマンサン」、「ヴィニョール」などに散見されている。病徴は、水揚げ後（3月中下旬）に確認したが、冬季剪定時に枝が貧弱と感じた。発病樹は、前年9月頃に「晩腐病」や「黒とう病」が多発したものが多（10月多雨も影響か）。以前から同症状は確認されていたが、近年感染が広がっているように観察される。	組織分離を行ったが、病原菌は分離されなかった。病害かどうかは不明である。
3月29日	トマト (つくつく房枝、台木：バックアタック)	野木町	ロックウール栽培。株元が黒褐色になり、一部しおれ症状がでてきた。葉は青いまましおれるのではなく黄化が見られる。	組織分離の結果、 <i>Fusarium solani</i> が地際部から分離された。地上部の症状も一致することからトマトフザリウム株腐病と判断した。
3月29日	トマト (麗容、台木：グリーンフォース)	小山市	生育不良の症状はないが、株元周辺に黄白色の小粒の菌核と菌糸が発生している。	顕鏡した所、菌の種類は特定できなかったため、トマトに病気を誘因する菌かどうかは判定できなかった。
4月13日	いちご (とちおとめ)	宇都宮市	4月に入ってから株の萎れ、腰の症状がある。クラウン部は中心部が褐変が強い。導管部の褐変も見られる。	イムノストリップでRs、Phytは陰性。クラウン導管部に褐変見られる。クラウン中心部にも褐変あり。組織分離を行ったところ、炭疽病菌の特徴的な分生子塊が形成され、コロニーPCRで陽性反応。炭疽病菌が高確率で分離されたことから、炭疽病と判断した (<i>Glomerella cingulata</i>)。

月日	作物名	発生場所	症状等	診断結果
4月23日	水稻苗	上三川	4月23日に育苗箱で一部先端枯れが見えた。枯れの状況は一葉と二葉の先端。ハウスの中央～南側に集中し、育苗箱内の発生はまだらで坪状ではない。葉やけと思われるが、根元が抜けるので気になる。土壌や苗にカビは見られない。根の数は少ないが、白く、細長い。新葉が抜けるのもあるが、腐敗臭はない。水のおいも臭くはない（ハウスのビニルは4年目）品種:あさひの夢、4月初:水稻播種、4月6日:シルバーシート除去、その後、プール育苗開始。	水稻苗の先端枯れ部分の組織を顕微鏡下で確認したが、病原菌を確認できなかった。苗の症状からも、病原性によるものではなく、やけ等の生理障害によるものと考えられる。
4月24日	いちご（とちおとめ、スカイベリー）	真岡市	4月22日にハウス内が40℃の高温となり、翌日確認したらハウス3棟で数株萎れていた。株中1芽の葉が全て萎れており、維管束が褐変。萎凋病が伺われるが病原性の有無は不明。萎れ株の1本だけは葉柄が複数褐色化し、副葉元で折れ枯れ込んで、炭疽病が伺われる。萎れ株にはスカイベリーもある。	クラウン部に褐変はなく、組織分離したが、病原菌は分離されなかった。よって、病害ではなく急激な高温によるしおれと考えられた。
4月26日	いちご（とちおとめ）	益子町	4月17日にしおれ症状が数本あることに気がつく。クラウン部は赤褐色の褐変があるが、簡易検定を振興事務所で行った所、炭疽病菌が検出されなかった。4月26日にさらにしおれ株が見られた。	しおれ症状の重い株ではクラウン褐変部を顕鏡すると、炭疽病菌の分生子が確認された。組織分離した所、炭疽病菌に特徴的な分子塊を形成した。しおれ症状の軽い株では、重い株よりは低確率ではあるが、同様に炭疽病菌が分離された。
4月26日	トマト	宇都宮市	年内からしおれ症状は確認されていたが、10日ぐらい前から葉枯症状がでてきた。	主茎に褐変が見られる。植物組織からLAMP法でかいよう病に陽性反応あり。NA培地で培養し、コロニーからPCRを行ったところ、かいよう病に陽性反応あり。以上からトマトかいよう病と判断した。
5月8日	シクラメン	日光市	4月中旬から葉柄が地際部から褐変・葉がしおれ、褐変部分が腐敗する。品種「リップルオレンジ」、「ドリームピンク」に発生した。 (品種「ロココ」に上位葉の黄化が見られた。)	「リップルオレンジ」の葉柄及び塊茎に腐敗があり、検鏡により細菌泥の漏出を観察した。NA培地で培養したコロニーからマルチプレックスPCR法により診断した結果、葉腐細菌病菌が検出された。(「ロココ」は葉の黄化以外の症状はなく、病害ではないと考えられる。)
5月17日	たまねぎ	那須烏山市	ほ場に点在するように葉が黄化して枯れていく症状が見られる。黄化は葉先から進んでいる。比較的排水の悪いほ場である。	黄化の部位を顕鏡したが、病原菌はみられず、湿潤状態に置くと、 <i>Alternaria</i> が見られたが、症状が一致しないので病原とは特定できなかった。また、組織分離を行ったが、病原菌は検出されなかった。

月日	作物名	発生場所	症状等	診断結果
5月19日	トルコギキョウ	壬生町	同じほ場内に、株が萎縮し葉が縮れて花茎が伸びない個体（品種：シクリップス）と、花茎は伸びるが葉と花茎にコルク化する個体（品種：シクグリーン）の2種類の症状がでた。	コルク化した個体からはアザミウマ成虫の死虫、萎縮した個体からはアザミウマ幼虫が発見された。虫が発見されていること、典型的な被害の症状からアザミウマによる食害と判断した。同定のため飼育したが、幼虫は死亡。
5月23日	いちご	真岡市	育苗床で親苗の数株が枯れる症状がある。親から発生するランナーも枯れる。	クラウン部の導管に褐変がみられる。イムノストリップPyto陽性。ほ場での症状が一致することからイチゴ疫病と判断した。
5月29日	トマト	宇都宮市	台木グリーンガード穂木c F 桃太郎はるか。3月頃から下葉の黄化。草勢の低下し、まだら果の発生あり。	導管は、穂木ではごくわずかに褐変が見られ、台木では褐変の程度が激しい。髓も褐変しており、色は黒に近く、木質化している。組織培養の結果Fusariumが検出され、PCRの結果萎凋病と判断した。
5月29日	トマト	宇都宮市	台木グリーンガセーブ穂木桃太郎ホープ。3月頃から下葉の黄化。草勢の低下し、まだら果の発生あり。	導管の褐変はあるが、髓に褐変は無い。一部、主根の発生部位付近に黒変あり。根の一部にはネコブセンチュウの被害あり。組織培養したが、病原菌が検出できなかった。組織の褐変の程度が進んでいたことが要因と考えられる。
5月30日	トマト	宇都宮市	麗容+ブロック。1週間ぐらい前から萎れがでてきた。下葉は枯れる。	導管周辺の褐変あり。髓は下の方は褐変している。穂木の導管周辺は褐変しているが、台木よりは褐変の程度は軽い。主根発生部付近に黒変あり。組織分離の結果、Fusariumが検出され、PCRの結果萎凋病で判断した。
6月1日	小麦	—	県内巡回において、穂の黄化（特に中央部から先端部）が散見される小麦（品種：ゆめかおり）ほ場が見られた。	穂の黄化の症状から、病害の可能性として考えられたのは、コムギ黄葉病（ウイルス病）かコムギふ枯病（糸状菌）であり、まず組織分離を行ったが、コムギふ枯病の病原菌は確認されなかった。コムギ黄葉病は、同定法が電顕による観察のみとのことで、当センターでは対応できず。なお、穂の黄化の症状から、病害以外の可能性もあると考えられた。
6月1日	きゅうり	下野市	葉脈間の黄化、えそ斑点症状が5月頃から確認され、5月下旬になって劇症化。新葉は症状なし。オンシツコナジラミは激発、ミナミキイロアザミウマは多発で、ほぼすべての株で両者が見られる。	イムノストリップでCMV陽性、ZYMV、CGMMV陰性。RT-PCRでBPYV陽性、MYSV一部の株で陽性、CCYV、KGMMVは陰性。ウイルスの混合感染により劇症化していたと考えられる。
6月4日	いちご	鹿沼市	親株床での萎れ症状。秋定植のナイアガラ育苗（RW粒状綿）。	株によって症状は様々であった。導管部に褐変があるものと、中心部に褐変がみられるものもあった。検鏡で炭疽病菌は確認できる。イムノストリップでRs、Phytは陰性。組織分離を行ったが、萎黄病菌は分離されなかった。

月日	作物名	発生場所	症状等	診断結果
6月4日	なし	宇都宮市	「にっこり」のジョイント栽培において、定植3年目の木の幹(3年前に伸びた部分)の「芽」やその周辺がコブ状に盛り上がる。樹皮にひび割れや変色等の症状はない。	既知の病害に類似症状はなく、組織分離では病原菌らしきものは分離できなかった(アルタナリア菌は若干出た)。病害ではないと思われる。
6月5日	いちご	鹿沼市	親株床での萎れ症状。秋定植のナイアガラ育苗(RW粒状綿)。	株によって症状は様々であった。導管部に褐変があるものと、中心部に褐変がみられるものもあった。イムノストリップでRs、Phytは陰性。組織分離を行ったが、萎黄病菌は分離されなかった。
6月5日	レタス	—	収穫後、葉のふちに腐れ症状、また葉に褐色の斑点症状もある。	細菌が分離されAPIにより検定したが、病原は判定できなかった。また菌も分離されたが、特定の病原菌とは判定できなかった。
6月6日	シクラメン	上都賀農振管内	葉のしおれ、葉柄基部の褐変。	塊茎上部に腐敗、細菌泥が認められた。NA培地で細菌を培養後、コロニーPCRで検定した結果、葉腐細菌病菌を検出した。組織分離では糸状菌が分離されなかった。
6月8日	かぼちゃ	南那須	6月上旬から葉に淡いモザイク症状が確認された。	イムノストリップでCMV、ZYMVが陰性、Potyは陽性。RT-PCRでWMVが陽性。よってWMVと判定した。
6月8日	きく	大田原市	キクの片側の葉が枯れる。(生産者は半身萎凋病ではないかとのこと)	葉縁から枯れる。境は明瞭で黄変部なし。茎、葉柄の導管部に褐変なし。細菌泥なし。組織分離の結果糸状菌は分離できなかった。
6月12日	麦	宇都宮市	小麦を栽培しているほ場にて大量発生。隣接施設へ入り込み、死亡した虫は悪臭を放つ。	形態から、マルガタゴミムシの一種と判定した。
6月13日	なす	佐野市	5月下旬頃から新葉が内側にまき花が着花しない症状が確認。側枝でも同様の症状が続く。	イムノストリップでCMV、TMV陰性。RT-PCRでBBWV、CMV陰性。病原は特定されなかった。
6月13日	トマト	市貝町	RW栽培、6月10日定植。1株の葉に、えそ症状が確認された。	RT-PCRでCSNV、TSWVは陰性。えそ症状の病原は特定されなかった。
6月13日	きゅうり	下野市	露地キュウリ4月下旬定植。黄化えその疑いの症状の株が1株。害虫はアザミウマ、アブラムシ、コナジラミ、ハダニが散見される。	イムノストリップでCMV陰性。RT-PCRでは、BPYV、MYSV、ZYMV、KGMMV、CCYV全て陰性。
6月15日	トマト	芳賀町	5月下旬からまだら果発生。南側から北側にもでるようになった。ネコブセンチュウ、コナジラミ類、灰色かび病、疫病など様々な病害虫が発生している。	イムノストリップでCMV陽性。栽培管理上での肥切れ、灌水不足などもみられウイルスだけの症状ではないが、ウイルス感染も重なっている。
6月19日	りんどう	宇都宮市	4月上旬にセル苗を定植した品種「るりおとめ」に葉の黄化、立ち枯れ症状が発生。上位葉に葉脈間の黄化あり、根の伸びが悪い。	葉の黄化・枯死する部位は株により様々でえそ、斑点、モザイク等の症状は見られない。根に根腐れ等の症状は見られない。ポリポットに移植し経過を観察する。
6月19日	ねぎ	大田原市	4月下旬定植。葉の黄色のストライプ状にすじ条になった。	イムノストリップでTSWV、Poty陰性。RT-PCRでPoty陰性。よって、ウイルスによる症状とは断定できなかった。

月日	作物名	発生場所	症状等	診断結果
6月19日	ねぎ	大田原市	4月定植と、次の作型の両方で、葉に黄色のストライプ状のすじと萎縮の症状がある。	イムノストリップでTSWV、Poty陰性。RT-PCRでPoty陰性。よって、ウイルスによる症状とは断定できなかった。
6月26日	トマト	塩谷町	3月末定植。ハウス内の一部の畝（比較的出入りに近い部分）で葉の黄化と果実のまだら症状がみられ、症状は悪化してきた。	主茎の導管部分は褐変している。組織培養した結果、フザリウム属が分離された。PCRを行ったところ、根腐萎凋病と判断した。
6月26日	トマト	壬生町	葉の黄化があり、フザリウム株腐れ病のような症状がある。	根はセンチウの被害あり。根及び主茎を組織分離した所、 <i>Fusarium solani</i> が分離され、症状も一致することからトマトフザリウム株腐病と判断した。
6月27日	ファレノプシス	栃木市	葉の色が抜ける（ぼんやりとしたモザイク状）。	イムノストリップでの検定の結果CMV陽性、CymMVとORSV陰性。
6月27日	なし	鹿沼市	幼果（直径5cm程度）のていあ部を中心に黒褐色のシミ状の斑点が見られる、ほ場内の特定の場所にあるわけではない、葉斑ではないとのこと。	黒変部分の組織分離により <i>Cladosporium</i> 属菌類似の菌を分離した。
6月27日	ばら	宇都宮市	ばら（品種：エカップ）の花弁に甲虫の食害が出ている。	形態的特徴から、ルリマルノミハムシと判断した。
6月29日	メロン	栃木市	収穫間近のハウスで、葉の黄化がある。発生は一定の栽培ベツトに見られる。	イムノストリップでCMVの反応色は薄い陽性、CGMMV、ZYMVは陰性。またRT-PCRでは、MYSV、CCYV、BPYVが陰性。CMVは感染しているが、樹勢も低下していることから、葉の黄化が進んでいることも考えられる。
6月29日	ぶどう（シャインマスカット）	日光市	雨よけ栽培のシャインマスカットにおいて果粒の奇形化が確認された。果粒を切開すると、内部に蛹の寄生が認められる。福島県の特報にあるブドウミタマバエに似ている。	上地奈美博士（農研機構果樹茶業研究部門生産・流通研究領域虫害ユニット）に同定を依頼した結果、ブドウミタマバエ（仮称） <i>Asphondylia</i> sp. と判明した。
7月2日	ぶどう（シャインマスカット）	栃木市	品種「シャインマスカット」の収穫20日前の果房の枝梗の付け根（果実側）が茶黒色に変色している（房枯病と症状が類似しているとのこと）。	黒変部分の組織分離により <i>Cladosporium</i> 属菌類似の菌を分離した。房枯病菌、晩腐病菌は分離されなかった。室温及び低温で保管した果実に腐敗は認められない。房枯病では無いと思われる。
7月3日	しょうが	下野市	ほ場の南側や低い場所で、倒伏が見られる。症状が見られるほ場のみ未熟堆肥を投入した。	イムノストリップRsは陰性。細菌が分離され、APIにより診断したが、特定の病原細菌ではなかった。未熟の堆肥の投入が影響しているとも考えられた。
7月3日	夏秋なす	栃木市	葉が黄変することなくしおれる症状がほ場内に点在している。	台木の導管は褐変しているが穂木では褐変が見られなかった。イムノストリップでRs、Phytは陰性。組織分離をすると、 <i>Fusarium</i> 属菌が検出された。 <i>Fusarium oxysporum</i> と確認されたので、ナス半枯病と判断した。

月日	作物名	発生場所	症状等	診断結果
7月5日	夏秋なす	真岡市	葉が黄変することなくしおれる症状がほ場内に点在している。	イムノストリップでRs、Phytは陰性。組織分離を行った結果、特定の病原菌は分離されなかった。
7月6日	きゅうり	小山市	露地栽培のきゅうり。ほ場の中で1株だけだが、斑点状のウイルスによるモザイク症状が確認された。特に害虫は確認されていない。	イムノストリップでは、CMV、ZYMVは陽性、CGMMVは陰性。RT-PCRではBPYV、MYSVが陰性。よってアブラムシ類によって媒介されるCMV、ZYMVによる症状と判定した。
7月6日	ゆうがお	壬生町	6月上旬頃に株元に黄化症状がみられ、症状がひどい株は黄化から枯死にいたる。葉はふちから黄変、枯れる症状があり、つるにも褐変がみられる。	枯れたつるに黒色の小粒がみられ、顕鏡したが、つる枯病に特徴的な分生子は確認できなかった。また、葉、親つる、茎の褐変部位からはNigrosporaが分離された。ゆうがおの病原と思われる菌は分離されなかった。
7月18日	水稻	大田原市	本田の水稻株に、イネばか苗病らしき病徴（葉や葉鞘の黄化、地上部の節からの不定根）が見られた。	サンプル稲株の経過観察により、株元の葉鞘部分に白色の粉状物が確認された。組織分離により白～紫色のコロニーが形成、小型分生胞子が確認され、イネばか苗病と判定した。
7月19日	シクラメン (F1ハイライト)	宇都宮市	一番西側のベンチのみで葉の黄化、萎れ症状が発生。品種はハイライトのみで発生しているが、隣のベンチの株は正常。他の病気、害虫の発生は見られない。毎年、数株で同じ症状の発生が見られるが今年は発生時期が早い。	顕鏡により細菌泥を観察。症状と併せて葉腐細菌病と診断した。
7月24日	いちご	小山市	圃場内で部分的に萎れ症状がある。	クラウン部は褐変なし。組織分離を行ったが、病原菌は検出されなかった。
7月24日	しょうが（竹しょうが）	下野市	2件、圃場内で枯れる症状。サンプルAは腐敗臭がする。サンプルBは症状より糸状菌の可能性が考えられる。	サンプルAからは、細菌が分離され、API20により同定を試みたが、病原細菌ではなかった。サンプルBからは組織分離したが、特定の病原菌は分離されなかった。よって2件ともに、病原は特定できなかった。
7月25日	いちご（スカイベリー）	日光市	7月中旬から親株が枯れる株が見え始めた。子苗には目立った症状はない。約1割の株で点在して枯れる。	イムノストリップで、Rs、Phyt陰性。導管に褐変はみられた。組織分離したが、病原菌が分離されなかった。病原は特定できなかった。
7月30日	ぶどう	市貝町	巨峰計の品種で「葉焼け症状」に類似した症状が見られる。	顕鏡、組織分離培養、いずれも菌糸や胞子、菌泥等見られない。病害では無いと思われる。
7月30日	いちご	鹿沼市	親株から子苗へ連続して萎れていく症状が見られる。養液栽培。	根は褐変しているが、部分的で、培地の下方に集中して褐変している株もあった。導管に褐変は見られない。イムノストリップでPhytは陰性。組織分離では病原菌は分離されなかった。根の部分的な褐変の仕方からは、培地内での高温による障害の可能性も考えられた。

月日	作物名	発生場所	症状等	診断結果
7月31日	きく（神馬）	上三川町	親株床で、生育不良が部分的にある。その中には萎れ、下葉が枯れ上がる株もある。圃場内の水はけの悪い場所に多い。	根は褐色で、地際部は褐変も見られる。イムノストリップでPhyt陽性。症状、発生状況も一致することから、疫病と判定した。
7月31日	水稻（とちぎの星）	矢板市	株単位で上位2～3葉に褐変症状が見られる。止め葉には見られない。ほ場6枚中、発生は1枚のみ。別の生産者のとちぎの星は、4枚全て出ている。	症状から、イネ条葉枯（すじはがれ）病が疑われた。症状部分を中心に検鏡したが、特に病原菌は見当らなかった。組織分離により灰～黒色のコロニーが形成したものの、組織分離2週間を経過しても、イネ条葉枯病らしき分生子が確認できなかった。
8月3日	トマト	宇都宮市	葉に白化症状が生じ、葉裏に橙色のハダニが高密度で発生していた。	採取したハダニを横浜植物防疫所に同定依頼した結果、ミツユビナミハダニと赤色型のナミハダニの混発であることが判明した。（特殊報）
8月6日	アスパラガス	宇都宮市	株養成中の株が褐変し、枯れるような症状になる。	褐変部位から組織分離を行ったが、病原菌は分離されず、病原の特定はできなかった。
8月6日	にら	栃木市	7月下旬以降圃場の一部が外葉から枯れていき、症状がひどいものは株全体が枯れる。地表面に菌核菌糸は見当たらない。	根部には菌核があり、白絹病の菌核と大きき色などは一致する。白い菌糸も表面に確認されるので白絹病と判断した。
8月13日	水稻（コシヒカリ）	河内管内	葉や茎に、黄色いハローを伴う楕円形の褐色斑点が見られる。灰色低地土の80 a のほ場の一部で発生し、ごま葉枯病の症状に似るが、畦畔際の株には萎縮や強い枯れが見られること、及びほ場の中の株では斑点のみであるため、除草剤の飛散等によるものではないか？	楕円褐変部を10か所程度検鏡したところ、ごま葉枯病菌 (<i>Cochliobolus miyabeanus</i>) の70 μm前後で倒棍棒形をした10個程度の隔壁を有する分生孢子と、束生した数本の分生子柄が確認できることから、ごま葉枯病と判定した。
8月13日	なす	栃木市	8月上旬より萎れる症状が見られたが、台風後に多発。外観は半身萎凋に近い萎れ方。	イムノストリップでRs陽性。導管は褐変している。よって青枯病と判断した。
8月13日	なす	壬生町	台風後、数本葉色が淡くなる症状が圃場内に点在してきた。症状が進むと萎れる。	イムノストリップでRs陽性（反応はうすいが陽性）。導管は褐変している。よって青枯病と判断した。
8月13日	いちご	宇都宮市	子苗に葉の奇形がみられる。しおれなどの症状はない。	症状が軽いものはクラウンの導管が褐変しておらず、組織分離をしても病原菌は分離されなかった。葉に奇形の症状があるものはクラウン部の導管は褐変しており、組織分離をするとフザリウムが検出され、PCRで病原性を確認した所、萎黄病と判断した。
8月21日	いちご（なつおとめ）	塩谷町	8月中旬から、出荷した果実がゼリー状に腐敗する症状が見られるようになった。2年株で出荷中。本圃では灰色かびは散見される。	ほ場から収穫前の熟度の異なる果実を採取し、熟度別に別容器に保管したところ、着色した果実からウジ状の幼虫が発生・加害し腐敗した。この幼虫を飼育し羽化させ形態観察したところ、オウトウショウジョウバエ及びニセオウトウショウジョウバエの混発であることが判明した。（特殊報）

月日	作物名	発生場所	症状等	診断結果
8月21日	パパイヤ	足利市	7月下旬立枯症状確認され始める。株元が水浸状に腐敗し、腐敗部からは異臭を放つ。	イムノストリップ診断で <i>Phytophthora</i> 陽性（反応はややうすかった）組織分離（WA培地）で <i>Phytophthora</i> 菌分離。軟腐病と診断。
8月21日	ばら（カルピイデューム）	足利市	7月上旬、株下葉が徐々に黄化し落葉し始める。7月中旬、茎の枯死が見られるようになる。	イムノストリップ診断で <i>Phytophthora</i> 陽性（茎、根）。組織分離（WA培地）で <i>Phytophthora</i> 菌分離（茎、根）。疫病と診断。
8月27日	きゅうり（ゆうみ）	小山市	8月7日頃から萎れ株が散見し始める。その後発祥が拡大しており、現在は数十本から100本近くで症状が見られる。発生は点在もあるが、数株まとまっの連続的な発生か所もいくつもある。萎れ初期は、葉が垂れ下がる程度だが、最終的には全身萎凋し枯死に至る。	根の褐変や導管の褐変などの症状はみられない。イムノストリップRs陰性。組織分離を茎、根で行ったが病原菌は分離されなかった。過剰灌水によるチロシスの可能性が考えられた。
8月27日	きく	真岡市	キクの葉の一部が枯れる症状。ハガレセンチュウの症状に似ている。	葉と土をベールマン検査したところ、植物寄生性のセンチュウは発見されなかった。このため、原因は不明とした。
8月27日	トマト	足利市	養液栽培の育苗中で地際部に褐変症状。症状が重いものは、くびれや割れが生じて、倒れてしまう。	根に褐変はなし。導管部も褐変なし。茎の外側の褐変のみ。組織分離をすると、 <i>Fusarium</i> 属菌が分離されたが、病徴と一致しないことから、病原とは判断できなかった。
8月29日	コスモス	栃木市	8月中旬から、頂芽の枯れるような症状が見られ始めた。全体の1割程度で発生している。	葉の枯れ込み症状、検鏡により病原菌 (<i>Alternaria</i> 菌) の分生子を確認したことから葉枯病と診断。
8月29日	カーネーション（スピネル）	栃木市	葉にスリップスの被害痕あり。全体の5%程度に発生が見られる。	イムノストリップ診断によりCNV陽性。ウイルス病と診断。アザミウマ類によると思われるカスリ状の症状もある。
8月29日	とうがらし	日光市	実に褐変が見られる。一部はリング状になり陥没したように見える。	高湿度条件で病斑部にピンク色の分生子塊が確認され、顕微鏡で分生子を確認及び病徴の特徴が一致することから炭疽病と判断した。
8月29日	ねぎ	宇都宮市	外葉の枯死下垂。根の枯死・脱落（紅色に変色あり）何婦病、紅色根腐病、リゾクトニアによる葉腐れ症状もあると思われる（褐色の菌核を確認）	鉢上げして経過観察後、白絹病の菌核が多数形成されたため、主な要因と考えられる。
8月30日	きゅうり（穂木：艶香、台木：パワーz）	日光市	葉はモザイク様症状があるが軽微。果実が退緑し、まだら症状になる。	イムノストリップでは、CMV、ZYMVが陽性、CGMMVは陰性。RT-PCRでは、BPYV、MYSV、KGMMV、CCYVが陰性、ZYMVは陽性。よって、CMVとZYMVが混合感染し、果実への症状も重症化したと判断した。

月日	作物名	発生場所	症状等	診断結果
8月31日	トマト	大平町	成長点の萎縮症状が点在しているのを確認。圃場内にはアブラムシは確認されている。	イムノストリップでCMV、TMV、Potyが陰性。RT-PCRでTospovirusが陰性。持ち込まれた株は健全に近い外観であったので、圃場内の症状が確認される株では感染している可能性はあるが、持ち込まれた株がウイルス病の可能性は低いと考えられる。
9月3日	水稻（ヒメノモチ）	鹿沼市	鹿沼市酒野谷地区のほ場、登熟後期の水稻穂で、籾が茶黒色に汚れる症状が見られた。被害穂には不稔籾が多く確認された。品種：ヒメノモチ	登熟後期の水稻穂で、籾が茶黒色に汚れる症状が見られた。被害穂には不稔籾が多く確認された。被害穂のうち、特に不稔籾に汚れ症状が確認された。不稔籾に二次的に雑菌が入り、汚れ症状が発生したのと思われる。不稔の発生原因としては、品種がヒメノモチ（極早生）で周囲のほ場の中でも出穂が早かったことと、穂の中で不稔の発生がまばらであったこと、山間の地域であることから、斑点米カメムシ類の吸汁害による可能性が高いと推察された。
9月4日	水稻（ゆうだい21）	那須塩原市	水稻穂の一部に枯れ症状が見られた。イネ縞葉枯病かどうか診断してほしい。	症状はイネ縞葉枯病とは異なるものと推察された。その後実施した簡易ELISA検定（RSV）において陰性。イネ縞葉枯病ではないと診断した。
9月5日	しょうが	栃木市	立ちしょうが。根茎に陥没したような症状。強い腐敗臭はない。陥没部分の組織に軟化は見られず、固くへこんでいるような感じ	組織分離をしたがフザリウムが分離。ショウガの内部の褐変などフザリウムの病害の特徴が見られないので、病原とは判断できなかった。細菌が1種類分離されAPIで同定したが、病原細菌とは判定できなかった。
9月6日	なす	那珂川町	成長点の葉に奇形が見られる。害虫は特にいない。症状が見られる圃場ではほぼすべての株でみられるが、近隣でも症状が全くみられない圃場もある。	顕微鏡で確認したが、病害、虫害の可能性は低いと考えられる。農振事務所で、施要された鶏糞堆肥、豚ぶん堆肥のきぬさやいんげんを用いたクロピラリドの生物検定を行ったが陰性だった。堆肥のECが1.7ms/cm ² 、0.7ms/cm ² と高く、化成肥料も他等していたため、塩類集積の影響と考えられる。
9月6日	いちご	上河内	苗で萎黄病の疑いの症状。	フザリウムが分離され、いちごへの病原性を確認したが、陽性だったので、萎黄病と判断した。
9月6日	あじさい	上都賀農振管内	鉢植えのアジサイの茎の地際部、葉柄、葉身に水浸状の腐敗が見られ萎れる。	茎根腐病(<i>Pythium</i> 属菌)に類似の症状。葉、茎の組織分離。念のためイムノストリップ診断Phyt：-。細菌泥見られず。卵菌類が分離された。
9月7日	なす	さくら市	複数年連作の夏秋なすほ場において、ほ場入り口付近に3株程度、全体の萎れと葉の枯れ上がりが見られる。	生長点付近の20cmを2本持ち帰り、まとめてイムノストリップRsで検査したところ陽性のため、青枯病と判断。

月日	作物名	発生場所	症状等	診断結果
9月11日	トマト	芳賀町	ウイルス様症状が散見され十数株程度抜いて処理済み。	TYLCVがPCRで陽性。症状も一致することから、黄化葉巻病と診断した。
9月12日	きく（ガーデンマム ジジ）	下野市	7月10日鉢上げのポットマムで8月15日ごろから葉の黄化、凋れが発生し、その後立ち枯れ症状が見られた。	根部が黒変、地際部の茎の断面に褐変あり。イムノストリップ Phyt：+のため疫病と診断した。
9月13日	トマト	大平町	成長点に黄化の症状が散見される。	TYLCVがPCRで陽性。症状も一致することから、黄化葉巻病と診断した。
9月13日	ねぎ	小山市	軟白部にすじ条の褐変があり、症状がひどいものは亀裂が入り、割れている。またその下の表皮にも褐変が見られるものもある。	褐変部位の顕鏡では菌糸などは見えない。褐変部位を組織分離しても、病原菌は分離されなかった。生理的な症状と考えられた。
9月14日	トマト	宇都宮市	下葉の一部が枯れて、萎れる症状。	イムノストリップで、かいよう病陽性。
9月18日	きゅうり	小山市	葉の白化、縮葉、が圃場内に点在している。	イムノストリップで、CMV、CGMMV、ZYMV陰性。RT-PCRで、BPYV、MYSV、KGMV、CCYV、すべて陰性。病原の特定は出来なかった。
9月18日	いちご	上都賀農振管内	一部の葉に枯れる症状。葉鞘の褐変が見られる。	顕鏡すると、炭疽病菌が観察された。炭疽病と診断した。
9月19日	トマト	宇都宮市	下葉から枯れて萎れる症状が散見。	イムノストリップでRs陽性。Cmmは陰性。菌泥も確認され、症状も一致することから、青枯病と判断した。
9月20日	きく（精の一世）	大田原市	7月上旬に定植した「精の一世」で、下の方の葉が萎れた。程度が軽い株は夜間には凋れが直る。	根に褐変あり。イムノストリップ Rs：-、Phyt：+のため疫病と診断した。
9月21日	うめ	日光市	ほぼ放任園となっているウメの老木全体からクビアカツヤカミキリのフラスのようなものが出ている。木の根元にフラスが積もっている状況。	写真のみでは判断が困難であったため、現場でフラスを確認した。木の上部はキクイムシ類の食害が確認され、木の樹幹部分からは食害中のオオゾウムシ幼虫が見つかった。
9月21日	ねぎ	大田原市	ネギの葉の上の方まで小黑点が付着している。	小黑点の中にはオレンジ色の粒々が入っていて、顕微鏡で確認し、病原菌ではないと判断した。また、大きさ、形状から害虫の卵でもない。
9月26日	ばら（グランオマージュ）	小山市	根腐れ、立ち枯れ	イムノストリップPhyt陽性。疫病と診断。
9月26日	ばら（バンビーナ）	小山市	根腐れ、立ち枯れ	イムノストリップPhyt陽性。疫病と診断。
9月27日	いちご	日光市	苗で葉が黄化、根の褐変症状がある。	クラウン部に褐変はわずかに見られる。根は褐変しているが、掘り起こしてから持ち込まれるまで日数が経過していたため、根も乾燥しており、褐変の程度が判別しにくかった。組織分離を行ったが、病原菌は検出されず、特定の病害とは診断できなかった。

月日	作物名	発生場所	症状等	診断結果
10月3日	トマト(麗紀、台木:バックアタック)	真岡市	8月定植のRW栽培。特定の畝に集中して萎れる株が数株続いた。	導管の外側が薄く茶色に褐変あり。導管には褐変なし。葉の付近で髓が崩壊していて、スカスカした感じの部位あり。イムノストリップとPCRでCmm陰性。組織分離したが、病原菌は検出できなかった。
10月9日	トマト(マイロック、台木:アシスト)	栃木市	成長点に黄化の症状が散見されるわずかだが黄化症状がある。	PCRで確認したところ、TYLCVが陽性。黄化葉巻病と診断した。
10月9日	トマト	芳賀町	成長点に葉の黄化の症状。	PCRではTYLCV陰性。黄化葉巻病ではない。
10月9日	トマト	上三川町	成長点に葉の黄化とモザイク症状	PCRで確認したところ、TYLCVが陽性。黄化葉巻病と診断した。
10月9日	トマト	宇都宮市	成長点に葉の黄化とモザイク症状	PCRで確認したところ、TYLCVが陽性。黄化葉巻病と診断した。
10月9日	トマト	真岡市	成長点に葉の黄化の症状。	PCRではTYLCV陰性。黄化葉巻病ではない。
10月9日	トマト	鹿沼市	成長点に葉の黄化とモザイク症状	PCRで確認したところ、TYLCVが陽性。黄化葉巻病と診断した。
10月15日	トマト(桃太郎ワンダー、麗容、麗旬、ミニトマト[千果])	塩谷町	果実がまだらに着色する症状。成長点などの葉には症状がない。	葉裏にタバココナジラミが多く付着していた。成長点にウイルスによる症状はないことから、タバココナジラミによる吸汁害と考えられた。
10月16日	トルコギキョウ	下都賀農振管内	葉に白斑	イムノストリップ診断。TSWV、INSV、IYSV、CMVいずれも陰性。
10月17日	きゅうり	下野市	葉にモザイク症状。	イムノストリップで、CMV、CGMMV、ZYMV陰性。RT-PCRで、BPYV、KGMMV、CCYV陰性。MYSV陽性なので、黄化えそ病と判断した。
10月17日	きゅうり	小山市	葉にモザイク症状。	イムノストリップで、CMV、CGMMV、ZYMV陰性。RT-PCRで、BPYV、MYSV、KGMMV、CCYV、すべて陰性。病原の特定は出来なかった。
10月18日	いちご	—	苗のランナーに黒くくぼんだ部がある。	組織分離を行ったが、病原菌は検出できなかった。
10月18日	にら(ゆめみどり)	大田原市	8月中旬以降に白斑の症状がある。症状でる前にアザミウマの発生あり(1年株)。近隣にも似通った症状が見られる。	イムノストリップでIYSVが陽性。IYSVによるニラえそ条斑病と判断した。
10月18日	にら(ゆめみどり)	大田原市	8月中旬以降に白斑の症状がある。症状でる前にアザミウマの発生が例年より多かった(1年株と2年株)。	イムノストリップでIYSVが陽性。IYSVによるニラえそ条斑病と判断した。
10月19日	いちご(とちおとめ)	宇都宮市	イチゴの花にハエらしきものがたくさん集まるが、何の虫か(訪花昆虫か害虫か)調べてほしい。ほ場には有機の液肥を入れている。	形態から、ニクバエ科の一種と判定した。有機質の液肥に集まってきたものと見られる。

月日	作物名	発生場所	症状等	診断結果
10月23日	いちご (スカイベリー)	大田原市	角斑細菌病に似る葉の枯れ込みや、生長点の萎縮、チャノホコリダニの症状に似る生長点の萎縮、花の枯死が見られる。	葉面をナイフ刃先でこそぐと、表皮と一体化した皮膜が見られ、葉の展開に伴うと思われる皮膜の亀裂が認められる。皮膜にはあるところと無いところのムラもある。防除履歴に還元澱粉糖化物である気門封鎖剤のエコピタがあり、この剤は、「カーネーションでは、葉面のワックス層を溶かすことがあるため注意」との注意事項がある。サンプル搬入6日後には、正常な新葉が展開したことから、散布時の濃度や薬量等が不明ではあるが、気門封鎖剤の影響ではないかと考えられる。10月29日の時点でサンプル3株とも新葉が展開し回復しているため、病害虫では無いと考えられる。
10月23日	いちご (とちおとめ)	大田原市	メセンチュウ様の症状に似る生長点の萎縮が、3株程度連続で発生している。	新芽(生長点)から二度分離したが、メセンチュウは確認されない。葉の表面には明確な特徴は見られず、経過観察後、1株は新葉が展開し、もう1株はだ全体的にいじけているものの、新葉が正常に出てきているため、一時的な症状で、病害虫によるものでは無いと考えられる。
10月26日	しゅんぎく (究極の春菊)	下野市	葉や茎に褐色で不整系のややくぼんだ斑点が見られる。また、葉先から褐変した症状も見られる。	顕鏡で観察したが、病原菌は観察されなかった。また組織分離をしたが、病原菌は分離されなかった。
10月26日	いちご	さくら市	葉の奇形が見られる株が数株点在する。	クラウンの褐変程度はわずかであるが、フザリウムが検出されコロナーPCRからイチゴに病原性のあるフザリウムであることが確認されたので萎黄病と診断した。
10月26日	いちご	高根沢町	葉の奇形が見られる株が数株点在する。	クラウンの褐変程度はわずかであるが、フザリウムが検出されコロナーPCRからイチゴに病原性のあるフザリウムであることが確認されたので萎黄病と診断した。
10月29日	トルコギキョウ (セレブイエロー)	佐野市	下位葉が萎れる。根の先端部が褐変腐敗している。	茎の維管束は褐変していない。茎、根とも細菌泥は観察されない。褐変部につながる太い根断面の中心は褐変している(イムノストリップ診断Rs陰性)。組織分離により <i>F. oxysporum</i> による立枯病と診断した。
10月30日	りんどう	上都賀農振管内	立ち枯れ。	地際部が腐敗。根は脱落。腐敗した茎に白色の菌叢・鎌形分生子あり。組織内に卵胞子なし。細菌泥なし。組織分離により <i>F. solani</i> による立枯病と診断した。
11月1日	きゅうり	下野市など	モザイク症状が散見される。	RT-PCRの結果、MYSV陽性が2圃場、陰性が1圃場。
11月1日	トマト	芳賀町	モザイク症状の株があり、TYLCVに感染しているのか確認してほしい。	PCRで確認し、TYLCVは陰性であった。

月日	作物名	発生場所	症状等	診断結果
11月6日	トマト（麗容、台木：グリーンフォース）	小山市	地際に褐変症状がある。地上部に萎れ症状はない。	根は白く、褐変などは見られない。地際の褐変の範囲はわずかであるが、茎内部に褐変はなく、表面のみに症状がある。組織分離しフザリウム属（ <i>oxysorum</i> ）が分離されが、症状と一致しないことから、分離されたフザリウムは病原ではないと考えられた。
11月8日	シネラリア（桂華）	小山市	葉にモザイク症状が出ている。	イムノストリップ診断でINSV（えそ斑紋病）陽性、TSWV陰性。シネラリアえそ斑紋病と診断。
11月8日	シネラリア	小山市	プラグ苗。葉にモザイク症状が出ている。	病徴は確認できない。イムノストリップ診断でINSV、TSWVいずれも陰性。
11月16日	シネラリア	宇都宮市	プラグ苗を10月16日にポットへ定植、1週間後から葉の葉脈部分が黄色く変色する症状が発生。被害が大きいものは、下葉が枯れ、根張りが悪くなっている。また、新葉には症状が見られないが、生育と共に症状が発生している。鉢上げしたポットほぼ100%の割合で発生。次いで取り寄せたプラグ苗についてもポットへ定植後、数ポットで症状が見られ始めている。虫は小バエが見られた以外は発生なし。	モザイク様の葉のイムノストリップ診断でTSWV、INSV、CMVいずれも陰性。茎の維管束は褐変していない。経過観察では、新しく展開した葉に症状は現れない。（2株中1株は地際部が細くくびれ、褐変している。組織分離を行うが病原菌らしきもの出なかった）
11月20日	シネラリア	小山市	葉に輪紋症状が発生した。葉の裏にアザミウマの幼虫の発生を認めている。	えそ斑のある葉のイムノストリップ診断でINSV陽性。シネラリアえそ斑紋病と診断
11月21日	トルコギキョウ（ホルテマリン、ミンクリップス他）	芳賀町	下位葉を中心にすす状の斑紋がある。葉裏に多い。	病徴、検鏡による分生子の形状からトルコギキョウ斑点病と推定。本県未発生のため横浜植物防疫所に同定依頼、斑点病と診断。
11月28日	きく（オルリナ）	芳賀町	本品種のみが発生。まばらに数株ずつ発生。草丈は正常なものより10cm程度低い。上半分に症状が認められる。葉の黄化・萎縮、葉と茎の一部に壊疽、茎の髓部に褐変と空洞が見られる。アザミウマ類、アブラムシの発生は見られない。着蕾、電照後に症状が出た。	黄化した葉のイムノストリップ診断でTSWV陽性。キクえそ病と診断
11月28日	水稻（あさひの夢）	上三川町	鬼怒川右岸（上三川町）の灰色低地土ほ場で発生。ほ場を歩くとズボンの裾に粘液が付着する。連続した5ほ場全てで再生株に発生。全面ではなく部分的だが、その割合はほ場によって異なる。収穫前の発病状況は不明。	稲株サンプルの組織培養により、黄色の粘ちょう性コロニーが分離され、アピ2ONEキットにより同定を試みた結果、 <i>Xanthomonas campestris</i> の可能性が高い結果が得られた。ほ場における粘液塊の発生の状況とから、イネ白葉枯病である可能性が高いと判定した。
11月28日	ミニトマト	栃木市	萎れ症状の株が点在していたが、その後畝づたいに広がっていつている感じ。	イムノストリップRs、Cmmは陰性。導管は褐変しており、上部の髓はスカスカになっている。根も褐変している。組織分離をすると、フザリウムが検出され、菌叢からPCRを行い、トマト根腐萎凋病と判定した。

月日	作物名	発生場所	症状等	診断結果
12月3日	クリスマスローズ (チェリッシュシリーズ)	大田原市	10月頃、症状(萎縮・モザイク)を発見した。この品種だけ発生している。夏季にハダニ、スリップスが発生した。イムノストリップ診断でCMVは陰性だった。(遺伝的な原因の可能性もあり、種苗会社に照会中。種苗会社で4種のウイルス調べて陰性だったとのこと)	モザイク症状が認められる。えそ症状はない。モザイク様の葉のイムノストリップ診断でTSWV、INSV、CMV、Poty、TMVいずれも陰性。PCR診断でCarlavirus検出されない。原因不明
12月4日	いちご (とちおとめ)	壬生町	葉の奇形、葉色が黄化しているものもある。クラウンは部分的に赤褐色になっている。根も褐変がある。	組織分離したところ、フザリウムオキシスポラムが分離された。PCRでいちごに対する病原性を確認し、陽性だったので、萎黄病と判定した。
12月7日	しゅんぎく	下野市	葉に褐色で不整系のややくぼんだ斑点が見られる。	組織分離したが、病原菌が検出されず、病原は特定できなかった。
12月7日	きく (神馬)	壬生町	定植～草丈30cm程度では、症状が確認出来ず、花芽分化以降下葉から黄化症状が発生。親株にも葉の黄化が見られる。症状は株の半分に見られる。ベットの所々(坪状)に発症している。半身萎凋病が疑われる。	導管褐変は明瞭ではない。組織分離によりVerticillium菌を分離した。半身萎凋病と判定した。
12月11日	六条大麦 (シュンライ)	那須塩原市	葉先の黄化等	第1葉～2葉(下位葉)の黄化が見られた。麦種子を厚播きし、比較的生育旺盛の部分に発生が多かった。症状から、病害ではなく寒害と見られた。
12月17日	いちご (とちおとめ)	茂木町	がくに紫色から褐色の褐変がみられ、症状が進むと、がく1枚すべてが褐変してしまう。	顕鏡したが、病原は確認できなかった。また組織分離をしたが、病原菌は分離されなかった。
12月20日	にら (ミラクル)	栃木市	夏は白絹病出でない。有機ゴールドをまいたところだけ発生。すて刈りをした時に、株元に白い粒があるのに気がついた。	顕鏡でSclerotium属の菌核と判断されるが、ニラ白絹病のSclerotium rolfsiiと判定することはできなかった。地表面やニラに付着している様子は聞き取りの中ではなかったので、土壌中にある菌核なのかニラの病原なのかの判定が出来なかった。
12月20日	トマト	壬生町	株元から10cm以内の所の芽かき痕の所に褐変症状がある。かん水チューブの水がはねる位置にある。フザリウム株腐れの疑い。	組織分離し、フザリウムソラニが分離され、フザリウム株腐病と判断した。
12月20日	いちご (とちおとめ)	栃木市	マルチ張り以降から萎れる症状が散見。振興事務所でクラウンを切ってみたが、炭疽病の菌が顕鏡で観察されなかったので確認した。	イムノストリップPhyt陽性。また組織分離でPhytophthoraが分離された。根の褐変は激しい症状だが、中心柱は褐変していないことから根腐病ではなく疫病と判断した。
12月21日	トマト (麗容、台木:バックアタック)	足利市	葉の黄化症状がハウス内に点在している。苦土欠のような下位葉だけの症状ではなく、中位葉まで黄化症状が広がっている。ToCVの疑い。	RT-PCRの結果、ToCV陰性であった。生理障害の可能性も考えられる。

月日	作物名	発生場所	症状等	診断結果
12月26日	トマト	宇都宮市	しおれはないが、葉に一部黄化、枯れの症状がある。かいようか確認したい。	イムノストリップcmm陰性。葉しかサンプルがなかったため、主茎の導管は確認できなかったが、葉柄の導管に褐変なし。かいよう病ではないと考えられた。
12月28日	こんにやく (みやままさり)	鹿沼市	新芋でのひび割れ・くぼみの症状が例年より多く発生。局所的ではなく全体的に発生している。生育期間中は特に異常は見られなかった。	芋を切開した断面は特に異常は見られなかった。顕鏡では菌が確認できなかった。組織分離で細菌が分離されたため、APIで検定を行った。検定の結果、病原性の細菌は確認されなかった。原因不明。

7 病害虫侵入警戒調査

1) チチュウカイミバエ侵入警戒調査

我が国未発生の子チュウカイミバエの発生を警戒するため、侵入の危険性が高いと推察される地点において、早期発見のため誘引トラップを設置して調査した。

表1 調査期間、調査場所及び誘引状況

設置期間	調査場所	トラップ設置場所	設置数	誘殺数
4～11月	大田原市戸野内	果樹栽培地	1	0
〃	芳賀町稲毛田	果樹栽培地	1	0
〃	宇都宮市築瀬町	宇都宮市中央卸売市場	1	0
〃	宇都宮市瓦谷町	果樹栽培地	1	0
〃	栃木市大塚町	果樹栽培地	1	0
〃	小山市下河原田	栃木県南公設卸売市場	1	0
合計	6	6	6	0

2) りんご火傷病発生警戒調査

りんご及びなしの発生予察調査において、りんご火傷病を調査項目として加え、定期的に産地発生警戒調査を行った。

表2 調査期間、調査場所及び誘引状況

調査期間	調査場所	調査樹種	調査地点数	発生葉率 (%)
5～8月	矢板市長井	りんご	2	0
〃	宇都宮市石那田町	りんご	2	0
〃	大田原市湯津上	なし	2	0
〃	那須烏山市中山	なし	1	0
〃	高根沢町大谷	なし	1	0
〃	市貝町続谷	なし	1	0
〃	芳賀町稲毛田	なし	2	0
〃	芳賀町上稲毛田	なし	1	0
〃	宇都宮市平出町	なし	1	0
〃	宇都宮市板戸町	なし	2	0
〃	鹿沼市栃窪	なし	1	0
〃	小山市荒井	なし	1	0
〃	小山市南飯田	なし	1	0
〃	佐野市下羽田町	なし	1	0
〃	佐野市村上町	なし	1	0
合計	14	-	20	0

第3章 予察調査

1 病害虫発生予察調査における地域区分図

1) 市町と県地域区分図



2) 農業振興事務所担当地域区分図



2 予察調査ほ場及び乾式予察灯等の設置状況

1) 普通作物病虫害発生予察ほ場

(1) 水 稲

地域名	調査地点	作型	作付品種	
県北部	那須	那須町沼野井	早植	コシヒカリ
		那須塩原市埼玉	早植	なすひかり
		那須塩原市東赤田	早植	コシヒカリ
		大田原市戸野内	早植	コシヒカリ(直播)
		大田原市桧木沢	早植	コシヒカリ
		大田原市親園	早植	コシヒカリ
		大田原市蛭畑	早植	コシヒカリ
	塩谷 南那須	那珂川町小川	早植	コシヒカリ
		那須烏山市滝田	早植	コシヒカリ
		那須烏山市福岡	早植	コシヒカリ(直播)・コシヒカリ
		塩谷町玉生	早植	コシヒカリ
		矢板市矢板	早植	コシヒカリ
		さくら市上河戸	早植	コシヒカリ
		さくら市蒲須坂	早植	コシヒカリ
高根沢町花岡	早植	コシヒカリ		
県中部	芳賀	茂木町飯	早植	あさひの夢
		市貝町市塙	早植	コシヒカリ
		益子町北中	早植	コシヒカリ・あさひの夢
		芳賀町祖母井	早植	コシヒカリ
		真岡市亀山	早植	コシヒカリ
		真岡市青田	早植	とちぎの星
	河内	宇都宮市逆面町	早植	コシヒカリ
		宇都宮市横山町	早植	コシヒカリ
		宇都宮市雀宮町	早植	コシヒカリ
		上三川町上三川	早植	コシヒカリ
	上都賀	日光市小林	早植	コシヒカリ
		日光市木和田島	早植	コシヒカリ
		鹿沼市酒野谷	早植	コシヒカリ
		鹿沼市久野	早植	コシヒカリ
県南部	下都賀	下野市小金井	早植・普通植	コシヒカリ・とちぎの星
		小山市小葉	早植	夢あおば・とちぎの星
		小山市石ノ上	早植	とちぎの星
		壬生町助谷	早植	コシヒカリ
		栃木市西方町本郷	早植	コシヒカリ
		栃木市惣社町	普通植	とちぎの星
		栃木市大平町真弓	早植・普通植	コシヒカリ、あさひの夢
		栃木市藤岡町富吉	早植	コシヒカリ、あさひの夢
	安足	佐野市堀米町	普通植	とちぎの星
		足利市県町	普通植	あさひの夢

(2) 麦 類

地域名		調査地点	作付品種	麦種
県北部	那須	大田原市南金丸	ニューサチホゴールド	二条大麦
		大田原市実取	ニューサチホゴールド	二条大麦
	塩谷 南那須	那須烏山市大桶	シュンライ	六条大麦
		塩谷町大久保	シュンライ	六条大麦
		さくら市松山新田	イワイノダイチ	小麦
		さくら市葛城	シュンライ	六条大麦
		高根沢町石末	サチホゴールド	二条大麦
県中部	芳賀	芳賀町下高根沢	シュンライ	六条大麦
		芳賀町西高橋	タマイズミ	小麦
		真岡市根本	サチホゴールド	二条大麦
	河内	宇都宮市芦沼町	ゆめかおり	小麦
		宇都宮市平出町	サチホゴールド	二条大麦
	上都賀	鹿沼市楡木	シュンライ	六条大麦
県南部	下都賀	小山市卒島	アスカゴールド	二条大麦
		小山市小袋	イワイノダイチ	小麦
		壬生町中泉	シュンライ	六条大麦
		栃木市大塚町	ニューサチホゴールド	二条大麦
		栃木市藤岡町蛭沼	さとのそら	小麦
	安足	佐野市並木町	サチホゴールド	二条大麦
		足利市 百頭町	サチホゴールド	二条大麦

(3) 大 豆

地域名		調査地点	作付品種
	那須	那須塩原市鍋掛	里のほほえみ
		大田原市南金丸	里のほほえみ
		大田原市実取	里のほほえみ
	塩谷 南那須	那須烏山市三箇	里のほほえみ
		塩谷町大宮	里のほほえみ
		矢板市安沢	里のほほえみ
		高根沢町大谷	里のほほえみ
県中部	芳賀	益子町生田目	里のほほえみ
		芳賀町下延生	里のほほえみ
	河内	宇都宮市海道町	里のほほえみ
		宇都宮市平出町	里のほほえみ
	上都賀	日光市木和田島	里のほほえみ
県南部	下都賀	小山市福良	里のほほえみ
		小山市小袋	里のほほえみ
		栃木市寄居町	里のほほえみ

2)野菜病虫害発生予察ほ場

(1)いちご

地域名		調査地点	作付品種
県北部	那須	大田原黒羽向町	とちおとめ
		大田原市実取	とちおとめ
	塩谷 南那須	那珂川町馬頭北向田	とちおとめ
		さくら市富野岡	とちおとめ
		高根沢町大字石末	とちおとめ
	芳賀	真岡市田島	とちおとめ
		真岡市西沼	とちおとめ
		真岡市田島	とちおとめ
		真岡市物井	とちおとめ
		真岡市大根田	とちおとめ
		真岡市古山	とちおとめ
		真岡市砂ヶ原	とちおとめ
		真岡市長沼	とちおとめ
	河内	宇都宮市上小倉	とちおとめ・スカイベリー
		宇都宮市羽牛田	とちおとめ・スカイベリー
		上三川町上神主	とちおとめ
	上都賀	鹿沼市塩山町	とちおとめ
		鹿沼市磯町	とちおとめ
		鹿沼市野沢町	とちおとめ
	県南部	下都賀	下野市仁良川
小山市福良			とちおとめ・スカイベリー
小山市小葉			とちおとめ
壬生町七ツ石			とちおとめ
栃木市西方町元			とちおとめ
栃木市西方町本城			とちおとめ
栃木市国府町			とちおとめ
栃木市寄居町			とちおとめ
栃木市大平町牛久			とちおとめ
安足		佐野市小中町	とちおとめ
		佐野市小中町	とちおとめ・スカイベリー
		足利市山川町	とちおとめ・スカイベリー
		足利市県町	とちおとめ

(2) トマト

地域名		調査地点	作型
県北部	那須	大田原市湯津上蛭田	促成
		大田原市余瀬	夏秋
		大田原市美原	夏秋
	塩谷南那須	那珂川町和見	促成
県中部	芳賀	芳賀町稲毛田	促成長期どり
		真岡市西田井	促成長期どり
	河内	宇都宮市芦沼町	夏秋
		宇都宮市下金井町	夏秋
		宇都宮市鑑山町	促成長期どり
		上三川町上郷	促成長期どり
		上三川町東蓼沼	促成
	上都賀	鹿沼市上日向	促成
		鹿沼市上日向	促成
県南部	下都賀	野木町南赤塚	促成長期どり
		小山市小葉	促成長期どり
		小山市喜沢	夏秋
		小山市武井	夏秋
		壬生町安塚	促成
		栃木市田村町	促成長期どり
	安足	足利市野田町	促成
		足利市県町	促成

(3) きゅうり

地域名		調査地点	備考
県中部	河内	宇都宮市柳田町	
		宇都宮市柳田町	
県南部	下都賀	下野市上古山	
		下野市薬師寺	
		下野市田中	
		小山市東黒田	
		小山市卒島	
	安足	佐野市伊保内町	

(4) にら

地域名		調査地点	備考
県北部	那須	大田原市奥沢	
		大田原市蛭田	
	塩谷南那須	さくら市箱森新田	
県中部	芳賀	真岡市下籠谷	
		真岡市久下田	
	河内	上三川町上蒲生	
		上都賀	鹿沼市上日向
県南部	下都賀	鹿沼市塩山町	
		下野市磯部	
		栃木市惣社町	

(5)なす

地域名		調査地点	作型
県北部	那須	大田原市荒井	夏秋
	塩谷 南那須	那珂川町小口	夏秋
		さくら市下河戸	夏秋
県中部	芳賀	真岡市上大沼	夏秋
		真岡市中	夏秋
	河内	宇都宮市鑑山町	夏秋
	上都賀	鹿沼市上石川	夏秋
県南部	下都賀	下野市国分寺町	夏秋
	安足	佐野市小見町	夏秋

(6)ねぎ(巡回調査地点)

地域名		調査地点	調査ほ場数
県北部	那須	大田原市平沢	2圃場
県中部	河内	宇都宮市新里町	2圃場
県南部	下都賀	下野市川名子	2圃場
		小山市福良	2圃場

(7)たまねぎ(巡回調査地点)

地域名		調査地点	調査ほ場数
県中部	芳賀	真岡市長沼	2圃場
	河内	宇都宮市鑑山町、真岡市下大曾	2圃場
		上三川町東蓼沼	2圃場
県南部	下都賀	下野市川島、仁良川	2圃場

(8)きゃべつ(巡回調査地点)

地域名		調査地点	調査ほ場数
県南部	下都賀	小山市田間	2圃場
		野木町川田	3圃場

(9)レタス(巡回調査地点)

地域名		調査地点	調査ほ場数
県南部	下都賀	小山市武井	2圃場
		野木町川田	2圃場

3)果樹、花き病虫害発生予察ほ場

(1)なし

地域名		調査地点	備考
県北部	那須	大田原市湯津上	
		大田原市湯津上	
	塩谷 南那須	那須烏山市中山	
		高根沢町大谷	
県中部	芳賀	市貝町続谷	
		芳賀町稲毛田	
		芳賀町稲毛田	
		芳賀町上稲毛田	
	河内	宇都宮市平出町	
		宇都宮市板戸町	
		宇都宮市板戸町	
上都賀	鹿沼市栃窪		
県南部	下都賀	小山市荒井	
		小山市南飯田	
	安足	佐野市下羽田町	
		佐野市村上町	

(2)ぶどう

地域名		調査地点	備考
県中部	河内	宇都宮市満美穴町	
県南部	下都賀	栃木市大平町富田	
		栃木市大平町西山田	
		栃木市岩舟町静	
		栃木市岩舟町曲ヶ島	

(3)りんご

地域名		調査地点	備考
県北部	塩谷 南那須	矢板市長井	
		矢板市長井	
県中部	河内	宇都宮市石那田町	
		宇都宮市石那田町	

(4)きく

地域名		調査地点	備考
県北部	那須	大田原市鹿畑	輪ぎく
		大田原市戸野内	スプレー菊
	塩谷 南那須	塩谷町大久保	スプレー菊
		塩谷町大宮	スプレー菊
県中部	芳賀	真岡市飯貝	スプレー菊
		真岡市飯貝	スプレー菊
		真岡市飯貝	スプレー菊

4) 乾式予察灯設置状況

(1) 白熱予察灯(60W白熱灯)

地域名		調査地点	調査期間
県北部	那須	大田原市戸野内	5月～9月
県中部	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	
県南部	下都賀	小山市小葉	
		栃木市大塚町(いちご研究所)	
(調査対象害虫) セジロウンカ、トビロウンカ、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、イナズマヨコバイ、ニカメイガ、コブノメイガ、イネミズゾウムシ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ、コガネムシ類			

5) フェロモントラップ設置状況

(1) ニカメイガ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県中部	芳賀	市貝町赤羽※	5月～8月	稲
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)		
		上三川町大字梁※		
県南部	下都賀	下野市田中※		
		小山市小葉		
(設置方法) フェロモン剤を取り付けた武田式乾式トラップを高さ約1mに水平に設置				

(2) クモヘリカメムシ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北	塩谷南那須	矢板市玉田※	6月～8月	稲
県中	芳賀	芳賀町稲毛田(富士山自然公園)	6月～9月	
		茂木町飯※	6月～8月	
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	6月～9月	
(設置方法) 武田式乾式トラップ粘着シートの粘着しない面を合わせた両面粘着シート両面にフェロモン剤を1つずつ付け、シートを高さ約1mに粘着面が垂直になるように設置				

4) 乾式予察灯設置状況

(1) 白熱予察灯(60W白熱灯)

地域名		調査地点	調査期間
県北部	那須	大田原市戸野内	5月～9月
県中部	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	
県南部	下都賀	小山市小葉	
		栃木市大塚町(いちご研究所)	
(調査対象害虫) セジロウンカ、トビロウンカ、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、イナズマヨコバイ、ニカメイガ、コブノメイガ、イネミズゾウムシ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ、コガネムシ類			

5) フェロモントラップ設置状況

(1) ニカメイガ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県中部	芳賀	市貝町赤羽※	5月～8月	稲
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)		
		上三川町大字梁※		
県南部	下都賀	下野市田中※		
		小山市小葉		
(設置方法) フェロモン剤を取り付けた武田式乾式トラップを高さ約1mに水平に設置				

(2) クモヘリカメムシ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北	塩谷南那須	矢板市玉田※	6月～8月	稲
県中	芳賀	芳賀町稲毛田(富士山自然公園)	6月～9月	
		茂木町飯※	6月～8月	
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	6月～9月	
(設置方法) 武田式乾式トラップ粘着シートの粘着しない面を合わせた両面粘着シート両面にフェロモン剤を1つずつ付け、シートを高さ約1mに粘着面が垂直になるように設置				

(3) ホソヘリカメムシ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名	調査地点	調査期間	対象作物	
県北部	那須	那須塩原市下中野※	5月～9月	大豆
	塩谷南那須	さくら市長久保※		
県中部	芳賀	芳賀町稲毛田(富士山自然公園)		
		益子町大字上山※		
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)		
県南部	上都賀	日光市木和田島※		
	下都賀	栃木市大塚町(いちご研究所)		
(設置方法) 武田式乾式トラップ粘着シートの粘着しない面を合わせた両面粘着シート両面にフェロモン剤を1つずつ付け、シートを高さ約1mに粘着面が垂直になるように設置				

(4) チャバネアオカメムシ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名	調査地点	調査期間	対象作物	
県北部	那須	那須烏山市興野※	5月～9月	なし
	塩谷南那須	矢板市平野※		
県中部	芳賀	芳賀町稲毛田(富士山自然公園)	4月～9月	
	河内	宇都宮市古賀志町※	5月～9月	
		宇都宮市瓦谷町(農試本場)	4月～9月	
県南部	安足	佐野市上羽田※	5月～9月	
(設置方法) フェロモン剤を取り付けたコガネコール・マダラコール用誘引器(黄色)を高さ約1mになるように設置				

(5) ハスモンヨトウ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名	調査地点	調査期間	対象作物	
県北部	那須	大田原市実取※	6月～10月	大豆、トマト、きゅうり、なす、いちご、はくさい、きゃべつ、だいこん、レタス、さといも、ねぎ
	塩谷南那須	塩谷町大久保※		
県中部	芳賀	芳賀町下延生※	4月～11月	
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	6月～10月	
	上都賀	鹿沼市佐目町※	4月～11月	
県南部	下都賀	栃木市大塚町(いちご研究所)	6月～10月	
		栃木市大平町※		
		小山市小薬※		
	野木町佐川野※			
安足	足利市瑞穂野町※			
(設置方法) フェロモン剤を取り付けたファネルトラップを高さ約1mに設置				

(6) オオタバコガ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名	調査地点	調査期間	対象作物	
県北部	那須	那須町稲沢※	6月～10月	トマト、なす、レタス
	塩谷南那須	那珂川町久那瀬※		
県中部	芳賀	真岡市茅堤※	4月～11月	
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	6月～10月	
		上三川町上三川※		
県南部	下都賀	壬生町壬生乙※	4月～11月	
		栃木市大塚町(いちご研究所)		
(設置方法) フェロモン剤を貼り付けた武田式乾式トラップを高さ約1mに水平に設置				

(7)コナガ

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県中部	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	4月～11月	はくさい、キャベツ、だいこん
県南部	下都賀	栃木市大塚町(いちご研究所)		
(設置方法) フェロモン剤を貼り付けた武田式乾式トラップを高さ約1mに水平に設置				

(8)ナシヒメシクイ、リンゴコカクモンハマキ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北部	塩谷南那須	高根沢町亀梨※(ナシヒメシクイのみ)	4月～10月	なし、りんご
		那須烏山市滝	3月～10月 (リンゴコカクモンハマキは5～10月)	
県中部	河内	宇都宮市下田原町		
	芳賀	芳賀町稲毛田(富士山自然公園) (ナシヒメシクイのみ)		
(設置方法) フェロモン剤を貼り付けた武田式乾式トラップをなし園内の高さ約1mに水平に設置				

(9)チチュウカイミバエ

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北部	那須	大田原市戸野内	4月～11月	果樹類等
県中部	芳賀	芳賀町稲毛田(富士山自然公園)		
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)		
		宇都宮市築瀬町(青果市場)		
県南部	下都賀	栃木市大塚町(いちご研究所) 小山市下川原田(青果市場)		
(設置方法) 誘引剤を取り付けたスタイナー型トラップを高さ約1mに設置				

6)粘着板設置状況

(1)黄色粘着板(有翅アブラムシ類)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北部	那須	大田原市戸野内	4月～10月	大豆、なし、りんご、トマト、きゅうり、なす、いちご、はくさい、きゃべつ、だいこん、レタス、さといも、たまねぎ、ねぎ、ゆうが、お、きく
県中部	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	4月～11月	
県南部	下都賀	栃木市大塚町(いちご研究所)		
(設置方法) 黄色粘着板を粘着面が高さ約1mになるように水平に設置				

(7)コナガ

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県中部	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	4月～11月	はくさい、キャベツ、だいこん
県南部	下都賀	栃木市大塚町(いちご研究所)		
(設置方法) フェロモン剤を貼り付けた武田式乾式トラップを高さ約1mに水平に設置				

(8)ナシヒメシクイ、リンゴコカクモンハマキ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北部	塩谷南那須	高根沢町亀梨※(ナシヒメシクイのみ)	4月～10月	なし、りんご
		那須烏山市滝	3月～10月 (リンゴコカクモンハマキは5～10月)	
県中部	河内	宇都宮市下田原町		
	芳賀	芳賀町稲毛田(富士山自然公園) (ナシヒメシクイのみ)		
(設置方法) フェロモン剤を貼り付けた武田式乾式トラップをなし園内の高さ約1mに水平に設置				

(9)チチュウカイミバエ

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北部	那須	大田原市戸野内	4月～11月	果樹類等
県中部	芳賀	芳賀町稲毛田(富士山自然公園)		
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)		
		宇都宮市築瀬町(青果市場)		
県南部	下都賀	栃木市大塚町(いちご研究所) 小山市下川原田(青果市場)		
(設置方法) 誘引剤を取り付けたスタイナー型トラップを高さ約1mに設置				

6)粘着板設置状況

(1)黄色粘着板(有翅アブラムシ類)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北部	那須	大田原市戸野内	4月～10月	大豆、なし、りんご、トマト、きゅうり、なす、いちご、はくさい、きゃべつ、だいこん、レタス、さといも、たまねぎ、ねぎ、ゆうが、お、きく
県中部	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	4月～11月	
県南部	下都賀	栃木市大塚町(いちご研究所)		
(設置方法) 黄色粘着板を粘着面が高さ約1mになるように水平に設置				

(2) 青色粘着板(アザミウマ類)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北部	那須	大田原市戸野内	4月～10月	ぶどう、きゅうり、なす、いちご、たまねぎ、ねぎ、きく
県中部	芳賀	真岡市飯貝		
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	4月～11月	
県南部	下都賀	下野市上古山	4月～10月	
		栃木市大塚町(いちご研究所)	4月～11月	
(設置方法) 青色粘着板を粘着面の中央が高さ約1mになるように垂直に設置				

3 各種調査結果

1) 水稲病害虫調査結果

(1) 病害虫発生予察ほ場における病害虫の発生状況

調査日：(7月上旬)6月26日～7月6日 (7月中旬)7月9日～13日 (8月上旬)7月30日～8月10日
(8月下旬～9月)8月20日～9月5日

注)平成23年10月1日の栃木市合併(旧西方町)により、24年から西方町データを県南部扱いとして平年値を再計算した。23年以前は上都賀郡のため県中部に含まれる。

① 葉いもち

(発生株率%)

時 期	地 域	30年	平年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年
7月上旬	平均	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1
	北 部	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中 部	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
7月中旬	平均	1.1	1.0	0.4	2.1	0.3	0.3	0.2	0.0	0.3	1.3	3.0	2.2
	北 部	0.0	0.7	0.2	1.4	0.7	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.5	4.0
	中 部	3.1	1.0	0.8	1.0	0.2	0.6	0.6	0.0	0.7	0.2	6.0	0.1
8月上旬	平均	0.5	2.3	0.7	5.3	4.3	1.7	1.4	0.1	0.4	0.3	5.9	3.0
	北 部	0.1	1.7	0.3	3.9	4.3	0.2	1.4	0.0	0.1	0.0	0.4	6.7
	中 部	1.1	1.1	1.6	0.6	0.2	0.6	2.0	0.0	0.5	0.4	4.7	0.6
	南 部	0.3	4.8	0.1	14.1	10.0	5.5	0.5	0.4	0.8	0.5	15.8	0.8

注)平年値は過去10年間のデータの平均値

② 穂いもち(発病穂率)

(発生穂率%)

時 期	地 域	30年	平年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年
8月下旬 ～9月	平均	0.0	0.3	0.1	0.1	0.1	1.0	0.2	0.0	0.1	0.1	0.3	0.6
	北 部	0.0	0.6	0.1	0.3	0.3	3.6	0.5	0.0	0.0	0.0	0.1	1.3
	中 部	0.1	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0	0.1	0.1	0.3	0.3
	南 部	0.0	0.1	0.0	0.0	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.6	0.1

注)平年値は過去10年間のデータの平均値

③ 穂いもち(被害度)

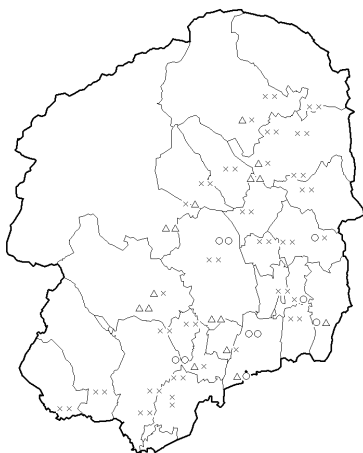
時 期	地 域	30年	平年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年
8月下旬 ～9月	平均	0.02	0.13	0.08	0.06	0.09	0.55	0.10	0.00	0.03	0.03	0.14	0.21
	北 部	0.01	0.32	0.06	0.14	0.21	2.01	0.22	0.00	0.01	0.02	0.06	0.48
	中 部	0.03	0.07	0.15	0.00	0.05	0.02	0.13	0.00	0.05	0.05	0.12	0.10
	南 部	0.00	0.07	0.00	0.02	0.11	0.02	0.09	0.00	0.03	0.04	0.31	0.03

注)平年値は過去10年間のデータの平均値

$$\text{被害度} = a + 0.66b + 0.26c$$

a : 穂首いもち発病穂率
b : 1/3以上の枝梗発病穂率
c : 1/3未満の枝梗発病穂率

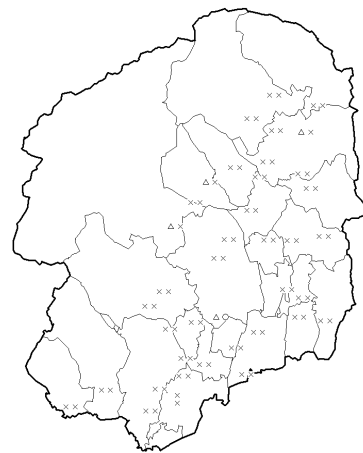
葉いもち(8月上旬)



国土地理院承認平14総検第149号

程度	無	散見	少	中	多・甚
発生株率(%)	0	1未満	1~20	21~40	41以上
記号	x	△	○	▲	●

穂いもち(8月下旬～9月上旬)



国土地理院承認平14総検第149号

程度	無	散見	少	中	多・甚
発生穂率(%)	0	1未満	1~10	11~30	31以上
記号	x	△	○	▲	●

④ 紋枯病

(発生株率%)

時 期	地 域	30年	平 年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年
7月上旬	平 均	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.3
	北 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中南部	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.6	0.6	0.8
7月中旬	平 均	0.7	0.6	0.1	0.9	1.0	0.3	0.3	0.0	0.4	1.7	1.3	0.2
	北 部	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.4	0.3	0.8	0.1
	中南部	0.3	0.6	0.0	0.4	0.0	0.4	0.1	0.0	0.1	1.9	2.7	0.4
8月上旬	平 均	2.3	2.4	2.2	2.4	2.9	0.2	1.8	0.8	2.3	3.4	5.0	3.5
	北 部	0.4	1.4	0.6	0.8	2.6	0.2	1.1	1.6	1.5	1.0	3.2	1.6
	中南部	1.0	2.8	4.5	1.1	1.4	0.0	1.6	0.0	1.2	6.0	6.1	5.6
8月下旬 ～9月	平 均	10.4	7.0	15.4	4.9	6.6	3.3	3.1	3.7	5.8	6.2	11.3	9.6
	北 部	5.3	7.4	15.3	7.8	8.3	3.2	1.2	6.3	7.3	6.9	11.7	6.2
	中南部	14.5	6.9	17.2	0.2	1.4	1.6	8.2	2.2	6.1	7.9	14.0	10.4
		12.2	7.3	12.9	7.0	11.5	5.7	4.7	4.4	3.3	3.3	6.8	13.4

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

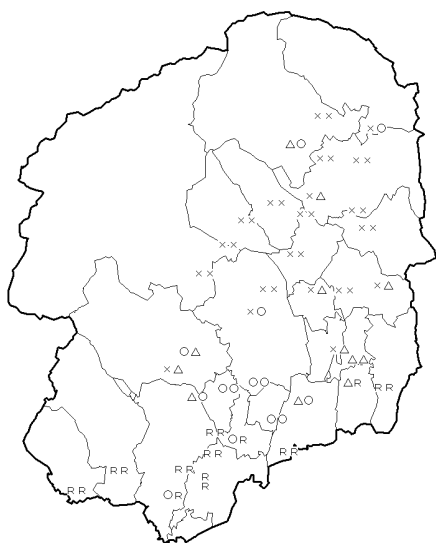
⑤ 縞葉枯病

(発生株率%)

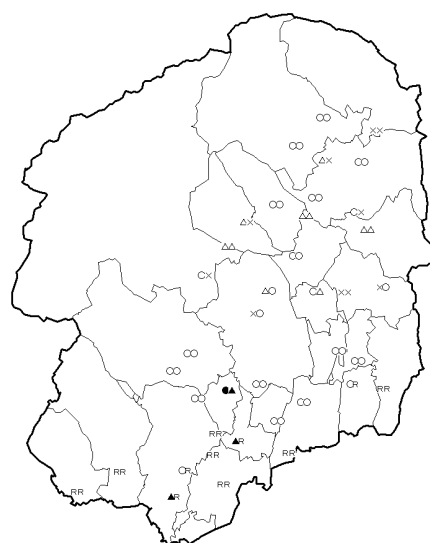
時 期	地 域	30年	平 年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年
7月上旬	平 均	0.3	0.5	0.4	0.5	0.8	1.5	1.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0
	北 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中南部	0.2	0.4	0.3	0.5	1.0	1.4	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7月中旬	平 均	0.9	1.3	1.2	1.0	1.9	4.0	3.1	0.7	0.5	0.3	0.5	0.0
	北 部	0.7	1.0	1.4	0.8	1.7	1.7	1.8	0.9	0.6	0.1	0.3	0.2
	中南部	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8月上旬	平 均	0.6	0.8	1.3	1.3	1.5	1.9	1.2	0.4	0.0	0.0	0.2	0.0
	北 部	1.6	2.5	3.4	1.2	4.5	3.9	5.2	2.9	2.3	0.4	0.9	0.7
	中南部	2.6	2.0	1.7	1.6	2.5	4.5	5.6	1.5	2.0	0.3	0.2	0.4
8月下旬 ～9月	平 均	0.9	0.3	0.4	0.1	0.4	0.8	0.7	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0
	北 部	3.1	1.7	2.5	1.1	2.4	4.0	5.4	1.1	0.3	0.1	0.1	0.0
	中南部	4.6	5.1	2.4	4.4	5.7	10.7	13.4	4.1	7.2	0.7	0.7	1.5
8月下旬 ～9月	平 均	2.9	3.2	2.2	3.1	3.3	5.2	7.5	3.4	3.0	0.4	0.9	2.9
	北 部	1.3	0.4	0.0	0.3	1.3	1.2	0.6	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1
	中南部	2.8	2.5	1.4	2.9	3.5	7.7	4.8	1.6	0.8	0.2	0.3	1.5
		5.2	8.4	6.7	7.4	6.1	7.8	21.6	10.9	10.5	1.0	3.1	9.1

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

縞葉枯病 (7月中旬)



縞葉枯病 (8月下旬～9月上旬)



国土地理院承認平14総複第149号

程度	無	散見	少	中・多・甚	
発生株率(%)	0	1未満	1~10	11~20	21以上
記号	×	△	○	▲	●

R: 抵抗性品種の作付

⑥ 稲こうじ病

(発生穂率%)

時 期	地 域	30年	平年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年
8月下旬 ～9月	平均	0.8	2.2	2.8	1.6	0.1	0.5	1.6	0.3	2.6	2.5	7.1	2.9
	北 部	0.4	3.5	2.1	1.6	0.1	0.6	4.6	0.0	5.0	2.6	13.2	5.0
	中 部	1.6	2.1	4.6	1.9	0.0	1.4	1.6	0.3	1.7	3.5	4.1	2.1
	南 部	0.3	0.8	1.2	1.3	0.2	0.2	0.3	0.0	0.3	1.1	1.7	1.3

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

⑦ イネドロオイムシ

(発生株率%)

時 期	地 域	30年	平年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年
7月上旬	平均	0.2	0.8	0.6	0.3	0.5	0.2	0.9	0.4	0.6	2.0	0.8	1.5
	北 部	0.1	1.0	0.2	0.2	0.5	0.0	1.0	0.4	1.0	3.5	1.8	1.5
	中 部	0.5	1.1	1.5	0.5	0.8	0.6	1.4	0.7	0.6	1.9	0.3	2.7
	南 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

⑧ イネツトムシ

(発生株率%)

時 期	地 域	30年	平年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年
7月上旬	平均	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.3	0.1	0.0
	北 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
	中 部	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0
	南 部	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1	0.1
7月中旬	平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1
	北 部	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1
	中 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2
	南 部	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1
8月上旬	平均	0.2	0.3	0.0	0.1	0.4	0.2	1.1	0.1	0.2	0.8	0.3	0.3
	北 部	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
	中 部	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
	南 部	0.0	1.3	0.0	0.4	1.5	0.5	4.3	0.2	0.9	2.8	1.1	1.0

注) 平年値は過去10年間データの平均値

⑨ 心枯茎

(発生株率%)

時 期	地 域	30年	平年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年
7月上旬	平均	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.5	0.0	0.1	0.2	0.2	0.0
	北 部	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.1	0.3	0.1
	中 部	0.1	0.3	0.0	0.0	0.2	0.3	1.2	0.1	0.2	0.4	0.1	0.0
	南 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7月中旬	平均	0.1	0.3	0.1	0.1	0.0	0.3	0.5	0.1	0.4	0.3	0.4	0.3
	北 部	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.2	0.3	0.1	0.4	0.0	0.5	0.5
	中 部	0.2	0.5	0.3	0.2	0.0	0.5	1.1	0.2	0.8	0.9	0.5	0.2
	南 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8月上旬	平均	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.4	0.5	0.1	0.2	0.1
	北 部	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	1.1	0.1	0.2	0.1
	中 部	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.8	0.2	0.1	0.3	0.2
	南 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

⑩ 白穂

(発生穂率%)

時 期	地 域	30年	平年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年
8月下旬 ～9月	平均	0.02	0.02	0.02	0.01	0.00	0.03	0.04	0.05	0.02	0.01	0.02	0.02
	北 部	0.01	0.03	0.03	0.02	0.02	0.05	0.04	0.01	0.02	0.02	0.03	0.03
	中 部	0.04	0.03	0.01	0.00	0.00	0.06	0.11	0.06	0.04	0.01	0.02	0.02
	南 部	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01	0.01	0.00	0.01	0.00

(2) 育苗箱における病害の発生状況

(発生箱率%)

病害名	30年	平年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年
苗立枯病	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00
ムレ苗	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.03	0.01
細菌病	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ばか苗病	0.01	0.03	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.04	0.16	0.00	0.10	0.03

注1) 調査日: 4月12、16日

注2) 平年値は過去10年間のデータの平均値

⑥ 稲こうじ病

(発生稔率%)

時 期	地 域	30年	平年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年
8月下旬 ～9月	平均	0.8	2.2	2.8	1.6	0.1	0.5	1.6	0.3	2.6	2.5	7.1	2.9
	北 部	0.4	3.5	2.1	1.6	0.1	0.6	4.6	0.0	5.0	2.6	13.2	5.0
	中 部	1.6	2.1	4.6	1.9	0.0	1.4	1.6	0.3	1.7	3.5	4.1	2.1
	南 部	0.3	0.8	1.2	1.3	0.2	0.2	0.3	0.0	0.3	1.1	1.7	1.3

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

⑦ イネドロオイムシ

(発生株率%)

時 期	地 域	30年	平年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年
7月上旬	平均	0.2	0.8	0.6	0.3	0.5	0.2	0.9	0.4	0.6	2.0	0.8	1.5
	北 部	0.1	1.0	0.2	0.2	0.5	0.0	1.0	0.4	1.0	3.5	1.8	1.5
	中 部	0.5	1.1	1.5	0.5	0.8	0.6	1.4	0.7	0.6	1.9	0.3	2.7
	南 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

⑧ イネツトムシ

(発生株率%)

時 期	地 域	30年	平年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年
7月上旬	平均	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.3	0.1	0.0
	北 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
	中 部	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0
	南 部	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1	0.1
7月中旬	平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1
	北 部	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1
	中 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2
	南 部	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1
8月上旬	平均	0.2	0.3	0.0	0.1	0.4	0.2	1.1	0.1	0.2	0.8	0.3	0.3
	北 部	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
	中 部	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
	南 部	0.0	1.3	0.0	0.4	1.5	0.5	4.3	0.2	0.9	2.8	1.1	1.0

注) 平年値は過去10年間データの平均値

⑨ 心枯茎

(発生株率%)

時 期	地 域	30年	平年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年
7月上旬	平均	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.5	0.0	0.1	0.2	0.2	0.0
	北 部	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.1	0.3	0.1
	中 部	0.1	0.3	0.0	0.0	0.2	0.3	1.2	0.1	0.2	0.4	0.1	0.0
	南 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7月中旬	平均	0.1	0.3	0.1	0.1	0.0	0.3	0.5	0.1	0.4	0.3	0.4	0.3
	北 部	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.2	0.3	0.1	0.4	0.0	0.5	0.5
	中 部	0.2	0.5	0.3	0.2	0.0	0.5	1.1	0.2	0.8	0.9	0.5	0.2
	南 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8月上旬	平均	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.4	0.5	0.1	0.2	0.1
	北 部	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	1.1	0.1	0.2	0.1
	中 部	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.8	0.2	0.1	0.3	0.2
	南 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

⑩ 白穂

(発生稔率%)

時 期	地 域	30年	平年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年
8月下旬 ～9月	平均	0.02	0.02	0.02	0.01	0.00	0.03	0.04	0.05	0.02	0.01	0.02	0.02
	北 部	0.01	0.03	0.03	0.02	0.02	0.05	0.04	0.01	0.02	0.02	0.03	0.03
	中 部	0.04	0.03	0.01	0.00	0.00	0.06	0.11	0.06	0.04	0.01	0.02	0.02
	南 部	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01	0.01	0.00	0.01	0.00

(2) 育苗箱における病害の発生状況

(発生箱率%)

病害名	30年	平年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年
苗立枯病	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00
ムレ苗	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.03	0.01
細菌病	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ばか苗病	0.01	0.03	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.04	0.16	0.00	0.10	0.03

注1) 調査日: 4月12、16日

注2) 平年値は過去10年間のデータの平均値

(3) 再生稲における黄萎病、縞葉枯病の発生状況

① 黄萎病 (再生稲)

(発生ほ場率%)

地域	30年	平年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年	19年
平均	3.6	5.5	2.7	1.8	2.8	3.5	10.5	5.0	6.7	4.4	6.3	11.6	7.1
北部	4.8	4.8	2.3	4.1	4.0	2.0	4.8	2.8	5.0	4.9	6.5	11.7	4.6
中部	4.8	9.0	4.3	1.3	3.3	7.0	19.2	9.8	12.7	6.6	10.4	15.7	10.9
南部	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.9

注1) 調査日: 10月1~15日

注2) 平年値は過去10年間のデータの平均値

② 縞葉枯病 (再生稲)

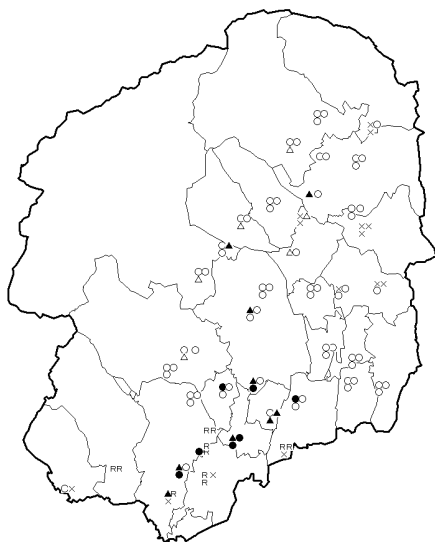
(発生株率%)

地域	30年	平年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年
平均	5.6	7.3	7.5	9.8	6.9	13.5	14.1	6.4	6.6	2.6	2.9	2.9
北部	2.7	0.6	1.0	1.1	1.6	1.1	0.9	0.1	0.4	0.2	0.0	0.0
中部	5.4	4.8	5.2	11.4	4.8	8.7	11.8	3.4	2.1	0.1	0.5	0.4
南部	10.3	21.2	20.3	21.7	18.7	41.1	34.5	20.2	27.1	7.9	11.4	9.1

注1) 調査日: 10月1~15日

注2) 平年値は過去10年間のデータの平均値

縞葉枯病 (再生稲)



国土地理院承認平14総複第149号

程度	無	散見	少	中・多・甚	
発生株率(%)	0	1未満	1~10	11~20	21以上
記号	×	△	○	▲	●

R: 抵抗性品種の作付

(4) アメダスデータによるいもち病感染好適日の出現状況

●: 感染好適条件 ○^{1~4}: 準感染好適条件 - : 感染好適条件なし

● 感染好適条件: 湿潤時間中の平均気温が15~25℃であり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の平均値が20~25℃の範囲にある

○ 準感染好適条件: 好適条件に準ずる気象条件

準感染好適条件1: 湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満

準感染好適条件2: 湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上

準感染好適条件3: 湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15~25℃の範囲外

準感染好適条件4: 湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い

※上記条件であっても、3mを越える風や時間雨量3mmを越える雨があると湿潤時間の継続が打ち切りとなり、感染好適条件でなくなる場合がある

感染好適条件が出現した日から7~10日後に発病する可能性があります。また、好適日が連続する時は多発条件となるので注意が必要です。ほ場をよく観察し、いもち病の発生状況に応じて、適期に防除を行いましょう。

①BLASTAMによる葉いもち感染好適日の判定結果 (平成30年度)

日付	那須	黒磯	大田原	塩谷	真岡	宇都宮	今市	鹿沼	小山	佐野
6/01	○3	-	○4	○4	○4	-	○3	○4	-	-
6/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/07	-	-	●	●	●	●	○1	●	●	●
6/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●
6/11	○3	○4	-	●	●	-	○4	●	●	○4
6/12	-	-	-	-	-	-	○4	-	-	-
6/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/15	-	-	○1	○1	○4	-	○3	-	○1	●
6/16	○3	-	-	-	-	-	○3	-	-	-
6/17	○3	-	○3	○3	-	-	○3	○3	-	○3
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/19	○3	○4	-	-	-	-	-	-	-	○4
6/20	-	-	○3	-	-	-	-	-	-	-
6/21	○4	○1	○1	○4	-	-	-	-	-	-
6/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/24	-	○1	●	○4	-	●	○4	●	-	●
6/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/05	●	-	-	-	-	-	-	-	○3	-
7/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/07	●	●	●	●	○2	○2	●	○2	○2	○2
7/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/10	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-
7/11	●	-	-	-	-	-	●	●	-	-
7/12	-	-	○3	-	-	-	-	-	-	-
7/13	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-

7/14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○3	—
7/18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/19	—	○2	—	—	—	—	—	—	○3	—	—
7/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/26	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/30	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—
7/31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/06	—	—	—	—	—	—	○2	—	—	—	—
8/07	—	—	—	—	○2	—	—	—	○2	—	—
8/08	—	—	—	—	○2	—	—	—	—	○2	—
8/09	—	—	—	●	—	—	●	—	—	—	—
8/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/12	—	—	—	—	—	—	●	○3	○3	—	—
8/13	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—
8/14	—	—	—	—	○3	—	○2	—	—	—	—
8/15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/16	—	○2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/17	—	—	—	○2	—	○2	●	○2	○2	○2	—
8/18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/25	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/26	—	—	—	○2	○2	—	—	—	—	—	—
8/27	—	—	○2	○2	—	—	—	○2	—	○3	—
8/28	—	—	—	—	—	—	—	—	○2	○2	—
8/29	—	○2	—	—	—	—	○2	—	—	○2	—
8/30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

出典 一般社団法人 日本植物防疫協会

② BLASTAMによる葉いもち感染好適日の年次別発生状況（6月～8月）

年度	那須	黒磯	大田原	塩谷	真岡	宇都宮	今市	鹿沼	小山	佐野
H30	5	2	3	5	2	2	6	5	2	4
平年値	7.3	8.4	7.3	10	6.8	2.3	9.2	8.1	5.2	5.6
H29	13	15	8	10	5	4	18	5	2	4
H28	9	8	8	11	8	2	9	13	4	6
H27	8	11	10	11	11	3	8	10	10	9
H26	9	11	11	13	9	4	6	11	4	6
H25	6	9	6	8	5	5	9	12	3	9
H24	1	4	3	5	3	1	3	1	5	2
H23	2	7	4	5	4	0	9	7	3	5
H22	12	5	7	13	11	2	9	7	5	7
H21	9	7	8	11	8	1	9	8	10	4
H20	4	7	8	13	4	1	12	7	6	4

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

(5) ウンカ類、ヨコバイ類の越冬前密度

	ウンカ類 幼虫	ヒメトビウ ンカ成虫	その他ウン カ類成虫	ヨコバイ類 幼虫	ツマグロヨ コバイ成虫	イナズマヨ コバイ成虫	その他のヨ コバイ類成 虫	備考
発生ほ場数	19	11	2	16	7	0	16	平成30年11月12日～21日調査 総調査ほ場数：21ほ場
ほ場率	本年平均値	90.5	52.4	9.5	76.2	33.3	0.0	76.2
	平年値	83.8	2.5	2.6	69.0	29.8	3.9	55.3
頭数合計	903	63	15	1434	63	0	912	調査方法：背負型動力機を使用した吹き 出し法で0.3m×11mを吹き出しすくい取り 調査した。
密度	本年平均値	43.0	3.0	0.7	68.3	3.0	0.0	43.4
	平年値	64.9	0.1	0.2	46.8	2.6	0.2	8.0
概 評	平年並	多	多	平年並	平年並	少	やや多	※頭数合計は10㎡あたりの頭数に換算値 (×3)。 ※密度＝頭数/10㎡ 平年値はH20～29年の平均

発生ほ場率の推移

単位：%

	ウンカ類 幼虫	ヒメトビウ ンカ成虫	その他ウン カ類成虫	ヨコバイ類 幼虫	ツマグロヨ コバイ成虫	イナズマヨ コバイ成虫	その他のヨ コバイ類成 虫	備考 (総調査ほ場数)
H29	76.2	4.8	0.0	47.6	9.5	0.0	38.1	21
H28	100.0	4.8	4.8	47.6	28.6	0.0	76.2	21
H27	100.0	4.8	4.8	57.1	19.0	4.8	71.4	21
H26	75.0	5.0	0.0	85.0	50.0	0.0	70.0	20
H25	85.0	0.0	0.0	75.0	30.0	0.0	25.0	20
H24	87.5	0.0	0.0	56.3	25.0	6.3	68.8	16
H23	88.2	0.0	0.0	88.2	47.1	11.8	41.2	17
H22	77.8	5.6	5.6	77.8	22.2	5.6	44.4	18
H21	100.0	0.0	11.1	72.2	50.0	11.1	72.2	18
H20	47.9	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	45.8	48

越冬密度の推移

単位：10㎡当たりの頭数

	ウンカ類 幼虫	ヒメトビウ ンカ成虫	その他ウン カ類成虫	ヨコバイ類 幼虫	ツマグロヨ コバイ成虫	イナズマヨ コバイ成虫	その他のヨ コバイ類成 虫	備考 (調査日の平均)
H29	12.0	0.1	0.0	5.1	0.3	0.0	2.6	11/18
H28	163.6	0.1	0.1	19.4	2.0	0.0	26.0	11/19
H27	99.3	0.1	0.4	86.7	4.6	0.3	9.4	11/21
H26	123.6	0.2	0.0	126.6	4.8	0.0	13.8	11/25
H25	37.4	0.0	0.0	24.8	1.8	0.0	2.1	11/25
H24	60.6	0.0	0.0	52.9	1.7	0.4	8.1	11/26
H23	33.0	0.0	0.0	34.2	2.8	0.7	3.0	11/26
H22	62.2	0.2	0.2	21.3	0.8	0.3	2.5	11/24
H21	31.5	0.0	1.5	52.5	6.2	0.7	6.2	11/18
H20	25.6	0.0	0.0	44.3	1.3	0.0	6.1	12/8

(6) 大麦におけるヒメトビウンカ生息密度

	ウンカ類 幼虫	ヒメトビウ ンカ短翅成 虫	ヒメトビウ ンカ長翅成 虫♀	ヒメトビウ ンカ長翅成 虫♂	ヒメトビウ ンカ成虫計	ヒメトビウ ンカ計	備考
発生ほ場数(か所)	19	0	4	2	5	19	平成30年5月10日～23日調査
ほ場率	本年平均値	100.0	0.0	21.1	10.5	26.3	100.0
	平年値	100.0	12.6	36.5	23.5	41.7	100.0
発生頭数(頭)	1449	0	12	9	21	1470	調査方法：背負型動力機を使用した吹き出し法で0.3m ×11mを吹き出しすくい取り調査した。
密度	本年平均値	76.3	0.0	0.6	0.5	1.1	77.4
	平年値	241.1	0.9	4.0	3.5	8.4	249.5
概 評	平年並	やや少	少	少	少	平年並	※頭数合計は10㎡あたりの頭数に換算値(×3)。 発生密度は麦上部、下部の合計値(頭/10㎡) 平年値はH25～29年の平均

発生ほ場率の推移

単位：%

	ウンカ類 幼虫	ヒメトビウ ンカ短翅成 虫	ヒメトビウ ンカ長翅成 虫♀	ヒメトビウ ンカ長翅成 虫♂	ヒメトビウ ンカ成虫計	ヒメトビウ ンカ計	備考 (調査日の平均)
H29	100.0	10.5	5.3	0.0	10.5	100.0	19
H28	100.0	10.5	26.3	31.6	36.8	100.0	19
H27	100.0	16.7	77.8	38.9	77.8	100.0	18
H26	100.0	52.9	11.8	5.9	58.8	100.0	17

越冬密度の推移

単位：10㎡当たりの頭数

	ウンカ類 幼虫	ヒメトビウ ンカ短翅成 虫	ヒメトビウ ンカ長翅成 虫♀	ヒメトビウ ンカ長翅成 虫♂	ヒメトビウ ンカ成虫計	ヒメトビウ ンカ計	備考 (調査日の平均)
H29	212.1	1.3	0.2	0.0	1.4	213.5	5/19
H28	256.3	0.5	1.7	3.2	5.4	261.6	5/20
H27	255.0	0.8	10.2	7.3	18.3	273.3	5/22
H26	356.5	3.2	0.5	0.9	4.6	361.1	5/20

(7)ヒメトビウンカの縞葉枯ウイルス保毒虫率の経年変化

第一世代幼虫

(単位:%)

年度		H28	H29	H30
地点名		2016	2017	2018
県北部	大田原市親園	4.2	4.2	2.1
	大田原市蛭畑	5.2	0.0	3.1
	さくら市松山新田	6.3	3.1	6.3
	高根沢町花岡	1.0	2.1	2.1
県中部	真岡市青田	15.6	10.4	15.6
	宇都宮市横山町	7.3	6.3	5.2
	宇都宮市雀宮	8.3	6.3	10.4
	上三川町上三川	6.3	6.3	12.5
	鹿沼市酒野谷	4.2	3.1	7.3
県南部	下野市小金井	11.5	4.2	4.2
	下野市絹板	11.5	11.5	21.9
	小山市小葉	4.2	11.5	5.2
	小山市石ノ上	11.5	13.5	10.4
	壬生町助谷	4.2	8.3	3.1
	栃木市惣社町	3.1	2.1	3.1
	栃木市大平町真弓	9.4	9.4	2.1
	栃木市藤岡町富吉	7.3	2.1	3.1
	佐野市堀米町	3.1	8.3	8.3
	足利市上渋垂町	5.2	6.3	1.0
県北部平均		4.2	2.3	3.4
県中部平均		8.3	6.5	10.2
県南部平均		7.1	7.7	6.3
県平均		6.8	6.3	6.7

注:検定サンプルは、平成30(2018)年5月10~23日に
麦類ほ場から採集したヒメトビウンカ第一世代幼虫
検定方法:DAS-ELISA法 検定数:96頭/1地点

越冬世代

(単位:%)

年度		H28	H29	H30
地点名		2016	2017	2018
県北部	大田原市戸野内	3.1	1.0	1.0
	大田原市蛭畑	2.1	3.1	1.0
	大田原市親園	5.2	5.2	4.2
	那須烏山市滝田	4.2	5.2	3.1
	さくら市蒲須坂	0.0	4.2	3.1
	高根沢町花岡	2.1	5.2	6.3
県中部	真岡市青田	9.4	8.3	6.3
	宇都宮市横山町	6.3	3.1	9.4
	宇都宮市雀宮町	5.2	7.3	9.8
	上三川町上三川	10.4	7.3	13.5
県南部	鹿沼市酒野谷	3.1	6.3	4.2
	下野市絹板	10.4	13.5	13.5
	下野市小金井	10.4	11.5	5.2
	小山市小葉	2.1	1.0	8.3
	小山市石ノ上	16.7	8.3	10.4
	壬生町助谷	11.5	3.1	4.2
	栃木市惣社町	6.3	4.2	5.2
	栃木市大平町真弓	5.2	0.0	1.0
	栃木市藤岡町富吉	9.4	9.4	5.4
	佐野市堀米町	4.2	6.3	10.4
足利市上渋垂町	6.3	2.1	3.1	
県北部		2.8	4.0	3.1
県中部		6.9	6.5	8.6
県南部		8.2	5.9	6.7
平均値		6.3	5.5	6.1

注:検定サンプルは、平成30(2018)年11月中~下旬に、水田畦畔や休耕田のイネ科雑草等から採取したヒメトビウンカ越冬世代幼虫

検定方法:DAS-ELISA法 検定数:96頭/1地点

(8) イネミズゾウムシの発生状況

① 越冬成虫密度

		平均	宇都宮市瓦谷町平均	さくら市蒲須坂平均	備考
密度	成虫発生頭数	0.5	0.0	1.0	平成30年2月9日採集
	本年平均値	0.1	0.0	0.3	総採取地点数:10か所
	平年値	0.1	0.1	0.1	※密度=頭数/0.1㎡ 平年値はH20~29年の平均
概 評		やや多	少	多	

発生密度の推移

単位: 0.1㎡当たりのイネミズゾウムシ成虫数

	平均	宇都宮市瓦谷町平均	さくら市蒲須坂平均	各調査地点数(宇都宮市瓦谷町・さくら市蒲須坂)
H29	0.1	0.0	0.3	6・4
H28	0.1	0.2	0.0	6・4
H27	0.0	0.0	0.0	6・4
H26	0.2	0.3	0.0	6・4
H25	0.3	0.5	0.0	6・4
H24	0.1	0.2	0.0	6・4
H23	0.1	0.0	0.3	6・4
H22	0.0	0.0	0.0	3・2
H21	0.0	0.0	0.0	13・4
H20	0.0	0.0	0.0	13・4

採集日: 平成30年2月9日

調査方法: 0.1㎡(すくい取り用の枠を使用)内の表土1~2cmを採取し、イネミズゾウムシ成虫数を調査した。

調査地点: 宇都宮市瓦谷町 60W予察灯周辺、さくら市蒲須坂 水稻病害虫発生予察ほ場の畦畔

② 本田発生状況

		被害株数	成虫数	備考
密度	発生数	15	7	5月下旬 平成30年5月22~24日調査
	本年平均値	2.5	1.2	総調査ほ場数:12か所
	平年値	24.3	3.0	総調査株数:600株 調査株数:1ほ場50株 ※密度=株・頭数/100株 平年値はH20~29年の平均
概 評		少	やや少	

発生密度の推移

単位: 100株当たりの株数・頭数

	発生株(株数)	成虫数	備考(総調査ほ場数・総調査株数)
H29.5	12.5	1.7	12・600
H28.5	35.5	6.2	12・600
H27.5	29.8	4.7	12・600
H26.5	17.0	3.5	12・600
H25.5	49.0	5.7	12・600
H24.5	39.0	2.5	12・600
H23.5	5.0	0.5	8・400
H22.5	32.3	3.5	8・400
H21.5	13.3	0.8	16・800
H20.5	9.5	0.6	16・800

調査方法: 畦畔から3~4m内側の50株における被害株率と、葉上に生育するイネミズゾウムシの成虫数を調査した。

調査地点: 那須塩原市埼玉、大田原市親園、塩谷町玉生、さくら市蒲須坂、芳賀町祖母井、真岡市亀山の水稲病害虫発生予察ほ場(各地点2ほ場)

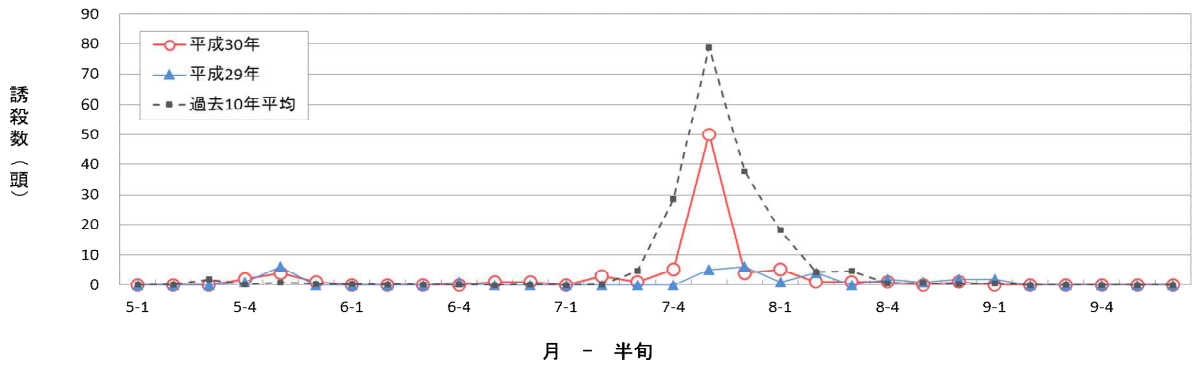
③ 誘殺数

(60W予察灯)

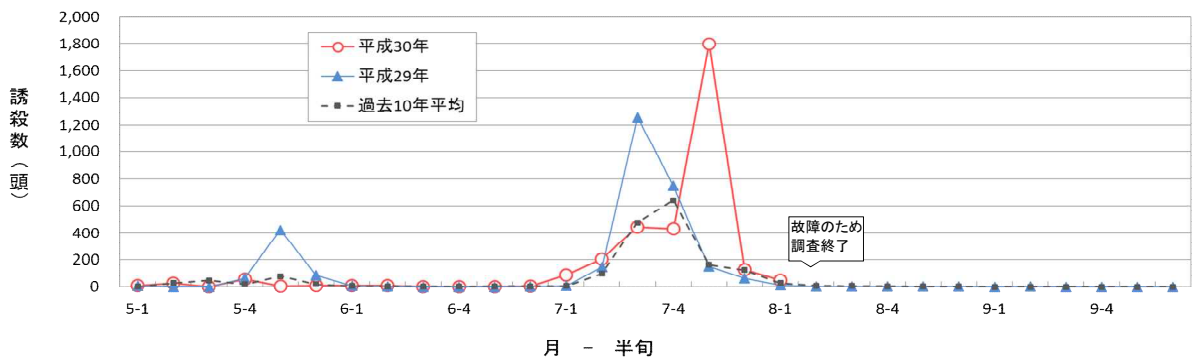
月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
5-1	0	0	0	8	1	8	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	27	27	0	0	0	0	0	1	0
5-3	0	2	0	1	48	0	0	0	0	1	1	0
5-4	2	0	1	55	19	63	0	0	1	2	0	1
5-5	4	1	6	4	78	422	0	1	0	3	0	0
5-6	1	0	0	10	19	86	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	8	6	8	1	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	9	4	5	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
6-5	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0
6-6	1	0	0	4	4	1	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	88	6	6	0	0	0	0	0	0
7-2	3	0	0	202	97	146	0	0	1	1	0	0
7-3	1	5	0	445	478	1,255	0	4	11	3	0	0
7-4	5	29	0	430	642	749	1	13	1	15	2	1
7-5	50	79	5	1,799	161	148	6	7	1	9	4	1
7-6	4	38	6	128	123	64	0	2	1	14	1	6
8-1	5	18	1	48	28	13	0	2	0	2	1	2
8-2	1	4	4	-※	9	4	0	1	1	1	1	0
8-3	1	5	0	-	6	2	0	0	1	0	0	0
8-4	1	1	2	-	3	2	0	0	0	0	0	0
8-5	0	1	1	-	2	3	0	0	0	7	0	0
8-6	1	0	2	-	2	2	0	0	0	0	0	0
9-1	0	1	2	-	1	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	-	0	2	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	7	4	7	105	193	579	0	1	1	6	2	1
6月計	2	1	1	22	25	14	1	0	0	0	1	0
7月計	63	150	11	3,092	1,507	2,368	7	26	15	42	6	8
8月計	9	29	10	48	49	26	0	2	2	10	2	2
9月計	0	1	2	0	1	2	0	0	0	0	0	0
合計	81	184	31	3,267	1,776	2,989	8	30	18	58	11	11

※) 宇都宮市瓦谷町予察灯は、故障の為8月第1半旬で調査終了とした。

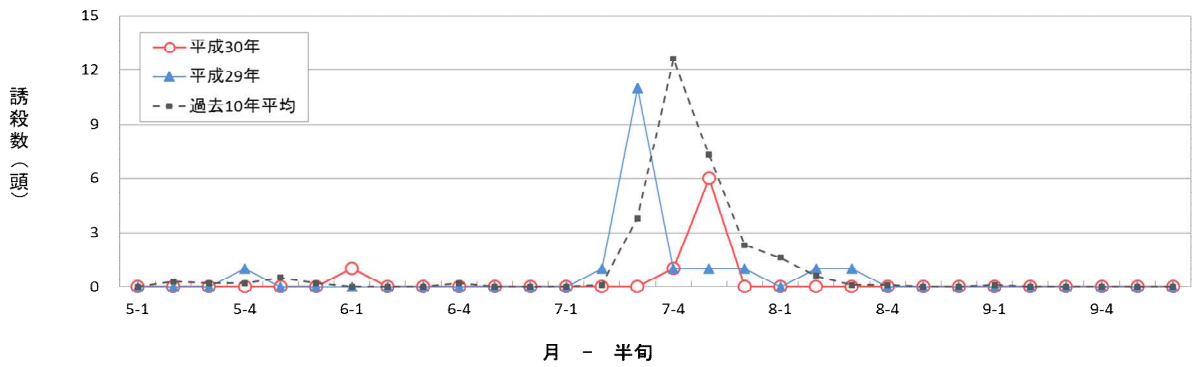
イネミズゾウムシの60W予察灯による誘殺数 (大田原市)



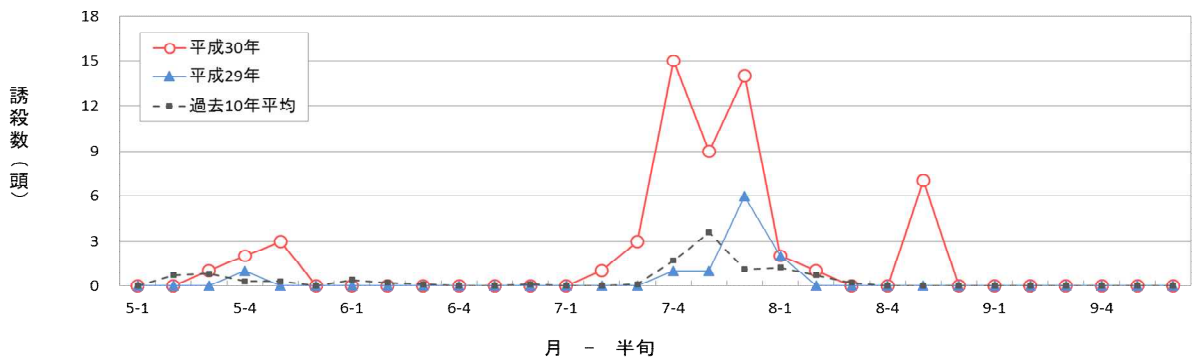
イネミズゾウムシの60W予察灯による誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



イネミズゾウムシの60W予察灯による誘殺数 (小山市)



イネミズゾウムシの60W予察灯による誘殺数 (栃木市大塚町)



(9) イネドロオイムシの発生状況

① 本田発生状況

		発生株 (株数)	成虫数	卵塊数	幼虫数	備考
発生ほ場数		3	2	0	1	5月下旬 平成30年5月22～24日調査 総調査地点数: 6 (1地点2ほ場調査, 計12ほ場) 総調査株数: 600株 調査株数: 1ほ場50株 平年値は過去5年の平均値 ※密度=株・頭/50株
ほ場率	本年平均値	25.0	16.7	0.0	8.3	
	平年値	25.0	25.0	15.3	13.9	
発生数(株・頭)		6.0	7.0	0.0	2.0	
密度	本年平均値	1.0	1.2	0.0	0.3	
	平年値	2.8	1.6	1.8	5.1	
概 評		平年並	平年並	少	やや少	

調査方法: 畦畔から3～4m内側(10条付近)の50株における被害株率と、葉上に生育するイネドロオイムシの虫数を調査した。
調査地点: 那須塩原市埼玉、大田原市親園、塩谷町玉生、さくら市蒲須坂、芳賀町祖母井、真岡市亀山の水稲病害虫発生予察ほ場(各地点2ほ場)

(10) ニカメイガの発生状況

① 越冬幼虫密度

		幼虫寄生株	幼虫寄生茎	備考
発生ほ場数(か所)		1	-	平成30年2月8・9日採集 総調査ほ場数: 8か所 総調査株数: 400株 総調査茎数: 9,561茎 (1ほ場稲株50株を採取し、ニカメイガ幼虫数を調査)
ほ場率	本年平均値	12.5	-	
	平年値	33.9	-	
発生数(株・本)		1	1	
発生率	本年平均値	0.3	0.0	
	平年値	1.8	0.1	
概 評		やや少	-	平年値はH20～29年の平均

発生ほ場率の推移

	発生ほ場率 (%)	発生ほ場数	備考 (総調査ほ場数)
H29	12.5	1	8
H28	25.0	2	8
H27	12.5	1	8
H26	37.5	3	8
H25	37.5	3	8
H24	37.5	3	8
H23	55.6	5	9
H22	66.7	6	9
H21	30.8	4	13
H20	23.1	3	13

発生株率・茎率の推移

	幼虫寄生株 (%)	幼虫寄生茎 (%)	備考 (総調査株数)
H29	0.3	0.0	400
H28	1.8	0.1	400
H27	0.5	0.0	400
H26	1.3	0.1	400
H25	3.0	0.2	400
H24	0.8	0.0	400
H23	3.1	0.2	450
H22	4.7	0.3	447
H21	1.2	0.1	650
H20	1.1	0.1	650

調査方法: 稲株を採集し、茎内に寄生しているニカメイガ幼虫数を調査した。

(9) イネドロオイムシの発生状況

① 本田発生状況

		発生株 (株数)	成虫数	卵塊数	幼虫数	備考
発生ほ場数		3	2	0	1	5月下旬 平成30年5月22～24日調査 総調査地点数: 6 (1地点2ほ場調査, 計12ほ場) 総調査株数: 600株 調査株数: 1ほ場50株 平年値は過去5年の平均値 ※密度=株・頭/50株
ほ場率	本年平均値	25.0	16.7	0.0	8.3	
	平年値	25.0	25.0	15.3	13.9	
発生数(株・頭)		6.0	7.0	0.0	2.0	
密度	本年平均値	1.0	1.2	0.0	0.3	
	平年値	2.8	1.6	1.8	5.1	
概 評		平年並	平年並	少	やや少	

調査方法: 畦畔から3～4m内側(10条付近)の50株における被害株率と、葉上に生育するイネドロオイムシの虫数を調査した。
調査地点: 那須塩原市埼玉、大田原市親園、塩谷町玉生、さくら市蒲須坂、芳賀町祖母井、真岡市亀山の水稲病害虫発生予察ほ場(各地点2ほ場)

(10) ニカメイガの発生状況

① 越冬幼虫密度

		幼虫寄生株	幼虫寄生茎	備考
発生ほ場数(か所)		1	-	平成30年2月8・9日採集 総調査ほ場数: 8か所 総調査株数: 400株 総調査茎数: 9,561茎 (1ほ場稲株50株を採取し、ニカメイガ幼虫数を調査)
ほ場率	本年平均値	12.5	-	
	平年値	33.9	-	
発生数(株・本)		1	1	
発生率	本年平均値	0.3	0.0	
	平年値	1.8	0.1	
概 評		やや少	-	平年値はH20～29年の平均

発生ほ場率の推移

	発生ほ場率 (%)	発生ほ場数	備考 (総調査ほ場数)
H29	12.5	1	8
H28	25.0	2	8
H27	12.5	1	8
H26	37.5	3	8
H25	37.5	3	8
H24	37.5	3	8
H23	55.6	5	9
H22	66.7	6	9
H21	30.8	4	13
H20	23.1	3	13

発生株率・茎率の推移

	幼虫寄生株 (%)	幼虫寄生茎 (%)	備考 (総調査株数)
H29	0.3	0.0	400
H28	1.8	0.1	400
H27	0.5	0.0	400
H26	1.3	0.1	400
H25	3.0	0.2	400
H24	0.8	0.0	400
H23	3.1	0.2	450
H22	4.7	0.3	447
H21	1.2	0.1	650
H20	1.1	0.1	650

調査方法: 稲株を採集し、茎内に寄生しているニカメイガ幼虫数を調査した。

ニカメイガ
② 誘殺数
(60W予察灯)

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
7-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	-※	0	0	0	0	0	0	0	0
8-3	0	1	0	-	1	0	0	0	0	0	1	0
8-4	0	3	0	-	0	0	0	0	0	0	2	0
8-5	0	3	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
8-6	0	2	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	1	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	2	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	8
6月計	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
7月計	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0
8月計	0	10	0	0	1	0	0	1	0	0	3	0
9月計	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	15	1	1	3	0	0	1	0	2	6	9

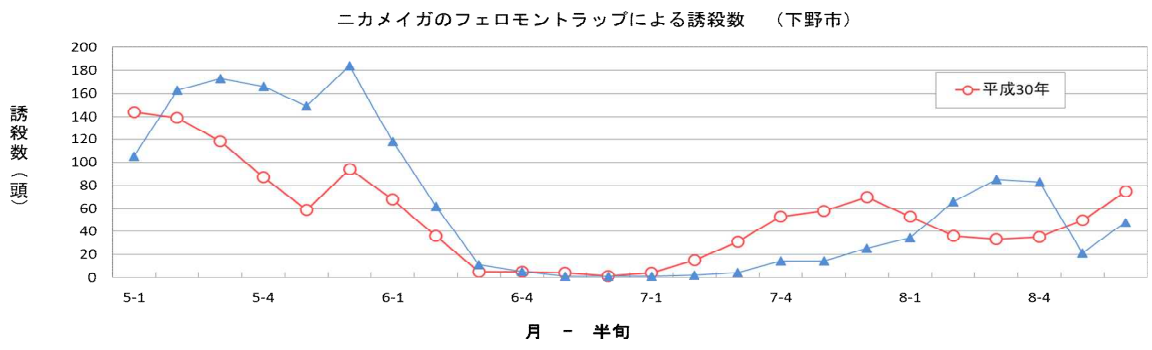
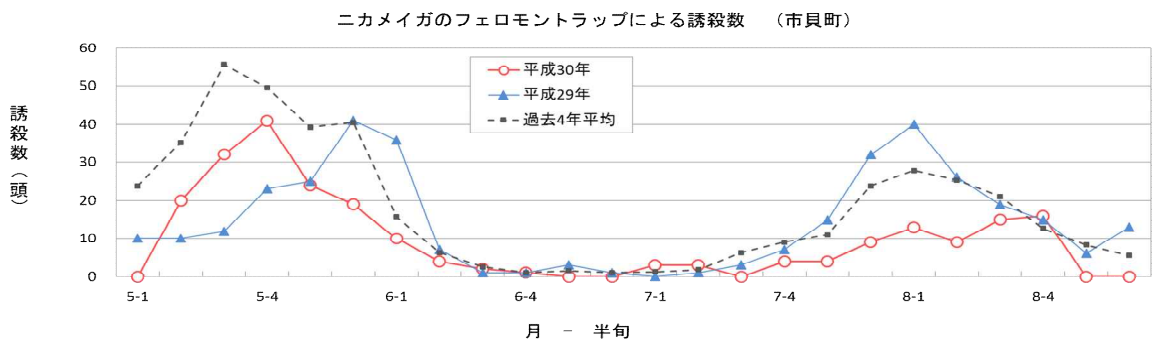
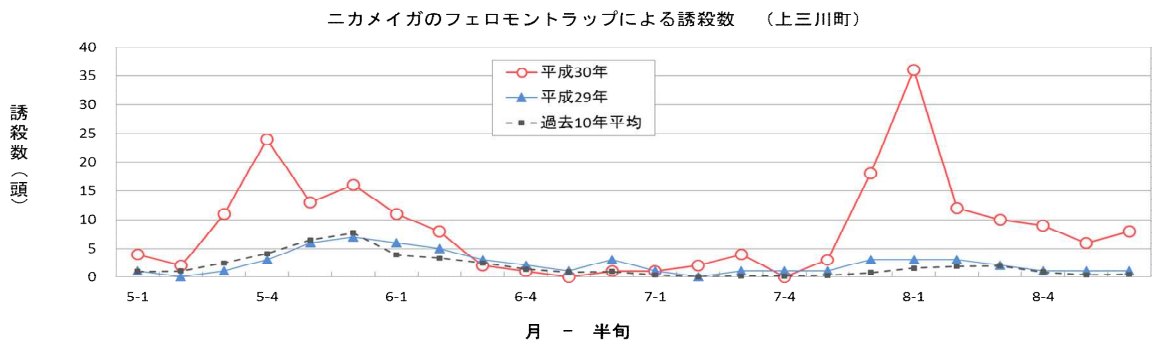
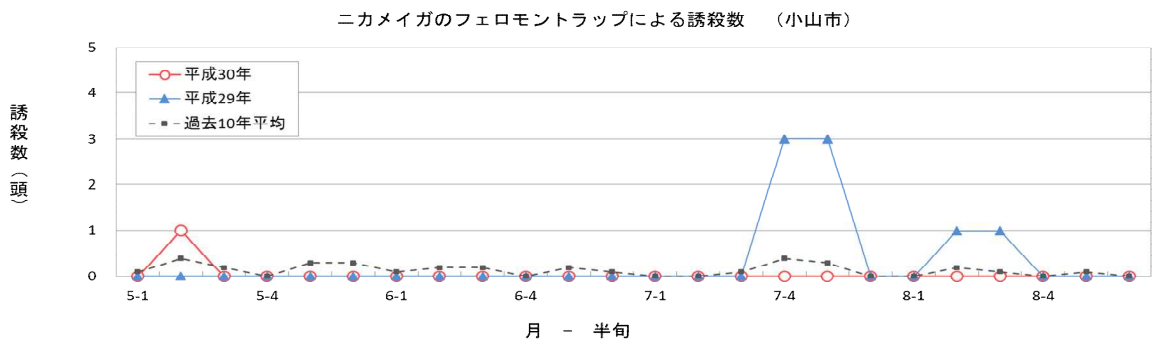
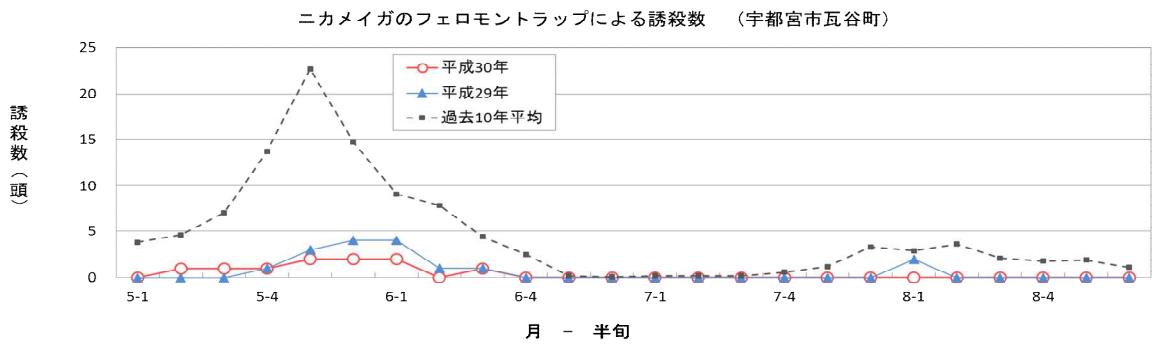
※) 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

※) 宇都宮市瓦谷町予察灯は、故障の為8月第1半旬で調査終了とした。

(フェロモントラップ)

月一 半旬	宇都宮市瓦谷町			上三川町※			小山市			市貝町※			下野市※		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
5-1	0	4	0	4	1	1	0	0	0	0	24	10	144	105	105
5-2	1	5	0	2	1	0	1	0	0	20	35	10	139	163	163
5-3	1	7	0	11	2	1	0	0	0	32	56	12	118	173	173
5-4	1	14	1	24	4	3	0	0	0	41	50	23	87	166	166
5-5	2	23	3	13	7	6	0	0	0	24	39	25	59	149	149
5-6	2	15	4	16	8	7	0	0	0	19	41	41	94	184	184
6-1	2	9	4	11	4	6	0	0	0	10	16	36	68	118	118
6-2	0	8	1	8	3	5	0	0	0	4	6	7	36	62	62
6-3	1	4	1	2	2	3	0	0	0	2	3	1	5	11	11
6-4	0	3	0	1	1	2	0	0	0	1	1	1	5	5	5
6-5	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	3	4	1	1
6-6	0	0	0	1	1	3	0	0	0	0	1	1	1	1	1
7-1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3	1	0	4	1	1
7-2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	2	1	15	2	2
7-3	0	0	0	4	0	1	0	0	0	0	6	3	31	4	4
7-4	0	1	0	0	0	1	0	0	3	4	9	7	53	14	14
7-5	0	1	0	3	0	1	0	0	3	4	11	15	58	14	14
7-6	0	3	0	18	1	3	0	0	0	9	24	32	70	25	25
8-1	0	3	2	36	2	3	0	0	0	13	28	40	53	34	34
8-2	0	4	0	12	2	3	0	0	1	9	25	26	36	66	66
8-3	0	2	0	10	2	2	0	0	1	15	21	19	33	85	85
8-4	0	2	0	9	1	1	0	0	0	16	13	15	35	83	83
8-5	0	2	0	6	0	1	0	0	0	0	8	6	50	21	21
8-6	0	1	0	8	0	1	0	0	0	0	6	13	75	48	48
5月計	7	67	8	70	23	18	1	1	0	136	244	121	641	940	940
6月計	3	24	6	23	13	20	0	1	0	17	28	49	119	198	198
7月計	0	6	0	28	1	7	0	1	6	23	53	58	231	60	60
8月計	0	13	2	81	7	11	0	0	2	53	101	119	282	337	337
合計	10	110	16	202	43	56	1	3	8	229	425	347	1,273	1,535	1,535

※病害虫防除員による調査



(11) 病害虫発生予察ほ場における害虫発生状況(すくいとり調査)

① 7月中旬

		ウンカ類 幼虫	ヒメトビ ウンカ 成虫	セジロウ ンカ 成虫	ヨコバイ 類 幼虫	ツマグロ ヨコバイ 成虫	イナズマ ヨコバイ 成虫	イナゴ	フタオビ コヤガ幼 虫	イチモン ジセセリ 幼虫	備考
発生ほ場数(か所)		22	36	0	0	7	1	25	2	0	平成30年7月9~13日調査 総調査ほ場数:39ほ場 (20回振りすくい取り) 平年値はH20~29年の平均
ほ場率	本年平均値	56.4	92.3	0.0	0.0	17.9	2.6	64.1	5.1	0.0	
	平年値	51.1	83.4	8.1	12.8	45.9	2.0	53.0	20.7	4.6	
すくいとり頭数合計(頭)		175	472	0	0	9	1	148	5	0	
頭数	本年平均値	4.5	12.1	0.0	0.0	0.2	0.0	3.8	0.1	0.0	
	平年値	21.3	16.7	0.1	0.2	1.4	0.0	6.3	0.9	0.1	
概 評		平年並	平年並	少	少	やや少	やや少	平年並	やや少	少	

発生地点率の推移

		ウンカ類 幼虫	ヒメトビ ウンカ 成虫	セジロウ ンカ 成虫	ヨコバイ 類 幼虫	ツマグロ ヨコバイ 成虫	イナズマ ヨコバイ 成虫	イナゴ	フタオビ コヤガ幼 虫	イチモン ジセセリ 幼虫	備考 (総調査地点数)
H29.7		69.2	97.4	0.0	0.0	30.8	0.0	64.1	5.1	2.6	39
H28.7		23.1	87.2	20.5	2.6	33.3	2.6	41.0	20.5	2.6	39
H27.7		71.8	79.5	2.6	10.3	25.6	0.0	53.8	2.6	2.6	39
H26.7		68.4	81.6	0.0	31.6	34.2	0.0	55.3	2.6	0.0	38
H25.7		89.7	100.0	0.0	20.5	53.8	7.7	53.8	25.6	0.0	39
H24.7		64.1	69.2	10.3	15.4	51.3	0.0	59.0	28.2	0.0	39
H23.7		69.2	92.3	0.0	25.6	46.2	5.1	46.2	41.0	2.6	39
H22.7		35.0	82.5	42.5	20.0	85.0	0.0	47.5	47.5	2.5	40
H21.7		20.8	75.0	0.0	2.1	50.0	4.2	50.0	33.3	2.1	48
H20.7		0.0	69.2	5.1	0.0	48.7	0.0	59.0	0.0	30.8	39

すくい取り頭数の推移

		ウンカ類 幼虫	ヒメトビ ウンカ 成虫	セジロウ ンカ 成虫	ヨコバイ 類 幼虫	ツマグロ ヨコバイ 成虫	イナズマ ヨコバイ 成虫	イナゴ	フタオビ コヤガ幼 虫	イチモン ジセセリ 幼虫	備考 (調査日の平均)
H29.7		3.5	18.5	0.0	0.0	0.7	0.0	7.4	0.1	0.0	7/12
H28.7		0.5	5.8	0.3	0.0	0.6	0.0	2.4	1.2	0.0	7/12
H27.7		14.5	8.7	0.0	0.3	0.6	0.0	4.6	0.0	0.0	7/10
H26.7		118.1	36.9	0.0	0.6	1.1	0.0	13.6	0.0	0.0	7/8
H25.7		37.9	28.2	0.0	0.3	1.3	0.1	8.2	1.2	0.0	7/10
H24.7		30.8	38.5	0.1	0.3	2.1	0.0	4.4	1.1	0.0	7/12
H23.7		5.8	14.0	0.0	0.5	1.8	0.2	4.0	2.0	0.0	7/13
H22.7		0.9	7.5	0.9	0.4	3.4	0.0	5.0	2.6	0.0	7/13
H21.7		1.0	6.9	0.0	0.0	0.8	0.0	6.2	0.7	0.0	7/13
H20.7		0.0	2.1	0.1	0.0	1.6	0.0	7.5	0.0	0.6	7/14

② 7月中旬(斑点米カメムシ類)

		クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソミドリ カスミカメ		アカスジカスミカメ		斑点米カ メムシ類 成幼虫	うち カスミカメ 類成幼虫	備考
		幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫			
発生ほ場数(か所)		0	3	0	0	0	4	0	0	7	4	平成30年7月9~13日 調査 総調査ほ場数:39ほ場 (20回振りすくい取り) 平年値はH20~29年の平均
ほ場率	本年平均値	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	10.3	0.0	0.0	17.9	10.3	
	平年値	0.0	2.5	0.0	1.2	0.4	4.0	0.3	2.5	9.7	6.7	
すくいとり頭数合計(頭)		0	4	0	0	0	5	0	0	9	5	
頭数	本年平均値	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1	
	平年値	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.2	0.1	
概 評		少	やや多	少	少	少	やや多	少	少	やや多	やや多	

発生地点率の推移

		クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソミドリ カスミカメ		アカスジカスミカメ		斑点米カ メムシ類 成幼虫	うち カスミカメ 類成幼虫	備考 (総調査地点数)
		幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫			
H29.7		0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	12.8	0.0	0.0	17.9	12.8	39
H28.7		0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	7.7	5.1	39
H27.7		0.0	2.6	0.0	2.6	0.0	7.7	2.6	5.1	17.9	12.8	39
H26.7		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38
H25.7		0.0	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	0.0	2.6	7.7	2.6	39
H24.7		0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	2.6	0.0	0.0	5.1	2.6	39
H23.7		0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	12.8	7.7	39
H22.7		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	5.0	10.0	10.0	40
H21.7		0.0	2.1	0.0	2.1	4.2	4.2	0.0	4.2	12.5	10.4	48
H20.7		0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	5.1	2.6	39

すくい取り頭数の推移

		クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソミドリ カスミカメ		アカスジカスミカメ		斑点米カ メムシ類 成幼虫	うち カスミカメ 類成幼虫	備考 (調査日の平均)
		幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫			
H29.7		0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.4	0.2	7/12
H28.7		0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1	7/12
H27.7		0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.4	0.6	0.5	7/10
H26.7		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7/8
H25.7		0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	7/10
H24.7		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	7/12
H23.7		0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	7/13
H22.7		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	7/13
H21.7		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.3	7/13
H20.7		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	7/14

③ 8月上旬

		ウンカ類 幼虫	ヒメトビ ウンカ 成虫	セジロウ ンカ 成虫	ヨコバイ 類 幼虫	ツマグロ ヨコバイ 成虫	イナズマ ヨコバイ 成虫	イナゴ	フタオビ コヤガ幼 虫	イチモン ジセセリ 幼虫	コブノメ イガ成虫	備考
発生ほ場数(か所)		78	77	0	33	56	0	50	4	9	0	平成30年7月30～8月1日調査 総調査ほ場数:78ほ場 (20回振りすくい取り) 平年値はH20～29年の平均
ほ場率	本年平均値	100.0	98.7	0.0	42.3	71.8	0.0	64.1	5.1	11.5	0.0	
	平年値	89.7	93.6	27.1	62.1	76.0	4.0	52.0	14.9	13.1	0.0	
すくいとり頭数合計(頭)		44,611	4,888	0	1,083	2,181	0	204	19	12	0	
頭数	本年平均値	571.9	62.7	0.0	13.9	28.0	0.0	2.6	0.2	0.2	0.0	
	平年値	314.8	38.1	1.6	43.6	39.3	0.1	4.3	0.8	0.0	0.0	
概 評		やや多	平年並	少	平年並	平年並	少	平年並	やや少	平年並	少	

発生地点率の推移

		ウンカ類 幼虫	ヒメトビ ウンカ 成虫	セジロウ ンカ 成虫	ヨコバイ 類 幼虫	ツマグロ ヨコバイ 成虫	イナズマ ヨコバイ 成虫	イナゴ	フタオビ コヤガ幼 虫	イチモン ジセセリ 幼虫	コブノメ イガ成虫	備考 (総調査地点数)
H29.8		83.3	76.7	3.3	60.0	60.0	0.0	70.0	0.0	3.3	0.0	30
H28.8		86.7	96.7	13.3	53.3	60.0	0.0	46.7	0.0	0.0	0.0	30
H27.8		96.7	100.0	43.3	70.0	76.7	0.0	56.7	0.0	0.0	0.0	-30
H26.8		90.0	76.7	0.0	80.0	73.3	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	-30
H25.8		93.3	100.0	6.7	76.7	80.0	0.0	60.0	10.0	0.0	0.0	-30
H24.8		93.3	96.7	20.0	76.7	73.3	0.0	66.7	20.0	3.3	0.0	-30
H23.8		83.3	83.3	6.7	76.7	76.7	3.3	63.3	53.3	3.3	0.0	-30
H22.8		96.7	100.0	100.0	93.3	100.0	0.0	83.3	53.3	10.0	0.0	-30
H21.8		50.0	80.0	30.0	80.0	80.0	3.3	80.0	16.7	10.0	0.0	-30
H20.8		66.7	86.7	26.7	50.0	66.7	0.0	73.3	13.3	3.3	0.0	-30

すくい取り頭数の推移

		ウンカ類 幼虫	ヒメトビ ウンカ 成虫	セジロウ ンカ 成虫	ヨコバイ 類 幼虫	ツマグロ ヨコバイ 成虫	イナズマ ヨコバイ 成虫	イナゴ	フタオビ コヤガ幼 虫	イチモン ジセセリ 幼虫	コブノメ イガ成虫	備考 (調査日の平均)
H29.8		70.1	12.7	0.0	41.1	38.5	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0	8/1
H28.8		37.7	14.2	0.1	85.7	52.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	8/1
H27.8		121.6	16.2	0.7	46.4	42.5	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	-8/1
H26.8		47.8	9.2	0.0	19.4	18.5	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	-8/1
H25.8		84.0	40.8	0.1	45.4	37.0	0.0	11.4	0.1	0.0	0.0	-8/2
H24.8		91.9	23.2	0.2	47.2	30.4	0.0	3.8	0.2	0.0	0.0	-8/2
H23.8		43.4	11.8	0.1	7.8	8.1	0.0	4.3	2.2	0.0	0.0	-8/2
H22.8		262.4	47.7	13.5	202.9	165.4	0.0	10.0	9.3	0.3	0.0	-8/2
H21.8		7.2	9.5	0.5	19.0	26.8	0.0	8.8	0.4	0.2	0.0	-8/3
H20.8		7.9	10.2	1.3	19.1	31.5	0.0	3.5	0.2	0.0	0.0	-8/4

④ 8月上旬(斑点米カメムシ類)

		クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソドリ カスミカメ		アサスジカスミカメ		斑点米カ メムシ類 成幼虫	うち カスミカメ 類成幼虫	備考
		幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫			
発生ほ場数(か所)		4	10	0	1	2	19	0	14	29	22	平成30年7月30～8月1 0日調査 総調査ほ場数:78ほ場 (20回振りすくい取り) 平年値はH20～29年の平均
ほ場率	本年平均値	5.1	12.8	0.0	1.3	2.6	24.4	0.0	17.9	37.2	28.2	
	平年値	2.7	7.3	0.3	2.2	0.3	10.0	1.0	11.9	25.4	18.8	
すくいとり頭数合計(頭)		88	31	0	1	2	52	0	27	201	81	
頭数	本年平均値	1.1	0.4	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.3	2.6	1.0	
	平年値	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.5	1.2	0.8	
概 評		多	やや多	少	やや少	平年並	多	少	やや多	やや多	やや多	

発生地点率の推移

		クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソドリ カスミカメ		アサスジカスミカメ		斑点米カ メムシ類 成幼虫	うち カスミカメ 類成幼虫	備考 (総調査地点数)
		幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫			
H29.8		1.3	15.4	0.0	2.6	0.0	15.4	3.8	9.0	38.5	25.6	78
H28.8		2.6	5.1	0.0	0.0	0.0	10.3	0.0	10.3	23.1	16.7	78
H27.8		2.6	3.8	0.0	1.3	0.0	14.1	0.0	9.0	23.1	16.7	78
H26.8		1.3	3.8	0.0	5.1	0.0	2.6	0.0	6.4	14.1	7.7	78
H25.8		1.3	6.4	0.0	1.3	0.0	3.8	0.0	12.8	20.5	16.7	78
H24.8		6.4	5.1	1.3	1.3	0.0	12.8	1.3	16.7	26.9	23.1	78
H23.8		5.1	9.0	1.3	7.7	0.0	7.7	3.8	7.7	21.8	12.8	78
H22.8		2.5	13.8	0.0	0.0	0.0	15.0	0.0	21.3	38.8	28.8	80
H21.8		0.0	3.8	0.0	1.3	0.0	14.1	1.3	17.9	28.2	26.9	78
H20.8		3.8	6.4	0.0	1.3	2.6	3.8	0.0	7.7	19.2	12.8	78

すくい取り頭数の推移

		クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソドリ カスミカメ		アサスジカスミカメ		斑点米カ メムシ類 成幼虫	うち カスミカメ 類成幼虫	備考 (調査日の平均)
		幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫			
H29.8		0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.2	1.0	0.6	8/1
H28.8		0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.4	0.3	8/2
H27.8		0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.2	1.3	0.9	8/1
H26.8		0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	0.2	8/1
H25.8		0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.6	0.4	8/3
H24.8		0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.4	1.2	1.0	8/1
H23.8		0.3	0.3	0.0	0.1	0.0	0.3	0.1	1.8	2.9	2.2	8/2
H22.8		0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.8	1.6	1.3	8/2
H21.8		0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.4	1.3	1.2	8/3
H20.8		0.8	0.4	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.3	1.7	0.4	8/4

(12) 斑点米カメムシ類の発生状況
①イネ科雑草地における発生状況(6月下旬)

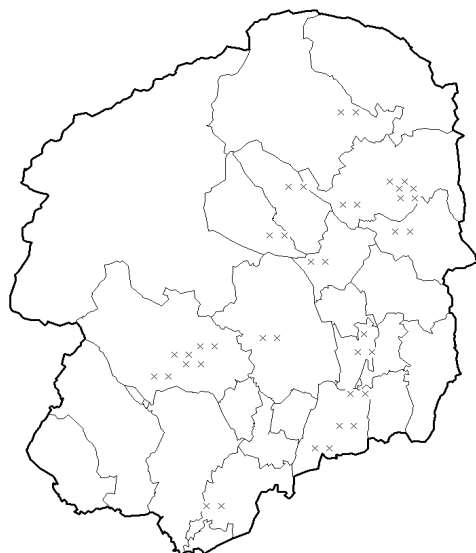
	クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソドリカスミカメ		アサジカスミカメ		斑点米カメムシ類	備考	
	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫			
発生ほ場数(か所)	0	1	4	9	17	30	10	24	36	平成30年6月18・19日調査 総調査地点数:39 (イネ科雑草地、牧草地等における20回振りすくい取り) 平年値はH20~29年の平均	
ほ場率	本年平均値	0.0	2.6	10.3	23.1	48.7	82.1	28.2	64.1		97.4
	平年値	0.8	14.5	10.0	41.2	56.2	90.1	52.9	75.1		99.4
すくいとり頭数合計(頭)	0	1	6	15	149	1,062	105	150	1,654		
頭数	本年平均値	0.0	0.0	0.2	0.4	4.8	27.5	2.7	3.9		44.0
	平年値	0.0	1.4	0.2	1.0	8.2	15.4	45.5	15.1	91.1	
概評	少		やや少		平年並		やや少		やや少		

発生地点率の推移

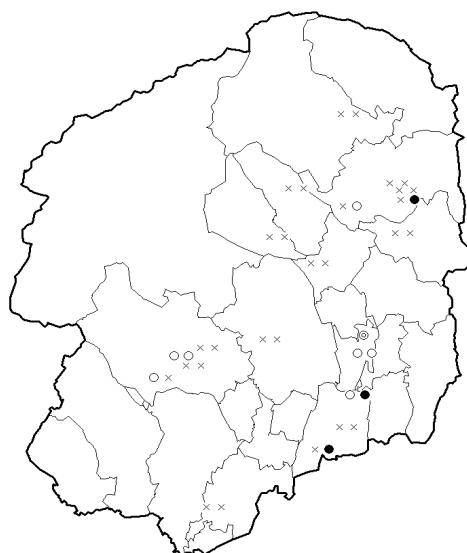
	クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソドリカスミカメ		アサジカスミカメ		斑点米カメムシ類	備考 (総調査地点数)
	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫		
H29.7	0.0	0.0	2.6	15.4	33.3	87.2	15.4	74.4	100.0	39
H28.7	0.0	7.9	13.2	42.1	57.9	94.7	36.8	63.2	100.0	38
H27.7	0.0	3.6	14.3	30.4	62.5	98.2	60.7	82.1	100.0	56
H26.7	0.0	4.2	4.2	39.6	45.8	100.0	50.0	85.4	100.0	48
H25.7	0.0	3.3	10.0	51.7	76.7	98.3	81.7	86.7	100.0	60
H24.7	0.0	5.3	3.5	29.8	36.8	78.9	33.3	75.4	96.5	57
H23.7	0.0	31.1	8.9	66.7	71.1	88.9	75.6	77.8	100.0	45
H22.7	0.0	36.7	20.4	49.0	65.3	89.8	61.2	69.4	100.0	49
H21.7	8.3	50.0	16.7	66.7	62.5	91.7	58.3	75.0	100.0	24
H20.7	0.0	2.9	5.9	20.6	50.0	73.5	55.9	61.8	97.1	34

すくい取り頭数の推移

	クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソドリカスミカメ		アサジカスミカメ		斑点米カメムシ類	備考 (調査日の平均)
	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫		
H29.7	0.0	0.0	0.0	0.2	3.3	11.3	1.1	5.3	24.7	6/20
H28.7	0.0	0.2	0.2	1.4	5.4	20.3	3.6	13.0	46.6	6/21
H27.7	0.0	0.0	0.2	0.7	6.4	36.6	20.4	15.9	83.9	6/24
H26.7	0.0	0.0	0.1	0.8	3.4	22.1	22.6	28.2	84.5	6/23
H25.7	0.0	0.2	0.2	1.0	15.1	23.2	113.0	31.4	187.6	6/26
H24.7	0.0	0.1	0.2	0.8	2.8	4.2	15.7	5.8	32.0	6/26
H23.7	0.0	1.0	0.2	1.9	22.8	9.7	192.0	12.3	243.9	6/27
H22.7	0.0	2.1	0.3	1.1	11.8	9.6	65.3	9.7	108.6	6/28
H21.7	0.1	10.2	0.2	2.2	5.2	11.2	11.7	23.3	68.7	6/29
H20.7	0.0	0.0	0.1	0.4	5.6	5.9	9.6	6.2	30.3	6/30

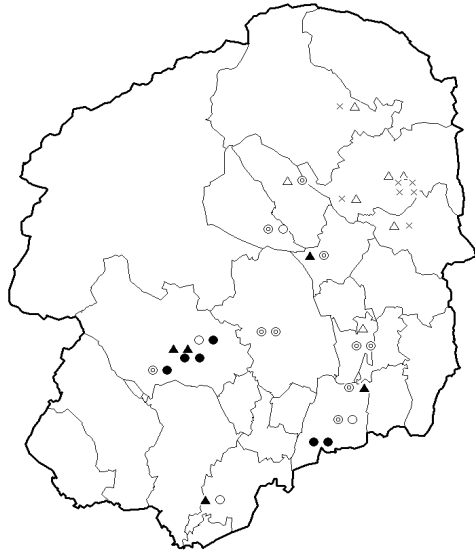


クモヘリカメムシのすくい取り頭数の状況
(6月下旬調査)

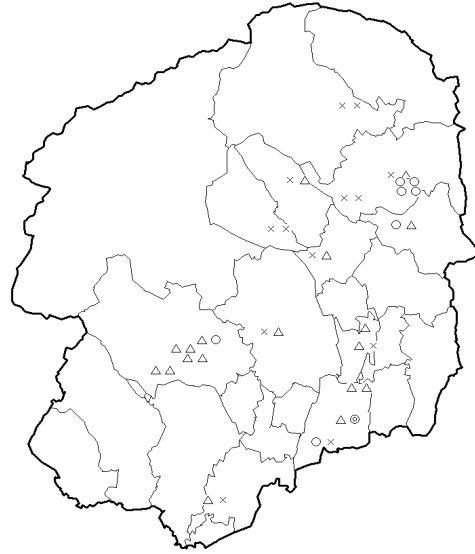


ホソハリカメムシのすくい取り頭数の状況
(6月下旬調査)

程度	無	やや少	少	平年並	やや多	多
平年比(%)	0	1~19	20~59	60~140	141~180	181~
記号	×	△	○	◎	▲	●



アカヒゲホソミドリカスミカメのすくい取り頭数の状況
(6月下旬調査)



アカスジカスミカメのすくい取り頭数の状況
(6月下旬調査)

程度	無	やや少	少	平年並	やや多	多
平年比(%)	0	1~19	20~59	60~140	141~180	181~
記号	x	△	○	◎	▲	●

② イネ科雑草地における発生状況 (7月中旬)

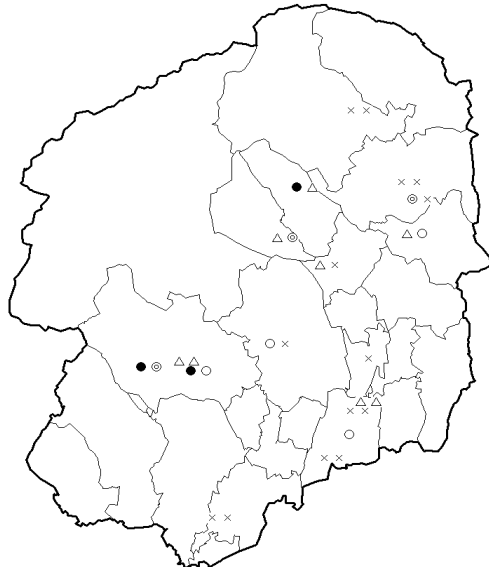
	クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソミドリカスミカメ		アカスジカスミカメ		斑点米カメムシ類 成虫	備考	
	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫			
発生ほ場数(か所)	1	18	11	22	30	29	24	24	32	平成30年7月9日～ 13日調査 総調査地点数: 32 (イネ科雑草地、畦畔等 における20回振り すくい取り) 平年値はH20～29年の平均	
ほ場率	本年平均値	3.1	56.3	34.4	75.0	93.8	90.6	75.0	75.0		100.0
	平年値	4.0	42.9	22.6	71.6	87.4	95.3	88.7	95.6		100.0
すくいとり頭数合計(頭)	1	606	24	83	7,716	5,067	1,931	1,236	16,913		
	本年平均値	0.0	18.9	0.8	2.7	243.9	162.8	60.3	38.6		536.4
平年値	0.2	25.1	1.2	3.0	42.4	36.0	49.5	61.7	195.8		
概 評	平年並		平年並		やや多		平年並		やや多		

発生地点率平年値計算表

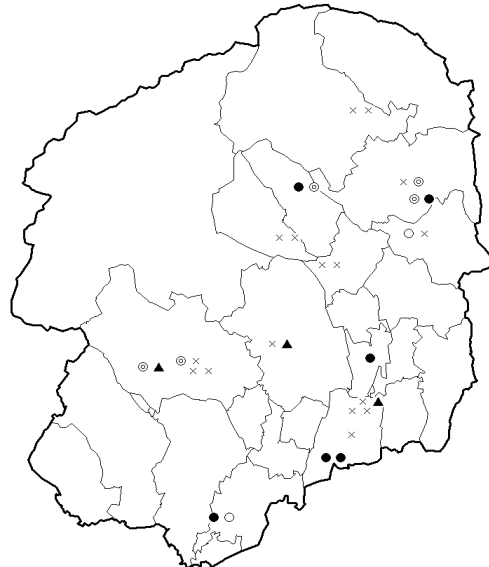
	クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソミドリカスミカメ		アカスジカスミカメ		斑点米カメムシ類 成虫	備考 (総調査地点数)
	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫		
H29.7	0.0	33.3	39.4	69.7	81.8	90.9	84.8	97.0	100.0	33
H28.7	0.0	38.7	9.7	83.9	96.8	100.0	83.9	87.1	100.0	31
H27.7	0.0	16.7	9.5	38.1	90.5	97.6	83.3	100.0	100.0	42
H26.7	0.0	22.9	11.4	54.3	74.3	100.0	94.3	100.0	100.0	35
H25.7	0.0	48.5	36.4	87.9	90.9	100.0	97.0	100.0	100.0	33
H24.7	-	38.2	-	82.4	-	94.1	-	88.2	100.0	34
H23.7	-	63.2	-	89.5	-	100.0	-	100.0	100.0	19
H22.7	-	52.4	-	73.8	-	92.9	-	95.2	100.0	42
H21.7	27.8	22.2	44.4	72.2	77.8	77.8	77.8	88.9	100.0	18
H20.7	0.0	92.9	7.1	64.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	14

すくい取り頭数平年値計算表

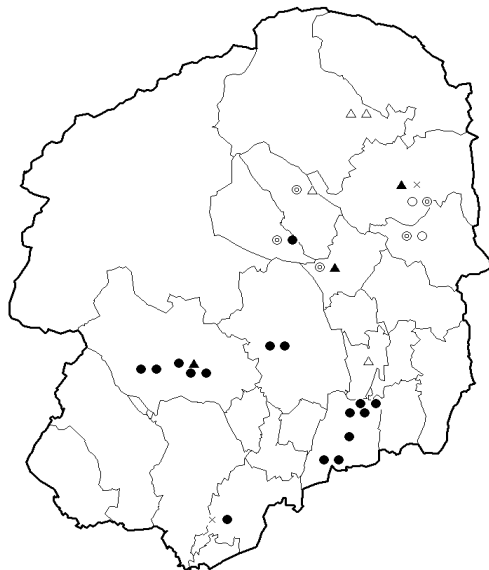
	クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソミドリカスミカメ		アカスジカスミカメ		斑点米カメムシ類 成虫	備考 (調査日の平均)
	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫		
H29.7	0.0	25.4	1.3	2.8	60.8	74.0	50.9	51.3	275.1	7/11
H28.7	0.0	20.5	0.2	2.3	94.0	55.9	74.7	35.9	288.2	7/12
H27.7	0.0	0.4	0.3	0.7	44.0	25.3	32.3	30.6	137.4	7/10
H26.7	0.0	0.9	0.3	1.5	23.2	26.9	54.4	35.0	142.0	7/9
H25.7	0.0	12.0	1.0	6.1	61.1	65.0	103.7	126.8	380.0	7/11
H24.7	-	11.6	-	5.5	-	24.4	-	40.0	85.6	7/11
H23.7	-	79.6	-	4.4	-	55.5	-	154.5	300.1	7/14
H22.7	-	19.5	-	2.8	-	13.2	-	49.8	94.9	7/15
H21.7	1.7	8.9	4.4	2.4	13.5	6.6	30.4	23.7	98.6	7/14
H20.7	0.0	71.9	0.7	1.7	0.0	12.9	0.0	69.1	156.3	7/17



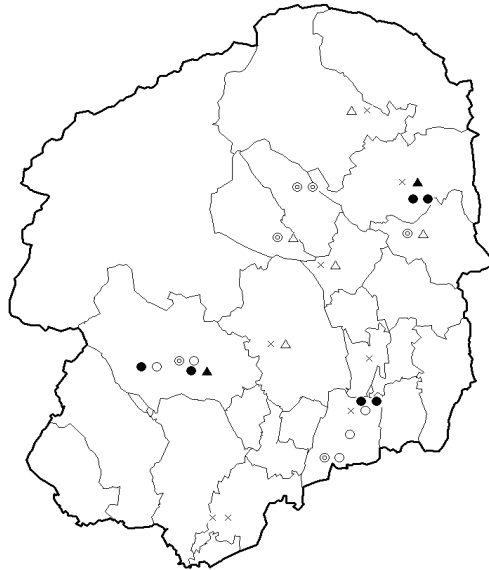
クモヘリカメムシのすくい取り頭数の状況
(7月下旬調査)



ホソハリカメムシのすくい取り頭数の状況
(7月中旬調査)



アカヒゲホソミドリカスミカメのすくい取り頭数の状況
(7月中旬調査)



アカスジカスミカメのすくい取り頭数の状況
(7月中旬調査)

程度	無	やや少	少	平年並	やや多	多
平年比(%)	0	1~19	20~59	60~140	141~180	181~
記号	x	△	○	◎	▲	●

③ クモヘリカメムシの誘殺数

(フェロモントラップ)

月一 半旬	宇都宮市瓦谷町			芳賀町稲毛田			茂木町※			矢板市※		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 4年 平均	H29年	H30年	過去 4年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
5-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	2
7-1	0	0	0	0	0	0	1	16	1	18	1	3
7-2	1	0	0	0	0	0	2	17	6	22	3	3
7-3	1	0	0	0	0	0	3	11	25	16	5	3
7-4	2	0	1	0	0	0	6	5	8	6	7	1
7-5	1	0	1	0	0	0	7	2	2	2	6	0
7-6	2	1	2	0	0	0	9	8	2	1	4	0
8-1	4	1	2	0	0	0	5	6	6	0	1	1
8-2	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	1
8-3	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0
8-4	1	1	0	1	1	0	0	2	2	0	0	0
8-5	6	0	0	1	1	1	0	4	12	0	0	0
8-6	6	1	3	3	0	0	0	4	10	0	1	1
9-1	2	1	3	3	1	0	-	0	0	-	1	1
9-2	0	0	1	0	0	0	-	0	0	-	0	0
9-3	1	0	1	0	1	0	-	0	0	-	0	0
9-4	0	0	0	0	1	0	-	0	0	-	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	-	0	0	-	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	-	0	0	-	0	0
5月計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月計	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	1	2
7月計	7	2	4	0	1	0	28	58	44	65	25	10
8月計	17	3	5	5	2	1	7	17	35	0	2	3
9月計	3	1	5	3	3	0	0	0	0	0	1	1
合計	27	5	14	8	5	1	35	80	79	65	28	16

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

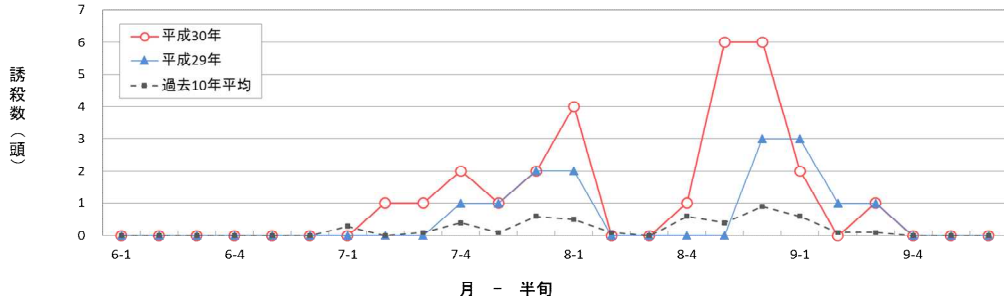
※病害虫防除員による調査

(60W予察灯)

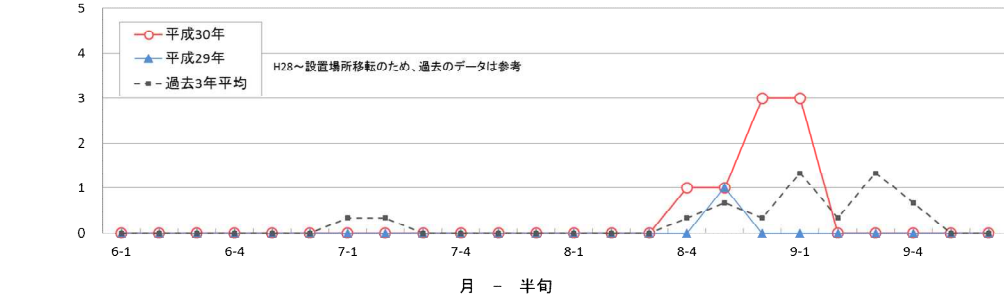
月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
7-4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	-※	0	0	0	0	0	0	0	0
8-3	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
8-5	0	0	0	-	1	0	0	0	0	0	0	0
8-6	0	0	0	-	1	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月計	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
8月計	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
9月計	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	0	0	0	4	1	0	0	1	0	0	0

※宇都宮市瓦谷町予察灯は、故障の為8月第1半旬で調査終了とした。

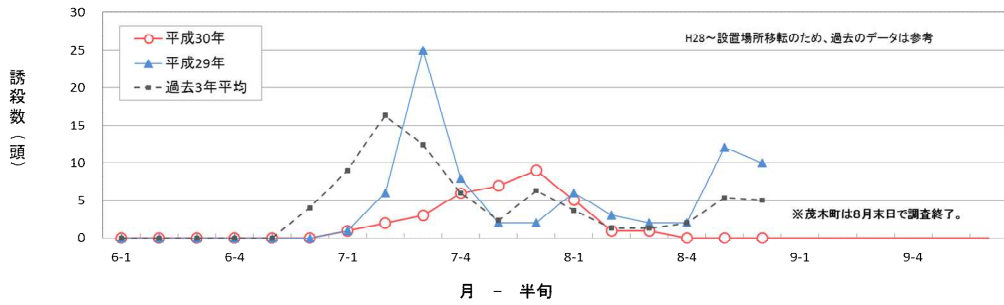
クモヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



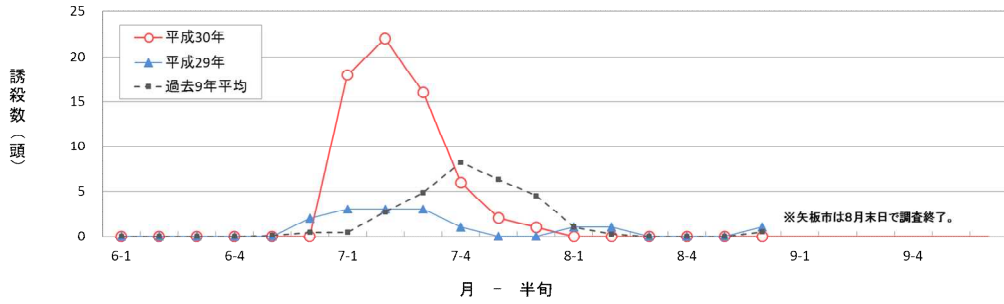
クモヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (芳賀町稲毛田)



クモヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (茂木町)



クモヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (矢板市)



④ ホソハリカメムシの誘殺数

(60W予察灯)

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	-※	0	0	0	0	0	0	0	0
8-3	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
8-5	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
8-6	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	-	0	0	0	0	0	1	0	0
9-2	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1

※) 宇都宮市瓦谷町予察灯は、故障の為8月第1半旬で調査終了とした。

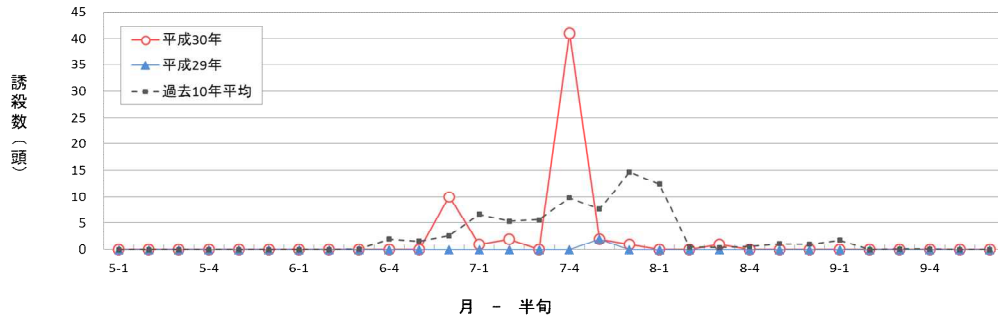
⑤ アカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺数

(60W予察灯)

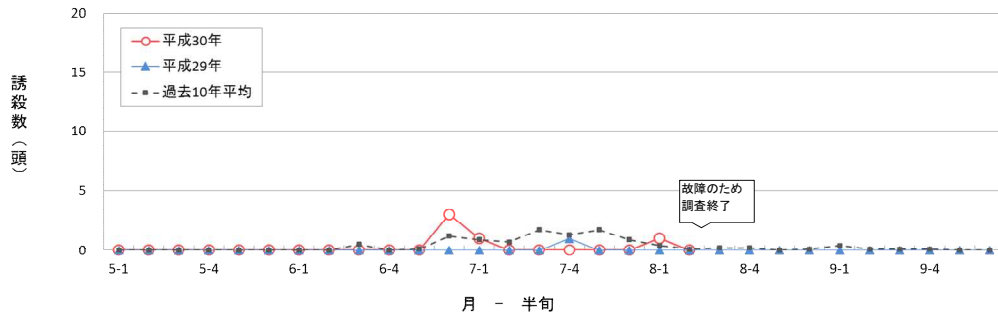
月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0
6-4	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0
6-5	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0
6-6	10	3	0	3	1	0	0	2	0	2	2	1
7-1	1	7	0	1	1	0	0	1	0	0	2	2
7-2	2	5	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0
7-3	0	6	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0
7-4	41	10	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0
7-5	2	8	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0
7-6	1	15	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	12	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	1	0	-※	0	0	1	0	0	0	1	0
8-3	1	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	1	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
8-5	0	1	0	-	0	0	0	0	0	0	0	1
8-6	0	1	0	-	0	0	0	0	0	2	0	0
9-1	0	2	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	-	0	0	0	0	0	2	0	0
9-3	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	10	6	0	3	2	0	1	11	0	2	4	1
7月計	47	50	2	1	7	1	0	2	0	1	5	2
8月計	1	16	0	1	1	0	1	0	0	2	1	1
9月計	0	2	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0
合計	58	74	2	5	11	1	2	14	0	7	10	4

※) 宇都宮市瓦谷町予察灯は、故障の為8月第1半旬で調査終了とした。

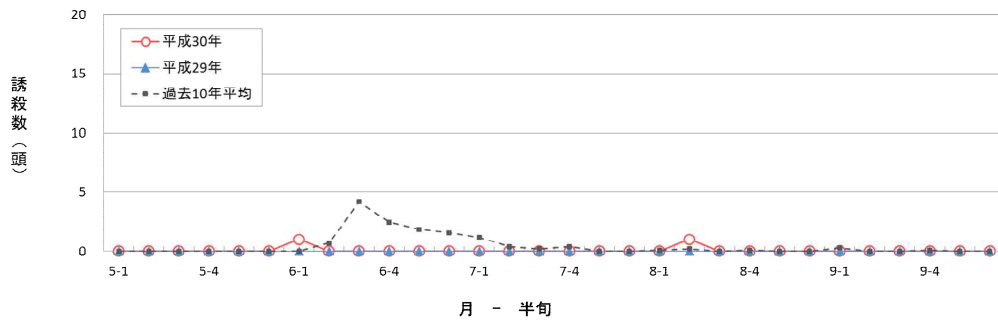
アカヒゲホソミドリカスミカメの60W予察灯による誘殺数 (大田原市)



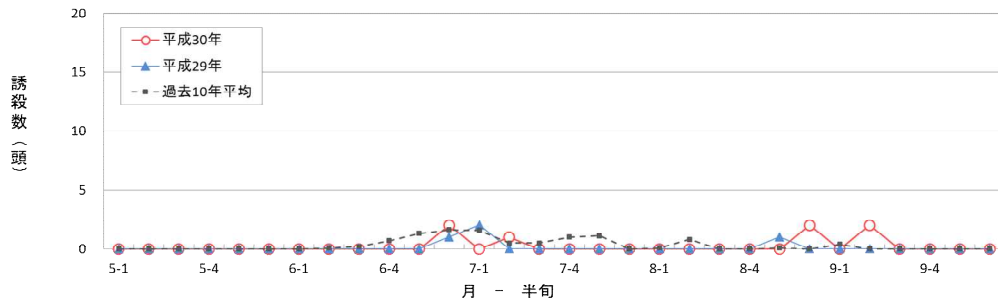
アカヒゲホソミドリカスミカメの60W予察灯による誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



アカヒゲホソミドリカスミカメの60W予察灯による誘殺数 (小山市)



アカヒゲホソミドリカスミカメの60W予察灯による誘殺数 (栃木市大塚町)



⑥ アカスジカスミカメの誘殺数
(60W予察灯)

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7-2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	1	0	-※	0	0	0	0	0	0	0	0
8-3	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
8-5	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
8-6	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
7月計	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
8月計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3

※) 宇都宮市瓦谷町予察灯は、故障の為8月第1半旬で調査終了とした。

(13) 水稻害虫の60W予察灯による誘殺数

① セジロウンカ

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
8-2	0	1	0	-※	0	0	0	0	0	0	0	0
8-3	0	0	0	-	1	0	0	1	0	0	1	0
8-4	0	0	0	-	1	0	0	1	0	0	0	0
8-5	0	1	0	-	1	1	0	1	0	0	0	0
8-6	0	0	0	-	2	0	0	1	0	1	1	0
9-1	0	0	0	-	2	0	0	0	0	0	1	0
9-2	1	0	0	-	1	0	0	1	0	0	1	0
9-3	0	1	0	-	1	0	0	1	0	0	7	0
9-4	1	0	0	-	0	0	0	1	0	0	1	0
9-5	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月計	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
8月計	0	6	0	0	6	1	0	4	0	1	2	0
9月計	2	1	0	0	4	0	0	3	0	0	9	0
合計	2	8	0	0	11	1	0	8	0	1	11	0

※) 宇都宮市瓦谷町予察灯は、故障の為8月第1半旬で調査終了とした。

② トビロウンカ

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	-※	0	0	0	0	0	0	0	0
8-3	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
8-5	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
8-6	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月計	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
8月計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	2	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0

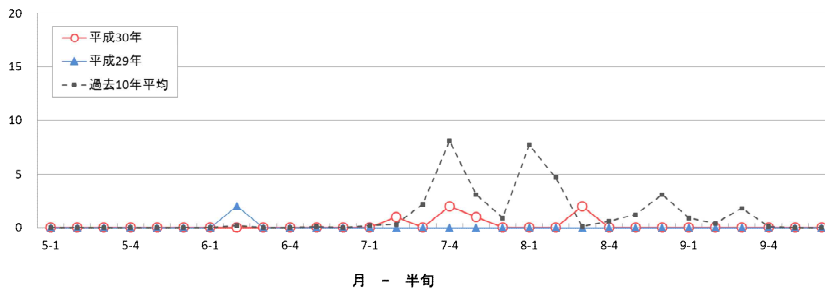
※) 宇都宮市瓦谷町予察灯は、故障の為8月第1半旬で調査終了とした。

③ ヒメトビウンカ

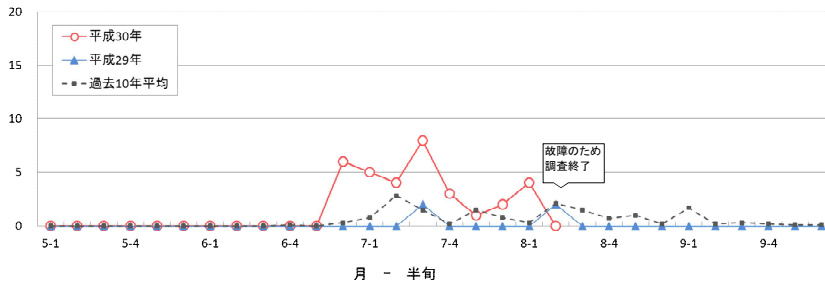
月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
6-2	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1
6-3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
6-6	0	0	0	6	0	0	1	0	0	1	0	0
7-1	0	0	0	5	1	0	0	0	0	2	0	0
7-2	1	0	0	4	3	0	0	1	0	0	3	0
7-3	0	2	0	8	2	2	0	3	1	5	5	1
7-4	2	8	0	3	0	0	0	5	0	2	32	0
7-5	1	3	0	1	2	0	0	3	0	0	28	0
7-6	0	1	0	2	1	0	0	0	0	3	1	1
8-1	0	8	0	4	0	0	1	2	0	11	5	1
8-2	0	5	0	-※	2	2	27	4	0	0	29	0
8-3	2	0	0	-	2	0	0	3	0	2	2	0
8-4	0	1	0	-	1	0	0	2	0	8	1	0
8-5	0	1	0	-	1	0	0	2	0	6	1	0
8-6	0	3	0	-	0	0	0	3	0	0	4	0
9-1	0	1	0	-	2	0	0	13	0	1	17	0
9-2	0	0	0	-	0	0	0	6	0	25	40	0
9-3	0	2	0	-	0	0	0	12	0	0	32	0
9-4	0	0	0	-	0	0	0	6	0	0	12	0
9-5	0	0	0	-	0	0	0	1	0	1	1	0
9-6	0	0	0	-	0	0	0	1	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0
6月計	0	0	2	6	0	0	2	4	0	1	1	1
7月計	4	15	0	23	8	2	0	12	1	12	70	2
8月計	2	17	0	4	6	2	28	15	0	27	41	1
9月計	0	3	0	0	3	0	0	39	0	27	102	0
合計	6	36	2	33	16	4	30	72	3	67	215	4

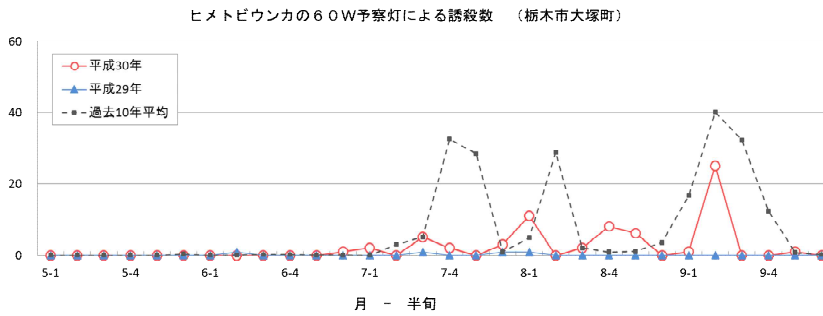
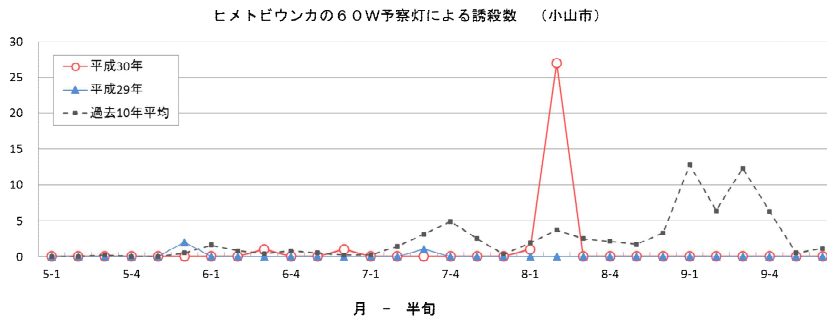
※) 宇都宮市瓦谷町予察灯は、故障の為8月第1半旬で調査終了とした。

ヒメトビウンカの60W予察灯による誘殺数 (大田原市)



ヒメトビウンカの60W予察灯による誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)

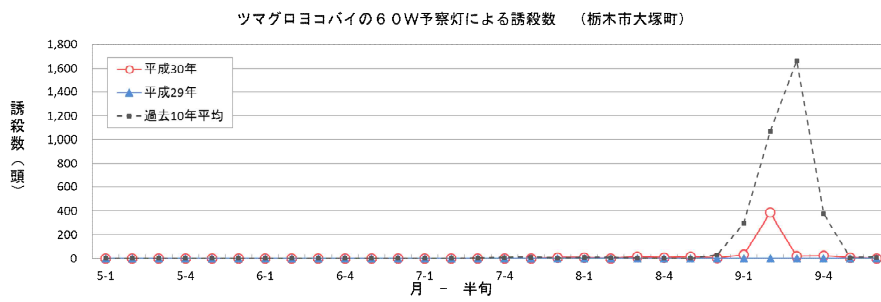
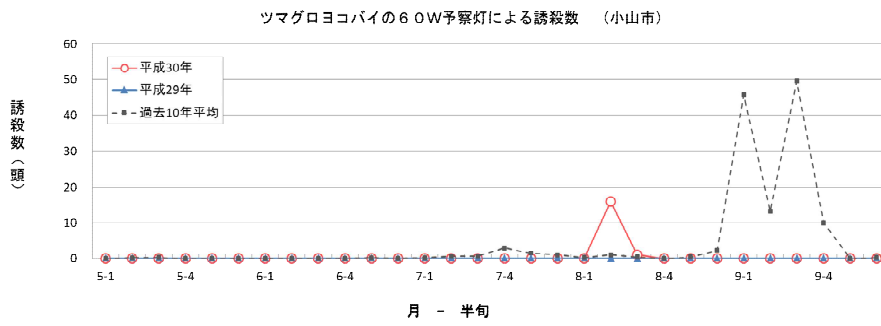
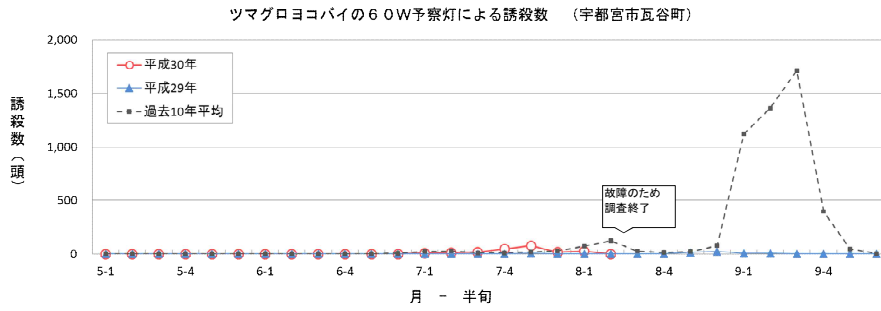
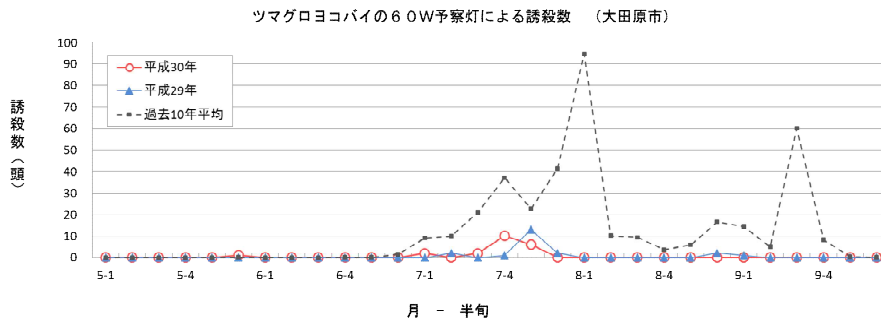




④ ツマグロヨコバイ

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	2	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0
7-1	2	9	0	9	23	2	0	0	0	0	1	0
7-2	0	10	2	13	26	0	0	1	0	0	1	0
7-3	2	21	0	19	13	0	0	1	0	0	3	0
7-4	10	37	1	46	11	0	0	3	0	0	7	1
7-5	6	23	13	76	17	7	0	1	0	0	9	0
7-6	0	41	2	17	29	0	0	1	0	6	3	0
8-1	0	95	0	24	75	1	0	0	0	7	7	0
8-2	0	10	0	-※	123	0	16	1	0	0	7	0
8-3	0	9	0	-	27	0	1	0	0	16	2	0
8-4	0	4	0	-	13	1	0	0	0	6	1	0
8-5	0	6	0	-	22	15	0	0	0	14	1	0
8-6	0	17	2	-	79	25	0	2	0	4	29	1
9-1	0	14	1	-	1,119	5	0	46	0	32	295	0
9-2	0	5	0	-	1,362	5	0	13	0	382	1,066	0
9-3	0	60	0	-	1,716	0	0	50	0	19	1,663	0
9-4	0	8	0	-	395	0	0	10	0	23	376	0
9-5	0	0	0	-	47	0	0	0	0	8	6	0
9-6	0	0	0	-	2	0	0	0	0	0	9	0
5月計	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
6月計	0	2	0	0	8	0	0	1	0	0	1	0
7月計	20	141	18	180	119	9	0	7	0	6	24	1
8月計	0	140	2	24	338	42	17	4	0	47	47	1
9月計	0	88	1	0	4,641	10	0	119	0	464	3,416	0
合計	21	372	21	204	5,105	61	17	131	0	517	3,488	2

※) 宇都宮市瓦谷町予察灯は、故障の為8月第1半旬で調査終了とした。



⑤ イナズマヨコバイ

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
7-5	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
8-2	0	0	0	-※	0	0	8	0	0	0	1	0
8-3	0	0	0	-	0	0	0	0	0	4	1	0
8-4	0	0	0	-	0	0	0	1	0	0	1	0
8-5	0	0	0	-	0	0	0	1	0	1	1	1
8-6	0	0	0	-	0	1	0	1	0	0	185	0
9-1	0	1	0	-	3	2	0	39	0	48	958	0
9-2	0	0	0	-	4	0	1	3	0	971	509	0
9-3	0	2	0	-	5	0	0	1	0	86	693	0
9-4	0	0	0	-	1	0	0	3	0	51	1,269	0
9-5	0	0	0	-	0	0	0	0	0	26	126	0
9-6	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	56	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
7月計	1	0	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0
8月計	0	1	0	0	1	1	8	3	0	5	189	1
9月計	0	3	0	0	13	2	1	47	0	1,182	3,611	0
合計	1	4	0	1	14	3	9	52	0	1,190	3,804	1

※) 宇都宮市瓦谷町予察灯は、故障の為8月第1半旬で調査終了とした。

⑥ コブノメイガ

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
7-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	-※	0	0	0	0	0	0	0	0
8-3	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
8-5	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
8-6	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
8月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

※) 宇都宮市瓦谷町予察灯は、故障の為8月第1半旬で調査終了とした。

⑦ フタオビコヤガ

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
7-3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
7-4	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
7-5	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
7-6	0	4	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0
8-1	0	4	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0
8-2	0	1	0	-※	1	0	0	2	0	0	1	0
8-3	0	0	0	-	0	0	0	1	0	0	0	0
8-4	0	0	0	-	0	0	0	1	0	1	0	0
8-5	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
8-6	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	-	0	0	0	1	0	0	0	0
9-2	0	0	0	-	0	0	0	0	0	1	0	0
9-3	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
7月計	0	7	0	0	3	0	0	3	0	0	6	0
8月計	0	6	0	0	3	0	0	7	0	1	2	0
9月計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
合計	0	14	0	0	6	0	0	12	0	2	9	0

※) 宇都宮市瓦谷町予察灯は、故障の為8月第1半旬で調査終了とした。

(14) ヒメトビウカの黄色粘着板による誘殺数

調査年	宇都宮市瓦谷町						栃木市大塚町						小山市小薬		
	麦			水稻			麦			水稻			水稻		
	H30年	過去4年平均	H29年	H30年	過去4年平均	H29年	H30年	過去4年平均	H29年	H30年	過去4年平均	H29年	H30年	過去4年平均	H29年
5-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-3	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-	3	1	1
5-4	0	0	1	0	0	0	1	1	0	-	-	-	7	4	4
5-5	1	0	0	0	0	0	5	4	1	-	-	-	9	18	5
5-6	2	1	0	0	1	0	3	13	0	-	-	-	6	43	13
6-1	2	2	1	0	1	1	1	10	0	-	-	-	2	20	15
6-2	0	2	3	0	1	0	-	5	0	2	9	2	0	9	7
6-3	0	1	1	1	1	0	-	5	0	0	6	3	0	3	2
6-4	0	1	1	1	1	0	-	1	0	0	2	2	0	1	1
6-5	0	1	1	2	0	0	-	0	0	3	1	1	1	2	1
6-6	2	0	0	5	0	0	-	-	-	13	2	0	54	12	3
7-1	-	0	0	4	1	0	-	-	-	18	9	3	59	28	9
7-2	-	1	1	4	3	1	-	-	-	21	25	7	52	48	24
7-3	-	3	3	2	5	4	-	-	-	18	26	9	11	40	48
7-4	-	2	2	0	5	2	-	-	-	7	21	5	4	23	23
7-5	-	1	1	0	3	1	-	-	-	11	7	3	18	4	4
7-6	-	1	0	3	1	1	-	-	-	26	11	5	57	3	2
8-1	-	4	-	9	2	3	-	-	-	34	32	10	85	8	3
8-2	-	3	-	14	2	1	-	-	-	81	43	10	46	9	5
8-3	-	3	-	8	2	1	-	-	-	47	29	9	25	9	7
8-4	-	4	-	3	3	3	-	-	-	21	15	9	11	5	6
8-5	-	2	-	2	3	4	-	-	-	6	10	5	14	5	5
8-6	-	1	-	3	2	3	-	-	-	37	5	3	31	3	2
9-1	-	1	-	1	1	1	-	-	-	37	8	1	30	2	1
9-2	-	2	-	1	1	0	-	-	-	33	11	1	26	4	1
9-3	-	3	-	1	1	0	-	-	-	11	15	9	0	6	9
9-4	-	2	-	0	1	0	-	-	-	7	8	6	0	5	6
9-5	-	0	-	0	1	0	-	-	-	4	5	1	0	3	2
9-6	-	0	-	0	0	0	-	-	-	0	3	1	0	0	0
5月計	3	2	1	0	1	0	9	18	1	-	-	-	25	66	23
6月計	4	6	7	9	4	1	1	20	0	18	21	8	57	46	29
7月計	-	7	7	13	18	9	0	0	0	101	99	32	201	146	110
8月計	-	15	0	39	13	15	0	0	0	226	133	46	212	38	28
9月計	-	7	0	3	4	1	0	0	0	92	49	19	56	20	19
合計	7	36	15	64	40	26	10	38	1	437	302	105	551	316	209

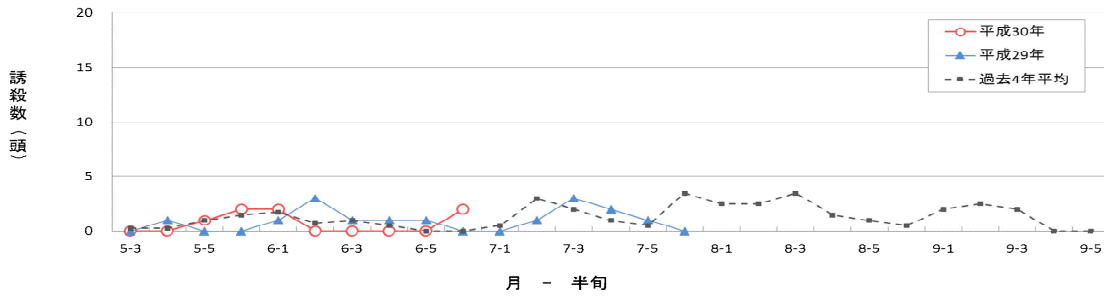
※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

調査場所： 県中部：宇都宮市瓦谷町（農業試験場）の麦ほ場1か所、水稻ほ場1か所の計2か所
 県南部：栃木市大塚町（いちご研究所）の麦ほ場1か所、水稻ほ場1か所の計2か所
 小山市小薬（予察調査ほ定点）の水稻ほ場1か所
 合計5か所

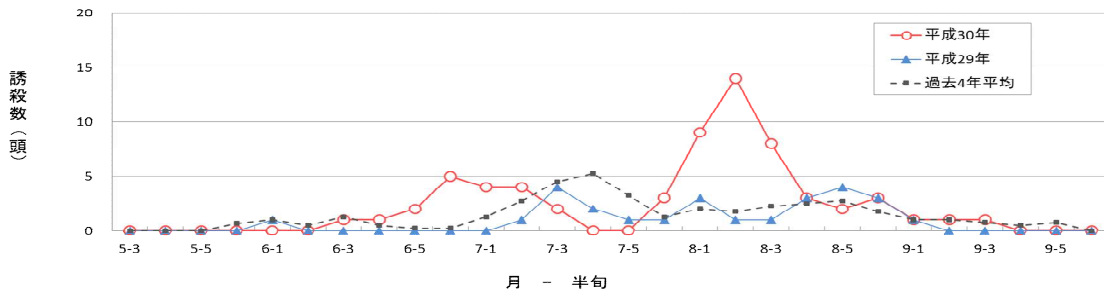
調査方法：黄色粘着板（ホリバー：長辺26cm×短辺10cm、アリストライフサイエンスK. K.）を長辺が縦になるように支柱に固定した。設置高は粘着板中央部がほ場土面より1.5mとなようにし、畦畔際に約3m間隔で5枚設置した。文字等の印刷面を南あるいは西向きとした。粘着板の回収間隔は概ね1週間毎とし、粘着板両面に付着したヒメトビウカ成虫数を計数した。

調査期間：2018年5月中旬～9月下旬

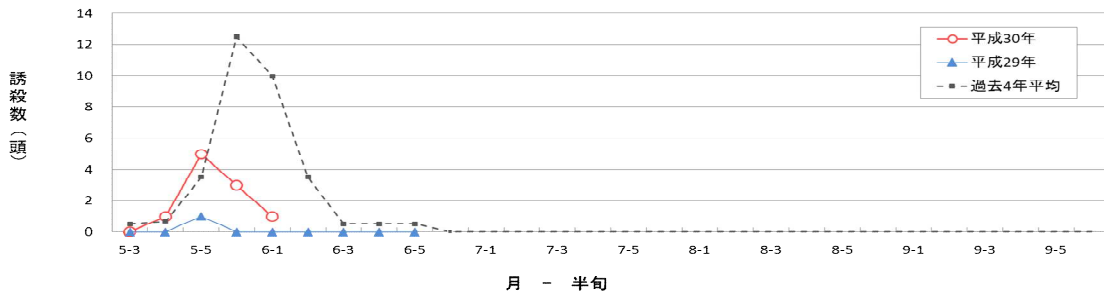
ヒメトビウカの黄色粘着板による誘殺数 (宇都宮市瓦谷町(麦))



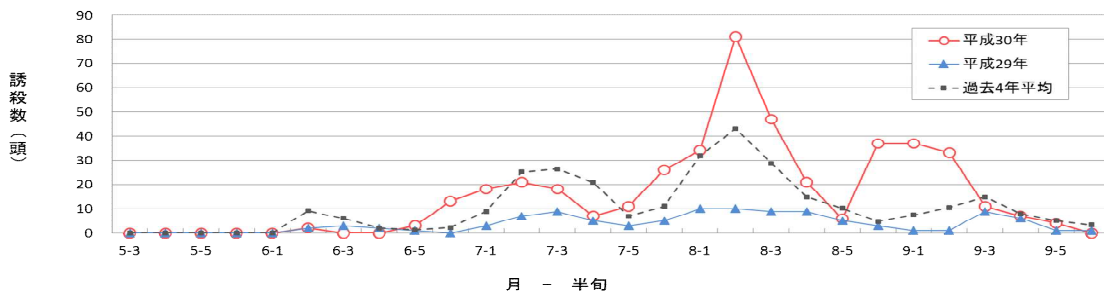
ヒメトビウカの黄色粘着板による誘殺数 (宇都宮市瓦谷町(水稲))



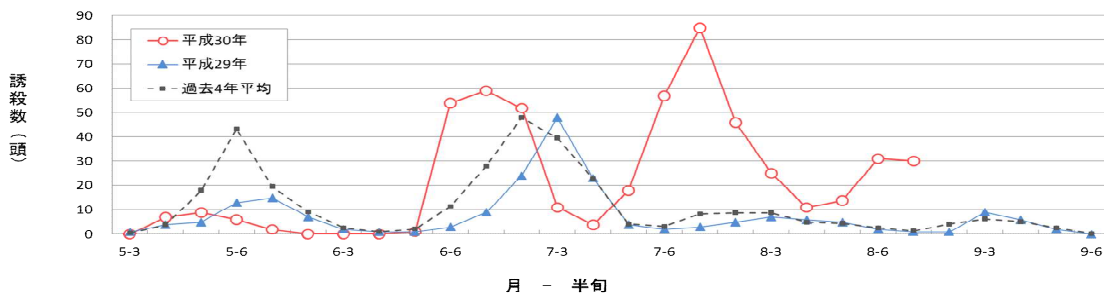
ヒメトビウカの黄色粘着板による誘殺数 (栃木市大塚町(麦))



ヒメトビウカの黄色粘着板による誘殺数 (栃木市大塚町(水稲))



ヒメトビウカの黄色粘着板による誘殺数 (小山市)



2) 麦類病害調査結果

(1) 病害発生予察ほ場における病害年次別発生状況

① 4月中旬 (発生ほ場率 %)

麦種・年度	調査月日	ほ場数	うどんこ病	赤かび病	斑葉病	黒節病
小麦	4/9~11	10	0.0	0.0	-	0.0
二条		18	0.0	0.0	55.6	16.7
六条		12	0.0	0.0	0.0	0.0
H30	4/9~11	40	0.0	0.0	33.3	10.0
平年値			2.0	0.0	3.7	31.4
H29	4/11~13	40	0.0	0.0	20.0	25.0
H28	4/11~13	40	12.5	0.0	7.5	52.5
H27	4/8~10	40	0.0	0.0	0.0	60.0
H26	4/9~11	40	0.0	0.0	0.0	2.5
H25	4/10, 12, 16	40	0.0	0.0	0.0	0.0
H24	4/9~11	40	0.0	0.0	0.0	30.0
H23	4/8, 11~13	40	0.0	0.0	0.0	50.0
H22	4/15, 16	40	5.0	0.0	0.0	-
H21	4/13, 14, 15	40	2.5	0.0	0.0	-
H20	4/14, 15, 16	40	0.0	0.0	0.0	-

* 調査基数 ほ場あたり50茎

② 5月上旬 (発生ほ場率 %)

麦種・年度	調査月日	ほ場数	うどんこ病	赤かび病	斑葉病	黒節病
小麦	5/1, 2	10	40.0	0.0	-	0.0
二条		18	0.0	0.0	77.8	0.0
六条		12	0.0	0.0	0.0	0.0
H30	5/1, 2	40	10.0	0.0	46.7	0.0
平年値			8.5	0.4	6.2	13.2
H29	5/1, 2	40	0.0	0.0	22.5	5.0
H28	5/6	40	15.0	0.0	10.0	10.0
H27	5/7, 8	40	0.0	0.0	12.5	15.0
H26	5/7, 8	40	0.0	0.0	0.0	30.0
H25	5/7, 8	40	12.5	0.0	0.0	0.0
H24	5/6, 7, 9, 10	40	5.0	0.0	0.0	5.0
H23	5/6, 9, 10	40	2.5	0.0	0.0	37.5
H22	5/6, 7	46	21.7	4.3	0.0	-
H21	5/7, 8	40	10.0	0.0	0.0	-
H20	5/7, 8	48	18.8	0.0	0.0	-

* 調査基数 ほ場あたり50茎

(2) 麦類縮萎縮病発生状況

① 大麦縮萎縮病

年度	調査月日	調査圃場数	発生ほ場率 (%)
H30	3/8	1310	1.6
平年値			0.7
H29	3/1, 2	1340	2.8
H28	3/8, 9	1388	0.9
H27	3/9	1302	0.7
H26	3/10	1314	0.8
H25	3/8, 11	1176	0.4
H24	3/7, 12	1406	0.4
H23	3/9, 10, 11	1302	0.0
H22	3/8, 9	2348	0.0
H21	3/6, 11, 16	1932	0.7
H20	3/5, 12, 14	1677	0.0

② 小麦縮萎縮病

年度	調査月日	調査圃場数	発生ほ場率 (%)
H30	4/9~11	345	0.3
平年値			2.9
H29	4/10, 11	397	11.1
H28	4/11~13	420	11.0
H27	4/9~11	425	6.4
H26	4/9~11	461	5.0
H25	4/10~12	589	0.8
H24	4/9~11	392	13.3
H23	4/8, 11~13	459	23.3

(3) 赤かび病発生状況

麦種 年度	5月上旬			5月中旬			5月下旬					
	調査月日	ほ場数	発生ほ場率 (%)	発生率 (%)	調査月日	ほ場数	発生ほ場率 (%)	発生率 (%)	調査月日	ほ場数	発生ほ場率 (%)	発生率 (%)
小麦	5/1, 2	10	0.0	0.0	5/10	10	10.0	0.0	5/22~25	36	55.6	0.3
二条		18	0.0	0.0		18	0.0	0.0		0	-	-
六条		12	0.0	0.0		12	8.3	0.0		19	26.3	0.1
H30	5/1, 2	40	0.0	0.0	5/10	40	5.0	0.0	5/22~25	55	45.5	0.2
平年値			0.4	0.0			10.1	0.0			25.7	0.2
H29	5/1, 2	40	0.0	0.0	5/11	40	0.0	0.0	5/23, 24, 29, 30	43	16.3	0.0
H28	5/6	40	0.0	0.0	5/14	40	12.5	0.0	5/24~30	40	22.5	0.0
H27	5/6	40	0.0	0.0	5/12	40	2.5	0.0	5/26~28	26	15.4	0.0
H26	5/7, 8	40	0.0	0.0	5/13, 14	34	0.0	0.0	5/26~28	26	15.4	0.0
H25	5/7, 8	40	0.0	0.0	5/14, 15	40	0.0	0.0	5/29, 31	45	6.7	0.0
H24	5/6, 7, 9, 10	40	0.0	0.0	5/17, 18, 21	38	63.2	0.1	5/28~30	64	82.8	0.5
H23	5/6, 9, 10	40	0.0	0.0	5/16, 17	45	0.0	0.0	5/23, 24	39	5.1	0.05
H22	5/6, 7	46	4.3	0.2	5/17, 18	55	0.0	0.0	5/25, 26	43	39.5	0.3
H21	5/7, 8	55	0.0	0.0	5/13, 14	72	11.1	0.03	5/25, 26, 27	43	16.3	0.2
H20	5/7, 8, 9	48	0.0	0.0	5/12, 14, 16	67	11.9	0.03		45	44.4	0.5

* 調査数 5月上旬：ほ場あたり50茎 5月中・下旬：100穂

3) 大豆病害虫調査結果

(1) 病害虫発生予察ほ場における病害虫発生状況

① 8月

	べと病 (発生株数)	カメムシ類 成虫 (頭数)	カメムシ類 幼虫 (頭数)	ハスモン ヨトウ (発生の有無)	その他 チョウ目幼虫 (頭数)	フタスジヒメ ハムシ (頭数)	アブラムシ類 (発生株数)	備考	
発生ほ場数(か所)	15	7	0	6	18	0	5	平成30年8月13~15日調査	
ほ場率	本年平均値	50.0	23.3	0.0	20.0	60.0	0.0	16.7	総調査ほ場数: 30か所
	平年値	83.3	18.1	2.3	29.1	62.3	15.7	60.2	総調査株数: 750株
頭数又は株数合計(頭、株)	242	11	0	-	62	0	13	(調査株数: 1ほ場25株)	
頭率 株率	本年平均値	8.1	0.4	0.0	-	2.1	0.0	0.4	平年値はH20~29年の平均
	平年値	14.3	0.2	0.1	-	2.0	0.3	3.8	
概 評	平年並	やや多	少	平年並	平年並	少	やや少		

※ハスモンヨトウは卵塊、幼虫のいる白変葉、幼虫の有無を調査

※べと病の平年値は、平成27(2015)年~29(2017)年の3ヶ年平均

発生地点率の推移

	べと病 (発生株数)	カメムシ類 成虫 (頭数)	カメムシ類 幼虫 (頭数)	ハスモン ヨトウ (発生の有無)	その他 チョウ目幼虫 (頭数)	フタスジヒメ ハムシ (頭数)	アブラムシ類 (発生株数)	備考 (調査日の平均・総調査地点数 ・その他)
H29	93.3	40.0	0.0	26.7	76.7	6.7	40.0	8/15・30・-里のほほえみ: 30ほ場
H28	86.7	16.7	0.0	43.3	63.3	3.3	56.7	8/15・30・-里のほほえみ: 30ほ場
H27	70.0	3.3	0.0	23.3	53.3	16.7	33.3	8/12・30・-里のほほえみ: 30ほ場
H26	30.0	10.0	0.0	26.7	60.0	10.0	26.7	8/12・30・-里のほほえみ: 22ほ場
H25	13.3	23.3	3.3	10.0	60.0	20.0	63.3	8/15・30・-里のほほえみ: 6ほ場
H24	3.3	43.3	10.0	36.7	83.3	26.7	63.3	8/15・30・-里のほほえみ: 2ほ場
H23	0.0	10.0	6.7	46.7	80.0	6.7	100.0	8/15・30・-
H22	10.0	6.7	0.0	33.3	80.0	16.7	80.0	8/16・30・-
H21	0.0	10.0	0.0	23.3	40.0	6.7	76.7	8/17・30・-
H20	0.0	17.6	2.9	20.6	26.5	44.1	61.8	8/4・34・-

発生頭数の推移

	べと病 (発生株数)	カメムシ類 成虫 (頭数)	カメムシ類 幼虫 (頭数)	ハスモン ヨトウ (発生の有無)	その他 チョウ目幼虫 (頭数)	フタスジヒメ ハムシ (頭数)	アブラムシ類 (発生株数)	備考(調査日の平均)
H29	14.9	0.5	0.0	-	2.4	0.2	1.0	8/15・
H28	16.3	0.1	0.0	-	1.7	0.0	1.8	8/15・
H27	11.6	0.1	0.0	-	1.6	0.4	0.4	8/12・
H26	2.6	0.1	0.0	-	0.7	0.2	0.7	8/12・
H25	0.9	0.1	0.0	-	1.7	0.2	2.3	8/15・
H24	0.0	1.0	0.5	-	1.1	0.6	4.1	8/15・
H23	0.0	0.1	0.4	-	4.2	0.1	14.4	8/15・
H22	0.0	0.1	0.0	-	5.7	0.2	6.7	8/16・
H21	0.0	0.1	0.0	-	0.7	0.1	3.8	8/17・
H20	0.0	0.0	0.0	-	0.5	0.6	2.7	8/4・

② 9月

	べと病 (発生株数)	カメムシ類 成虫 (頭数)	カメムシ類 幼虫 (頭数)	ハスモン ヨトウ (発生の有無)	その他 チョウ目幼虫 (頭数)	フタスジヒメ ハムシ (頭数)	アブラムシ類 (発生株数)	備考	
発生ほ場数(か所)	28	11	2	14	8	5	21	平成30年9月3~6日調査	
ほ場率	本年平均値	93.3	36.7	6.7	46.7	26.7	16.7	70.0	総調査ほ場数: 30か所
	平年値	78.9	27.9	8.1	51.2	42.7	28.6	69.6	総調査株数: 750株
頭数又は株数合計(頭、株)	470	16	1	-	109	11	157	(調査株数: 1ほ場25株)	
頭率 株率	本年平均値	15.7	0.5	0.0	-	3.6	0.4	5.2	平年値はH20~29年の平均
	平年値	15.9	0.2	0.3	-	1.1	1.5	6.7	
概 評	平年並	やや多	やや少	平年並	やや多	やや少	平年並		

※ハスモンヨトウは卵塊、幼虫のいる白変葉、幼虫の有無を調査

※べと病の平年値は、平成27(2015)年~29(2017)年の3ヶ年平均

発生地点率の推移

	べと病 (発生株数)	カメムシ類 成虫 (頭数)	カメムシ類 幼虫 (頭数)	ハスモン ヨトウ (発生の有無)	その他 チョウ目幼虫 (頭数)	フタスジヒメ ハムシ (頭数)	アブラムシ類 (発生株数)	備考 (調査日の平均・総調査地点数 ・その他)
H29	43.3	13.3	6.7	50.0	16.7	10.0	73.3	9/4・30・-里のほほえみ: 30ほ場
H28	93.3	36.7	3.3	26.7	16.7	26.7	73.3	9/5・30・-里のほほえみ: 30ほ場
H27	100.0	33.3	0.0	36.7	50.0	26.7	76.7	8/31・30・-里のほほえみ: 30ほ場
H26	73.3	23.3	3.3	43.3	40.0	13.3	96.7	9/1・30・-里のほほえみ: 22ほ場
H25	13.3	36.7	3.3	40.0	36.7	33.3	76.7	9/3・30・-里のほほえみ: 6ほ場
H24	6.7	40.0	23.3	66.7	56.7	46.7	63.3	9/4・30・-里のほほえみ: 2ほ場
H23	13.3	26.7	6.7	83.3	56.7	23.3	53.3	9/5・30・-
H22	26.7	30.0	16.7	83.3	80.0	40.0	26.7	9/13・30・-
H21	0.0	0.0	12.1	48.5	12.1	30.3	69.7	9/14・33・-
H20	0.0	38.9	5.6	33.3	61.1	36.1	86.1	9/1・36・-

発生頭数の推移

	べと病 (発生株数)	カメムシ類 成虫 (頭数)	カメムシ類 幼虫 (頭数)	ハスモン ヨトウ (発生の有無)	その他 チョウ目幼虫 (頭数)	フタスジヒメ ハムシ (頭数)	アブラムシ類 (発生株数)	備考(調査日の平均)
H29	10.0	0.0	0.4	-	0.3	0.7	7.0	9/4・
H28	12.7	0.1	0.7	-	0.2	0.6	5.7	9/5・
H27	24.9	0.4	0.0	-	1.5	1.4	6.7	8/31・
H26	18.3	0.1	0.0	-	0.6	0.4	11.3	9/1・
H25	1.6	0.1	0.0	-	0.5	4.2	11.1	9/3・
H24	1.7	0.6	0.4	-	1.2	2.3	5.1	9/4・
H23	0.7	0.2	0.0	-	1.1	1.3	3.0	9/5・
H22	3.7	0.5	0.8	-	4.5	1.3	1.8	9/13・
H21	0.0	0.0	0.5	-	0.2	1.7	3.3	9/14・
H20	0.0	0.1	0.1	-	1.4	1.2	11.9	9/1・

③ 8月（ハスモンヨトウ）

	ハスモンヨトウ				備考	
	白変葉 (株数)	卵塊数	若齢幼虫コロ ニー数	中老齢幼虫数		
発生ほ場数(か所)	2	0	0	6	平成30年8月13～15日調査 総調査ほ場数: 30か所 総調査株数: 750株 (調査株数: 1ほ場25株)	
ほ場率	本年平均値	6.7	0.0	0.0		20.0
	平年値	12.5	2.5	12.1		20.8
頭数又は株数合計(頭、株)	6	0	0	11		
頭率 株率	本年平均値	0.2	0.0	0.0		0.4
	平年値	0.1	0.0	0.1	1.2	
概 評	平年並	少	少	平年並		

発生地点率の推移

	ハスモンヨトウ				備考 (調査日の平均・総調査地点数)
	白変葉 (株数)	卵塊数	若齢幼虫コロ ニー数	中老齢幼虫数	
H29.8	10.0	0.0	6.7	20.0	8/15・30
H28.8	13.3	3.3	13.3	40.0	8/15・30
H27.8	6.7	3.3	3.3	20.0	8/12・30
H26.8	26.7	3.3	6.7	26.7	8/12・30
H25.8	0.0	0.0	0.0	10.0	8/15・30
H24.8	6.7	0.0	13.3	26.7	8/15・30
H23.8	26.7	3.3	33.3	26.7	8/15・30
H22.8	20.0	0.0	13.3	23.3	8/16・30
H21.8	6.7	0.0	16.7	3.3	8/17・30
H20.8	8.8	11.8	14.7	11.8	8/4・34

発生頭数・株数の推移

単位: 25株当たり頭数・株数

	ハスモンヨトウ				備考(調査日の平均)
	白変葉 (株数)	卵塊数	若齢幼虫コロ ニー数	中老齢幼虫数	
H29.8	0.0	0.0	0.0	0.6	8/15
H28.8	0.1	0.0	0.1	1.4	8/15
H27.8	0.0	0.0	0.0	0.9	8/12
H26.8	0.3	0.0	0.1	2.0	8/12
H25.8	0.0	0.0	0.0	0.4	8/15
H24.8	0.1	0.0	0.2	2.2	8/15
H23.8	0.1	0.0	0.2	1.0	8/15
H22.8	0.2	0.0	0.1	3.1	8/16
H21.8	0.0	0.0	0.0	0.1	8/17
H20.8	0.0	0.0	0.0	0.1	8/4

④ 9月（ハスモンヨトウ）

	ハスモンヨトウ				備考	
	白変葉 (株数)	卵塊数	若齢幼虫コロ ニー数	中老齢幼虫数		
発生ほ場数(か所)	5	0	1	12	平成30年9月3～6日調査 総調査ほ場数: 30か所 総調査株数: 750株 (調査株数: 1ほ場25株)	
ほ場率	本年平均値	16.7	0.0	3.3		40.0
	平年値	24.1	3.4	23.1		36.0
頭数又は株数合計(頭、株)	0	0	1	97		
頭率 株率	本年平均値	0.0	0.0	0.0		3.2
	平年値	0.2	0.0	0.2	2.7	
概 評	やや少	少	少	平年並		

発生地点率の推移

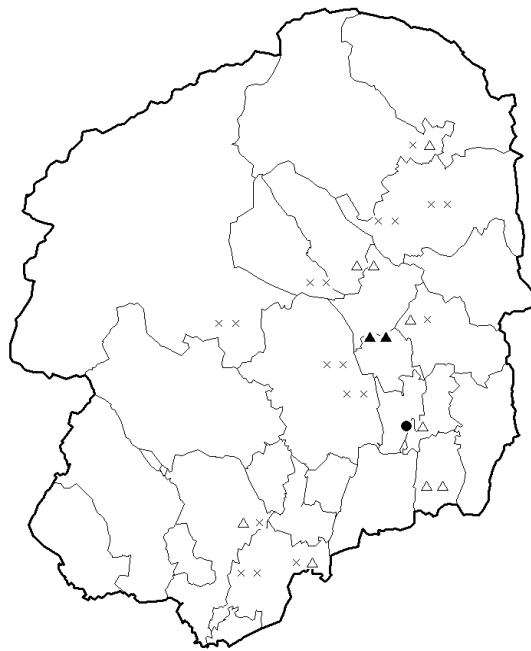
	ハスモンヨトウ				備考 (調査日の平均・総調査地点数)
	白変葉 (株数)	卵塊数	若齢幼虫コロ ニー数	中老齢幼虫数	
H29.9	33.3	6.7	13.3	23.3	9/4・30
H28.9	3.3	0.0	0.0	26.7	9/5・30
H27.9	13.3	0.0	6.7	33.3	8/31・30
H26.9	26.7	3.3	26.7	23.3	9/1・30
H25.9	13.3	0.0	13.3	30.0	9/3・30
H24.9	36.7	3.3	46.7	56.7	9/4・30
H23.9	50.0	3.3	53.3	53.3	9/5・30
H22.9	46.7	3.3	43.3	70.0	9/13・30
H21.9	15.2	0.0	27.3	21.2	9/14・33
H20.9	2.8	13.9	0.0	22.2	9/1・36

発生頭数・株数の推移

単位: 25株当たり頭数・株数

	ハスモンヨトウ				備考(調査日の平均)
	白変葉 (株数)	卵塊数	若齢幼虫コロ ニー数	中老齢幼虫数	
H29.9	0.5	0.1	0.1	1.2	9/4
H28.9	0.2	0.0	0.0	2.8	9/5
H27.9	0.1	0.0	0.1	0.6	8/31
H26.9	0.2	0.1	0.2	0.3	9/1
H25.9	0.0	0.0	0.0	1.8	9/3
H24.9	0.2	0.0	0.4	5.9	9/4
H23.9	0.3	0.0	0.9	2.5	9/5
H22.9	0.7	0.1	0.4	10.6	9/13
H21.9	0.1	0.0	0.0	0.6	9/14
H20.9	0.0	0.0	0.0	0.6	9/1

ハスモンヨトウ中老齢幼虫の発生状況
(9月上旬調査)



程度	無	やや少	少	平年並	やや多	多
平年比(%)	0	1~19	20~59	60~140	141~180	181~
記号	x	Δ	○	◎	▲	●

(2) 病害虫発生予察ほ場における被害粒発生状況

	健全粒	紫斑病	べと病	モザイク病		カメムシ類	マメシ ンクイ ガ	シロイ チモジ マダラ メイガ	サヤム シガ類	その他 チョウ 目害虫	フタス ジヒメ ハムシ	腐敗粒 (フザ リウム 属菌 等)	備考	
				SMV	SSV									
発生ほ場数(か所)	15	7	15	0	0	15	10	0	1	3	11	12	平成30年10月9日~23日 採取 総調査ほ場数:15か所 総調査株数:150株 総調査粒数:16,019粒 調査株数:10株 平年値はH20~29年の平均	
ほ場率	本年平均値	-	46.7	100.0	0.0	0.0	100.0	66.7	0.0	6.7	20.0	73.3		80.0
	平年値	-	63.3	97.8	4.7	0.0	93.3	68.0	16.0	21.3	15.3	85.3		77.3
粒率	発生粒数(粒)	11,312	12	874	0	0	1,245	132	0	10	5	116		107
	本年平均値	71.6	0.1	5.5	0.0	0.0	7.9	0.8	0.0	0.1	0.0	0.7		0.7
	平年値	80.3	1.2	12.3	0.1	0.0	3.7	1.5	0.1	0.1	0.1	2.1	1.1	
概 評	-	やや多	多	平年並	少	やや多	平年並	少	少	やや多	平年並	やや多		

※SMV：ダイズモザイクウイルス、SSV：ダイズ萎縮ウイルス

調査方法：1地点(1ほ場)から10株無作為に採取し室内で乾燥後、粒径5.5mm未満を除く全粒を調査した。

発生粒率は全粒(病害虫以外の被害粒等も含む)に対する比率。

発生地点率の推移

単位：%

	健全粒	紫斑病	べと病	モザイク病		カメムシ類	マメシ ンクイ ガ	シロイ チモジ マダラ メイガ	サヤム シガ類	その他 チョウ 目害虫	フタス ジヒメ ハムシ	腐敗粒 (フザ リウム 属菌 等)	備考 (総調査地点数)
				SMV	SSV								
H29	-	93.3	100.0	6.7	0.0	100.0	73.3	0.0	0.0	20.0	80.0	100.0	15か所-里のほぼえみ:15ほ場
H28	-	40.0	100.0	13.3	0.0	86.7	80.0	13.3	6.7	13.3	86.7	93.3	15か所-里のほぼえみ:15ほ場
H27	-	13.3	93.3	0.0	0.0	100.0	80.0	0.0	0.0	6.7	86.7	66.7	15か所-里のほぼえみ:15ほ場
H26	-	33.3	66.7	0.0	0.0	93.3	60.0	0.0	20.0	20.0	73.3	80.0	15か所-里のほぼえみ:11ほ場
H25	-	66.7	26.7	0.0	0.0	86.7	66.7	13.3	26.7	0.0	73.3	53.3	15か所-里のほぼえみ:3ほ場
H24	-	66.7	6.7	13.3	0.0	100.0	73.3	20.0	0.0	53.3	93.3	86.7	15か所-里のほぼえみ:1ほ場
H23	-	73.3	0.0	0.0	0.0	93.3	46.7	20.0	13.3	0.0	86.7	40.0	15か所
H22	-	73.3	0.0	6.7	0.0	100.0	53.3	26.7	26.7	20.0	93.3	86.7	15か所
H21	-	100.0	13.3	6.7	0.0	93.3	73.3	53.3	60.0	13.3	93.3	80.0	15か所
H20	-	73.3	0.0	0.0	0.0	80.0	73.3	13.3	60.0	6.7	86.7	86.7	15か所

発生粒率の推移

単位：%

	健全粒	紫斑病	べと病	モザイク病		カメムシ類	マメシ ンクイ ガ	シロイ チモジ マダラ メイガ	サヤム シガ類	その他 チョウ 目害虫	フタス ジヒメ ハムシ	腐敗粒 (フザ リウム 属菌 等)	備考 (採取日の平均)
				SMV	SSV								
H29	55.7	3.1	17.6	0.0	0.0	8.0	1.3	0.0	0.0	0.1	0.9	2.0	10/25
H28	69.9	0.1	13.1	0.2	0.0	2.2	2.4	0.0	0.0	0.1	2.2	2.1	10/21
H27	84.0	0.0	6.3	0.0	0.0	1.7	2.1	0.0	0.0	0.0	1.4	0.5	10/16
H26	90.2	0.1	4.8	0.0	0.0	1.8	0.5	0.0	0.1	0.1	1.0	0.4	10/20
H25	89.3	0.1	2.1	0.0	0.0	1.8	0.6	0.0	0.1	0.0	3.3	0.5	10/18
H24	78.0	0.2	0.3	0.2	0.0	9.8	1.0	0.1	0.0	0.3	2.5	0.4	10/15
H23	88.2	0.4	0.0	0.0	0.0	3.9	1.3	0.1	0.0	0.0	2.2	0.2	10/18
H22	72.8	1.6	0.0	0.0	0.0	4.8	1.8	0.3	0.2	0.0	3.0	2.8	10/19
H21	85.3	5.4	0.0	0.3	0.0	2.2	0.7	0.6	0.2	0.0	2.4	0.7	10/19
H20	90.0	0.9	0.0	0.0	0.0	1.4	2.9	0.0	0.3	0.0	1.7	1.5	10/7

(3) 吸実性カメムシ類のフェロモントラップによる誘殺数
 ホソヘリカメムシ
 (フェロモントラップ)

月一 半旬	芳賀町稲毛田			宇都宮市瓦谷町			栃木市大塚町		
	H30年	過去 5年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
5-1	4	5	10	0	3	3	1	3	2
5-2	2	3	6	0	2	2	0	1	1
5-3	3	1	2	2	2	1	1	0	0
5-4	5	1	0	4	1	4	4	1	0
5-5	7	0	0	2	1	3	0	1	1
5-6	5	0	0	3	3	4	0	1	0
6-1	3	1	0	2	3	4	0	1	0
6-2	0	1	1	1	1	0	0	1	1
6-3	4	1	0	1	2	1	1	0	1
6-4	3	1	0	7	1	2	2	0	1
6-5	5	2	1	10	1	2	3	1	2
6-6	18	2	1	5	2	4	6	0	1
7-1	5	1	2	18	3	3	5	1	2
7-2	2	2	4	22	4	2	4	2	5
7-3	27	5	5	9	4	1	2	2	6
7-4	15	5	14	2	4	6	4	2	3
7-5	14	5	14	2	5	9	3	2	1
7-6	18	2	6	2	5	9	5	3	5
8-1	0	2	4	0	4	5	7	4	8
8-2	7	1	2	3	3	3	1	4	11
8-3	5	1	2	3	2	2	6	7	16
8-4	3	1	0	3	5	1	9	10	17
8-5	6	1	1	0	6	0	3	8	18
8-6	3	2	4	3	7	6	1	7	12
9-1	2	2	5	7	6	7	2	7	6
9-2	6	4	8	10	3	6	3	6	6
9-3	10	6	16	11	2	3	5	4	4
9-4	8	5	11	7	2	3	3	3	4
9-5	6	4	3	4	2	3	2	2	4
9-6	12	6	3	6	1	0	1	2	4
5月計	26	9	18	11	12	17	6	6	4
6月計	33	8	3	26	11	13	12	3	6
7月計	81	20	45	55	24	30	23	10	22
8月計	24	8	13	12	26	17	27	40	82
9月計	44	26	46	45	15	22	16	23	28
合計	208	71	125	149	88	99	84	81	142

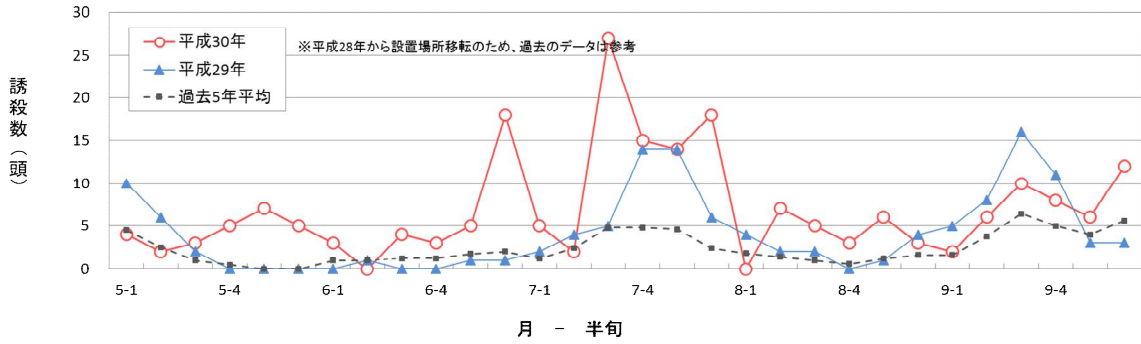
※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(フェロモントラップ ※)

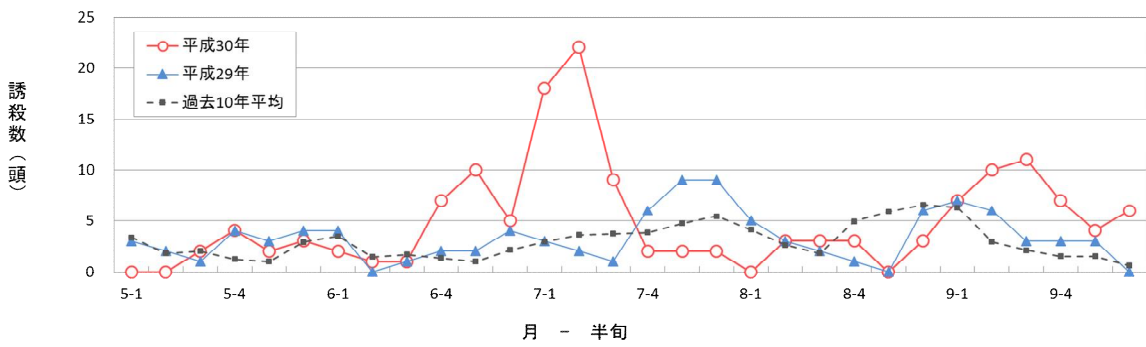
月一 半旬	日光市			益子町			さくら市			那須塩原市		
	H30年	過去 4年 平均	H29年	H30年	過去 4年 平均	H29年	H30年	過去 4年 平均	H29年	H30年	過去 4年 平均	H29年
5-1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	5	1
5-2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
5-3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
5-4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
5-5	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5-6	1	1	2	0	0	0	0	1	0	0	1	1
6-1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
6-2	3	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0
6-3	1	2	1	0	0	0	0	1	0	1	1	1
6-4	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1
6-5	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	6	3	2	0	0	0	1	0	0	1	0	1
7-1	3	2	2	0	0	0	0	1	0	1	1	2
7-2	3	3	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2
7-3	4	6	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0
7-4	10	9	8	0	0	0	0	0	0	3	1	1
7-5	7	10	18	0	0	0	0	0	0	2	1	1
7-6	6	14	27	0	0	0	1	1	0	1	1	1
8-1	9	9	18	0	0	0	0	1	1	1	2	1
8-2	13	11	28	0	0	0	0	2	4	1	2	1
8-3	12	11	26	0	0	0	0	2	4	1	3	1
8-4	9	6	9	0	0	0	0	1	2	3	3	1
8-5	4	5	5	0	0	0	2	0	1	1	3	2
8-6	5	3	3	0	0	1	0	0	1	1	1	2
9-1	4	2	1	0	0	1	0	0	0	3	2	1
9-2	4	3	4	0	0	0	0	0	0	4	2	1
9-3	3	2	1	0	0	0	0	0	0	3	3	2
9-4	3	2	1	0	0	0	0	0	0	3	2	2
9-5	2	1	0	0	0	1	0	0	0	2	1	1
9-6	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3	1	1
5月計	3	4	4	0	0	0	1	2	0	0	12	5
6月計	14	11	10	0	0	0	2	2	0	3	2	4
7月計	33	43	59	0	0	0	1	2	0	9	3	7
8月計	52	44	89	0	0	1	2	6	13	8	14	8
9月計	16	10	8	0	1	2	0	0	0	18	11	8
合計	118	111	170	0	1	3	6	11	13	38	42	32

※病害虫防除員による調査

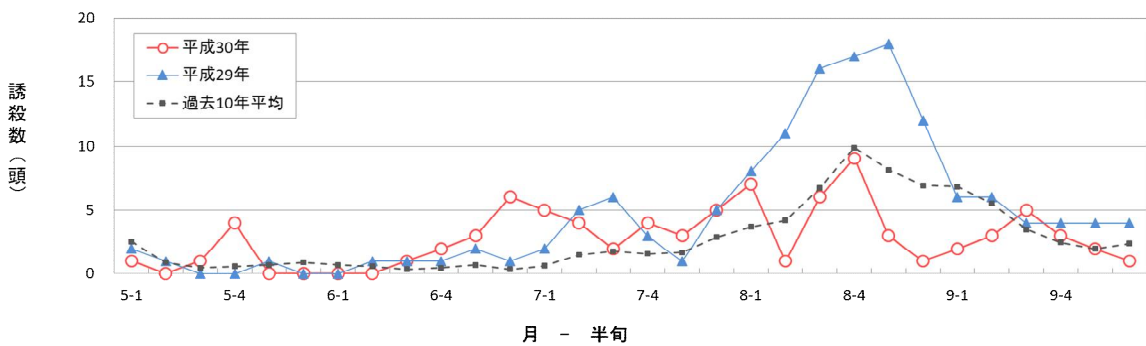
ホソヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (芳賀町稲毛田)



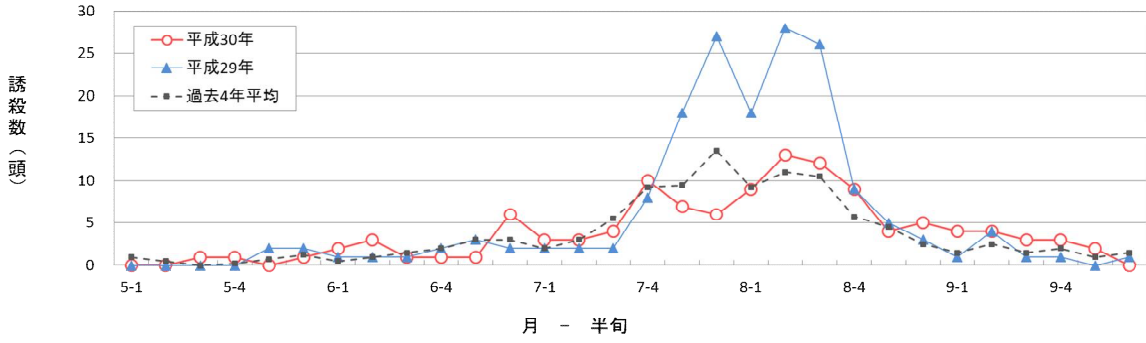
ホソヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



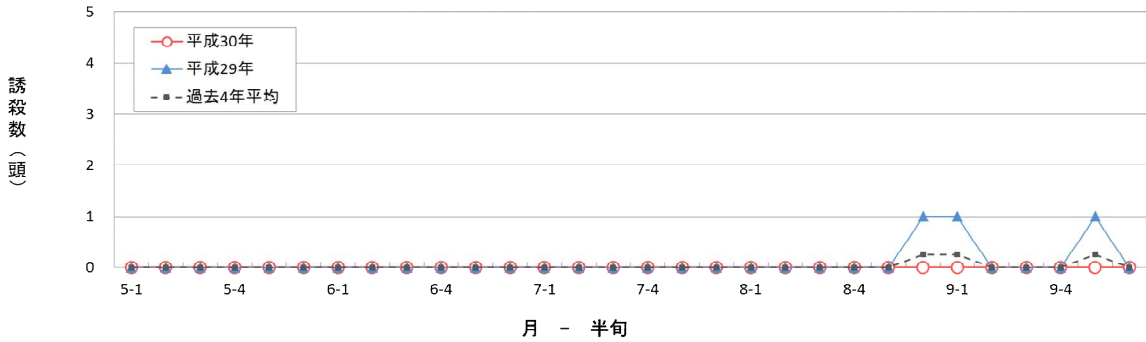
ホソヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (栃木市大塚町)



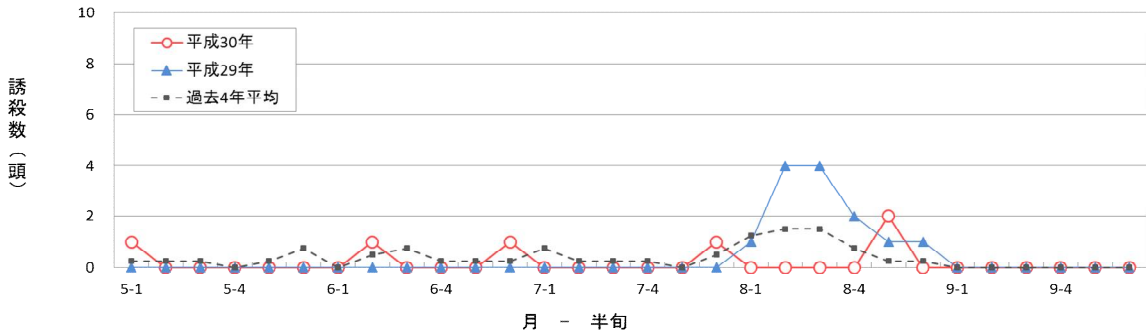
ホソヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (日光市)



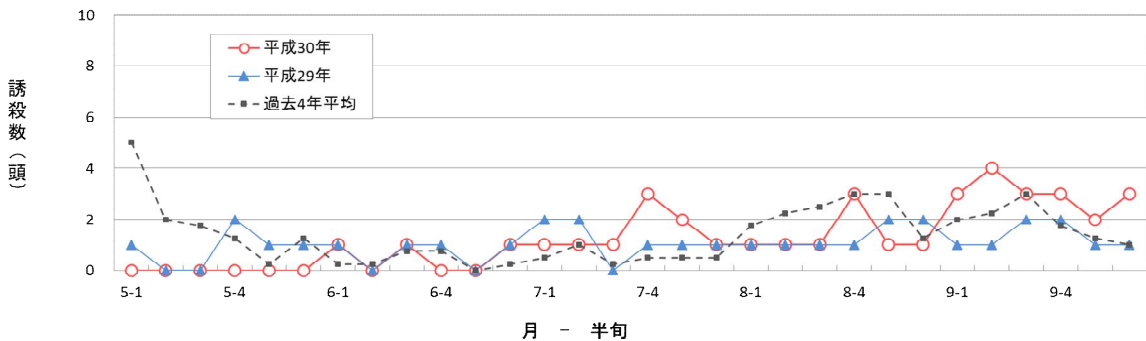
ホソヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (益子町)



ホソヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (さくら市)



ホソヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (那須塩原市)



(4) コガネムシ類の予察灯による誘殺数

① オオクロコガネ

(60W予察灯)

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
5-4	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1
5-5	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
5-6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
6-1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
6-2	1	1	0	3	0	3	0	0	1	0	0	0
6-3	1	2	6	0	1	0	0	0	0	0	0	1
6-4	3	6	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1
6-5	11	11	4	3	1	2	0	1	1	1	1	1
6-6	84	6	3	3	3	7	1	0	0	0	1	0
7-1	13	5	5	3	2	6	3	0	0	1	1	0
7-2	17	5	0	6	2	2	0	0	0	1	0	0
7-3	14	3	0	7	4	6	0	1	2	1	0	0
7-4	4	5	0	5	1	1	5	1	1	0	1	1
7-5	0	2	4	2	2	4	0	0	0	1	1	3
7-6	3	6	4	3	2	7	1	1	2	1	0	0
8-1	4	6	3	3	1	2	0	0	0	0	0	0
8-2	12	3	4	-※	1	2	0	1	1	0	0	0
8-3	3	2	3	-	1	1	1	1	0	1	0	1
8-4	0	2	1	-	2	6	0	0	1	0	0	0
8-5	1	1	2	-	1	1	0	0	1	0	0	0
8-6	1	1	0	-	2	0	0	0	0	0	0	1
9-1	2	1	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	-	0	0	0	0	1	0	0	0
9-3	0	0	0	-	0	0	2	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	4	2	1	1	1	0	0	1	1	3	2	2
6月計	100	26	14	9	6	12	1	1	3	2	3	4
7月計	51	25	13	26	12	26	9	3	5	5	3	4
8月計	21	15	13	3	7	12	1	2	3	1	1	2
9月計	2	1	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0
合計	178	69	41	39	26	50	13	8	13	11	8	12

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

※) 宇都宮市瓦谷町予察灯は、故障の為8月第1半旬で調査終了とした。

② ヒメコガネ

(60W予察灯)

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
7-2	0	1	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0
7-3	1	2	0	2	0	0	4	2	3	9	0	0
7-4	2	0	0	0	0	0	2	6	3	0	0	0
7-5	2	0	3	1	0	3	11	7	2	5	2	8
7-6	2	1	1	4	1	1	0	10	3	12	4	7
8-1	4	1	0	2	1	1	2	5	1	11	5	3
8-2	5	1	2	-※	1	2	3	5	1	1	5	2
8-3	3	1	1	-	1	3	2	3	0	7	2	0
8-4	0	1	2	-	1	2	0	2	0	1	1	1
8-5	0	0	2	-	1	2	0	1	1	3	2	5
8-6	0	0	0	-	0	0	0	0	0	1	0	2
9-1	0	0	0	-	0	0	0	0	0	1	0	0
9-2	0	0	0	-	0	1	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
7月計	7	5	4	7	2	4	22	25	13	26	7	15
8月計	12	4	7	2	5	10	7	16	3	24	15	13
9月計	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
合計	19	12	11	9	9	15	29	41	16	51	22	28

※) 宇都宮市瓦谷町予察灯は、故障の為8月第1半旬で調査終了とした。

③ ドウガネブイブイ
(60W予察灯)

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
6-4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	1	0	0	3	1	0	1	1	4
6-6	0	1	0	1	1	3	7	1	0	4	1	3
7-1	0	1	0	4	1	2	12	2	2	1	1	1
7-2	1	1	0	6	1	0	5	2	4	4	2	0
7-3	2	1	0	1	1	0	7	3	1	6	0	0
7-4	1	1	0	2	1	0	22	1	3	14	1	1
7-5	3	0	0	2	1	2	8	2	2	7	2	5
7-6	0	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	2
8-1	0	1	0	0	1	1	4	3	0	11	2	1
8-2	1	1	0	-※	1	1	4	1	1	2	2	1
8-3	1	1	0	-	1	0	3	1	1	7	1	0
8-4	0	0	0	-	0	0	1	1	2	1	1	6
8-5	0	1	0	-	0	0	4	1	1	2	2	6
8-6	0	1	1	-	1	5	0	0	1	3	1	4
9-1	0	0	1	-	0	2	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	-	0	0	1	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	-	0	1	0	0	0	0	0	1
9-4	0	0	0	-	0	0	0	0	1	1	0	1
9-5	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
6月計	0	1	0	2	1	3	11	3	1	5	3	7
7月計	7	5	1	16	6	5	56	11	14	34	6	9
8月計	2	3	1	0	4	7	16	6	6	26	8	18
9月計	0	0	1	0	1	3	1	0	1	1	0	2
合計	9	10	3	18	11	18	84	21	22	67	17	36

※) 宇都宮市瓦谷町予察灯は、故障の為8月第1半旬で調査終了とした。

4) 野菜類病害虫調査結果

(1) いちご

月	発生箇所	炭疽病	灰色かび病	うどんこ病	養食病	アブラムシ類	ハダニ類	コナジラミ類	ハスモンヨトウ幼虫	シロイチモジヨトウ幼虫	アザミウマ類	アザミウマ類(花)	備考
1月	発生箇所	7	5	5	5	3	37	15	0	0	-	5	9~12日調査 総調査ほ場数: 64カ所 総調査株数: 1,600株 (総調査花数: 3,200花) (調査株数: 1ほ場25株 (調査花数: 1ほ場50花))
	発生回数率(%)	10.9	7.8	7.8	7.8	4.7	57.8	23.4	0.0	0.0	-	7.8	
	発生回数率平年値(%)	6.9	4.1	10.8	10.3	6.5	54.6	36.2	0.0	-	-	11.4	
	発生株数(株)	0	0	4	0	6	293	25	0	0	-	15	
	発生株率(%)	0.0	0.0	0.3	0.0	0.4	18.3	1.6	0.0	0.0	-	0.5	
発生株率平年値(%)	0.0	0.1	0.5	0.1	0.7	20.0	4.6	0.0	-	-	0.3	本ほ	
概評		平年並	平年並	平年並	やや少	平年並	平年並	平年並	少	少	-	平年並	
2月	発生箇所	3	9	2	3	5	33	17	0	0	-	3	1~7日調査 総調査ほ場数: 64カ所 総調査株数: 1,600株 (総調査花数: 3,200花) (調査株数: 1ほ場25株 (調査花数: 1ほ場50花))
	発生回数率(%)	4.7	14.1	3.1	4.7	7.8	51.6	26.6	0.0	0.0	-	4.7	
	発生回数率平年値(%)	5.5	10.1	5.9	7.9	7.8	57.3	32.2	0.6	-	-	18.2	
	発生株数(株)	0	1	0	0	10	261	26	0	0	-	8	
	発生株率(%)	0.0	0.1	0.0	0.0	0.6	16.3	1.6	0.0	0.0	-	0.3	
発生株率平年値(%)	0.0	0.4	0.3	0.0	0.8	19.6	5.5	0.0	-	-	1.4	本ほ	
概評		やや少	平年並	やや少	やや少	平年並	平年並	平年並	少	少	-	やや少	
3月	発生箇所	2	5	3	2	5	31	25	0	0	-	10	1~7日調査 総調査ほ場数: 64カ所 総調査株数: 1,600株 (総調査花数: 3,200花) (調査株数: 1ほ場25株 (調査花数: 1ほ場50花))
	発生回数率(%)	3.1	7.8	4.7	3.1	7.8	48.4	39.1	0.0	0.0	-	15.6	
	発生回数率平年値(%)	4.9	18.3	5.7	11.9	6.5	53.9	31.5	0.0	-	-	27.8	
	発生株数(株)	0	0	0	0	17	152	48	0	0	-	39	
	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	9.5	3.0	0.0	0.0	-	1.2	
発生株率平年値(%)	0.0	1.3	0.3	0.1	0.7	17.2	6.0	0.0	-	-	2.2	本ほ	
概評		やや少	やや少	やや少	やや少	平年並	平年並	平年並	少	少	-	やや少	
4月	発生箇所	2	0	0	0	13	30	18	0	0	-	37	4~13日調査 総調査ほ場数: 64カ所 総調査株数: 1,600株 (総調査花数: 3,200花) (調査株数: 1ほ場25株 (調査花数: 1ほ場50花))
	発生回数率(%)	3.1	0.0	0.0	0.0	20.3	46.9	28.1	0.0	0.0	-	57.8	
	発生回数率平年値(%)	3.2	12.5	6.7	7.0	12.6	59.0	34.5	0.1	-	-	54.3	
	発生株数(株)	0	0	0	0	34	185	58	0	0	-	194	
	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	11.6	3.6	0.0	0.0	-	6.1	
発生株率平年値(%)	0.0	0.9	0.6	0.1	1.5	20.0	8.0	0.0	-	-	5.0	本ほ	
概評		やや少	少	少	少	やや多	平年並	平年並	少	少	-	平年並	
6月	発生箇所	0	0	8	0	18	27	9	0	0	-	1	1~11日調査 総調査ほ場数: 55カ所 総調査株数: 1,375株 (調査株数: 1ほ場25株)
	発生回数率(%)	0.0	0.0	14.5	0.0	32.7	49.1	16.4	0.0	0.0	-	1.8	
	発生回数率平年値(%)	1.8	0.8	40.3	1.0	34.3	66.1	30.4	0.7	0.0	4.0	-	
	発生株数(株)	0	0	40	0	173	161	11	0	0	2	-	
	発生株率(%)	0.0	0.0	2.9	0.0	12.6	11.7	0.8	0.0	0.0	0.1	-	
発生株率平年値(%)	0.0	0.0	7.3	0.0	6.5	23.2	4.1	0.0	0.0	0.2	-	親株	
概評		少	少	やや少	少	やや多	平年並	やや少	少	少	-	やや少	
7月	発生箇所	0	0	11	0	6	21	5	0	0	-	1	2~12日調査 総調査ほ場数: 57カ所 総調査株数: 1,425株 (調査株数: 1ほ場25株)
	発生回数率(%)	0.0	0.0	19.3	0.0	10.5	36.8	8.8	0.0	0.0	-	1.8	
	発生回数率平年値(%)	2.8	0.9	45.4	0.5	18.4	45.3	24.7	0.9	0.0	4.7	-	
	発生株数(株)	0	0	27	0	20	153	4	0	0	0	-	
	発生株率(%)	0.0	0.0	1.9	0.0	1.4	10.7	0.3	0.0	0.0	0.0	-	
発生株率平年値(%)	0.0	0.0	7.6	0.0	2.4	11.3	2.7	0.0	0.0	0.2	-	親株・育苗床	
概評		少	少	やや少	少	やや少	平年並	やや少	少	少	-	やや少	
8月	発生箇所	0	0	1	0	9	14	1	3	0	-	0	3~10日調査 総調査ほ場数: 59カ所 総調査株数: 1,475株 (調査株数: 1ほ場25株)
	発生回数率(%)	0.0	0.0	1.7	0.0	15.3	23.7	1.7	5.1	0.0	0.0	-	
	発生回数率平年値(%)	7.6	0.0	8.8	0.2	19.2	32.6	7.6	2.6	0.0	0.7	-	
	発生株数(株)	0	0	0	0	51	48	0	1	0	0	-	
	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	3.3	0.0	0.1	0.0	0.0	-	
発生株率平年値(%)	0.3	0.0	0.7	0.0	3.3	7.6	0.3	0.1	0.0	0.0	-	育苗床	
概評		少	少	少	少	平年並	平年並	やや少	やや多	少	-	少	
9月	発生箇所	2	0	0	0	4	0	1	4	0	-	0	5~13日調査 総調査ほ場数: 54カ所 総調査株数: 1,350株 (調査株数: 1ほ場25株)
	発生回数率(%)	3.7	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0	1.9	7.4	0.0	0.0	-	
	発生回数率平年値(%)	10.6	0.0	5.9	3.1	7.1	21.7	6.4	8.3	0.0	1.0	-	
	発生株数(株)	0	0	0	0	11	0	1	5	0	0	-	
	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.1	0.4	0.0	0.0	-	
発生株率平年値(%)	0.4	0.0	0.4	0.1	0.7	4.9	0.3	0.5	0.0	0.0	-	育苗床・本ほ	
概評		やや少	少	少	少	平年並	少	やや少	平年並	少	-	少	
10月	発生箇所	3	0	1	0	2	2	3	5	0	-	10	4~11日調査 総調査ほ場数: 64カ所、花調査ほ場数: 21カ所 総調査株数: 1,600株 (総調査花数: 3,200花) (調査株数: 1ほ場25株 (調査花数: 1ほ場50花))
	発生回数率(%)	4.8	0.0	1.6	0.0	3.2	3.2	4.8	7.9	0.0	-	100.0	
	発生回数率平年値(%)	8.3	0.0	11.6	5.1	13.2	28.8	24.4	14.0	0.0	-	-	
	発生株数(株)	4	0	1	0	6	5	3	5	0	-	6	
	発生株率(%)	0.3	0.0	0.1	0.0	0.4	0.3	0.2	0.3	0.0	-	1.2	
発生株率平年値(%)	0.2	0.0	2.7	0.1	1.6	7.9	1.4	1.1	0.0	-	-	本ほ	
概評		平年並	少	少	少	やや少	少	少	やや少	少	-	-	
11月	発生箇所	14	0	2	3	7	7	4	9	0	-	14	1~8日調査 総調査ほ場数: 64カ所、花調査ほ場数: 63カ所 総調査株数: 1,600株 (総調査花数: 3,150花) (調査株数: 1ほ場25株 (調査花数: 1ほ場50花))
	発生回数率(%)	22.2	0.0	3.2	4.8	11.1	11.1	6.3	14.3	0.0	-	100.0	
	発生回数率平年値(%)	11.2	0.1	20.2	9.7	15.8	33.2	30.4	9.7	0.0	-	23.0	
	発生株数(株)	8	0	6	0	40	52	8	9	0	-	45	
	発生株率(%)	0.5	0.0	0.4	0.0	2.5	3.3	0.5	0.6	0.0	-	6.4	
発生株率平年値(%)	0.1	0.0	4.2	0.2	2.5	9.5	2.5	0.5	0.0	-	1.4	本ほ	
概評		多	少	少	やや少	平年並	やや少	やや少	やや多	少	-	やや多	
12月	発生箇所	4	0	2	0	1	15	9	6	0	-	8	3~13日調査 総調査ほ場数: 63カ所 総調査株数: 1,575株 (総調査花数: 3,150花) (調査株数: 1ほ場25株 (調査花数: 1ほ場50花))
	発生回数率(%)	6.3	0.0	3.2	0.0	1.6	23.8	14.3	9.5	0.0	-	12.7	
	発生回数率平年値(%)	7.2	0.7	17.2	9.9	8.0	45.0	32.6	3.2	0.0	-	10.4	
	発生株数(株)	1	0	3	0	7	148	16	3	0	-	12	
	発生株率(%)	0.1	0.0	0.2	0.0	0.4	9.4	1.0	0.2	0.0	-	0.4	
発生株率平年値(%)	0.0	0.0	1.6	0.2	1.1	14.0	4.6	0.1	0.0	-	0.3	本ほ	
概評		平年並	少	少	少	やや少	やや少	やや少	多	少	-	平年並	

※アザミウマ類の花調査はH23.1~のため、平年値は過去7年の平均値。シロイチモジヨトウの調査はH28.6~のため、平年値は前年値。

(2) トマト

		灰色かび病	疫病	葉かび病	すすかび病	うどんこ病	黄化葉巻病	モザイク病	アブラムシ類	コナジラミ類(葉率)	アザミウマ類(花率)	ハモグリバエ類幼虫	タバコガ類幼虫および被害	ハスモンヨトウ幼虫	備考
1月	発生ほ場数(か所)	5	2	3	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	9~12日調査 総調査ほ場数: 20か所 総調査株数: 1,000株 (調査株数: 1ほ場50株) 冬春トマト
	発生ほ場率	25.0	10.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	18.6	1.0	11.6	8.8	6.0	9.1	0.0	0.0	18.3	-	0.5	0.0	0.5	
	発生株数(株)	2	0	44	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	
	発生株率(%)	0.2	0.0	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	
	発生株率(%)	1.3	0.0	2.0	0.8	1.6	0.3	0.0	0.0	0.9	-	0.1	0.0	0.0	
概評		やや少	平年並	やや多	少	-	少	少	少	少	-	少	少	少	
2月	発生ほ場数(か所)	4	0	2	0	2	1	0	0	6	-	0	0	0	1~7日調査 総調査ほ場数: 23か所 総調査株数: 1,150株 (調査株数: 1ほ場50株) 冬春トマト
	発生ほ場率	17.4	0.0	8.7	0.0	8.7	4.3	0.0	0.0	26.1	-	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	29.5	0.9	9.0	3.8	8.8	9.1	0.4	0.9	19.1	-	0.5	0.0	0.0	
	発生株数(株)	4	0	11	0	7	0	0	0	4	-	0	0	0	
	発生株率(%)	0.3	0.0	1.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.2	-	0.0	0.0	0.0	
	発生株率(%)	2.8	0.0	1.6	0.3	0.8	0.1	0.0	0.0	1.6	-	0.0	0.0	0.0	
概評		やや少	少	平年並	少	-	やや少	少	少	やや少	-	少	少	少	
3月	発生ほ場数(か所)	11	1	2	0	2	0	0	0	5	-	0	0	0	1~7日調査 総調査ほ場数: 23か所 総調査株数: 1,150株 (調査株数: 1ほ場50株) 冬春トマト
	発生ほ場率	47.8	4.3	8.7	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	21.7	-	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	48.1	0.9	12.8	2.2	6.9	11.9	0.0	0.0	19.3	-	0.5	0.0	0.0	
	発生株数(株)	8	0	31	0	0	0	0	0	2	-	0	0	0	
	発生株率(%)	0.7	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	-	0.0	0.0	0.0	
	発生株率(%)	5.5	0.0	2.9	0.1	0.4	0.2	0.0	0.0	1.5	-	0.0	0.0	0.0	
概評		やや少	平年並	平年並	少	-	少	少	少	やや少	-	少	少	少	
4月	発生ほ場数(か所)	10	0	1	0	3	0	0	0	4	-	1	0	0	4~16日調査 総調査ほ場数: 23か所 総調査株数: 1,150株 (調査株数: 1ほ場50株) 冬春トマト
	発生ほ場率	43.5	0.0	4.3	0.0	13.0	0.0	0.0	0.0	17.4	-	4.3	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	55.5	0.0	15.1	2.3	10.0	9.0	0.5	4.1	26.9	-	1.3	0.0	0.0	
	発生株数(株)	48	0	21	0	42	0	0	0	20	-	0	0	0	
	発生株率(%)	4.2	0.0	1.8	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.9	-	0.0	0.0	0.0	
	発生株率(%)	7.7	0.0	3.9	0.1	2.4	0.5	0.0	0.3	2.3	-	0.1	0.0	0.0	
概評		平年並	少	やや少	少	-	少	少	少	平年並	-	平年並	少	少	
5月	発生ほ場数(か所)	13	0	2	0	6	0	0	0	6	-	1	0	0	2~9日調査 総調査ほ場数: 23か所 総調査株数: 1,150株 (調査株数: 1ほ場50株) 冬春トマト
	発生ほ場率	56.5	0.0	8.7	0.0	26.1	0.0	0.0	0.0	26.1	-	4.3	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	56.6	0.0	21.8	3.0	24.4	6.3	0.0	7.3	28.6	-	3.2	0.0	0.0	
	発生株数(株)	32	0	32	0	131	0	0	0	21	-	2	0	0	
	発生株率(%)	2.8	0.0	2.8	0.0	11.4	0.0	0.0	0.0	0.9	-	0.2	0.0	0.0	
	発生株率(%)	10.6	0.0	7.5	0.4	5.8	0.6	0.0	0.3	3.4	-	0.2	0.0	0.0	
概評		平年並	少	やや少	少	-	少	少	少	平年並	-	平年並	少	少	
6月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	1	0	0	0	2	6	2	3	0	0	4~11日調査 総調査ほ場数: 12か所 総調査株数: 600株 (調査株数: 1ほ場50株) 夏秋トマト
	発生ほ場率	0.0	0.00	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	16.7	25.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	13.4	0.00	6.4	8.0	14.4	0.0	0.0	11.7	41.5	14.7	9.3	3.3	0.0	
	発生株数(株)	0	0	0	5	0	0	0	10	2	9	4	0	0	
	発生株率(%)	0.0	0.00	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	1.7	0.2	0.8	0.7	0.0	0.0	
	発生株率(%)	0.8	0.00	2.9	0.7	2.1	0.0	0.0	0.6	2.7	0.8	1.0	0.0	0.0	
概評		少	少	少	平年並	-	少	少	やや多	やや少	-	やや多	少	少	
7月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	3	4	0	0	1	9	5	1	1	0	2~11日調査 総調査ほ場数: 12か所 総調査株数: 600株 (調査株数: 1ほ場50株) 夏秋トマト
	発生ほ場率	0.0	0.00	0.0	25.0	33.3	0.0	0.0	8.3	75.0	41.7	8.3	8.3	0.0	
	発生ほ場率(%)	25.6	0.00	16.1	24.5	51.7	0.8	0.0	4.7	53.3	10.6	16.3	7.7	0.0	
	発生株数(株)	0	0	0	47	51	0	0	0	64	60	3	1	0	
	発生株率(%)	0.0	0.00	0.0	7.8	8.5	0.0	0.0	0.0	5.3	5.0	0.5	0.2	0.0	
	発生株率(%)	3.2	0.00	7.0	6.9	13.1	0.0	0.0	0.1	4.4	1.0	0.9	0.2	0.0	
概評		少	少	少	平年並	-	少	少	平年並	やや多	-	やや少	平年並	少	
8月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	4	2	0	0	0	6	0	2	3	0	3~7日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査株数: 500株 (調査株数: 1ほ場50株) 夏秋トマト
	発生ほ場率	0.0	0.00	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	20.0	30.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	30.5	0.00	26.6	31.3	33.2	1.0	0.0	4.9	73.3	5.7	24.4	13.7	0.0	
	発生株数(株)	0	0	0	150	28	0	0	0	44	0	7	10	0	
	発生株率(%)	0.0	0.00	0.0	30.0	5.6	0.0	0.0	0.0	4.4	0.0	1.4	2.0	0.0	
	発生株率(%)	9.6	0.00	15.1	14.7	8.6	0.1	0.0	0.2	17.5	0.0	2.0	0.2	0.0	
概評		少	少	少	平年並	-	少	少	少	平年並	-	平年並	多	少	
10月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	2	0	0	0	4	4	-	1	0	0	2~11日調査 総調査ほ場数: 16か所 総調査株数: 800株 (調査株数: 1ほ場50株) 冬春トマト
	発生ほ場率	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	37.5	0.0	0.0	25.0	-	6.3	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	2.2	2.3	10.7	17.1	11.3	5.4	0.0	0.0	26.1	-	0.0	0.0	2.9	
	発生株数(株)	0	0	0	0	0	0	0	0	5	-	0	0	0	
	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	-	0.0	0.0	0.0	
	発生株率(%)	0.0	0.0	0.7	2.3	1.1	0.0	0.0	0.0	2.4	-	0.0	0.0	0.1	
概評		少	少	少	やや少	-	平年並	少	少	やや少	-	少	少	少	
11月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	4	1	3	0	0	7	-	0	0	0	1~8日調査 総調査ほ場数: 21か所 総調査株数: 1,050株 (調査株数: 1ほ場50株) 冬春トマト
	発生ほ場率	0.0	0.0	0.0	19.0	4.8	14.3	0.0	0.0	33.3	-	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	2.5	2.1	7.5	14.3	10.1	6.2	0.5	1.9	30.8	-	2.9	1.5	5.2	
	発生株数(株)	0	0	0	7	0	13	0	0	22	-	0	0	0	
	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	1.2	0.0	0.0	1.0	-	0.0	0.0	0.0	
	発生株率(%)	0.0	0.0	1.5	1.7	1.4	0.1	0.0	0.0	1.4	-	0.1	0.0	0.2	
概評		少	少	少	平年並	-	多	少	少	平年並	-	少	少	少	
12月	発生ほ場数(か所)	3	1	0	4	2	4	0	0	4	-	2	0	0	3~13日調査 総調査ほ場数: 23か所 総調査株数: 1,150株 (調査株数: 1ほ場50株) 冬春トマト
	発生ほ場率	13.0	4.3	0.0	17.4	8.7	17.4	0.0	0.0	17.4	-	8.7	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	9.8	1.8	10.2	9.9	8.0	9.1	0.5	1.3	26.6	-	2.1	0.0	2.7	
	発生株数(株)	0	0	0	3	3	15	0	0	14	-	19	0	0	
	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	1.3	0.0	0.0	0.6	-	1.7	0.0	0.0	
	発生株率(%)	0.3	0.1	2.9	1.0	1.3	0.1	0.0	0.0	1.3	-	0.1	0.0	0.1	
概評		やや少	平年並	少	平年並	-	多	少	少	平年並	-	多	少	少	

※コナジラミ類葉率調査はH26.1~、以前は株率調査のため平年値は参考値。すすかび病調査はH23.7~のため、平年値は過去7年の平均値。アザミウマ類花率調査は、夏秋トマトのみ。また、平年値は過去7年の平均値。タバコガ類幼虫および被害調査はH28.6~、以前は幼虫調査のため平年値は参考値。

(3) なす

		うどんこ病	灰色かび病 (葉率)	青枯病	半身萎凋病	輪紋病	すすかび病 (葉率)	アブラムシ類	ハダニ類 (葉率)	アザミウマ類 (葉率)	ハスモンヨトウ幼虫 (葉率)	シロイチモジヨトウ幼虫 (葉率)	タバコガ類幼虫被害 (葉率)	ハマグリバエ類幼虫	コナジラミ類成幼虫 (葉率)	備考	
6月	発生ほ場数(か所)	1	0	0	0	0	0	6	4	6	0	0	0	0	4	1～8日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査株数: 450株 (調査株数 50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	44.4	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4		
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値(%)	13.0	0.9	0.0	1.1	0.0	1.8	57.8	35.9	62.8	1.1	0.0	6.9	43.9		44.4
	発生株・葉数(株・葉)	6	0	0	0	0	0	51	51	57	0	0	0	0	9		
	発生株率	発生株・葉率(%)	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.3	5.7	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0		1.0
発生株率	平年値(%)	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	5.3	3.0	18.9	0.0	0.0	0.1	6.6	5.7		
概評		平年並	少	少	少	-	-	やや多	やや多	平年並	少	少	やや少	-	-		
7月	発生ほ場数(か所)	1	0	0	0	0	0	5	4	5	0	0	0	1	6	2～12日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査株数: 450株 (調査株数 50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6	44.4	55.6	0.0	0.0	0.0	11.1	66.7		
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値(%)	22.5	0.0	0.0	4.2	0.0	2.2	25.5	46.0	82.9	2.0	0.0	6.7	7.5		73.2
	発生株・葉数(株・葉)	6	0	0	0	0	0	6	44	68	0	0	0	1	32		
	発生株率	発生株・葉率(%)	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	4.9	7.6	0.0	0.0	0.0	0.2		3.6
発生株率	平年値(%)	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.4	4.7	23.8	0.1	0.0	0.2	0.2	8.7		
概評		やや少	少	少	少	-	-	やや多	平年並	平年並	少	少	少	-	-		
8月	発生ほ場数(か所)	3	0	0	0	0	0	5	5	5	0	0	0	0	7	3～10日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査株数: 450株 (調査株数 50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6	55.6	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8		
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値(%)	27.0	0.0	2.2	3.2	2.2	4.6	38.1	46.1	77.2	10.3	0.0	16.8	7.2		86.5
	発生株・葉数(株・葉)	6	0	0	0	0	0	14	14	32	0	0	0	0	34		
	発生株率	発生株・葉率(%)	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	1.6	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0		3.8
発生株率	平年値(%)	3.8	0.0	0.1	0.0	0.0	0.5	3.5	9.3	20.2	0.2	0.0	0.5	0.3	12.9		
概評		平年並	少	少	少	-	-	やや多	やや少	やや少	少	少	少	-	-		
9月	発生ほ場数(か所)	6	0	1	0	1	0	2	2	5	0	0	3	1	7	5～12日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査株数: 450株 (調査株数 50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	66.7	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	22.2	22.2	55.6	0.0	0.0	33.3	11.1		77.8
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値(%)	51.4	0.0	5.5	2.2	0.0	29.4	19.6	37.3	66.7	15.8	0.0	16.8	10.3		81.8
	発生株・葉数(株・葉)	76	0	0	0	6	0	4	2	25	0	0	3	10	40		
	発生株率	発生株・葉率(%)	16.9	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.9	0.2	2.8	0.0	0.0	0.3	2.2		4.4
発生株率	平年値(%)	14.0	0.0	0.3	0.1	0.0	5.2	2.2	8.1	13.1	0.6	0.0	0.7	2.6	10.0		
概評		平年並	少	平年並	少	-	-	平年並	やや少	平年並	少	少	やや多	-	-		

※灰色かび病・アザミウマ類・ハスモンヨトウ幼虫葉率調査はH28.6～、すすかび病・ハダニ類・コナジラミ類葉率調査はH26.6～、以前は株率調査のため平年値は参考値。タバコガ類幼虫被害果率調査はH28.6～、以前は幼虫寄生株率調査のため平年値は参考値。シロイチモジヨトウ調査はH28.6～のため平年値は昨年値。

(4) きゅうり

		灰色かび病 (株率)	べと病	うどんこ病	褐斑病	疫病 (株率)	モザイク病 (株率)	黄化えそ病 (株率)	アブラムシ類	アザミウマ類	ハモグリバエ類 幼虫	コナジラミ類	ハダニ類	ハスモンヨトウ幼虫 (株率)	備考
1月	発生ほ場数(か所)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9~12日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査葉数: 1,000葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率平年値(%)	0.0	7.3	33.7	10.1	0.0	0.0	13.4	2.4	12.3	1.0	8.9	0.0	0.0	
	発生葉・株数(葉・株)	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発生葉率平年値(%)	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
概評		少	やや少	やや少	少	少	-	少	少	少	少	少	-	少	
2月	発生ほ場数(か所)	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1~7日調査 総調査ほ場数: 8か所 総調査葉数: 800葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率平年値(%)	0.0	8.4	26.8	15.3	0.0	0.0	10.7	2.2	17.6	2.1	7.8	1.0	0.0	
	発生葉・株数(葉・株)	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発生葉率平年値(%)	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
概評		少	少	やや多	少	少	-	少	少	少	少	少	-	少	
3月	発生ほ場数(か所)	0	0	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1~6日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査葉数: 900葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	55.6	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率平年値(%)	6.3	14.1	34.6	23.2	0.0	0.9	15.8	1.3	22.8	3.4	14.3	0.0	1.0	
	発生葉・株数(葉・株)	0	0	46	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	
	発生葉率平年値(%)	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	0.0	2.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
概評		少	少	やや多	少	少	-	やや多	多	少	少	少	-	少	
4月	発生ほ場数(か所)	0	2	7	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	4~13日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査葉数: 1,000葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	0.0	20.0	70.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率平年値(%)	0.9	19.6	47.3	27.7	0.0	0.0	14.3	3.6	36.3	2.0	11.6	5.4	0.0	
	発生葉・株数(葉・株)	0	2	148	0	0	0	3	7	0	0	0	0	0	
	発生葉率平年値(%)	0.0	0.2	14.8	0.0	0.0	0.0	1.2	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
概評		少	やや少	やや多	少	少	-	平年並	多	少	少	少	-	少	
5月	発生ほ場数(か所)	0	3	8	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	7~9日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査葉数: 1,000葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	0.0	30.0	80.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
	発生ほ場率平年値(%)	2.0	42.4	48.2	18.6	0.0	0.0	9.2	4.6	30.2	2.5	14.0	9.4	0.0	
	発生葉・株数(葉・株)	0	30	353	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	
	発生葉率平年値(%)	0.0	3.0	35.3	0.0	0.0	0.0	0.8	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
概評		少	平年並	やや多	少	少	-	平年並	やや多	少	少	少	-	少	
6月	発生ほ場数(か所)	0	4	5	0	0	0	0	0	2	0	1	1	1	4、5日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査葉数: 1,000葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	0.0	40.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	10.0	10.0	10.0	
	発生ほ場率平年値(%)	0.0	47.2	77.7	14.4	0.0	0.8	15.4	12.7	64.8	1.8	20.5	13.0	0.8	
	発生葉・株数(葉・株)	0	81	148	0	0	0	0	0	3	0	1	8	0	
	発生葉率平年値(%)	0.0	8.1	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.1	0.8	0.0	
概評		少	平年並	平年並	少	少	-	少	少	やや少	少	やや少	-	平年並	
7月	発生ほ場数(か所)	0	3	2	0	0	1	0	0	0	1	2	1	0	6~12日調査 総調査ほ場数: 4か所 総調査葉数: 400葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	0.0	75.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	
	発生ほ場率平年値(%)	2.2	51.5	78.3	28.4	0.0	2.8	25.0	5.6	61.6	2.4	39.1	6.3	2.2	
	発生葉・株数(葉・株)	0	93	70	0	0	1	0	0	0	1	11	1	0	
	発生葉率平年値(%)	0.0	23.3	17.5	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.3	2.8	0.3	0.0	
概評		少	やや多	平年並	少	少	-	少	少	少	-	平年並	-	少	
8月	発生ほ場数(か所)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3~6日調査 総調査ほ場数: 3か所 総調査葉数: 300葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率平年値(%)	0.0	30.8	64.5	5.0	0.0	0.0	29.8	5.7	38.3	2.9	63.6	0.0	0.0	
	発生葉・株数(葉・株)	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発生葉率平年値(%)	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
概評		少	少	やや少	少	少	-	少	少	少	-	少	-	少	
9月	発生ほ場数(か所)	0	2	7	1	0	0	0	2	2	0	5	1	0	6~13日調査 総調査ほ場数: 12か所 総調査葉数: 1,200葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	0.0	16.7	58.3	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	41.7	8.3	0.0	
	発生ほ場率平年値(%)	0.0	31.1	49.8	15.6	0.0	0.8	13.5	2.7	44.8	23.0	59.8	0.8	14.1	
	発生葉・株数(葉・株)	0	27	181	2	0	0	0	3	2	0	12	8	0	
	発生葉率平年値(%)	0.0	2.3	15.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.0	1.0	0.7	0.0	
概評		少	平年並	やや多	やや少	少	-	少	多	やや少	少	やや少	-	少	
10月	発生ほ場数(か所)	0	6	4	1	0	2	1	0	4	1	3	0	0	2~11日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査葉数: 1,000葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	0.0	60.0	40.0	10.0	0.0	20.0	10.0	0.0	40.0	10.0	30.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率平年値(%)	0.0	50.6	65.4	38.6	0.0	1.7	36.6	2.8	59.9	19.0	70.2	1.7	7.2	
	発生葉・株数(葉・株)	0	70	114	11	0	0	7	0	8	0	3	0	0	
	発生葉率平年値(%)	0.0	7.0	11.4	1.1	0.0	0.0	2.8	0.0	0.8	0.0	0.3	0.0	0.0	
概評		少	平年並	平年並	やや少	少	-	やや少	少	やや少	やや少	やや少	-	少	
11月	発生ほ場数(か所)	0	8	6	2	0	2	2	0	1	0	4	0	0	1~8日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査葉数: 1,000葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	0.0	80.0	60.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	10.0	0.0	40.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率平年値(%)	0.0	48.1	64.1	36.9	0.0	1.0	42.4	0.0	50.0	8.1	58.0	1.0	5.6	
	発生葉・株数(葉・株)	0	138	124	9	0	8	5	0	3	0	43	0	0	
	発生葉率平年値(%)	0.0	13.8	12.4	0.9	0.0	3.2	2.0	0.0	0.3	0.0	4.3	0.0	0.0	
概評		少	やや多	平年並	やや少	少	-	やや少	少	やや少	少	平年並	-	少	
12月	発生ほ場数(か所)	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3~12日調査 総調査ほ場数: 6か所 総調査葉数: 600葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	
	発生ほ場率平年値(%)	2.0	19.9	31.1	16.6	0.0	2.5	12.7	6.5	16.0	4.2	21.5	5.8	2.0	
	発生葉・株数(葉・株)	0	26	2	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	
	発生葉率平年値(%)	0.0	4.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	
概評		少	やや多	やや少	少	少	-	少	少	少	少	平年並	-	少	

(5) なら

		白斑葉枯病	乾腐病	さび病	株腐細菌病	ネダニ類	アザミウマ類	備考	
1月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	0	9～11日調査 総調査ほ場数：18か所 総調査株数：900株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	12.7	2.5	0.0	0.0	26.4		3.1
	発生株数(株)		0	0	0	0	0		0
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	1.1	0.0	0.0	0.0	2.3		0.1
概 評		少	少	少	少	少	-		
2月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	9	0	1～6日調査 総調査ほ場数：19か所 総調査株数：950株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	47.4		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	15.4	5.0	0.0	0.0	23.8		3.0
	発生株数(株)		0	0	0	0	0		0
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	1.8	0.1	0.0	0.0	2.1		0.2
概 評		少	少	少	少	平年並	-		
3月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	6	0	1～7日調査 総調査ほ場数：19か所 総調査株数：950株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	31.6		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	20.1	4.7	0.0	0.0	18.1		2.4
	発生株数(株)		0	0	0	0	0		0
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	3.7	0.0	0.0	0.0	1.4		0.3
概 評		少	少	少	少	平年並	-		
10月	発生ほ場数(か所)	2	0	4	0	0	0	2～10日調査 総調査ほ場数：17か所 総調査株数：850株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	11.8	0.0	23.5	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	10.4	1.7	4.5	0.0	23.5		15.0
	発生株数(株)		0	0	56	0	0		0
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	6.6	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	0.1	0.0	3.1	0.0	0.9		1.5
概 評		やや少	少	多	少	少	-		
11月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	2	0	5～8日調査 総調査ほ場数：18か所 総調査株数：900株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	16.5	2.9	1.9	0.0	19.1		10.3
	発生株数(株)		0	0	0	0	0		0
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	1.5	0.0	0.2	0.0	0.4		2.1
概 評		少	少	少	少	やや少	-		
12月	発生ほ場数(か所)	0	0	1	0	1	0	3～10日調査 総調査ほ場数：16か所 総調査株数：800株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	14.8	6.6	0.0	0.0	21.4		9.4
	発生株数(株)		0	0	2	0	0		0
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	6.7	0.1	0.0	0.0	1.2		1.8
概 評		少	少	多	少	やや少	-		

※株率調査はH23.9～のため平年値は過去6年の平均値。

(6)ねぎ

		さび病	べと病	黒斑病	軟腐病	萎縮病	アブラムシ類	アザミウマ類	ハモグリバエ類幼虫	ハスモンヨトウ幼虫	ネギコガ幼虫	備考	
7月	発生ほ場数(か所)	3	0	8	0	0	0	8	0	0	0	4～12日調査 総調査ほ場数：8か所 総調査株数：400株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	37.5	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	44.7	16.4	65.3	0.0	0.0	4.7	84.5	5.8	1.2		8.0
	発生株数(株)	23	0	113	0	0	0	400	0	0	0		
	発生株率	発生株率(%)	5.8	0.0	28.3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	13.6	1.3	9.4	0.0	0.0	2.3	52.0	0.7	0.0		0.5
	概評		平年並	少	やや多	-	少	少	やや多	少	少		少
8月	発生ほ場数(か所)	0	0	7	0	0	0	6	0	0	0	3～6日調査 総調査ほ場数：8か所 総調査株数：400株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	87.5	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	12.3	12.0	83.8	0.6	0.0	1.1	89.2	1.3	0.0		3.1
	発生株数(株)	0	0	149	0	0	0	210	0	0	0		
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	37.3	0.0	0.0	0.0	52.5	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	1.0	2.8	19.8	0.0	0.0	0.0	61.0	0.2	0.0		0.1
	概評		少	少	やや多	-	少	少	平年並	少	少		少
9月	発生ほ場数(か所)	0	0	8	0	0	0	6	2	0	0	7～12日調査 総調査ほ場数：8か所 総調査株数：400株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	4.0	8.2	89.0	1.4	0.0	1.7	83.1	7.3	7.7		1.3
	発生株数(株)	0	0	97	0	0	0	116	15	0	0		
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	24.3	0.0	0.0	0.0	29.0	3.8	0.0		0.0
		平年値(%)	0.4	1.1	25.4	0.0	0.0	0.1	45.7	0.6	0.3		0.0
	概評		少	少	平年並	-	少	少	平年並	多	少		少
10月	発生ほ場数(か所)	0	0	8	0	0	0	2	0	0	0	4、5日調査 総調査ほ場数：8か所 総調査株数：400株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	29.5	4.8	89.7	0.0	0.0	7.4	73.4	4.9	9.7		1.7
	発生株数(株)	0	0	106	0	0	0	46	0	0	0		
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	26.5	0.0	0.0	0.0	11.5	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	4.1	0.5	20.9	0.0	0.0	0.2	41.4	0.0	0.3		0.0
	概評		少	少	平年並	-	少	少	やや少	少	少		少

発生ほ場率と発生株率の発生程度は、過去10年の平均値と比較して評価しています。
各月の概評は、病害虫の発生ほ場率、発生株率から評価した結果です。
－：非評価

(7) たまねぎ

		さび病	べと病	白色疫病	黒斑病	灰色かび病	黒点葉枯病	ポトリチス葉枯病	アブラムシ類	アザミウマ類	ハモグリバエ類	備考	
4月	発生ほ場数(か所)	0	5	0	0	0	0	0	0	1	0	4～12日調査 総調査ほ場数: 8か所 総調査株数: 400株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	0.0	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	0.0	17.5	-	3.6	0.0	25.6	0.0	16.5	47.4		0.0
	発生株数(株)		0	5	0	0	0	0	0	0	0		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値 (%)	0.0	1.0	-	0.2	0.0	5.3	0.0	0.7	11.3		0.0
	概評		少	やや多	少	少	-	-	-	-	やや少		-
5月	発生ほ場数(か所)	0	5	0	0	0	0	0	0	5	0	8、9日調査 総調査ほ場数: 8か所 総調査株数: 400株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	0.0	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	2.5	42.2	-	11.3	0.0	11.3	0.0	7.5	90.6		2.7
	発生株数(株)		0	13	0	0	0	0	0	0	95		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.8		0.0
		平年値 (%)	0.1	8.6	-	3.7	0.0	2.0	0.0	0.6	59.8		0.0
	概評		少	平年並	少	少	-	-	-	-	平年並		-

※白色疫病の調査は、H28.4～のため平年値はない。

(8) キャベツ

		黒腐病	菌核病	アブラムシ類	モンシロチョウ幼虫 (アオムシ)	ハスモンヨトウ幼虫	オオタバコガ幼虫	コナガ幼虫	ヨトウムシ (ヨトウガ類幼虫)	備考	
9月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	0	0	0	25日調査 総調査ほ場数: 4か所 総調査株数: 100株 (調査株数: 1ほ場25株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	0.0	0.0	5.3	15.1	31.6	12.0	1.4		3.7
	発生株数(株)		0	0	0	0	0	0	0		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値 (%)	0.0	0.0	0.1	1.1	0.9	0.7	0.0		0.1
	概 評		少	少	少	-	少	少	少		少
10月	発生ほ場数(か所)	3	0	0	0	0	1	0	0	15日調査 総調査ほ場数: 4か所 総調査株数: 100株 (調査株数: 1ほ場25株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	0.0	2.0	15.7	3.3	17.1	10.0	2.5		3.3
	発生株数(株)		7	0	0	0	0	0	0		0
	発生株率	発生株率 (%)	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値 (%)	0.0	0.0	2.9	0.2	2.0	0.5	0.0		0.2
	概 評		-	少	少	-	少	平年並	少		少

※株率調査はH23.9~のため、平年値は過去6年の平均値。

(9) レタス

		灰色かび病	菌核病	軟腐病	アブラムシ類	オオタバコガ幼虫	ヨトウムシ(ヨトウガ類幼虫)	ハスモンヨトウ幼虫	シロイチモジヨトウ幼虫	備考	
9月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	0	0	0	25日調査 総調査ほ場数: 4か所 総調査株数: 100株 (調査株数: 1ほ場25株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5		-
	発生株数(株)	0	0	0	0	0	0	0	0		
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3		-
	概評		少	少	少	少	少	少	少		少
10月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	0	0	0	15日調査 総調査ほ場数: 4か所 総調査株数: 100株 (調査株数: 1ほ場25株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	0.0	5.0	4.2	3.3	0.0	0.0	0.0		-
	発生株数(株)	0	0	0	0	0	0	0	0		
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0		-
	概評		少	少	少	少	少	少	少		少

※シロイチモジヨトウの調査はH28~のため平年値なし。株率調査はH23.9~のため平年値は過去6年の平均値。

5) 果樹類病虫害調査結果

(1) なし

		黒星病	黒星病(果実)	黒斑病	赤星病	輪紋病(果実)	火傷病	ハダニ類	ハマキムシ類被害枝率	サビダニ類被害枝率	アブラムシ類寄生枝率	シンクイムシ類(果実)	カメムシ類(果実)	備考	
5月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	0	0	0	2	17	0	3	7~9日調査 総調査ほ場数: 28か所 総調査葉数: 11,200葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 総調査枝: 2,800枝・果実達観 (調査枝: 1ほ場100枝・果実達観)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	60.7	0.0	10.7		
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値(%)	9.5	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.7	0.5	24.3	66.8	0.0		0.0
	発生葉数(葉)	0	0	0	0	0	0	0	0	15	161	0	0		
	発生葉率	発生葉率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	5.8	0.0	0.0		
	発生葉率	平年値(%)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	6.9	0.0	0.0		
	概評	少	やや少	少	少	-	-	少	少	-	平年並	少	少		
6月	発生ほ場数(か所)	1	0	0	1	0	0	0	1	15	15	0	0	1~8日調査 総調査ほ場数: 27か所 総調査葉数: 10,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 総調査枝: 2,700枝・果実達観 (調査枝: 1ほ場100枝・果実達観)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	3.7	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	3.7	55.6	55.6	0.0	0.0		
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値(%)	41.2	13.1	0.0	9.9	0.0	0.0	1.5	0.4	38.2	48.9	0.0		0.5
	発生葉数(葉)	0	0	0	5	0	0	0	0	247	188	0	0		
	発生葉率	発生葉率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	7.0	0.0	0.0		
	発生葉率	平年値(%)	0.8	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	5.2	0.0		0.0
	概評	少	やや少	少	少	-	-	少	少	-	平年並	少	少		
7月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	2	0	0	0	1	23	10	0	0	2~6日調査 総調査ほ場数: 27か所 総調査葉数: 10,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 総調査枝・果実数: 2,700枝・果 (調査枝・果実数: 1ほ場100枝・100果)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0	0.0	3.7	85.2	37.0	0.0	0.0		
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値(%)	43.2	18.1	0.0	15.5	0.0	0.0	4.0	2.2	-	35.5	3.1		0.0
	発生葉数(葉)	0	0	0	3	0	0	0	23	380	45	0	0		
	発生葉率	発生葉率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	14.1	1.7	0.0	0.0		
	発生葉率	平年値(%)	0.6	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	35.8	3.5	0.0	0.0		
	概評	少	やや少	少	少	-	-	少	少	-	平年並	少	少		
8月	発生ほ場数(か所)	2	1	0	1	0	0	9	1	23	1	0	0	3~10日調査 総調査ほ場数: 27か所 総調査葉数: 10,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 総調査枝・果実数: 2,700枝・果 (調査枝・果実数: 1ほ場100枝・100果)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	7.4	3.7	0.0	3.7	0.0	33.3	3.7	85.2	3.7	0.0	0.0		
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値(%)	35.8	32.2	1.2	12.9	0.0	0.0	17.3	2.9	97.5	20.1	0.5		4.2
	発生葉数(葉)	3	1	0	5	0	0	133	18	550	2	0	0		
	発生葉率	発生葉率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.7	20.4	0.1	0.0		0.0
	発生葉率	平年値(%)	0.3	0.5	0.0	0.1	0.0	0.0	0.8	0.0	39.4	0.4	0.0		0.0
	概評	少	やや少	少	少	-	-	少	少	-	平年並	少	少		

※サビダニ類被害枝率調査はH27.5~のため平年値は過去3年間の値。ハマキムシ類被害枝率調査はH26.5~、以前は葉での幼虫調査のため平年値は参考値。
※果実調査は7、8月。(5、6月は達観調査。)

(2) ぶどう

		べと病(葉)	べと病(花穂)	晩腐病(花穂)	黒とう病(花穂)	褐斑病(葉)	灰色かび病(葉)	灰色かび病(花穂)	ハマキムシ類(花穂)	アブラムシ類(花穂)	アブラムシ類(葉)	ハダニ類(葉)	備考	
6月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1~8日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査葉・花穂数: 1,000葉・花穂 (調査葉・花穂数: 1ほ場100葉・花穂)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0		
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値(%)	3.3	1.1	0.0	4.6	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	2.2		0.0
	発生葉・花穂数(葉・花穂)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0		
	発生葉・花穂率	発生葉・花穂率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0		
	発生葉・花穂率	平年値(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0		
	概評	やや少	-	多	やや多	-	少	-	-	-	-	-		
7月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2、3日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査葉・花穂数: 1,000葉・花穂 (調査葉・花穂数: 1ほ場100葉・花穂)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値(%)	5.4	1.0	1.3	20.2	5.0	0.0	0.0	0.0	2.2	1.7		1.3
	発生葉・花穂数(葉・花穂)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	発生葉・花穂率	発生葉・花穂率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	発生葉・花穂率	平年値(%)	0.1	0.0	0.0	1.8	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	概評	やや少	-	多	やや多	-	少	-	-	-	-	-		
8月	発生ほ場数(か所)	1	0	2	0	3	0	0	0	1	0	0	10~13日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査葉・花穂数: 1,000葉・花穂 (調査葉・花穂数: 1ほ場100葉・花穂)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	10.0	0.0	20.0	0.0	30.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0		
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値(%)	47.5	13.5	5.5	7.7	26.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2		
	発生葉・花穂数(葉・花穂)	0	0	25	0	83	0	0	0	0	0	0		
	発生葉・花穂率	発生葉・花穂率(%)	0.0	0.0	2.5	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	発生葉・花穂率	平年値(%)	4.5	0.0	0.7	1.8	8.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	概評	やや少	-	多	やや多	-	少	-	-	-	-	-		

(3) りんご

		斑点落葉病	赤星病	褐斑病	火傷病	黒星病	輪紋病(果実)	ハダニ類	ハマキムシ類幼虫	アブラムシ類	シンクイムシ類(果実)	備考
6月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0.0	6～8日調査 総調査ほ場数: 7か所 総調査葉数: 2,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 果実達観調査
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		発生ほ場率平年値(%)	12.9	7.3	0.0	0.0	-	0.0	3.7	0.0	10.0	
	発生葉数(葉)		0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	
	発生葉率	発生葉率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		平年値(%)	0.1	0.1	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.1	
概評		少	少	少	-	少	-	平年並	少	平年並	-	
7月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0.0	4、5日調査 総調査ほ場数: 7か所 総調査葉数: 2,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 果実達観調査
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		発生ほ場率平年値(%)	11.1	1.1	0.0	0.0	-	0.0	1.7	2.2	8.3	
	発生葉数(葉)		0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	
	発生葉率	発生葉率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		平年値(%)	0.1	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	
概評		少	少	少	-	少	-	平年並	少	平年並	-	
8月	発生ほ場数(か所)	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3～6日調査 総調査ほ場数: 7か所 総調査葉数: 2,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 総調査果実数: 700果 (調査果数: 1ほ場100果)
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	
		発生ほ場率平年値(%)	15.0	1.7	6.7	0.0	-	0.0	20.0	1.7	20.0	
	発生葉数(葉)		0	0	0	0	0	0	33	0	0	
	発生葉率	発生葉率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	
		平年値(%)	0.3	0.0	0.1	0.0	-	0.0	1.7	0.1	0.4	
概評		少	少	少	-	少	-	平年並	少	平年並	-	
9月	発生ほ場数(か所)	2	0	4	0	0	0	3	1	1	0	7～12日調査 総調査ほ場数: 8か所 総調査葉数: 3,200葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 総調査果実数: 800果 (調査果数: 1ほ場100果)
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	37.5	12.5	12.5	
		発生ほ場率平年値(%)	20.0	0.0	38.3	0.0	-	0.0	82.5	0.0	17.5	
	発生葉数(葉)		12	0	47	0	0	0	104	0	3	
	発生葉率	発生葉率(%)	0.4	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.1	
		平年値(%)	0.1	0.0	0.4	0.0	-	0.0	10.2	0.0	0.0	
概評		少	少	少	-	少	-	平年並	少	平年並	-	

※黒星病調査はH28～のため平年値はない。9月の調査はH25～のため平年値は過去5年間の平均値。

※果実調査は8、9月。(6、7月は葉周辺部の果実の達観調査。)

発生ほ場率と発生株率の発生程度は、過去10年の平均値と比較して評価しています。

各月の概評は、病害虫の発生ほ場率、発生株率から評価した結果です。

－: 非評価

6) 花き類病害虫調査結果

(1) きく

		白さび病	アブラムシ類	ハダニ類	アザミウマ類	ハモグリバエ類	コナジラミ類	ハスモンヨトウ	シロイテモジヨトウ	備考	
1月	発生ほ場数(か所)	0	1	5	1	0	0	0	-	10、11日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査株数: 450株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	11.1	55.6	11.1	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	8.1	7.6	37.0	10.5	0.0	2.0	0.0		-
	発生株数(株)		0	3	107	0	0	0	0		-
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.7	23.8	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	2.7	0.6	8.8	0.5	0.0	0.0	0.0		-
概評		少	やや多	やや多	やや少	-	-	少	少		
2月	発生ほ場数(か所)	0	1	3	0	0	0	0	-	5、6日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査株数: 450株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	11.1	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0		-
		発生ほ場率平年値(%)	9.9	5.5	37.6	7.1	0.0	0.9	0.0		-
	発生株数(株)		0	1	37	0	0	0	0		-
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.2	8.2	0.0	0.0	0.0	0.0		-
		平年値(%)	1.0	0.1	8.5	0.6	0.0	0.1	0.0		-
概評		少	多	平年並	少	-	-	少	少		
3月	発生ほ場数(か所)	0	0	4	0	0	0	0	-	1～7日調査 総調査ほ場数: 8か所 総調査株数: 400株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0		-
		発生ほ場率平年値(%)	13.9	2.9	37.1	11.5	0.0	0.0	0.0		-
	発生株数(株)		0	0	21	0	0	0	0		-
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0		-
		平年値(%)	1.7	0.1	8.9	0.9	0.0	0.0	0.0		-
概評		少	少	平年並	少	-	-	少	少		
4月	発生ほ場数(か所)	1	1	5	0	0	1	0	0	4、5日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査株数: 500株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	10.0	10.0	50.0	0.0	0.0	10.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	11.7	10.1	46.2	12.9	0.0	0.9	0.0		-
	発生株数(株)		2	1	47	0	0	0	0		0
	発生株率	発生株率(%)	0.4	0.2	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	2.5	0.6	12.9	1.1	0.0	0.1	0.0		-
概評		やや少	平年並	平年並	少	-	-	少	少		

(3) りんご

		斑点落葉病	赤星病	褐斑病	火傷病	黒星病	輪紋病(果実)	ハダニ類	ハマキムシ類幼虫	アブラムシ類	シンクイムシ類(果実)	備考
6月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0.0	6～8日調査 総調査ほ場数: 7か所 総調査葉数: 2,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 果実達観調査
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		発生ほ場率平年値(%)	12.9	7.3	0.0	0.0	-	0.0	3.7	0.0	10.0	
	発生葉数(葉)		0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	
	発生葉率	発生葉率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		平年値(%)	0.1	0.1	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.1	
概評		少	少	少	-	少	-	平年並	少	平年並	-	
7月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0.0	4、5日調査 総調査ほ場数: 7か所 総調査葉数: 2,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 果実達観調査
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		発生ほ場率平年値(%)	11.1	1.1	0.0	0.0	-	0.0	1.7	2.2	8.3	
	発生葉数(葉)		0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	
	発生葉率	発生葉率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		平年値(%)	0.1	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	
概評		少	少	少	-	少	-	平年並	少	平年並	-	
8月	発生ほ場数(か所)	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3～6日調査 総調査ほ場数: 7か所 総調査葉数: 2,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 総調査果実数: 700果 (調査果数: 1ほ場100果)
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	
		発生ほ場率平年値(%)	15.0	1.7	6.7	0.0	-	0.0	20.0	1.7	20.0	
	発生葉数(葉)		0	0	0	0	0	0	33	0	0	
	発生葉率	発生葉率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	
		平年値(%)	0.3	0.0	0.1	0.0	-	0.0	1.7	0.1	0.4	
概評		少	少	少	-	少	-	平年並	少	平年並	-	
9月	発生ほ場数(か所)	2	0	4	0	0	0	3	1	1	0	7～12日調査 総調査ほ場数: 8か所 総調査葉数: 3,200葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 総調査果実数: 800果 (調査果数: 1ほ場100果)
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	37.5	12.5	12.5	
		発生ほ場率平年値(%)	20.0	0.0	38.3	0.0	-	0.0	82.5	0.0	17.5	
	発生葉数(葉)		12	0	47	0	0	0	104	0	3	
	発生葉率	発生葉率(%)	0.4	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.1	
		平年値(%)	0.1	0.0	0.4	0.0	-	0.0	10.2	0.0	0.0	
概評		少	少	少	-	少	-	平年並	少	平年並	-	

※黒星病調査はH28～のため平年値はない。9月の調査はH25～のため平年値は過去5年間の平均値。

※果実調査は8、9月。(6、7月は葉周辺部の果実の達観調査。)

発生ほ場率と発生株率の発生程度は、過去10年の平均値と比較して評価しています。

各月の概評は、病害虫の発生ほ場率、発生株率から評価した結果です。

－: 非評価

6) 花き類病害虫調査結果

(1) きく

		白さび病	アブラムシ類	ハダニ類	アザミウマ類	ハモグリバエ類	コナジラミ類	ハスモンヨトウ	シロイテモジヨトウ	備考	
1月	発生ほ場数(か所)	0	1	5	1	0	0	0	-	10、11日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査株数: 450株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	11.1	55.6	11.1	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	8.1	7.6	37.0	10.5	0.0	2.0	0.0		-
	発生株数(株)		0	3	107	0	0	0	0		-
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.7	23.8	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	2.7	0.6	8.8	0.5	0.0	0.0	0.0		-
概評		少	やや多	やや多	やや少	-	-	少	少		
2月	発生ほ場数(か所)	0	1	3	0	0	0	0	-	5、6日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査株数: 450株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	11.1	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0		-
		発生ほ場率平年値(%)	9.9	5.5	37.6	7.1	0.0	0.9	0.0		-
	発生株数(株)		0	1	37	0	0	0	0		-
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.2	8.2	0.0	0.0	0.0	0.0		-
		平年値(%)	1.0	0.1	8.5	0.6	0.0	0.1	0.0		-
概評		少	多	平年並	少	-	-	少	少		
3月	発生ほ場数(か所)	0	0	4	0	0	0	0	-	1～7日調査 総調査ほ場数: 8か所 総調査株数: 400株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0		-
		発生ほ場率平年値(%)	13.9	2.9	37.1	11.5	0.0	0.0	0.0		-
	発生株数(株)		0	0	21	0	0	0	0		-
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0		-
		平年値(%)	1.7	0.1	8.9	0.9	0.0	0.0	0.0		-
概評		少	少	平年並	少	-	-	少	少		
4月	発生ほ場数(か所)	1	1	5	0	0	1	0	0	4、5日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査株数: 500株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	10.0	10.0	50.0	0.0	0.0	10.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	11.7	10.1	46.2	12.9	0.0	0.9	0.0		-
	発生株数(株)		2	1	47	0	0	0	0		0
	発生株率	発生株率(%)	0.4	0.2	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	2.5	0.6	12.9	1.1	0.0	0.1	0.0		-
概評		やや少	平年並	平年並	少	-	-	少	少		

		白さび病	アブラムシ類	ハダニ類	アザミウマ類	ハモグリバエ類	コナジラミ類	ハスモンヨトウ	シロイチモジヨトウ	備考		
5月	発生ほ場数(か所)	0	1	7	3	0	0	0	0	8~10日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査株数: 450株 (調査株数: 1ほ場50株)		
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	11.1	77.8	33.3	0.0	0.0	0.0		0.0	
		発生ほ場率平年値(%)	19.0	16.2	51.8	16.8	4.3	1.0	0.0		-	
	発生株数(株)		0	1	98	17	0	0	0		0	
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.2	21.8	3.8	0.0	0.0	0.0		0.0	
		平年値(%)	4.9	1.4	13.8	2.2	0.5	0.0	0.0		-	
概評		少	やや少	やや多	多	-	-	少	少			
6月	発生ほ場数(か所)	2	0	6	5	0	0	0	0	6~8日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査株数: 500株 (調査株数: 1ほ場50株)		
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	20.0	0.0	60.0	50.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
		発生ほ場率平年値(%)	13.9	9.3	58.4	26.1	7.2	6.4	0.0		-	
	発生株数(株)		5	0	66	61	0	0	0		0	
	発生株率	発生株率(%)	1.0	0.0	13.2	12.2	0.0	0.0	0.0		0.0	
		平年値(%)	5.0	0.5	18.8	3.8	0.3	0.9	0.0		-	
概評		平年並	少	平年並	多	-	-	少	少			
7月	発生ほ場数(か所)	0	1	5	2	0	1	0	0	5~11日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査株数: 450株 (調査株数: 1ほ場50株)		
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	11.1	55.6	22.2	0.0	11.1	0.0		0.0	
		発生ほ場率平年値(%)	9.9	2.9	57.8	21.2	0.0	13.8	0.0		-	
	発生株数(株)		0	22	59	2	0	1	0		0	
	発生株率	発生株率(%)	0.0	4.9	13.1	0.4	0.0	0.2	0.0		0.0	
		平年値(%)	3.5	0.1	18.5	5.3	0.0	1.0	0.0		-	
概評		少	多	平年並	やや少	-	-	少	少			
8月	発生ほ場数(か所)	1	1	4	0	0	0	0	0	2~9日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査株数: 450株 (調査株数: 1ほ場50株)		
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	11.1	11.1	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
		発生ほ場率平年値(%)	4.0	4.7	65.1	15.7	0.0	12.4	6.1		-	
	発生株数(株)		4	4	47	0	0	0	0		0	
	発生株率	発生株率(%)	0.9	0.9	10.4	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
		平年値(%)	0.1	0.6	26.0	1.5	0.0	0.6	0.1		-	
概評		多	多	平年並	少	-	-	少	少			
9月	発生ほ場数(か所)	1	1	6	1	0	0	2	0	6、7日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査株数: 500株 (調査株数: 1ほ場50株)		
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	10.0	10.0	60.0	10.0	0.0	0.0	20.0		0.0	
		発生ほ場率平年値(%)	2.1	6.7	69.6	12.4	0.0	16.0	7.0		-	
	発生株数(株)		3	12	93	0	0	0	1		0	
	発生株率	発生株率(%)	0.6	2.4	18.6	0.0	0.0	0.0	0.2		0.0	
		平年値(%)	0.7	0.7	17.9	0.7	0.0	1.5	0.2		-	
概評		やや多	やや多	平年並	やや少	-	-	やや多	少			
10月	発生ほ場数(か所)	0	0	8	3	0	0	0	0	5~10日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査株数: 450株 (調査株数: 1ほ場50株)		
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	88.9	33.3	0.0	0.0	0.0		0.0	
		発生ほ場率平年値(%)	2.0	3.9	71.4	13.5	0.0	10.6	5.7		-	
	発生株数(株)		0	0	144	0	0	0	0		0	
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	32.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
		平年値(%)	1.1	0.4	22.5	1.4	0.0	0.5	0.2		-	
概評		少	少	平年並	平年並	-	-	少	少			
11月	発生ほ場数(か所)	0	1	6	1	0	0	0	0	2~7日調査 総調査ほ場数: 8か所 総調査株数: 400株 (調査株数: 1ほ場50株)		
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	12.5	75.0	12.5	0.0	0.0	0.0		0.0	
		発生ほ場率平年値(%)	11.6	4.4	46.5	11.9	0.0	12.3	1.0		-	
	発生株数(株)		0	2	75	8	0	0	0		0	
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.5	18.8	2.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
		平年値(%)	1.5	0.1	9.7	0.8	0.0	0.5	0.1		-	
概評		少	多	やや多	やや多	-	-	少	少			
12月	発生ほ場数(か所)	0	0	8	1	0	0	0	0	1~6日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査株数: 450株 (調査株数: 1ほ場50株)		
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	88.9	11.1	0.0	0.0	0.0		0.0	
		発生ほ場率平年値(%)	9.8	6.1	43.9	7.7	0.8	6.3	0.0		-	
	発生株数(株)		0	0	56	1	0	0	0		0	
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	12.4	0.2	0.0	0.0	0.0		0.0	
		平年値(%)	1.4	0.2	8.5	0.9	0.0	0.1	0.0		-	
概評		少	少	多	平年並	-	-	少	少			

※シロイチモジヨトウの調査はH28.4~のため、平年値はない。

発生ほ場率と発生株率の発生程度は、過去10年の平均値と比較して評価しています。
各月の概評は、病害虫の発生ほ場率、発生株率から評価した結果です。

－：非評価

7) その他調査結果

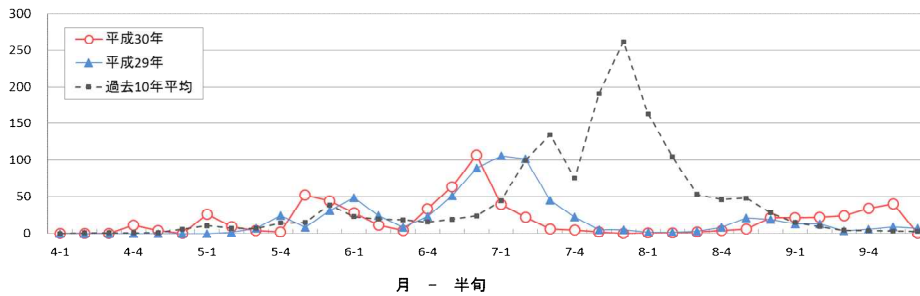
(1) カメムシ類の誘殺数 (斑点米カメムシ類除く)

① チャバネアオカメムシ

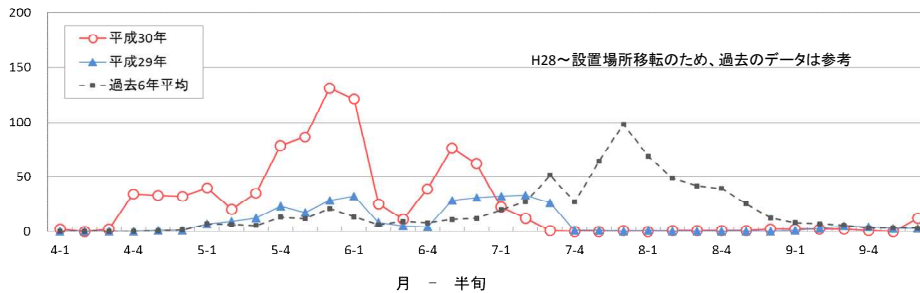
(フェロモントラップ)

月 - 半月	宇都宮市瓦谷町			芳賀町稲毛田		
	H30年	過去10年平均	H29年	H30年	過去6年平均	H29年
4-1	0	0	0	2	0	0
4-2	0	1	0	0	0	0
4-3	0	1	0	2	0	0
4-4	11	1	0	34	0	0
4-5	4	1	0	33	1	1
4-6	0	6	0	32	1	1
5-1	26	11	0	40	7	7
5-2	9	7	2	20	7	9
5-3	4	7	7	35	5	12
5-4	2	14	24	78	13	23
5-5	52	15	8	86	12	17
5-6	44	38	31	131	21	28
6-1	28	23	48	121	13	32
6-2	11	19	24	25	6	8
6-3	4	18	8	11	9	5
6-4	33	16	23	39	8	4
6-5	63	19	51	76	11	28
6-6	107	24	89	62	12	31
7-1	39	44	106	22	20	32
7-2	22	100	102	12	27	33
7-3	6	134	45	1	52	26
7-4	5	75	22	0	27	1
7-5	2	191	5	0	64	1
7-6	0	262	5	1	98	0
8-1	1	163	2	0	69	1
8-2	1	105	2	1	49	0
8-3	2	53	3	1	42	0
8-4	4	46	8	1	40	0
8-5	6	48	21	1	25	0
8-6	21	28	19	2	12	0
9-1	21	15	13	2	8	1
9-2	22	10	13	2	7	3
9-3	24	4	4	2	6	5
9-4	34	4	6	1	3	4
9-5	40	3	9	0	3	3
9-6	0	3	7	12	3	3
4月計	15	9	0	103	2	2
5月計	137	92	72	390	64	96
6月計	246	119	243	334	59	108
7月計	74	806	285	36	287	93
8月計	35	441	55	6	237	1
9月計	141	38	52	19	30	19
合計	648	1,506	707	888	678	319

チャバネアオカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



チャバネアオカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (芳賀町稲毛田)

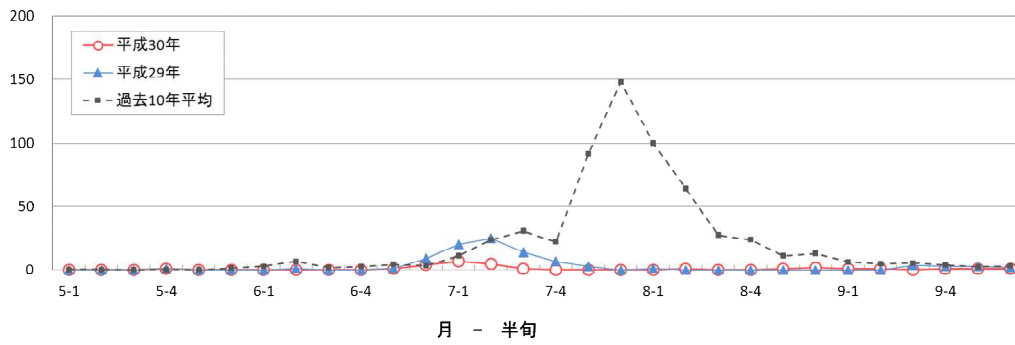


(フェロモントラップ※)

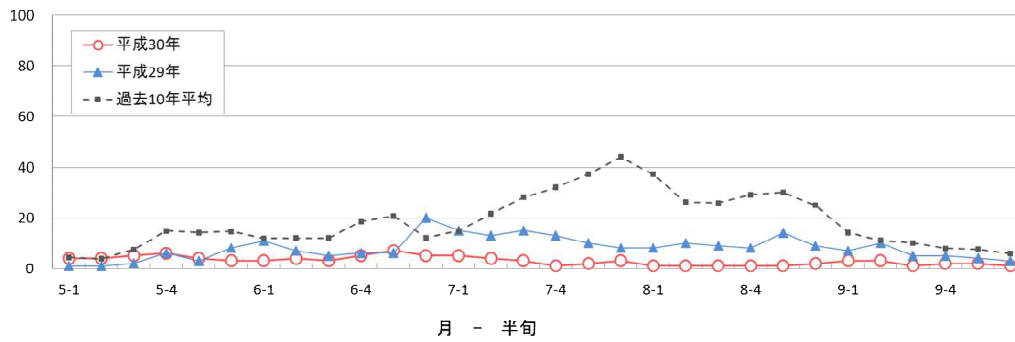
月一 半旬	那須烏山市			矢板市			宇都宮市			佐野市		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
4-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4-5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-1	0	1	0	4	4	1	121	8	1	2	9	2
5-2	0	1	0	4	4	1	25	9	1	2	11	1
5-3	0	0	0	5	7	2	18	10	5	6	13	2
5-4	1	0	1	6	15	6	44	20	18	11	27	9
5-5	0	0	0	4	14	3	31	19	8	4	15	2
5-6	0	2	0	3	15	8	19	27	10	5	22	1
6-1	0	3	0	3	12	11	15	33	10	4	19	2
6-2	0	7	1	4	12	7	24	35	8	4	22	3
6-3	0	2	0	3	12	5	3	18	8	0	14	3
6-4	0	3	0	5	19	6	40	22	17	3	17	3
6-5	1	5	1	7	21	6	66	32	29	8	20	4
6-6	4	3	9	5	12	20	45	28	24	22	23	24
7-1	7	11	20	5	15	15	32	48	64	8	38	39
7-2	5	24	25	4	22	13	21	80	80	4	48	42
7-3	1	31	14	3	28	15	4	94	36	3	42	14
7-4	0	22	7	1	32	13	1	128	28	1	26	7
7-5	0	92	3	2	37	10	1	129	13	1	29	4
7-6	0	148	0	3	44	8	1	156	11	1	27	2
8-1	0	100	1	1	37	8	1	185	9	1	12	2
8-2	1	65	0	1	26	10	0	108	22	1	5	1
8-3	0	28	0	1	26	9	2	66	25	1	4	0
8-4	0	24	0	1	29	8	9	50	26	0	3	0
8-5	1	11	0	1	30	14	32	29	24	0	2	1
8-6	2	13	0	2	25	9	28	18	16	1	1	0
9-1	1	7	0	3	14	7	40	17	6	1	2	0
9-2	1	5	0	3	11	10	45	17	4	1	3	1
9-3	0	6	4	1	10	5	12	14	4	1	3	4
9-4	1	4	3	2	8	5	21	10	4	0	3	3
9-5	1	3	3	2	8	4	18	6	4	0	2	2
9-6	1	3	2	1	6	3	10	6	1	0	2	0
5月計	1	3	1	26	59	21	258	92	43	30	96	17
6月計	5	23	11	27	87	55	193	168	96	41	114	39
7月計	13	328	69	18	178	74	60	634	232	18	211	108
8月計	4	241	1	7	174	58	72	457	122	4	27	4
9月計	5	28	12	12	57	34	146	71	23	3	16	10
合計	29	626	96	91	560	245	739	1,428	517	96	466	178

※病害虫防除員による調査

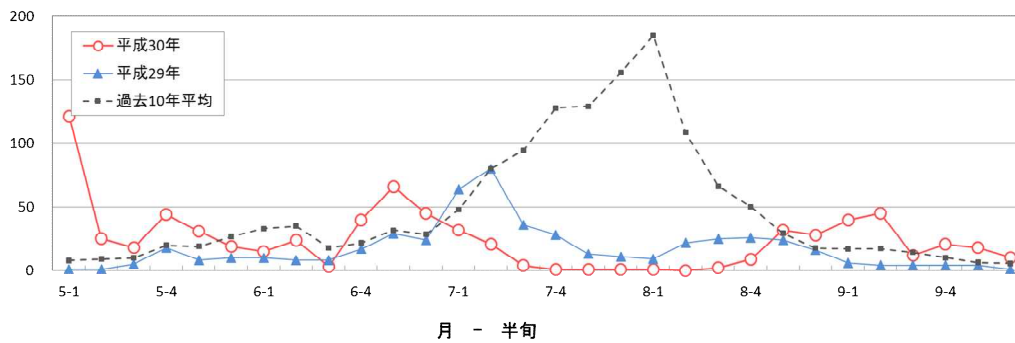
チャバネアオカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (那須烏山市)



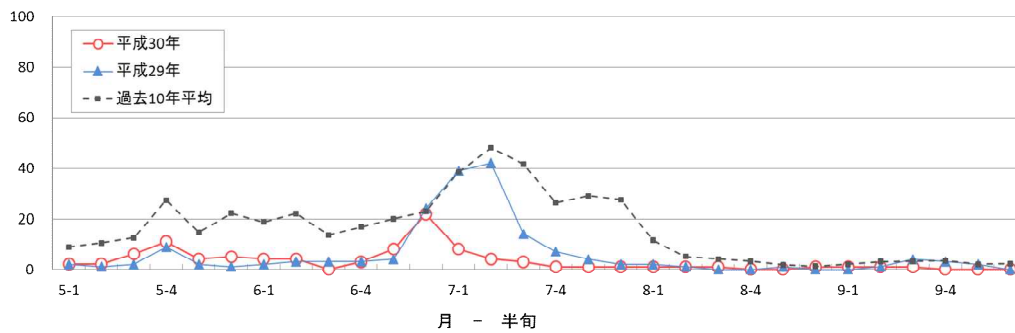
チャバネアオカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (矢板市)



チャバネアオカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市)



チャバネアオカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (佐野市)

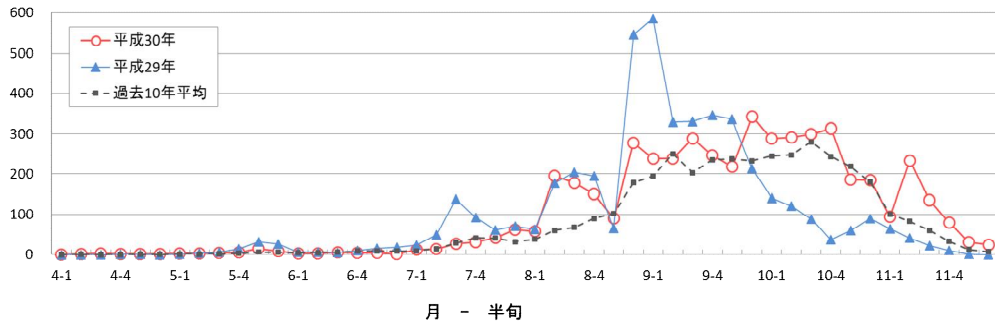


(2) チョウ類のフェロモントラップによる誘殺数 (ニカメイガ除く)

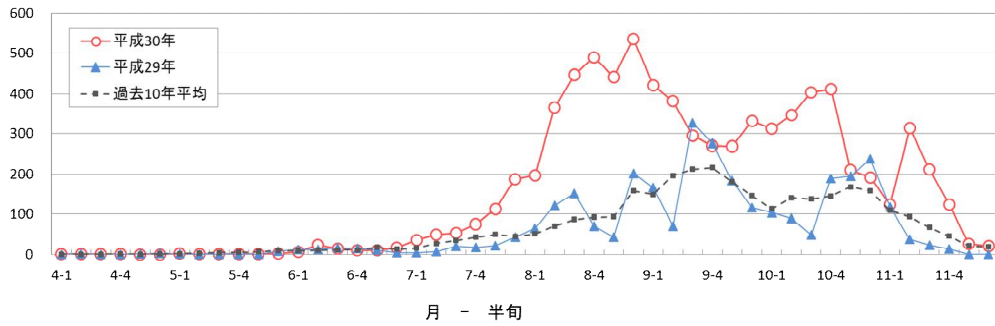
①ハスモンヨトウ

月一 半旬	宇都宮市瓦谷町			栃木市大塚町		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
4-1	0	0	0	1	1	0
4-2	1	0	0	1	1	2
4-3	3	0	0	1	1	0
4-4	1	0	1	1	1	1
4-5	1	1	1	0	1	2
4-6	1	1	0	0	1	3
5-1	3	1	1	2	2	2
5-2	3	1	3	1	4	1
5-3	4	2	6	1	5	0
5-4	6	3	14	1	5	1
5-5	15	6	32	1	7	1
5-6	9	6	26	2	10	9
6-1	3	4	6	6	10	13
6-2	3	5	7	24	11	12
6-3	6	6	5	15	12	17
6-4	5	9	10	11	12	15
6-5	4	10	16	10	18	11
6-6	1	9	19	18	13	4
7-1	12	10	24	37	16	4
7-2	14	15	50	50	28	7
7-3	28	29	138	54	36	21
7-4	31	42	93	76	44	18
7-5	42	41	62	113	50	22
7-6	62	32	71	187	46	44
8-1	58	38	63	197	52	66
8-2	195	61	177	366	72	121
8-3	177	68	204	447	87	151
8-4	151	91	195	489	93	71
8-5	91	103	66	441	94	44
8-6	278	178	545	535	158	201
9-1	239	195	584	421	149	166
9-2	238	250	328	382	197	71
9-3	289	203	330	294	212	326
9-4	247	235	344	270	216	276
9-5	218	238	335	269	181	184
9-6	341	233	214	332	145	116
10-1	288	245	140	312	113	104
10-2	291	248	121	347	141	90
10-3	299	280	89	403	137	49
10-4	313	244	38	412	145	190
10-5	185	219	60	210	168	195
10-6	184	179	90	192	158	238
11-1	95	101	64	123	109	117
11-2	233	83	42	314	94	39
11-3	136	61	23	212	68	24
11-4	80	33	10	123	47	14
11-5	32	13	1	27	22	1
11-6	25	7	0	21	19	0
4月計	7	2	2	4	6	8
5月計	40	19	82	8	33	14
6月計	22	43	63	84	75	72
7月計	189	169	438	517	219	116
8月計	950	539	1,250	2,475	555	654
9月計	1,572	1,354	2,135	1,968	1,100	1,139
10月計	1,560	1,414	538	1,876	862	866
11月計	601	299	140	820	358	195
合計	4,941	4,941	4,941	4,941	4,941	4,941

ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (栃木市大塚町)



ハスモンヨトウ※

月一 半旬	大田原市			芳賀町			鹿沼市			小山市		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年
6-1	1	2	12	4	3	1	4	1	3	3	7	8
6-2	1	4	29	5	5	6	5	2	7	6	10	23
6-3	4	6	42	5	7	9	9	3	15	11	12	23
6-4	4	6	33	7	10	13	11	6	17	20	14	28
6-5	4	4	13	10	12	21	12	8	18	39	20	36
6-6	4	3	1	17	12	4	6	13	48	56	21	9
7-1	4	4	7	23	17	6	12	14	50	49	31	30
7-2	2	5	15	24	22	16	11	20	56	45	34	54
7-3	0	7	29	13	32	23	8	30	75	42	50	89
7-4	11	16	65	36	40	33	19	44	137	76	64	86
7-5	20	16	55	45	38	47	35	52	157	85	86	100
7-6	29	12	8	63	47	63	47	77	197	115	114	150
8-1	19	13	13	81	39	19	26	61	171	106	107	137
8-2	139	26	111	130	46	20	131	79	273	98	115	128
8-3	90	23	86	149	53	20	194	98	250	90	117	132
8-4	47	28	11	148	65	20	230	114	176	98	139	158
8-5	6	50	157	107	84	61	205	125	190	152	146	119
8-6	76	83	326	129	136	93	657	220	477	110	177	172
9-1	51	73	223	103	126	72	639	235	468	84	180	162
9-2	40	97	64	96	142	67	632	364	419	100	201	171
9-3	64	109	157	81	148	44	543	325	299	154	218	262
9-4	133	124	200	89	152	42	610	363	518	183	247	178
9-5	196	116	231	94	150	47	653	394	624	171	212	116
9-6	264	142	243	150	117	45	693	355	458	130	163	91
10-1	279	162	151	99	121	34	608	326	308	78	155	82
10-2	201	142	110	101	129	28	660	274	238	112	140	77
10-3	133	145	82	125	138	16	647	277	189	123	128	72
10-4	64	130	121	78	137	31	456	333	423	76	161	46
10-5	42	90	94	45	116	35	287	317	315	60	127	41
10-6	47	101	80	36	106	32	230	331	195	46	103	37
6月計	18	25	130	48	49	54	47	33	108	135	85	127
7月計	66	60	179	204	196	188	132	237	672	412	379	509
8月計	377	224	704	744	424	233	1,443	697	1,537	654	800	846
9月計	748	661	1,118	613	835	317	3,770	2,035	2,786	822	1,221	980
10月計	766	771	638	484	746	176	2,888	1,857	1,668	495	814	355
合計	1,975	1,741	2,769	2,093	2,250	968	8,280	4,859	6,771	2,518	3,299	2,817

※病害虫防除員による調査

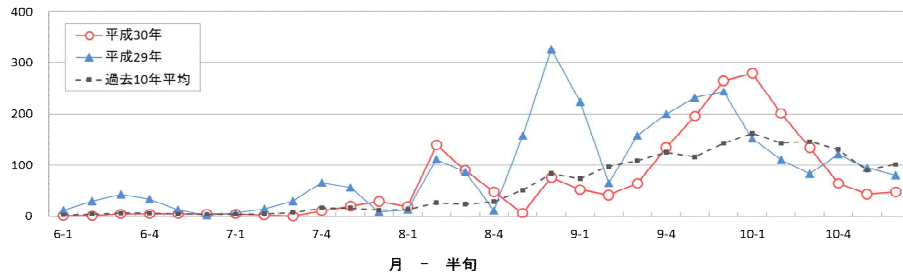
ハスモンヨトウ※

月一 半旬	栃木市			野木町			塩谷町※※			足利市		
	H30年	過去 4年 平均	H29年	H30年	過去 4年 平均	H29年	H30年		H29年	H29年	過去 3年 平均	H28年
6-1	4	10	8	4	6	9	1	—	3	16	8	21
6-2	6	11	9	4	7	11	0	—	1	10	24	75
6-3	20	15	11	2	8	12	0	—	2	7	22	49
6-4	15	21	12	1	10	12	2	—	3	8	23	45
6-5	10	22	13	1	12	13	2	—	4	7	27	64
6-6	6	23	16	3	11	19	1	—	2	5	14	14
7-1	27	18	13	13	8	13	3	—	4	13	14	16
7-2	26	23	12	13	11	15	4	—	6	13	24	54
7-3	15	36	19	8	21	36	7	—	11	10	63	201
7-4	34	56	33	19	29	38	15	—	6	31	75	244
7-5	78	58	49	24	33	51	33	—	5	76	65	218
7-6	114	66	90	30	45	81	38	—	7	105	72	189
8-1	71	90	107	15	41	54	59	—	13	51	54	131
8-2	71	139	107	22	55	63	191	—	51	151	166	510
8-3	93	180	136	28	79	78	123	—	61	99	222	620
8-4	100	165	179	33	68	96	103	—	64	58	259	643
8-5	71	138	51	32	91	84	98	—	33	31	170	296
8-6	193	294	163	61	208	89	271	—	141	113	250	534
9-1	136	233	164	50	116	83	198	—	124	134	213	451
9-2	129	241	143	40	201	105	219	—	70	153	206	173
9-3	214	223	143	30	188	151	331	—	109	164	266	265
9-4	214	199	164	57	161	140	299	—	165	191	237	400
9-5	229	244	171	69	189	133	251	—	188	232	208	436
9-6	250	193	143	60	161	138	181	—	131	325	141	222
10-1	250	125	81	51	151	118	189	—	58	188	140	219
10-2	271	170	60	53	182	96	184	—	32	174	116	178
10-3	271	153	53	59	170	70	165	—	21	205	85	117
10-4	214	168	107	58	204	74	141	—	60	114	169	255
10-5	157	133	129	53	207	110	77	—	34	106	262	299
10-6	150	134	121	45	244	127	84	—	17	101	272	295
6月計	61	101	69	15	53	76	6		15	53	116	268
7月計	294	256	216	107	146	234	100		39	248	313	922
8月計	599	1,005	743	191	541	464	845		363	503	1,120	2,734
9月計	1,172	1,333	928	306	1,016	750	1,479		787	1,199	1,270	1,947
10月計	1,313	883	551	319	1,158	595	840		222	888	1,043	1,363
合計	3,439	3,578	2,507	938	2,913	2,119	3,270		1,426	2,891	3,861	7,234

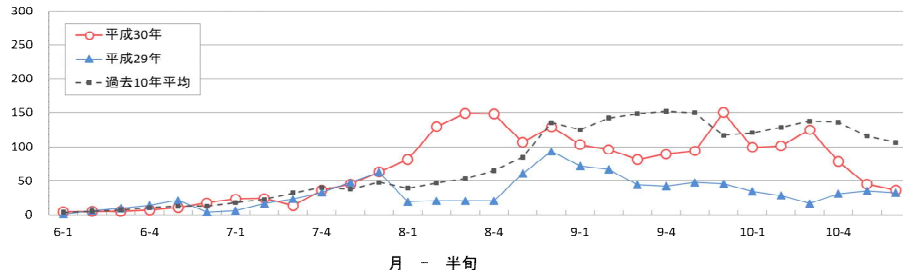
※病害虫防除員による調査

※※平成29年より調査開始

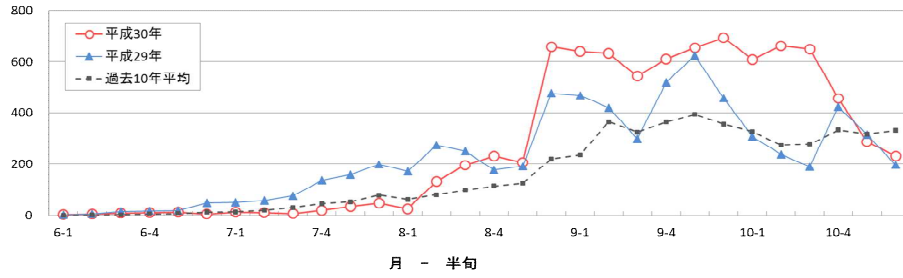
ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (大田原市)



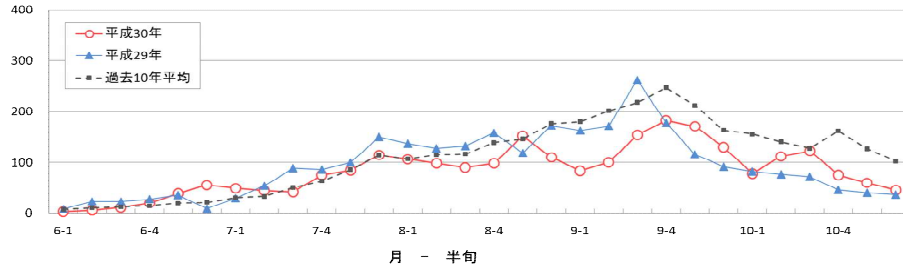
ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (芳賀町)



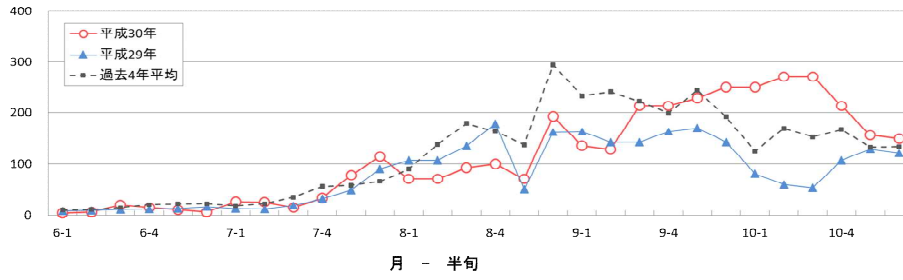
ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (鹿沼市)



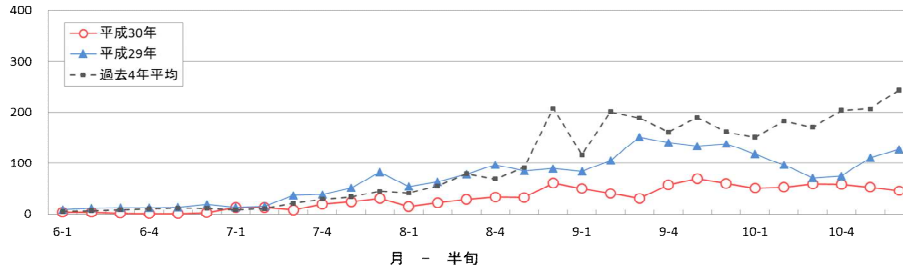
ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (小山市)



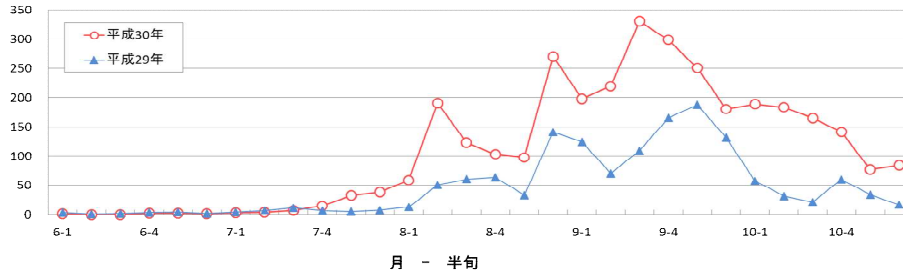
ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (栃木市)



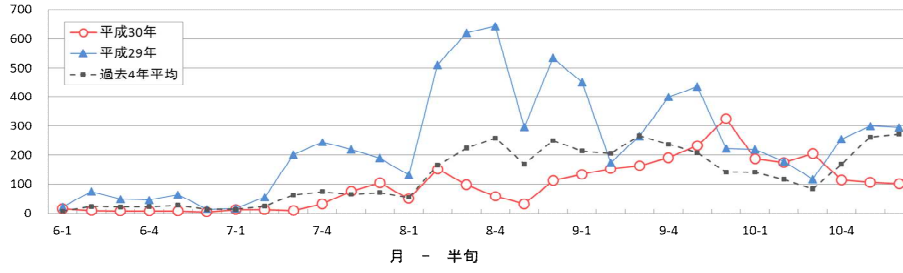
ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (野木町)



ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (塩谷町)



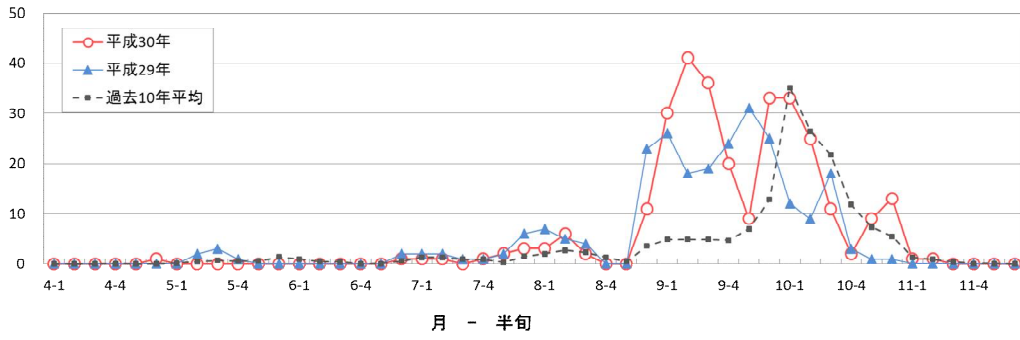
ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (足利市)



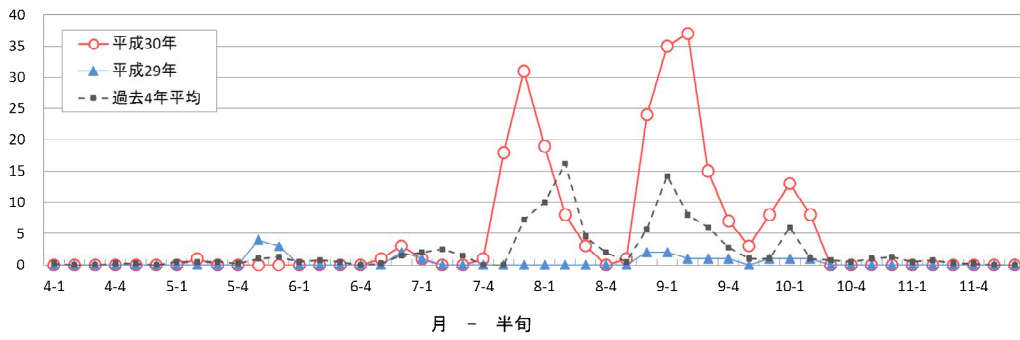
② オオタバコガ

月一 半旬	宇都宮市瓦谷町			栃木市大塚町		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 4年 平均	H29年
4-1	0	0	0	0	0	0
4-2	0	0	0	0	0	0
4-3	0	0	0	0	0	0
4-4	0	0	0	0	0	0
4-5	0	0	0	0	0	0
4-6	1	0	0	0	0	0
5-1	0	0	0	0	1	0
5-2	0	1	2	1	1	0
5-3	0	1	3	0	1	0
5-4	0	1	1	0	0	0
5-5	0	1	0	0	1	4
5-6	0	1	0	0	1	3
6-1	0	1	0	0	1	0
6-2	0	1	0	0	1	0
6-3	0	0	0	0	1	0
6-4	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	1	0	0
6-6	1	1	2	3	2	2
7-1	1	1	2	1	2	1
7-2	1	1	2	0	3	0
7-3	0	1	1	0	2	0
7-4	1	1	1	1	0	0
7-5	2	0	2	18	0	0
7-6	3	2	6	31	7	0
8-1	3	2	7	19	10	0
8-2	6	3	5	8	16	0
8-3	2	2	4	3	5	0
8-4	0	1	0	0	2	0
8-5	0	1	0	1	1	0
8-6	11	4	23	24	6	2
9-1	30	5	26	35	14	2
9-2	41	5	18	37	8	1
9-3	36	5	19	15	6	1
9-4	20	5	24	7	3	1
9-5	9	7	31	3	1	0
9-6	33	13	25	8	1	1
10-1	33	35	12	13	6	1
10-2	25	26	9	8	1	1
10-3	11	22	18	0	1	0
10-4	2	12	3	0	1	0
10-5	9	7	1	0	1	0
10-6	13	6	1	0	1	0
11-1	1	1	0	0	1	0
11-2	1	1	0	0	1	0
11-3	0	0	0	0	0	0
11-4	0	0	0	0	0	0
11-5	0	0	0	0	0	0
11-6	0	0	0	0	0	0
4月計	1	0	0	0	1	0
5月計	0	4	6	1	4	7
6月計	1	3	2	4	4	2
7月計	8	6	14	51	13	1
8月計	22	12	39	55	39	2
9月計	169	39	143	105	33	6
10月計	93	108	44	21	11	2
11月計	2	3	0	0	2	0
合計	296	175	248	237	106	20

オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数 (栃木市大塚町)

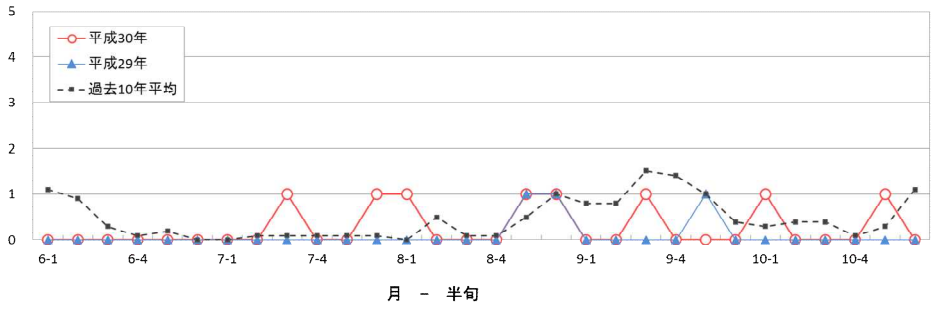


オオタバコガ※

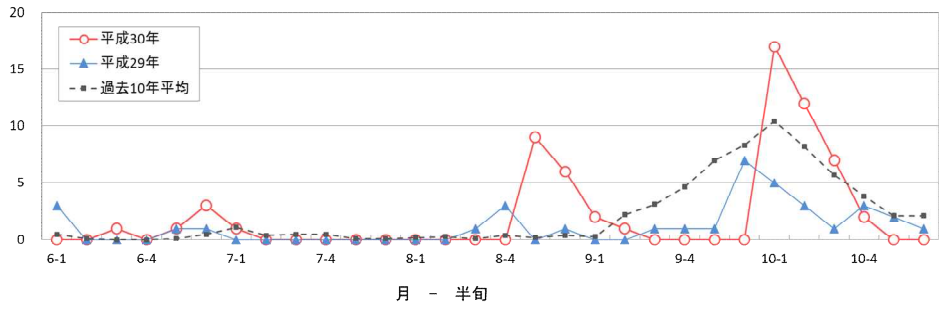
月一 半旬	那須町			上三川町			那珂川町			真岡市			壬生町※※		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 4年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 2年 平均	H29年
6-1	0	1	0	0	1	3	3	2	1	3	2	9	2	1	1
6-2	0	1	0	0	0	0	3	4	0	3	1	3	0	0	0
6-3	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0
6-5	0	0	0	1	0	1	4	0	0	0	1	0	1	1	0
6-6	0	0	0	3	1	1	1	1	1	0	2	1	1	3	2
7-1	0	0	0	1	1	0	2	1	1	9	2	0	0	2	1
7-2	0	0	0	0	0	0	3	1	1	7	2	1	0	2	0
7-3	1	0	0	0	1	0	4	0	0	1	4	4	0	1	0
7-4	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	4	1	2	1	0
7-5	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	3	1	7	0	0
7-6	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3	2	1	9	0	0
8-1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	4	1	0
8-2	0	1	0	0	0	0	1	2	0	2	4	2	7	3	1
8-3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	3	3	5	4	1
8-4	0	0	0	0	0	3	0	1	0	1	4	4	5	3	1
8-5	1	1	1	9	0	0	1	1	1	3	6	1	10	2	1
8-6	1	1	1	6	0	1	2	1	0	20	5	2	7	2	1
9-1	0	1	0	2	0	0	1	0	0	23	4	2	12	2	1
9-2	0	1	0	1	2	0	1	0	0	22	19	1	16	7	1
9-3	1	2	0	0	3	1	1	1	1	12	27	16	14	14	1
9-4	0	1	0	0	5	1	1	0	0	14	35	11	9	11	1
9-5	0	1	1	0	7	1	0	0	0	9	30	9	11	4	1
9-6	0	0	0	0	8	7	0	0	0	0	30	14	16	1	0
10-1	1	0	0	17	10	5	4	0	0	28	29	5	10	2	0
10-2	0	0	0	12	8	3	2	0	0	25	22	10	7	3	0
10-3	0	0	0	7	6	1	2	0	0	19	21	21	5	3	0
10-4	0	0	0	2	4	3	2	0	0	6	15	4	1	4	1
10-5	1	0	0	0	2	2	3	0	0	5	10	2	1	3	0
10-6	0	1	0	0	2	1	3	0	0	3	8	2	1	2	0
6月計	0	3	0	5	1	5	15	8	2	6	6	14	4	4	3
7月計	2	1	0	1	3	0	14	3	2	21	17	8	18	6	1
8月計	3	2	2	15	2	5	5	4	1	33	22	12	38	13	5
9月計	1	6	1	3	26	10	4	1	1	80	146	53	78	37	5
10月計	2	3	0	38	32	15	16	1	0	86	105	44	25	15	1
合計	8	14	3	62	63	35	54	16	6	226	296	131	163	74	15

※病害虫防除員による調査
 ※※平成28年より調査開始

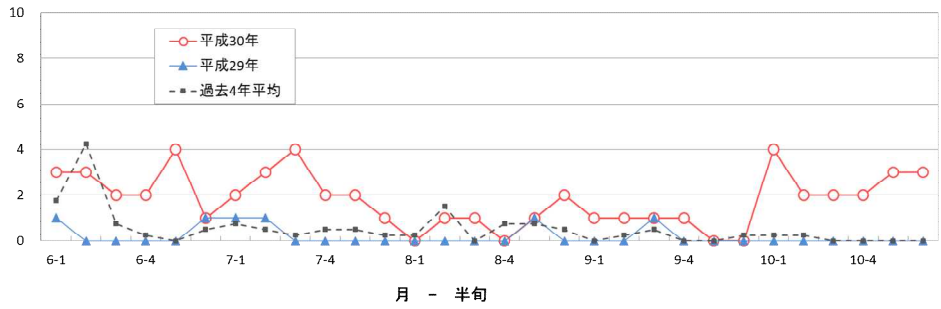
オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数 (那須町)



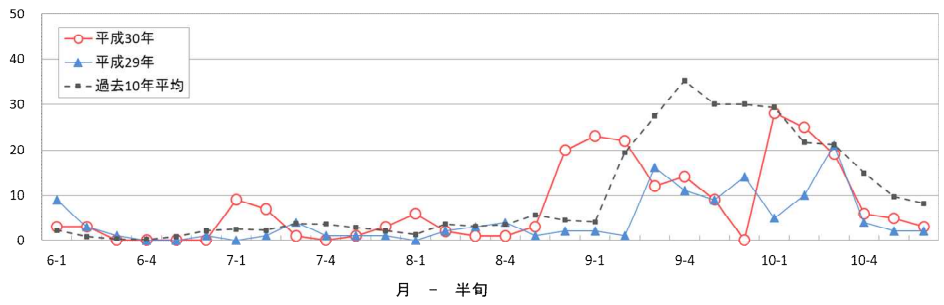
オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数 (上三川町)



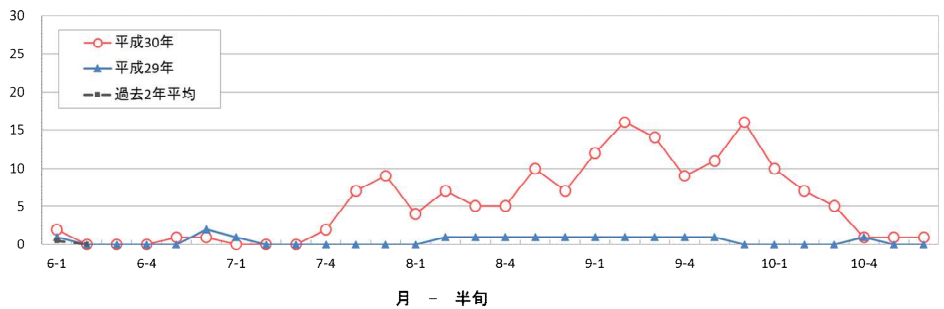
オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数 (那珂川町)



オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数 (真岡市)



オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数 (壬生町)

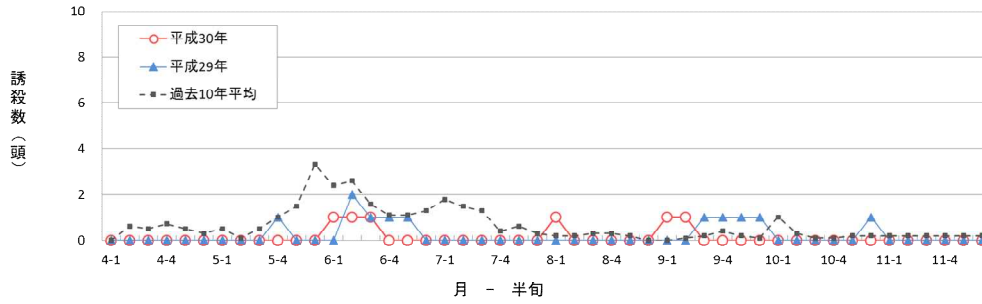


③ コナガ

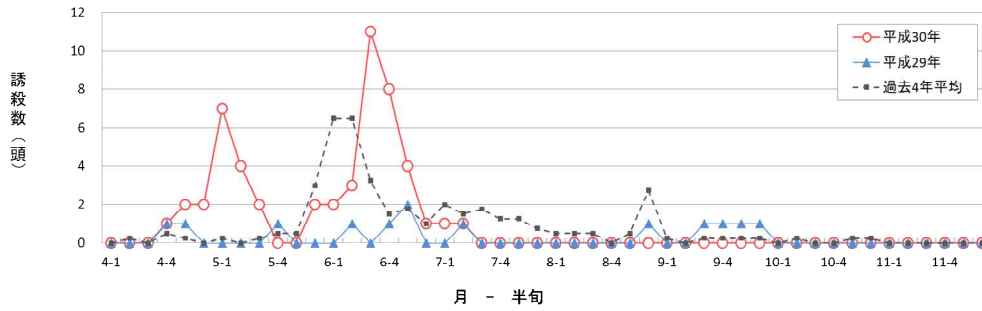
月一 半旬	宇都宮市瓦谷町			栃木市大塚町			野木町 [※]		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 4年 平均	H29年	H30年	過去 3年 平均	H29年
4-1	0	0	0	0	0	0	-	-	-
4-2	0	1	0	0	0	0	-	-	-
4-3	0	1	0	0	0	0	-	-	-
4-4	0	1	0	1	1	1	-	-	-
4-5	0	1	0	2	0	1	-	-	-
4-6	0	0	0	2	0	0	-	-	-
5-1	0	1	0	7	0	0	0	37	0
5-2	0	0	0	4	0	0	1	40	0
5-3	0	1	0	2	0	0	1	39	1
5-4	0	1	1	0	1	1	1	76	0
5-5	0	2	0	0	1	0	1	128	0
5-6	0	3	0	2	3	0	2	222	0
6-1	1	2	0	2	7	0	2	230	1
6-2	1	3	2	3	7	1	3	51	3
6-3	1	2	1	11	3	0	2	34	15
6-4	0	1	1	8	2	1	3	27	34
6-5	0	1	1	4	2	2	3	40	59
6-6	0	1	0	1	1	0	3	38	44
7-1	0	2	0	1	2	0	3	61	90
7-2	0	2	0	1	2	1	5	95	161
7-3	0	1	0	0	2	0	7	169	318
7-4	0	0	0	0	1	0	13	84	154
7-5	0	1	0	0	1	0	34	50	92
7-6	0	0	0	0	1	0	127	35	68
8-1	1	0	0	0	1	0	318	23	41
8-2	0	0	0	0	1	0	121	11	17
8-3	0	0	0	0	1	0	120	8	11
8-4	0	0	0	0	0	0	120	6	11
8-5	0	0	0	0	1	0	72	3	5
8-6	0	0	0	0	3	1	34	2	3
9-1	1	0	0	0	0	0	20	3	6
9-2	1	0	0	0	0	0	18	7	14
9-3	0	0	1	0	0	1	4	6	7
9-4	0	0	1	0	0	1	3	9	12
9-5	0	0	1	0	0	1	3	9	17
9-6	0	0	1	0	0	1	3	9	21
10-1	0	1	0	0	0	0	2	11	24
10-2	0	0	0	0	0	0	1	9	18
10-3	0	0	0	0	0	0	1	6	9
10-4	0	0	0	0	0	0	0	5	11
10-5	0	0	0	0	0	0	0	3	5
10-6	0	0	1	0	0	0	0	2	1
11-1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
11-2	0	0	0	0	0	0	0	1	2
11-3	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11-5	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4月計	0	3	0	5	1	2	-	-	-
5月計	0	7	1	15	5	1	6	541	1
6月計	3	10	5	29	21	4	16	418	156
7月計	0	6	0	2	9	1	189	493	883
8月計	1	1	0	0	5	1	785	52	88
9月計	2	1	4	0	1	4	51	43	77
10月計	0	2	1	0	1	0	4	36	68
11月計	0	1	0	0	0	0	0	3	6
合計	6	31	11	51	41	13	1,051	1,584	1,279

※病害虫防除員による調査

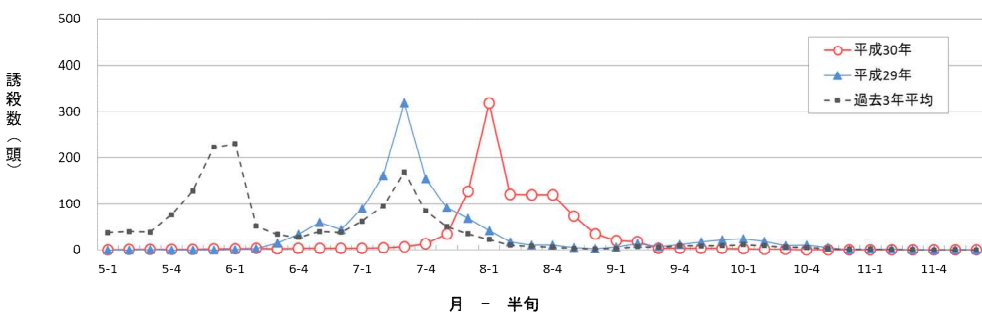
コナガのフェロモントラップによる誘殺数（宇都宮市瓦谷町）



コナガのフェロモントラップによる誘殺数（栃木市大塚町）



コナガのフェロモントラップによる誘殺数（野木町）

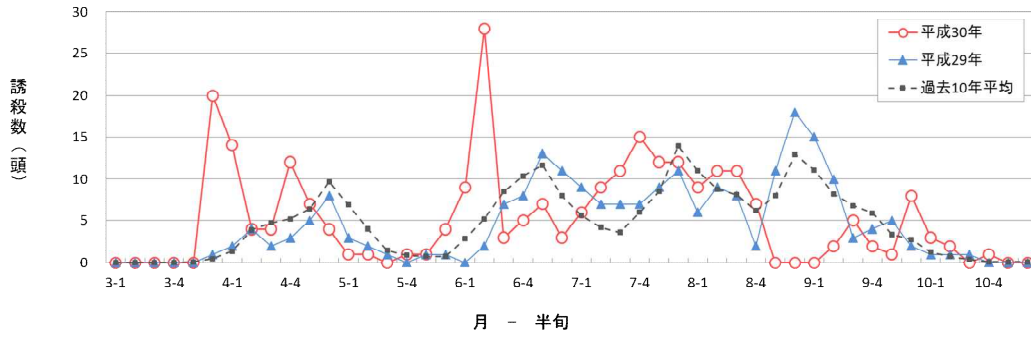


④ ナシヒメシクイ

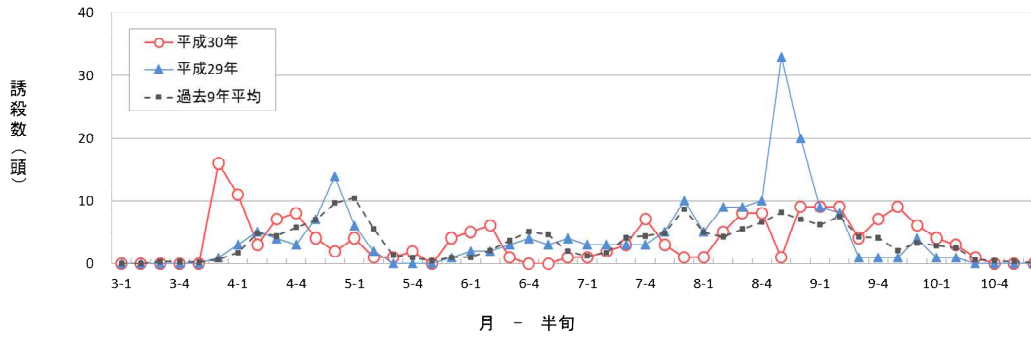
月一 半旬	那須烏山市			宇都宮市			芳賀町			高根沢町※		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 9年 平均	H29年	H30年	過去 5年 平均	H29年	H30年	過去 4年 平均	H29年
3-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
3-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
3-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
3-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
3-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
3-6	20	1	1	16	1	1	2	0	0	-	-	-
4-1	14	1	2	11	2	3	2	0	0	9	3	1
4-2	4	4	4	3	5	5	3	1	0	7	4	3
4-3	4	5	2	7	4	4	3	2	1	3	10	5
4-4	12	5	3	8	6	3	1	4	1	5	9	8
4-5	7	6	5	4	7	7	2	6	3	4	8	8
4-6	4	10	8	2	10	14	3	7	4	2	5	8
5-1	1	7	3	4	10	6	1	4	1	1	3	3
5-2	1	4	2	1	5	2	1	1	0	1	1	2
5-3	0	2	1	1	1	0	0	1	1	2	1	1
5-4	1	1	0	2	1	0	0	1	1	2	1	0
5-5	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1
5-6	4	1	1	4	1	1	2	1	0	2	1	0
6-1	9	3	0	5	1	2	2	2	0	9	2	0
6-2	28	5	2	6	2	2	5	3	0	21	3	0
6-3	3	9	7	1	4	3	2	4	2	3	4	1
6-4	5	10	8	0	5	4	1	5	3	2	7	2
6-5	7	12	13	0	5	3	1	4	0	1	7	4
6-6	3	8	11	1	2	4	3	4	2	1	5	7
7-1	6	6	9	1	1	3	1	1	1	6	3	4
7-2	9	4	7	2	2	3	1	1	1	10	4	2
7-3	11	4	7	3	4	3	3	2	0	14	6	4
7-4	15	6	7	7	4	3	7	6	3	16	9	4
7-5	12	9	9	3	5	5	6	4	3	8	17	16
7-6	12	14	11	1	9	10	7	5	5	5	25	39
8-1	9	11	6	1	5	5	2	5	10	6	13	19
8-2	11	9	9	5	4	9	6	3	4	5	9	16
8-3	11	8	8	8	5	9	4	5	2	8	7	10
8-4	7	6	2	8	7	10	2	7	2	8	10	2
8-5	0	8	11	1	8	33	2	8	3	1	22	26
8-6	0	13	18	9	7	20	4	8	12	19	23	23
9-1	0	11	15	9	6	9	4	12	11	10	14	11
9-2	2	8	10	9	7	8	5	7	3	6	9	5
9-3	5	7	3	4	4	1	5	6	2	9	5	4
9-4	2	6	4	7	4	1	3	5	1	2	6	7
9-5	1	3	5	9	2	1	2	4	1	3	4	7
9-6	8	3	2	6	3	4	0	2	0	6	3	1
10-1	3	1	1	4	3	1	0	0	0	0	1	1
10-2	2	1	1	3	3	1	0	0	0	0	1	0
10-3	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0
10-4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月計	20	1	1	16	1	1	2	0	0	-	-	-
4月計	45	31	24	35	33	36	14	20	9	30	38	33
5月計	8	15	8	12	20	9	4	9	3	9	8	7
6月計	55	47	41	13	18	18	14	21	7	37	27	14
7月計	65	42	50	17	25	27	25	19	13	59	63	69
8月計	38	55	54	32	36	86	20	35	33	47	84	96
9月計	18	38	39	44	27	24	19	37	18	36	41	35
10月計	6	3	3	8	7	2	0	1	0	1	2	1
合計	255	231	220	177	168	203	98	142	83	219	261	255

※病害虫防除員による調査

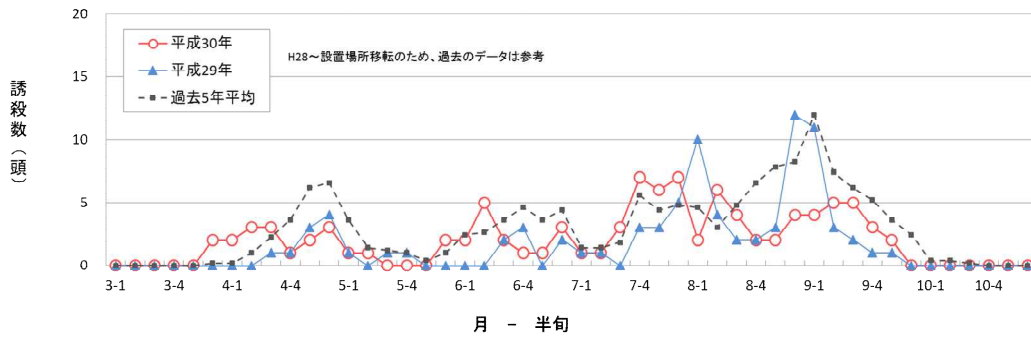
ナシメシクイのフェロモントラップによる誘殺数 (那須烏山市)



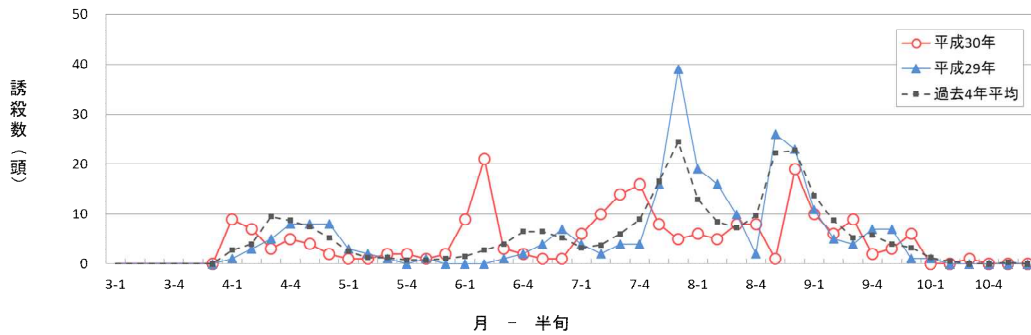
ナシメシクイのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市)



ナシメシクイのフェロモントラップによる誘殺数 (芳賀町稲毛田)



ナシメシクイのフェロモントラップによる誘殺数 (高根沢町)



⑤ リンゴコカクモンハマキ

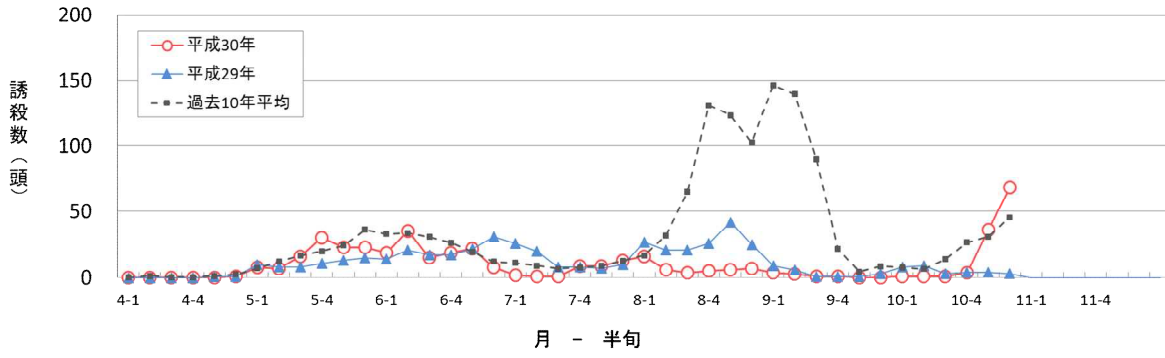
月一 半旬	那須烏山市			宇都宮市		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 9年 平均	H29年
5-1	0	0	0	2	0	0
5-2	0	0	0	1	0	0
5-3	0	0	0	1	1	0
5-4	0	1	0	1	1	1
5-5	0	3	0	5	1	0
5-6	0	2	0	2	2	0
6-1	0	1	0	0	1	0
6-2	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	1	0	0
7-1	0	0	0	2	0	0
7-2	0	0	0	2	0	0
7-3	0	0	0	2	0	0
7-4	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	1	0	0
8-2	0	0	0	0	0	0
8-3	0	0	0	0	0	0
8-4	1	0	0	1	0	0
8-5	6	0	0	2	0	0
8-6	1	0	0	0	0	1
9-1	0	0	0	0	0	1
9-2	1	0	0	1	0	0
9-3	0	0	0	1	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	1
10-1	0	0	0	1	0	0
10-2	0	0	0	0	0	0
10-3	0	0	0	0	0	0
10-4	0	0	0	0	0	0
10-5	0	0	0	0	0	0
10-6	0	0	0	0	0	0
5月計	0	6	0	12	5	1
6月計	0	1	0	1	1	0
7月計	0	0	0	6	1	0
8月計	8	0	0	4	1	1
9月計	1	0	0	2	0	2
10月計	0	0	0	1	1	0
合計	9	8	0	26	8	4

(3) 有翅アブラムシ類の黄色粘着板による誘殺数

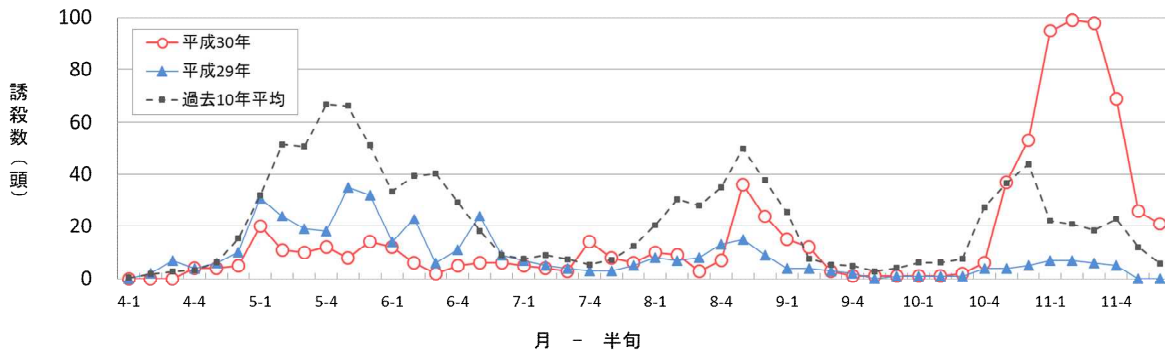
月一 半旬	大田原市 [※]			宇都宮市瓦谷町			栃木市大塚町		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 8年 平均	H29年
4-1	0	0	0	0	0	0	0	6	4
4-2	0	1	0	0	2	2	1	7	13
4-3	0	1	0	0	3	7	5	9	15
4-4	0	1	0	4	3	4	10	10	7
4-5	0	1	1	4	6	6	23	15	18
4-6	1	3	1	5	15	10	32	22	36
5-1	8	7	10	20	32	31	45	27	7
5-2	7	12	8	11	51	24	34	61	81
5-3	16	17	8	10	51	19	38	85	124
5-4	30	20	11	12	67	18	49	44	76
5-5	23	24	13	8	66	35	38	40	41
5-6	23	36	15	14	51	32	38	58	54
6-1	19	33	14	12	34	14	25	49	54
6-2	35	34	21	6	39	23	13	54	38
6-3	15	31	17	2	40	6	4	38	27
6-4	19	27	17	5	29	11	6	25	21
6-5	22	20	22	6	18	24	5	18	15
6-6	8	12	31	6	9	9	1	10	6
7-1	2	11	26	5	8	7	1	6	4
7-2	1	9	20	4	9	5	0	4	2
7-3	1	7	8	3	7	4	0	3	4
7-4	9	8	8	14	5	3	0	4	6
7-5	9	9	7	8	7	3	3	7	10
7-6	13	13	10	6	12	5	17	16	30
8-1	16	17	27	10	20	8	33	25	77
8-2	6	32	21	9	31	7	135	34	46
8-3	4	66	21	3	28	8	113	63	36
8-4	5	131	26	7	35	13	102	71	91
8-5	6	123	42	36	50	15	116	60	15
8-6	7	103	25	24	38	9	50	50	16
9-1	4	147	9	15	26	4	16	35	12
9-2	3	140	6	12	8	4	8	12	11
9-3	1	90	1	3	5	3	3	7	1
9-4	1	22	1	1	5	2	3	8	4
9-5	0	5	1	1	3	0	2	6	5
9-6	0	9	3	1	4	1	0	6	3
10-1	1	8	8	1	6	1	2	10	3
10-2	1	7	9	1	6	1	3	6	5
10-3	1	14	3	2	8	1	6	11	13
10-4	4	27	4	6	28	4	6	11	4
10-5	36	31	4	37	37	4	26	13	3
10-6	69	46	3	53	44	5	37	19	3
11-1	-	-	-	95	22	7	82	20	5
11-2	-	-	-	99	21	7	89	22	3
11-3	-	-	-	98	18	6	58	19	7
11-4	-	-	-	69	23	5	52	29	10
11-5	-	-	-	26	12	0	60	22	1
11-6	-	-	-	21	6	0	48	12	0
4月計	1	7	2	13	30	29	71	69	93
5月計	107	117	65	75	318	159	242	315	383
6月計	118	156	122	37	170	87	54	194	161
7月計	35	57	79	40	49	27	21	39	56
8月計	44	471	162	89	201	60	549	303	281
9月計	9	411	21	33	51	14	32	73	36
10月計	112	132	31	100	128	16	80	70	31
11月計	-	-	-	408	102	25	389	125	26
合計	426	1,350	482	795	1,047	417	1,438	1,187	1,067

※生産者ほ場設置（設置期間4月～10月）

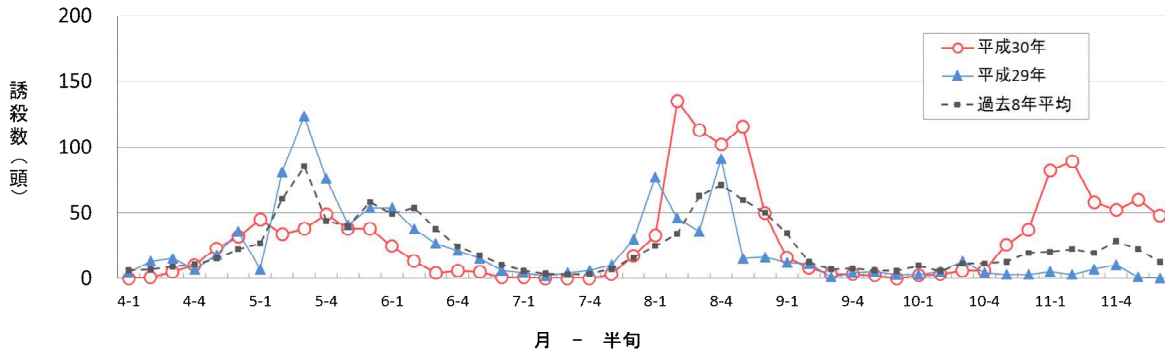
有翅アブラムシ類の黄色粘着板による誘殺数 (大田原市)



有翅アブラムシ類の黄色粘着板による誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



有翅アブラムシ類の黄色粘着板による誘殺数 (栃木市大塚町)



(4) アザミウマ類の青色粘着板による誘殺数

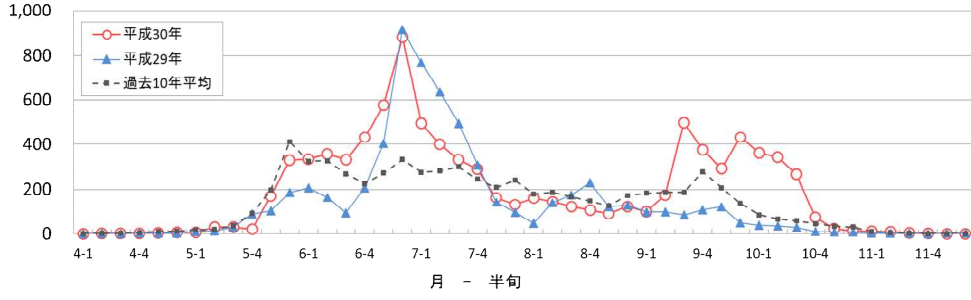
月一 半旬	宇都宮市瓦谷町			栃木市大塚町		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 8年 平均	H29年
4-1	0	2	1	0	2	1
4-2	1	3	2	0	1	3
4-3	3	3	1	2	2	6
4-4	3	5	2	3	2	3
4-5	5	10	3	5	3	3
4-6	7	12	4	7	5	4
5-1	6	17	9	17	5	1
5-2	29	19	13	7	18	74
5-3	29	35	30	17	40	117
5-4	21	91	89	37	46	92
5-5	170	197	102	11	52	126
5-6	330	412	186	68	78	159
6-1	334	325	206	89	66	162
6-2	358	327	163	126	125	289
6-3	333	270	92	51	187	140
6-4	434	227	206	102	124	118
6-5	578	273	404	127	85	141
6-6	883	333	916	96	86	118
7-1	497	277	769	59	85	119
7-2	401	282	636	34	65	114
7-3	331	301	496	35	65	91
7-4	290	245	308	35	36	51
7-5	162	209	141	28	28	32
7-6	131	241	95	27	53	51
8-1	159	181	47	21	34	42
8-2	144	187	139	36	51	63
8-3	122	166	176	34	106	157
8-4	104	147	230	122	190	251
8-5	88	124	121	474	215	143
8-6	120	174	126	136	67	70
9-1	98	184	96	32	56	22
9-2	175	187	97	23	34	31
9-3	499	187	83	13	35	39
9-4	375	279	106	20	25	34
9-5	293	208	121	21	15	24
9-6	433	135	48	9	13	14
10-1	363	84	37	8	13	28
10-2	344	66	34	7	20	32
10-3	267	57	28	3	21	33
10-4	73	45	9	7	13	13
10-5	23	33	7	4	9	6
10-6	13	30	7	4	11	2
11-1	11	11	2	6	7	2
11-2	8	6	4	4	4	1
11-3	5	3	2	1	2	0
11-4	3	2	0	1	1	0
11-5	0	1	3	0	1	4
11-6	0	1	3	0	1	3
4月計	19	34	13	17	16	20
5月計	585	772	429	157	239	569
6月計	2,920	1,754	1,987	591	674	968
7月計	1,812	1,553	2,445	218	332	458
8月計	737	978	839	823	664	726
9月計	1,873	1,180	551	118	178	164
10月計	1,083	315	122	33	88	114
11月計	27	23	14	12	16	10
合計	9,056	6,609	6,400	1,969	2,206	3,029

アザミウマ類の青色粘着板による誘殺数※

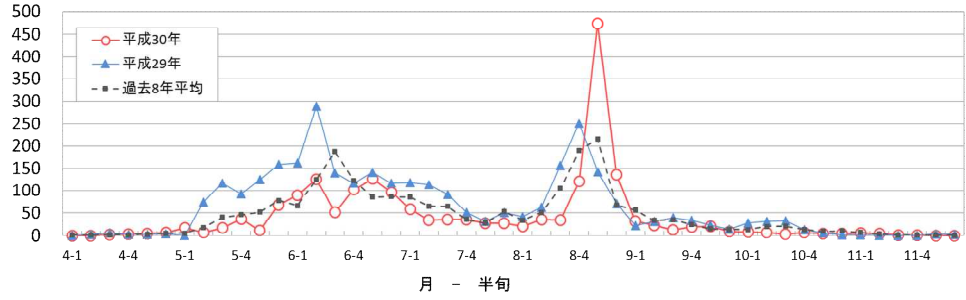
月一 半旬	大田原市			真岡市			下野市		
	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 10年 平均	H29年	H30年	過去 8年 平均	H29年
4-1	0	0	1	0	1	1	0	0	0
4-2	0	1	1	0	1	2	0	1	1
4-3	0	1	0	0	2	3	0	1	3
4-4	1	2	5	1	2	2	1	2	3
4-5	0	2	4	7	4	2	0	3	2
4-6	0	3	1	10	9	2	0	3	1
5-1	10	5	19	11	20	13	4	10	26
5-2	3	9	16	17	33	14	7	10	23
5-3	7	12	15	33	38	22	15	16	23
5-4	15	16	23	52	53	44	20	24	36
5-5	34	17	26	74	71	87	16	29	39
5-6	69	20	29	141	71	109	52	47	82
6-1	68	22	21	152	96	84	67	59	94
6-2	16	48	18	207	139	53	109	104	81
6-3	11	72	11	227	180	34	111	199	99
6-4	31	75	13	189	164	47	183	181	88
6-5	54	113	26	164	176	74	202	188	81
6-6	29	127	51	163	195	227	91	192	243
7-1	17	166	148	151	210	194	69	205	196
7-2	34	198	179	107	189	62	54	176	106
7-3	64	213	44	33	206	53	40	230	28
7-4	29	162	40	91	121	53	68	174	28
7-5	15	146	69	49	124	41	56	163	26
7-6	11	162	123	13	134	27	52	222	30
8-1	4	78	32	31	85	37	86	202	31
8-2	9	99	22	231	94	36	49	192	32
8-3	8	91	19	173	116	26	28	141	29
8-4	8	122	15	50	77	15	22	86	26
8-5	19	118	46	65	59	22	52	65	21
8-6	13	105	20	28	48	20	28	66	15
9-1	11	99	2	11	29	12	17	55	11
9-2	11	82	3	9	25	9	17	50	16
9-3	1	74	9	11	20	12	19	48	15
9-4	2	61	8	12	17	9	12	52	19
9-5	2	49	6	13	13	6	8	44	16
9-6	0	43	3	5	10	4	4	55	9
10-1	2	37	10	33	12	6	8	45	7
10-2	3	21	12	33	13	7	19	41	8
10-3	5	21	2	4	15	3	4	51	9
10-4	3	18	6	9	14	5	11	50	1
10-5	4	12	5	6	12	2	6	45	1
10-6	6	12	6	6	12	1	5	54	2
11-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11-5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4月計	1	7	12	1	7	12	1	9	10
5月計	138	78	128	138	78	128	114	136	229
6月計	209	457	140	209	457	140	763	923	686
7月計	170	1,046	603	170	1,046	603	339	1,169	414
8月計	61	613	154	61	613	154	265	751	154
9月計	27	407	31	27	407	31	77	304	86
10月計	23	121	41	23	121	41	53	285	28
11月計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	629	2,729	1,109	629	2,729	1,109	1,612	3,577	1,607

※生産者ほ場設置（設置期間4月～10月）

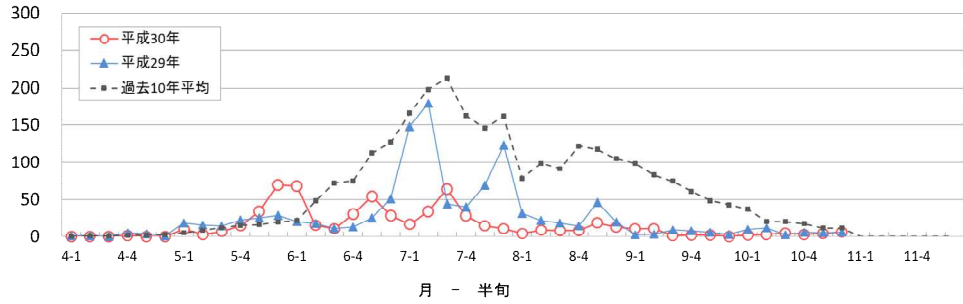
アザミウマ類の青色粘着板による誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



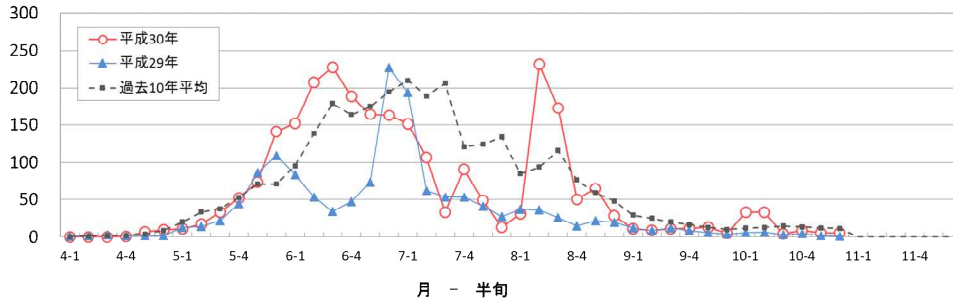
アザミウマ類の青色粘着板による誘殺数 (栃木市大塚町)



アザミウマ類の青色粘着板による誘殺数 (大田原市)



アザミウマ類の青色粘着板による誘殺数 (真岡市)



アザミウマ類の青色粘着板による誘殺数 (下野市)

